11月1日より
本誌HP＞ http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/ 開設！

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年11月8日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第3巻・21号・通算57号

SRS DX

Special Ring Side

No.57
2001
11・8
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

GRACIE

11・3『PRIDE.17』東京ドーム

桜庭、絶体絶命

ホイス・グレイシー緊急来日！

「桜庭vsシウバ」の勝者に挑戦

21世紀の他流試合
11·3 PRIDE.17 ドームへ

何が"プロレス"なのか？

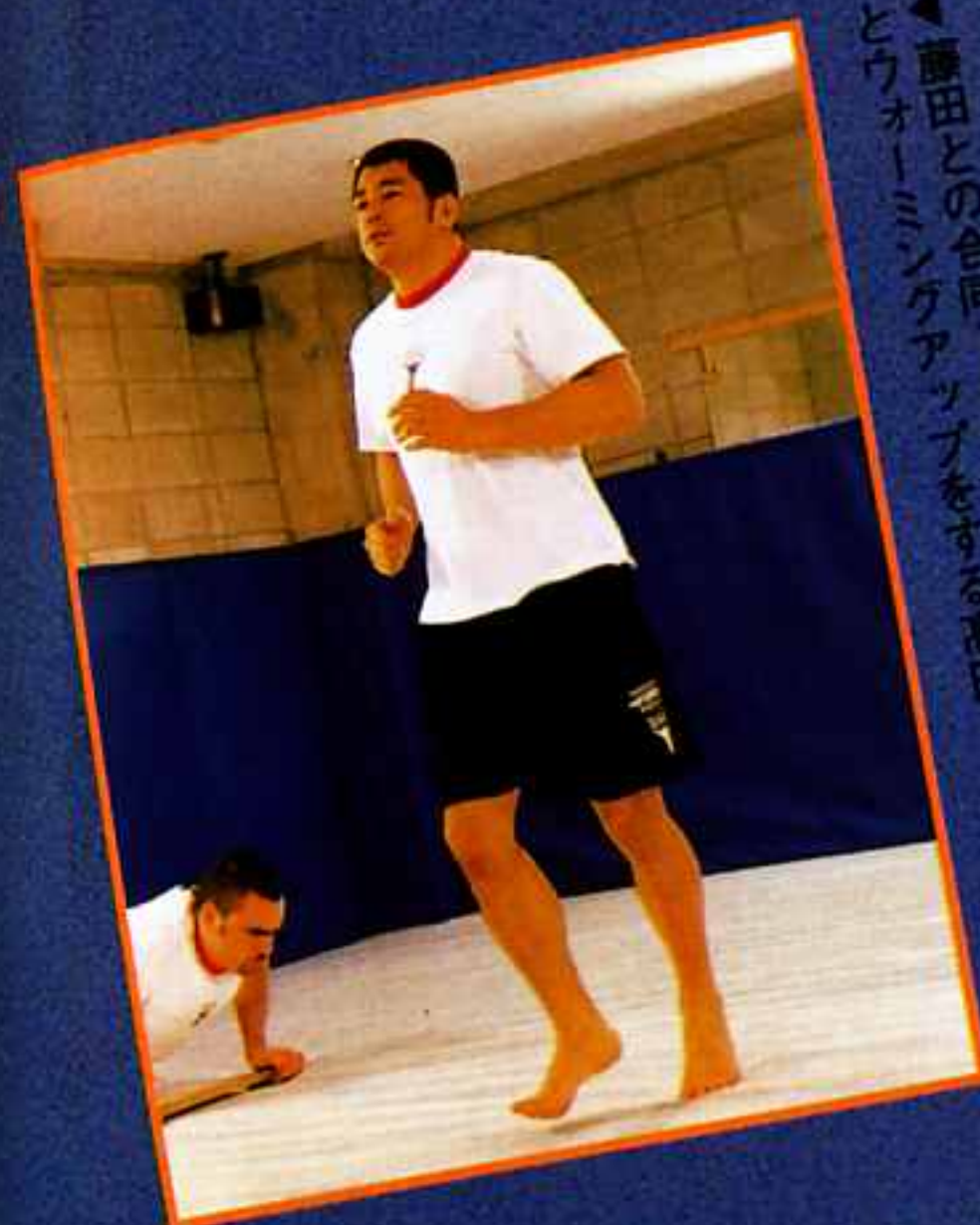
もしも、この2人に今"熱"が持てないのなら……

ミルコ戦に向けて、高田が藤田と合体トレ

11・3『プライド17』でミルコ・クロコップと対戦する髙田延彦が、8・19K―1ジャパン大会でミルコと対戦した藤田和之と合同トレーニングを行った。決戦まであとわずかの髙田を追ってみた。

撮影◎乾晋也

プロレスファンにとって、これもまた〝出来事〟なのか？

髙田、藤田の思いよ、届け！

▲藤田との合同トレに向けて黙々とウォーミングアップをする髙田

▲〝ミルコ経験者〟藤田にタックル！　実際の試合でもここから寝技に持ち込みたい！

今号の巻頭記事で『週プロ』佐藤正行編集長にご登場願ったのだが、インタビューしていて驚いたのは、今のプロレスファンは「髙田VSミルコ戦よりも、武藤や秋山の純プロレスに興味がある」と言っていたことだ。それが本当だとすれば、何が〝プロレス〟なのかと、本当に問いたい気分である。

藤田や髙田が他流試合に打って出る根本には、「プロレス」というジャンルに対する強いプライドがあるからだ。それは、かつてA・猪木がいた頃の新日本の道場に脈々と流れていた精神だった。

ところが、K―1や『プライド』のようなメジャー格闘技が台頭してきたことで、プロレスと格闘技がクロスする一方、プロレスファンとそうでない人が完全に分離されてきた。マット界よりも、ファンのほうが「クラスマガジン化」してきていると言うのだ。

プロレスファンが武藤・秋山に向いていて、コアの『プライド』ファンがノゲイラVSヒーリングや桜庭VSシウバのほうに目が向いている。そんなムードがぼんやりと漂っているとしたら、マット界は大きなソフトを見逃していることになる。なぜなら、髙田VSミルコ――つまり「プロレスVSK―1」はこの世界で最もメジャーなソフトの切り札だからだ。

コアのファンが、かつての猪木の異種格闘技戦時代のように一致団結してジャンルの存亡を賭けた闘いに熱を持って見られず、そうでない人ばかりがこの一戦を騒いでいたとしたら、何かがズレてるとしか言いようがない。髙田VSミルコ戦は、そう考えると「メジャ

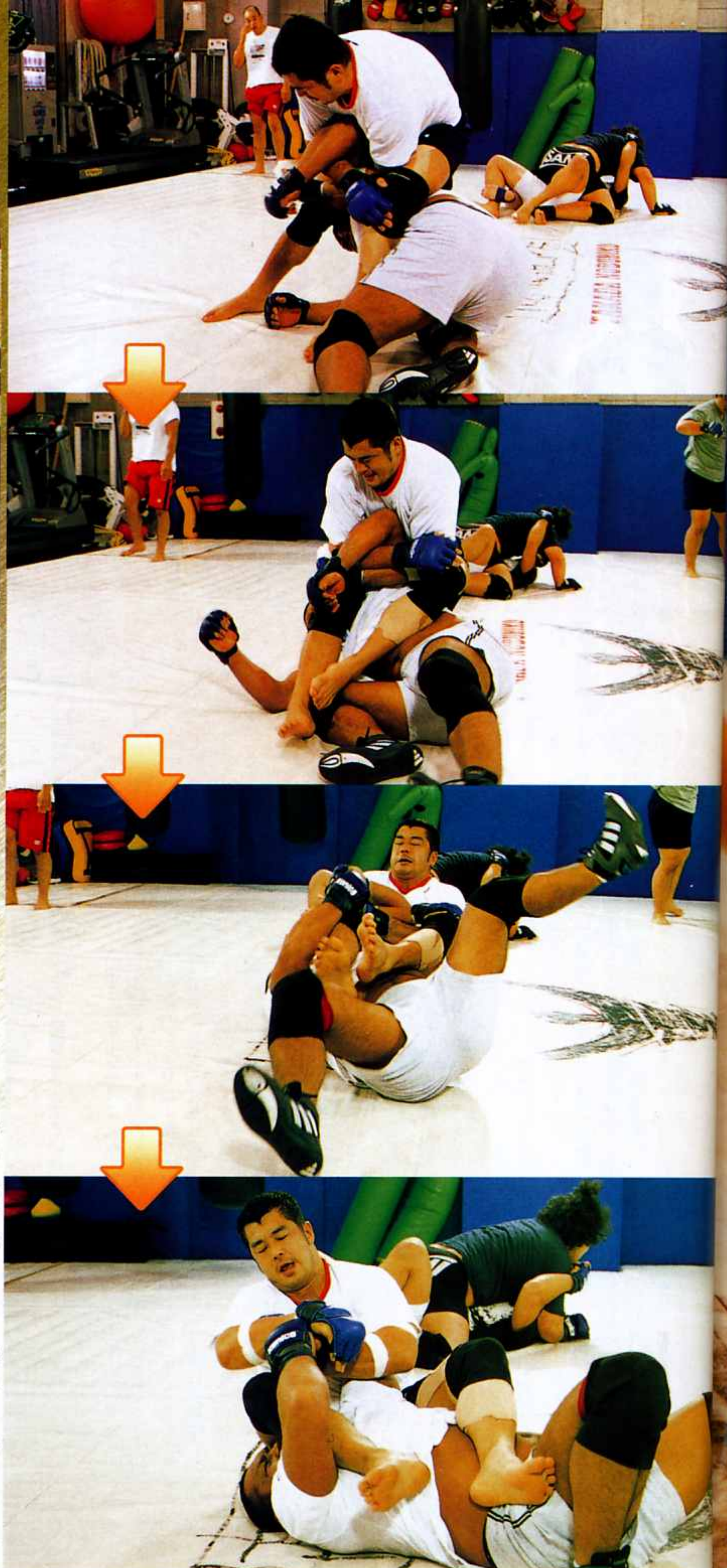
21世紀の他流試合
11・3 PRIDE.17 ドームへ

▶ひとつ一つの動きを確かめるかのように藤田とスパーリングをしていた髙田。う～ん、ミルコ戦でも腕ひしぎ十字固めを見てみたいっ！

▼ヒクソン戦でも実証したように、腰の強さには定評のある髙田。ミルコと組み合ったとしても決して力負けはしないだろう

本来、「プロレス」という ベースしかない男の他流試合が、一番感情移入できるはずだ！

◀藤田はアドバイスというよりも、自分がミルコとやった時の感触を髙田に話したそうだ

◀「タックルで入ったらこんな感じで……」とミルコ戦のことを話していた髙田と藤田

ーVSコア」ファンのズレとの闘いでもあるのだ。今さらプロレスに"地上最強"や"他流試合"の概念を持ち込むのは、もう古いのだろうか。

高田VSヒクソン戦の時も、なんとなくそのムードは漂っていた。結果が出てから大騒ぎになったが、それでも長州力が言ったように、単なる「出来事」で片付けようとしたムードも流れた。で、結果的にK―1や『プライド』が、時代の先端に躍り出てしまったのだ。

それとも、名乗りを挙げたのが高田だったからだろうか。しかし、今の高田は4年前のヒクソン戦の頃とは違う。まして相手は経験のないミルコ。ミルコの潜在能力はまだ見えてないが、実力は五分と五分。非常に勝敗の予想が立てにくいカードだ。プロレス界にとっても、最大のチャンスと言えなくはない。

高田の特徴は、この世界に入るまで格闘技経験がないことである。たしかに『プライド』のようなリングでは、ベースとなる格闘技は重要な意味を持つ。しかし、我々は猪木がそうだったように、ベースとなる格闘技がない純プロレスラーの異種格闘技戦にこそ、一番心をワクワクさせてきたのではなかっただろうか。

高田は今でも「新日道場」を原風景として心に持っている数少ないレスラーだ。しかし、本来ならばそれが理想のプロレスラー像だったはず。こういう選手がいなくなること自体、マット界の大きな損失になる。だから、高田に感情移入せよ！　11・3ドームのテーマはそこにある。　（谷川）

「プロレスvsK—1」他流試合・髙田vsミルコ決戦直前インタビュー

髙田延彦のコメント

対策は秘密だけど、向こうは殴る蹴るしかないからね

―コンディションは？

髙田 いいっスね。いい練習できてるし、いいメンバーとね。そうすると気持ちがね、いい勢いになるので。楽しみです。

―凄いメンバーですよね。

髙田 凄いメンバーでしんどいよ（笑）。

―ミルコ戦に向けての対策は？

髙田 対策は秘密……秘密だけど、向こうは殴る蹴るしかないから。

―ミルコ選手は藤田戦に続き「早いタイミングで決めます！」と言っているそうなんですけど？

髙田 怖いねぇ。気を付けますよ。

―早い時間帯での攻防というのがひとつのポイントになると思いますか？

髙田 分からないね。誰しも早く勝負はつけたいからね。早く勝負をつけて、早く温泉でも行きたいから（笑）。向こうも同じでしょ。

―藤田選手とは対ミルコ戦について何かお話をされましたか？

髙田 そうですね。こういうふうに練習に来てくれてるんで、チャンピオンのアドバイスを聞いてますよ。でも、タイプが違うんで。タックルのスピードとかパワーとかね。そういうものを（オレは）持ってないんで。でも、あの手の体重だったら1回掴まえればキレイに倒れるはずなんで、努力していますから。これが120キロくらいのヤツをタックルで倒すとなると、それは藤田君のようにはいかないけど。掴まえたいですね。展開はどうなるかは分からない。生ものだから。いろんな状況にも対応できるように練習をやってます。

―一番気を付けなきゃいけないところは？

髙田 どんな選手でも打撃がいいところに入れば、ボクのパンチでもいいところに入れば倒れるし。だから、いいものをもらわないことだね。

―お顔を拝見している限りでは凄く落ち着いているように見えますが？

髙田 試合当日リングまで気負い過ぎずに、なんせ1年ぶりですから。試合に入った途端に疲れちゃうことがあるから、あの緊迫で。ですから、試合場に入るまでのシミュレーションをしっかり今からしといて。会場の雰囲気を今から頭の中で流しとくんですよ。そうすれば、気負いで疲れちゃうことはないから。まあ、ホントにいいところをたまにはね、少ない髙田ファンに見せたいですから。なんとしても勝って、応援してくれる人たちの溜飲をキレイに下げたいから。

―今回は勝ちにこだわると。

髙田 そうだね。当然でしょ。

―いい試合とかじゃなくて？

髙田 いい試合もやっぱり見せたいし、勝ちも見せると。■

藤田和之のコメント

髙田さん独自のオリジナルで凄い秘策があるんで大丈夫！

―藤田選手から見て髙田選手のコンディションは？

藤田 いいと思いますよ。髙田さんは立って良し寝て良しなんで、体調的にはあとはコンディションだけだと思います。作戦はあえて言わないっス（笑）。

―藤田選手から何かアドバイスはされたんですか？

藤田 アドバイスなんてそんな……おこがましいことは。やった感じとかっていうのを、僕なりの感覚でお答えしただけです。まあ、凄い秘策があるんで。

―それは藤田選手が伝授した？

藤田 違います。髙田さん独自のオリジナルです。これは一切言えません。大丈夫でしょ！ 当日になれば分かります。凄い食いつくような試合展開になるんじゃないですか。

―ヒザの具合は大丈夫ですか？

藤田 大丈夫です。とりあえず12月31日の『イノキボンバイエ』。まだ相手は決まってないですけど、そっちに向けて。年内中はそれ一本に照準を絞っているんで。

―では年内はそれ1試合だけ？

藤田 はい。

―『プライド』は？

藤田 分からないです。大晦日に照準を絞って身体を作っていって、あとは体調次第じゃないですか。■

佐竹雅昭のコメント

髙田さんは力が強いからアームロックとか極まるんじゃない？

―髙田さんと練習をされてていかがですか？

佐竹 髙田さんはポジティブにね、前へ前へ出てくるスパーリングをするんでね。ボクもドンドン思いっきりロー蹴ったりハイキック蹴ったりヒザを入れたりね、思い切りやらしてもらってるんですけどね。難なくそれを体で受け止めて間合いに入ってきますんでね、そこはプロレスラーだという感じしますね。ある意味、プロレスラーの意地というものを凄い自分で持って練習に向かわれているんじゃないですか。

―髙田さんは「凄い相手が練習相手になってくれるんでかなり大変だ」とおっしゃっていました。

佐竹 試合するよりも練習のほうがしんどいんじゃないですか（笑）。ボクなんかも髙田さんとスパーリングする時、向こうもやっぱ必死だし、こっちも必死なんで。そういう部分の緊張感というのは試合につながるんじゃないかなと思いますけど。

―佐竹さんの中で、髙田選手の相手がミルコということで、スパーリングの時に立ち技中心で攻めようとか、そういう考えは？

佐竹 そうですね。ボクは立ち技専門でやってます。あとは、上になった時、下になった時に、どうやって攻めるかというのをミルコになったつもりでやってます。逆に、ボクも思いっきりローキックを蹴れるんでいい練習になるんですよ（笑）。髙田さんも思いっきり来てもらいたいだろうしね、ボクも遠慮なく蹴らしてもらっていい練習になるんでね。ボクは蹴る練習、髙田さんはそれをさばく練習をね。今の練習はホントに試合と同じ状況でやってます。

―一緒に練習をしていて、髙田さんはこういう作戦でミルコ戦を闘おうとしているんだなとかという感覚というのは？

佐竹 距離を殺す部分じゃないですか。打撃系の選手にとっては間合いを詰められることが一番の弱点なんでね。そこら辺をミルコがどんだけ対処しているかというのもありますけど、それが対処できなかったら髙田さんが中に入って勝負が決まると思います。（髙田にとっては）いかにテイクダウンを取るかという部分なんでね。そこでテイクダウンを取る前に殴られる蹴られるのはバカバカしいんで、そういう部分を身をもって今、体を痛めながら練習しているんじゃないかなという気がします。肉を切らせて骨を断つという感じでね。

―まさに、この前の藤田選手は肉を切らせて骨を断とうとした時に……？

佐竹 終わっちゃったんだよね。でも、それがプロレスラーだと思うんですよ。ボクも最近スパーリングをしていて、レスラーの魂というのをよく見ているんですけど、彼らは受けてナンボの世界だから。そういう部分でミルコの攻撃を受けてね、藤田君もアレを受けてその後まだできそうだったんでね。そういう精神が見られましたね。「もう一丁！」という気持ちをみんな持っているね。この練習風景をぜひ皆さんに見せてあげたいくらいです。気迫がこもっていて、魂の闘いという感じがしますね。凄く楽しいですよ。子供の頃やっていたプロレスごっこの延長、究極のプロレスごっこをやっているみたいで毎日が楽しいです。15Rくらいやっても苦にならないしね。

―髙田vsミルコ戦を、K—1も知ってVTも知ってる佐竹選手から見てどういう闘いになると思いますか？

佐竹 やっぱり髙田さんがテイクダウン取れる気がするんだよね。上になってジワジワ極めるというパターンになると思うんですけどね。（髙田は）力が強いですからね。アームロックとか極まるんじゃないかなぁ。

―テイクダウンを取るまでに髙田さんが気を付けなきゃいけないところはなんだと思いますか？

佐竹 迷いですね。迷い！ 打撃が来た時に躊躇したらもらっちゃうし。ボクだってそう思いますからね。打撃系の立場として、迷われたらオイシイと思うし、迷わなかったら今度はテイクダウン取られてからのことを考えるからね。タックルを切るとかね。ミルコはそこまでの経験がないからね、迷わず突っ込んでいけばテイクダウンを取れると思います。だから、そこだけですね。躊躇したらダメ。向こうも必死でいいのを入れてくるだろうし、入れられたらミルコの勝ちだし、入れられなかったらテイクダウンを取って髙田さんの勝ちだと思いますね。ただ、そのテイクダウンを取った後に何が起こるか分からないのが真剣勝負だからね。そこがあるから面白いんでね。予想は立てられるけど、実際は見てみないと分からないからね。

―ミルコ選手もかなり寝技の練習をしていると言っていたんですが、そんなすぐに髙田選手と対抗できるくらいの技を身に付けられるものなのでしょうか？

佐竹 難しいですよね。ただ、身体能力が高いというからね。やっぱり経験がない分、寝技になった時のスタミナのロスが非常に大きくなると思うんですよ。やっぱり長いことやってるとこういう筋肉がね。抜くところ入れるとこあるから。ホントは入れるとダメなんですよ、抜けるようになるまで練習しなくちゃいけないから。グ～と力強く入れるのはまだ途中なんですよね。抜いた状態でヒュイヒュイヒュイとできるような感じまでもっていかないと。打撃だってそうです。力んだパンチって効かないですから。髙田さんから一本取るのは難しいですからね。■

21世紀の他流試合
11・3 PRIDE.17 ドームへ

クロアチアで遂にミルコをキャッチ!

なぜミルコは強いのか? K—1はなぜ負けないのか?

11・3『プライド17』東京ドーム大会に、
K—1のミルコ・クロコップの出場が正式に決定した。
K—1の海外渉外担当が母国クロアチアに向かい、
出国が正式に許可されたのだ。
高田との世紀の一戦を控えたミルコに、本誌もまた
クロアチアに現地取材を敢行。
ミルコの強さの秘密を探ってみた。

写真©Issey Kato／T&t

10月30日には出国が許可。K—1GPに出られなかった思いを髙田延彦に全てぶつける！

ニューヨークをはじめ米国各地で起こった「同時多発テロ」のあおりを食って、今年の『K—1ワールドGP決勝大会』をあきらめることになったミルコ・クロコップ。ミルコは母国クロアチアで警察官を務めており、所属はテロ対策特殊部隊の格闘技教官。クロアチアなどの東欧でもイスラム過激派によるテロ事件が頻繁に起こっているため、ミルコに自宅待機の命令が下っていたのだ。

しかし、『プライド17』での髙田戦をオファーされたミルコは、その後、自ら日本で試合ができるように調整。K—1の海外渉外スタッフもクロアチアに乗り込み、10月30日には母国を出国できる見通しとなってきた。こうなったら、K—1に出られなかった思いを、全て髙田戦にぶつけてくるだろう。

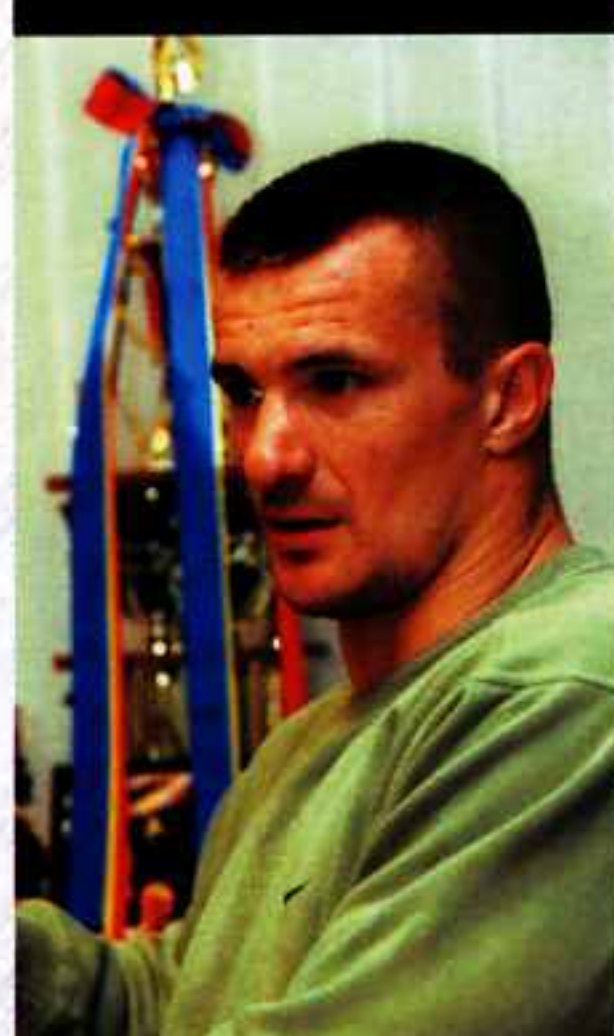
そんなミルコの近況を探ろうと、本誌もフランス在住のカメラマンを現地に派遣。ミルコのトレーニング風景、及び警察官として働く姿の撮影に成功した。ミルコはクロアチアに住むレスリングの選手や柔術の選手と午前・夕方の2回にわたって猛特訓。まもなく、髙田戦の時にミルコをみっちり指導したロス在住の柔術家マルコ・ジャラもクロアチアに入る予定になっており、最終調整と戦略を確認することになっていたのだ。

だが、同時に警察官の仕事も、状況が状況だけにかなり多忙。実際、取材中にもザグレブ市内で反戦デモが起こり、ミルコも鎮圧のために出動する場面も見られた。

ミルコの本名はミルコ・フィリポビッチ。1974年生まれで今年27歳というから、体力的には一番脂の乗っている時期にある。父親は内装関係の仕事をしていたごく普通のサラリーマンだが、母親が厳しかったためか、子供の頃から正義感が強い性格に育った。格闘技はブルース・リーの影響で、すでに7〜8歳の頃からテコンドー、カラテ、キックボクシングと続けている。

そんなミルコが一番多感な時期に起こったのが、91年から93年のクロアチア独立戦争である。現在住んでいるザグレブから15キロほど離れたブリーブラカという村に生まれたミルコ。毎日、爆撃の音を聞きながらもそこは田舎だったため、戦禍を免れると思われていた。しかし、やがて状況は悪化。ミルコの生まれた村にも空爆が始まり、やがては地上戦まで行われるようになっていった。

「ただただ毎日が怖かった」というミルコは、そんな内戦で、知り合いの何人もが死んでいく姿を目の当たりにしている。父親が救急隊員をやっていたこともあって、ミルコも救急の手伝いをさせられたこともあったが、戦禍で死んでいった人、傷付いた人を何人も見てきた。家族がバラバラになって連絡が取れなくなったり、まったくアカの他人の家族と半年以上生活することもあった。まだ10代だったため、もちろん戦争には参加していないのだが……。

しかし、この時の体験がミルコの死生観を変え「強くなくては生きていけない」という気持ちにより拍車をかけたのは間違いないだろう。ミルコの入場シーンのもの悲しそうな表情に、単なるスポーツマンにはないムードが漂っているのも、そんなところに秘密があるのではないだろうか。

「私は基本的に誰も傷付けたくないし、戦争は大嫌いな人間だ。私のような性格の人間ばかりだったら、世界中が平和になると思う。でも、私の入場にスポーツマンとは違う殺気を感じてくれるのなら、もしかしたら青年期の体験が影響しているのかもしれない。ただ、K—1と戦争はまったく別モノだよ。K—1は鍛錬した人間が、その努力とそれによって身に付けた技術を競い合う場。これはやっぱりスポーツだ」とミルコは言う。

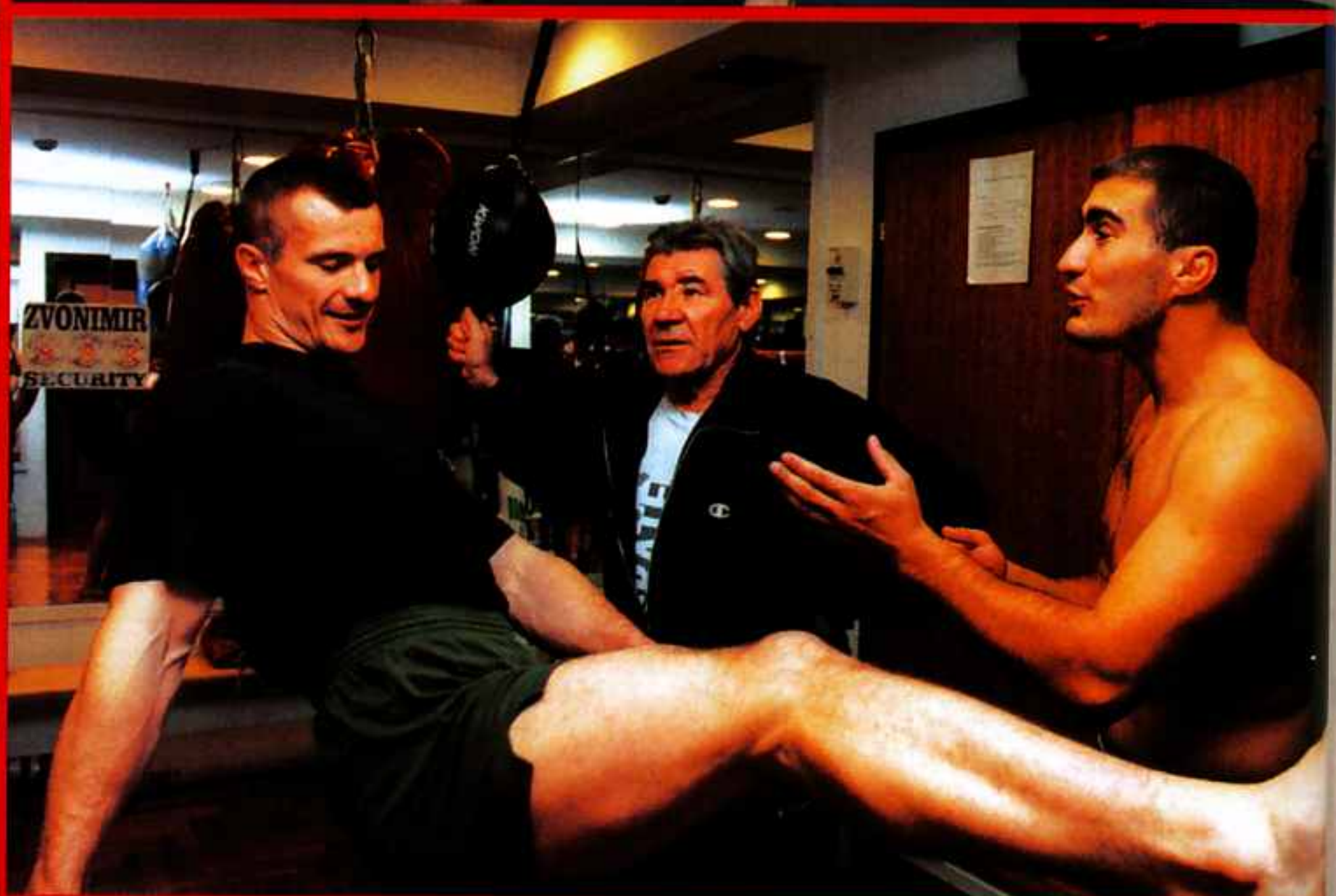
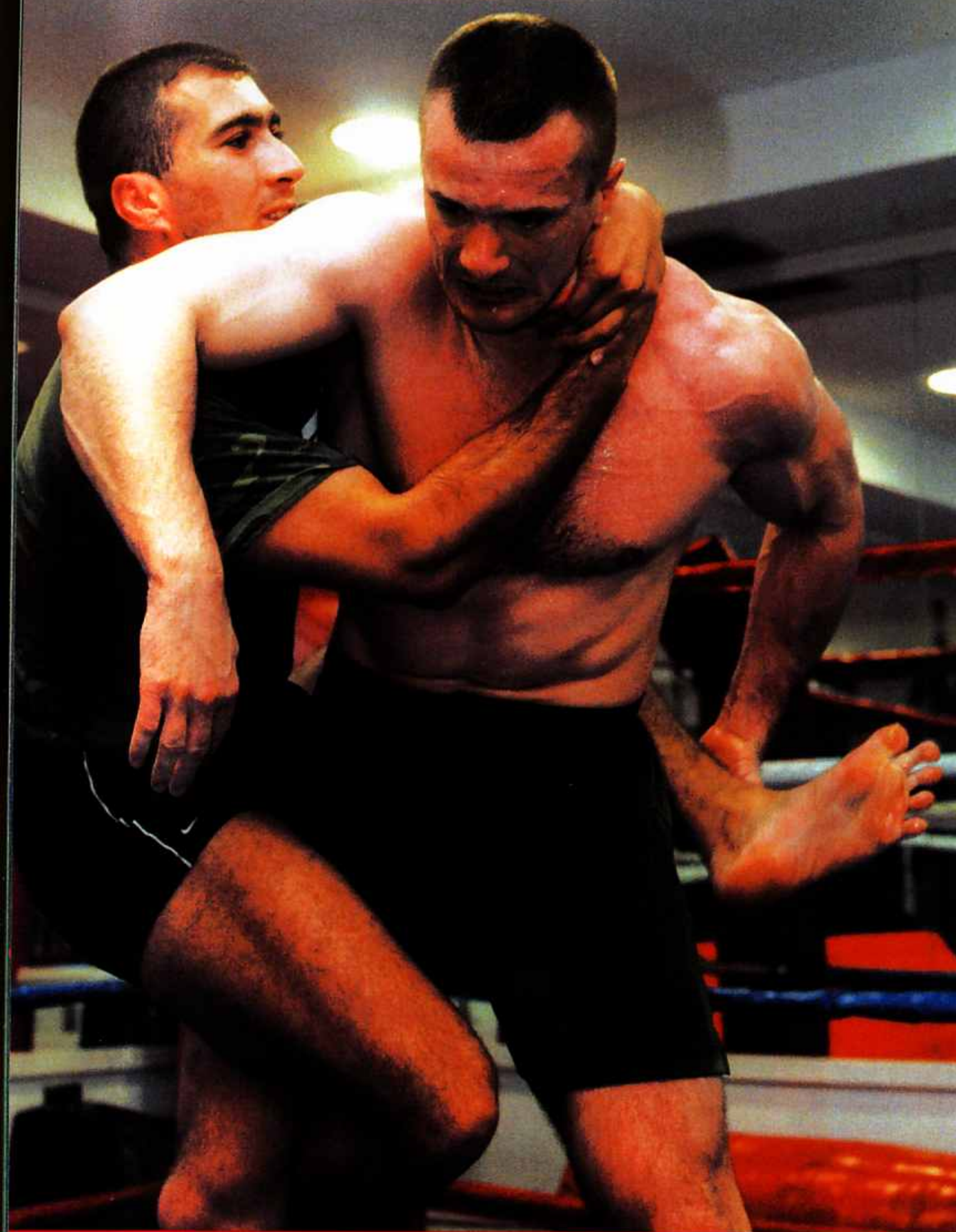
しかし、ミルコは戦争という究極の闘いを知っている。そこが、他のファイターとはひと味違う強さにつながっているのではないだろうか。しかもミルコは、生涯の職業として、実戦の闘いが日常茶飯事となる警察官を選んだ。実戦に対する恐怖感を克服している点では、他の格闘家より遥かに抜きん出ているはずだ。

「よく、警察官の仕事はバーリ・トゥードと一緒か？　と聞かれるけど、それは全然違うものだ。実戦ではやっぱり多人数相手に闘うことが多いし、相手はナイフなどの武器を持っていることが多い。たしかにバーリ・トゥードではグラウンド技術に長けた者が有利だと思うけど、実戦ではむしろ立ち技のほうが有効だ。だから、テロ対策の格闘技教官といってもほとんど立ったままの練習が多い。私自身も柔道やレスリングの経験はないからね。バーリ・トゥードは素晴らしいスポーツのひとつだと考えている」

ミルコが言うには、逮捕術はバーリ・トゥードにまったく役に立たないらしい。けれども、実戦での心構えは、もちろん役に立っているはず。ミルコの攻撃を見ていると、攻めに対してはいつも非情。この非情さが多くのKO勝ちにつながっているのだ。

石井館長がグラウンド経験のないミルコを髙田戦に抜擢したのは、その運動神経の良さに目を付けたからだ。ミルコはK—1の中でも身体能力は1、2を争うほど高い。短期間で決まった髙田戦。では、どうすればいいかと考えた結果、最も短期間に技術を吸収でき、バーリ・トゥードという違う競技にも対応できそうなミルコに、白羽の矢を立てたのである。

実際、ミルコは髙田戦まで2週間しか柔術のトレーニングを行っていない。それなのに名トレーナー、マルコ・ジャラでさえミルコの吸収力の速さには目を丸くして驚いている。何年も柔術の練習をしている選手とも、堂々とスパーリングをこなしてしまうのだ。マルコは髙田戦後、本気で「あのままグラウンドの展開になっていても、ミルコがチョークで勝っていた」と言っていたほどである。

さすがにK—1のデビュー戦で、ジェロム・レ・バンナに勝っただけのことはある。ミルコはこれまでバンナ、マイ

ミルコのスケジュール

午前8時～午前11時	柔術、その他のトレーニング
午前11時～正午	射撃の練習
正午～午後1時	警察隊宿舎で昼食
午後1時～午後3時	クライミングの練習。ビルから突入するケースを想定して壁に登る。また、テロリストのいる部屋に突入するケースを想定した練習
午後4時～午後6時	自宅で仮眠
午後7時～午後9時	ジムでトレーニング

ク・ベルナルド、ピーター・アーツ、サム・グレコといったK—1の大物たちに初対決で勝利を収めている。初戦で負けたのはアーネスト・ホーストと引退に華を添えたアンディ・フグ戦くらい。地味に見えるが、それほど身体能力は優れた選手なのだ。

ミルコのトレーニングを見ると、基本的に反復練習の繰り返しだった。若い分、質より量で自分の体に覚えさせている。これもまた、ミルコの強さの秘密のひとつ。ミルコのK—1での闘いを見てもらえば分かるが、とにかく軸がぶれず、バランスがいいのだ。藤田に決めたヒザ蹴りも、決してマグレではなく、何度も反復練習して狙いすました一撃だからこそ、当たったのだろう。その証拠に、ミルコは藤田の最初のタックルを、頭に手を置きながらかわしている。とにかく、バランスがいい。

負けない男は基本的に“小心で繊細” ミルコもまた試合前はいつもナーバスになる！

「前回のフジタ戦は短すぎたし、私も再戦を望んでいるよ。これまで経験したことのなかった寝技を始めて、私自身この競技が気に入った。寝技をやることで、スタミナもつくしね」（ミルコ）

しかし、それらの秘密よりも、もっと重要な点がある。それは、ミルコ自身、小心で繊細な一面があるということだ。

藤田戦前のミルコは、徹底的にルールにこだわった。『猪木軍VSK—1』特別ルールのベースは、石井館長というより、むしろミルコが作ったと言える。短期間で決まった試合だから仕方ないとはいえ、ミルコは「試合時間は1R3分」「体重差は極力なくしてほしい」と強く主張してきた。また、ロープ際のブレイクは「ドント・ムーブではなく、中央でスタンド状態から」を主張してきたのもミルコ。さすがにグラウンド時間の制限や膠着ブレイクは認められなかったが、ミルコはルールに対して細心の注意を払っていたというエピソードがある。

「総合ルールで闘うのは、明らかに自分が不利。せめて体重を近くし、K—1用の体に作り上げた3分間で闘いたい」というのがミルコのこだわりだった。そして、驚くことに今回『プライド17』に電撃参戦することになったマット・スケルトンや、『イノキ・ボンバイエ』に出場の意志を見せている他のK—1戦士も、同じ主張をしていると言うのだ。

よく他流試合を行う際「相手は誰でもいい」とか、「ルールはなんでもOK」という気持ちのいいファイターがいる。猪木軍などのプロレスラーがそんなタイプで、ファンは彼らの気概に乗ることができる。K—1軍で言えば、ヤン・“ザ・ジャイアント”・ノルキヤがそうだった。

しかし、彼らはファンの支持を受けながらも負ける場合が多い。たとえファンの支持を受けなくても、いかに自分の土俵に近付けるか。それが他流試合に勝つ一番の道なのだ。ミルコはそれでも、来日して藤田戦を迎えるまでかなりナーバスになっていた。ルール・ミーティングでも「フジタをあまり見たくない」とすぐに帰ろうとしたかと思えば、盛んに何度も島田レフェリーに質問したという。

「6人の中で一番質問したのがミルコですよ。あとはみんななんでもいいという感じでした」と島田レフェリー。石井館長によると、ミルコはファイトマネーがどうこうではなく、最初は藤田戦のオファーを断ったという。ということは勝つ人間というのは、やはり小心者でなければならないということだ。

その典型なのがグレイシー一族である。グレイシーほど、対戦相手やルールに注文を付ける格闘家はいない。そうやって彼らはいつも自分たちの土壌に敵を引きずり込み、最強幻想を膨らませてきた。もちろん、そういうタイプはヒールになりやすい。「そんなヤツには乗れない！」というファンもいるだろう。だが、勝つタイプというのは、その手のファイターなのだ。

そう考えると、プロレスVSグレイシーやプロレスVSK—1といった他流試合は、気持ちや生き様を見せるプロレスラーと、勝負の結果にこだわる格闘家の闘いとも言える。プロレスラーは「勝ち負けよりも、見せるものがある」と思ってリングに上がっているのに対して、格闘家は「結果が全て」と考えている人間が多い。だから、格闘家の中でも、アンディ・フグや辰吉丈一郎がプロレスラーに見えたりすることもあるのだ。

これはプロと究極のアマチュアイズムの対決でもある。ミルコやK—1の選手が、たとえ不利な総合のルールでも負けないのは、そんな一面があるからだ。

ミルコは高田戦を迎え、ギリギリまで不安を抱えながらトレーニングするだろう。高田のことを決してナメたりしてないし、藤田に勝ったからと言って総合の試合を甘く見てはいない。特に今年のK—1開幕戦では、過信してマイケル・マクドナルドに1RKO負けをしている。それが、ミルコにとっていい薬となった。

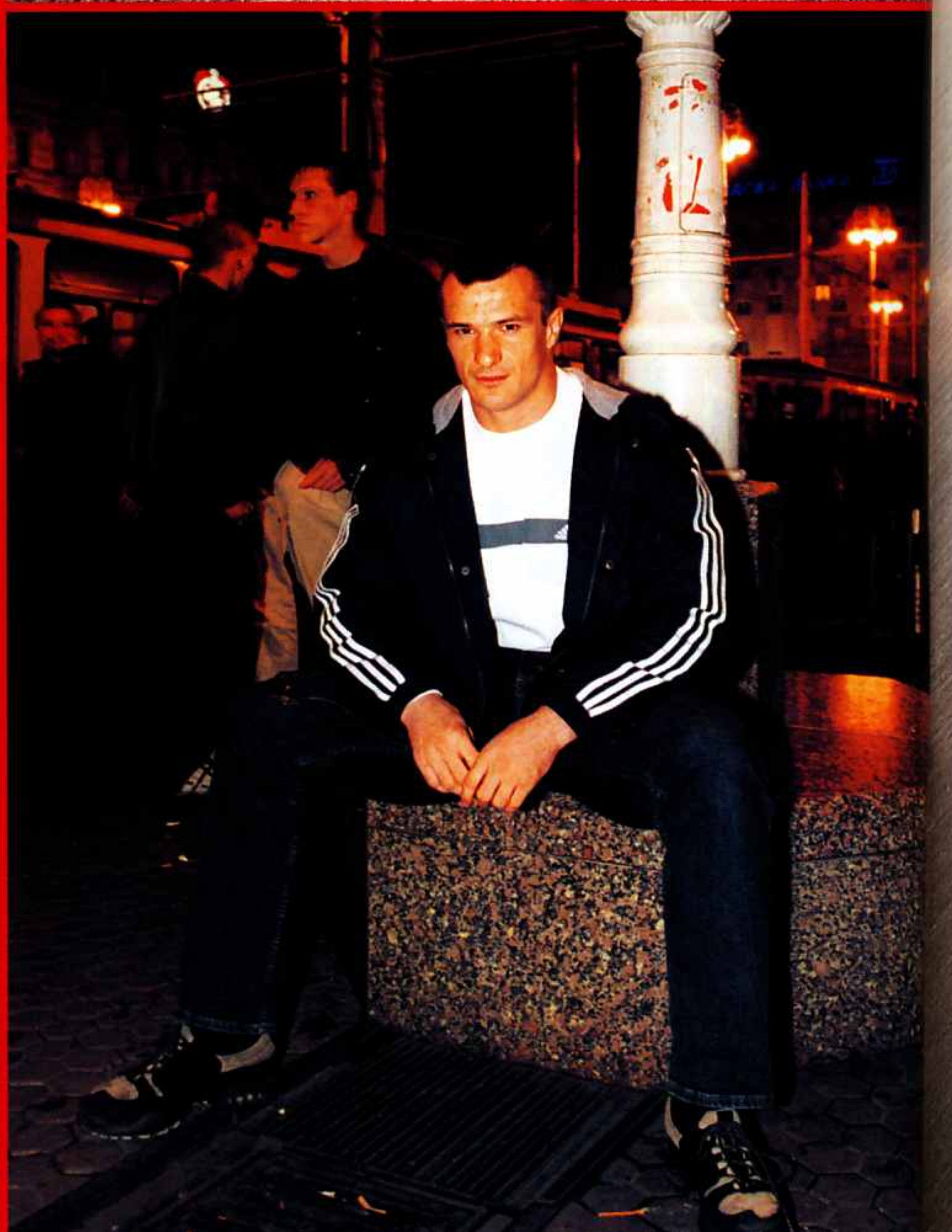
「タカダは大変経験があるし、スピリットがあるから気を付けないと……」とミルコ。

しかし、いざ入場となったら、ピタリと不安は消え、驚くほどの平常心となる。平常心でなかったら、藤田のタックルなんて何度も見切れなかったはず。ホイスやヒクソンと同様、ミルコもそうやって勝ち続けてきたタイプだ。

だから、ミルコに総合の経験がないからといって、決して侮ることはできない。現に藤田戦では、すでに奇蹟を見せているではないか。

「そうだ。戦争と格闘技はまったく別モノだと言ったが、ひとつだけ共通点を思い出したよ。それは、一瞬のミスで全てを失ってしまうことだ」とミルコ。

ミルコの怖さは、そんなところにあるのだ。

（谷川）

衝撃!　またもグレイシー内紛
ホイス、ホリオンから独立!

11・3ドーム乱入、「桜庭vsシウバ」の勝者に挑戦か?

21世紀、他流試合はさらに激化し、その舞台は11・3『プライド17』東京ドーム大会へ移ろうとしている中で、「他流試合の時代」のきっかけを作ったグレイシー一族に、またも内紛が起こったという衝撃的なニュースが伝わってきた。

なんと、これまで一枚岩と見られてきた本家・グレイシー柔術アカデミーの長男ホリオンと六男ホイスが袂を分けたというのだ。UFCを旗揚げし、ホイスを使ってグレイシー柔術の名を世界に広めることに成功した策士ホリオン。2人の成功で一族最強の三男ヒクソンは、ビジネス上独立し、日本に活躍の舞台を求めた。そして、さらにここにきて、ホイスが独立。一族の間にいったい何が起こったのか。

本誌が掴んだ情報によると、ホイスは昨年5月東京ドームで桜庭に敗れて以降、休養をとって再起戦に向けて調整していた。ところが、マネージメント役を務めるホリオンはなかなかGOサインを出さない。常にグレイシーの幻想を守り続け、どんな交渉に対しても妥協を許さなかったホリオンは、ホイス復帰に対しても非常に慎重になっていたのだ。

これは本誌の推測だが、ホリオンにしてみればレベルの上がった現在の『プライド』で、ホイスが簡単に勝てるとは思えない。それならば、このままホイスを伝説の男として封印したほうがいいのではないかと考えたのではないだろうか。ましてホリオンの目はすでに20歳に近付いてきた自分たちの息子にある。「マーク・ケアーの体格がありながら、柔術のできる男」と嬉しそうに語っていた息子たちに、一族の未来を託しているのだ。

ところが、ホイスのファイターとしての火はまだ消えていない。現在、34歳の

11・3「PRIDE.17」全カード

PRIDE初代ミドル級王座決定戦
桜庭和志〈高田道場〉 VS ヴァンダレイ・シウバ〈ブラジル・シュートボクセ・アカデミー〉

プロレスVSK—1特別試合
髙田延彦〈高田道場〉 VS ミルコ・クロコップ〈クロアチア・クロコップ・スクワッドジム〉

PRIDE初代ヘビー級王座決定戦
アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ〈ブラジル・ブラジリアン・トップチーム〉 VS ヒース・ヒーリング〈米国・ゴールデン・グローリー〉

佐竹雅昭〈怪獣王国〉 VS セーム・シュルト〈オランダ・ゴールデン・グローリー〉

小原道由〈新日本プロレス〉 VS ヘンゾ・グレイシー〈ブラジル・ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉

ダン・ヘンダーソン〈米国・チーム・クエスト〉 VS ムリーロ・ニンジャ〈ブラジル・シュートボクセ・アカデミー〉

石川雄規〈格闘探偵団バトラーツ〉 VS クイントン・〝ランペイジ〟ジャクソン〈米国・チーム・イハ〉

マリオ・スペーヒー〈ブラジル・ブラジリアン・トップチーム〉 ? イゴール・ボブチャンチン〈ウクライナ・フリー〉

《『猪木軍vsK—1』特別ルール3分5R》

これぞ、男のロマン!

トム・エリクソン〈ハンマーハウス・アメリカ〉 VS マット・スケルトン〈K—1・イギリス〉

ホイスには時間もない。そこで、ホリオンと別れ、今度は自分で『プライド』などの団体と交渉していこうと決めたのではないだろうか。その証拠に、ホイスは当分トレーニングはグレイシー柔術アカデミーで行い、プロ契約のみホリオンから独立すると言われている。

そのホイスが、11・3『プライド17』に来日することが明らかになった。すぐにでも試合をしたいホイスにとって、狙いは当然「桜庭VSシウバ」の勝者となる。桜庭にとっては、さらに難問を抱えてシウバ戦に挑むことになりそうだ。

それでなくても、11・3ドームは髙田道場にとって天下分け目の一戦となる。ノゲイラやヒーリング、アローナ、ヘンダーソンと、続々超実力者が集結する中で、『プライド』もまたガイジン天国になりつつある。これまで、総合はK—1に比べて日本人にもチャンスがある舞台と思われてきた。ここで、桜庭や髙田が敗れることになったらダメージは大きい。

この桜庭VSシウバ、髙田VSミルコの2大決戦を中心に『プライド17』は開催されるが、全カードは9試合になった。中でも本誌が「これは面白い!」とヒザをポンと叩きたくなるのが、マット・スケルトンVSトム・エリクソンのK—1VS『プライド』対決だ。

これぞ、まさにK—1VS『プライド』—〝頑丈な男不沈艦対決。〟エリクソンに、K—1ではまずKO負けのないスケルトンが挑む。2人がリングに上がるだけで絵になるし、どんな結果になろうが、相当ワクワク楽しめそうだ。こんな、いったい誰が得をするんだろうと思えるカードにこそ、男のロマンがあるというものだ。

本誌が前号で期待したノゲイラVSヒーリングの『プライド』初代ヘビー級王座決定戦は正式決定。佐竹VSシュルトの空手対決も決定した。ヒーリングというコールマン以上のテクニシャンであり、打撃の持ち主に、ノゲイラの神業がどこまで通用するか見ものであるし、佐竹には難敵シュルトから今度こそ〝勝利〟の2文字を挙げてもらいたい。この2カードは『プライド』コアファンを刺激するカードと言っていい。

一方、新規参戦は新日本プロレスの小原道由とバトラーツの石川雄規、ブラジリアン・トップチームのマリオ・スペーヒーである。新日の道場番長で、国士舘大柔道部出身の小原は、藤田・安田・石澤らの猪木軍成功を夢見て、ヘンゾ・グレイシーと対戦する。休眠宣言をしたバトラーツの石川は、アレクサンダー大塚のリベンジの意味合いを含めて、クイントン・〝ランペイジ〟・ジャクソンに挑む。このプロレスラーコンビの闘いは、プロレスファンにとって髙田VSミルコ戦同様、熱を持って見ることになるだろう。

本誌の締め切り時には、まだ正式決定していないのが、スペーヒーVSボブチャンチン戦だ。スペーヒーはノゲイラと同じトップチームの超実力者。昨年の「コロシアム2000」では、リングスの金原弘光を下し、「アブダビ・コンバット」ではエンセン井上にも勝っている。打撃王ボブチャンチンとの一戦は、これもまた究極の他流試合と言える。

また、中量級実力者対決として、リングスKOK初代王者のダン・ヘンダーソンが、松井大二郎をボコボコにして勝ったシュートボクセのムリーロ・ニンジャと対決。出場が噂されたフランク・シャムロックは、練習中の肋骨骨折のため、今回は見送りとなった。それにしても、全9試合、見所の多い他流試合ばかりの『プライド17』。この大会以降、マット界の勢力図は大きく変わりそうだ。■

ニッポン格闘技界

桜庭、絶体絶命!

ブラジル2大勢力のひとつ

シュートボクセはなぜ強いのか!?

桜庭を、桜井を、山本を、松井を――日本人を連破するボクセ軍団

▲シュートボクセはブラジルの北部の街クリチバに8カ所のジムを持つ

▲サクベルトはシウバの部屋の洋服掛けに大事に(?)掛けられている

いよいよ桜庭和志とヴァンダレイ・シウバの再戦が目前に迫ってきた。『プライド13』(3・25、さいたまスーパーアリーナ)で、衝撃的なTKO負けを喫した日本のエース・桜庭は、果たしてシウバにリベンジすることができるのだろうか? シウバのみならず、次から次にと実力者を輩出し、日本人ファイターを連破するシュートボクセ軍団とはいったい何なのか? 今、ブラジリアン・トップチームとともに格闘技界を席巻するシュートボクセの強さの秘密を探ってみた。

写真&取材協力◎川崎 "Booker K" 浩市
文◎中村カタブツ君

このところのシュートボクセ勢は、桜庭和志を破ったヴァンダレイの活躍を筆頭に、『プライド』でもほぼ全勝、修斗のリングでもアンデウソンが桜井〝マッハ〟速人を破る快挙を成し遂げて乗りに乗っている感じ。今や世界の総合格闘技界になくてはならない一大勢力を構築していると言っても過言ではないだろう。

だが、ボクセの凄さがそれだけだと思ったら大間違いなのである。

ボクセの会長フジマールの人生をたどれば、それは容易に納得できると思うのだが、彼が道場を開いたのはなんと17歳の時。高校生ふぜいで選手になるより道場経営を目指す心意気がまずダタモノじゃない。しかも次々とやってくる道場破りをことごとく撃破し、ヒクソンの最大のライバルといわれた破壊王ズールとも道場マッチを敢行。敗れはしたものの、その身体の張りっぷりの良さで逆に道場生たちの信頼を勝ち得てしまったのだから破壊王・橋本にボコボコにされた時の猪木さんばりだ。またそれが18歳の時だというからさらに驚かされる。

もちろん、この後も順調に道場の規模を拡大し、ついには興行界にも手を伸ばし始めるフジマール。そして、10年ほど前には、カポエイラ勢とボクセ勢の抗争が勃発したのを見事に興行に結びつけ、ボクセVSカポエイラ全面対抗戦を実現させ、会場を超満員に導いた手腕を見せるとともに、結果を見ればボクセ全勝と、やってることは新日本プロレス以上に恐ろしいことを成し遂げてしまったのだ。

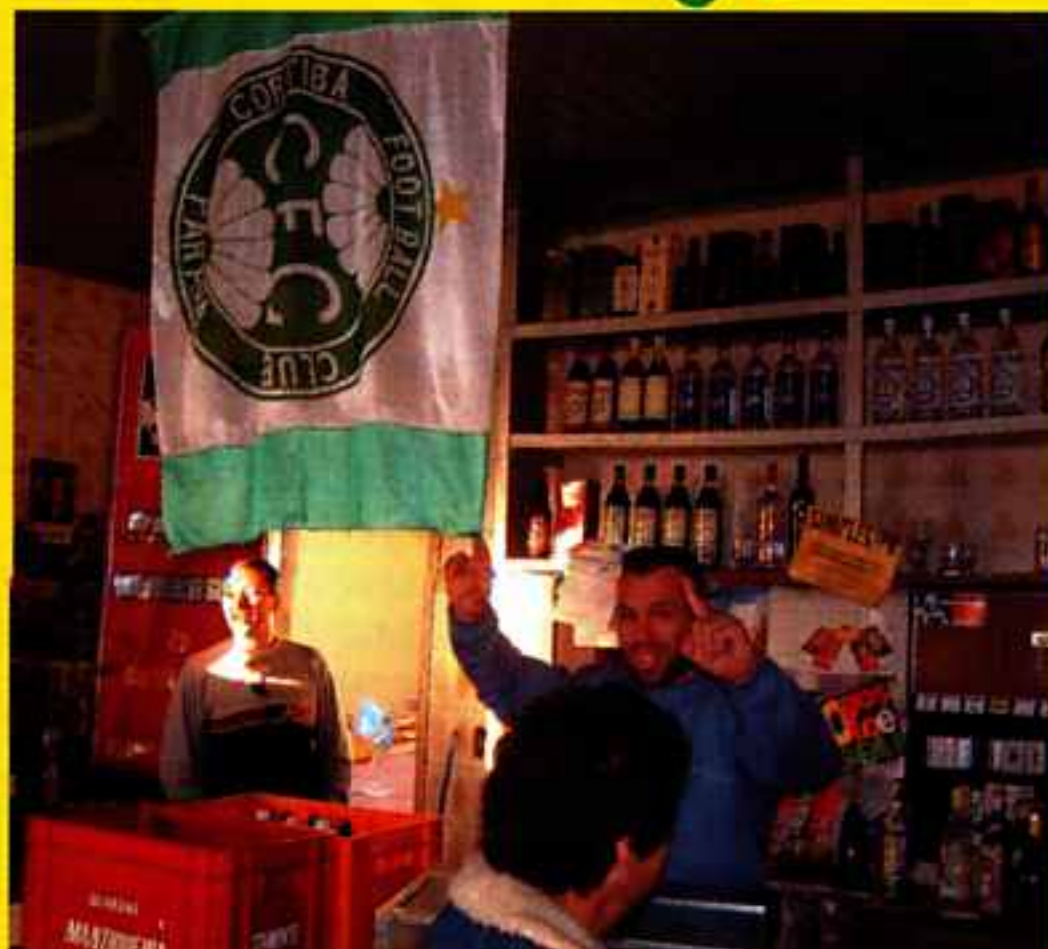
さらに極めつけは、昨年、市議会議員選挙にも出馬。残念ながら落選となってしまったが、政界をも視野に入れたグローバルな視点に男のロマンを感じないわけにはいかないのである。

練習でも試合でも、殴り始めたら止まらない
殴られても、止められなければ止まらない

▶▼シウバ、アンデウソン、ペレ、アスエリオらプロ選手たちの練習は、実戦さながらの激しさだ

▲フジマール会長に全幅の信頼を置く選手たちの結束は固い

▼ヴァンダレイの両親が経営するバー。ヴァンダレイも時々カウンターに立ってお手伝いするので、用心棒いらずだ

▲ヴァンダレイ・シウバ一家

▲ヴァンダレイの部屋初公開！

当然、そのロマンは弟子のヴァンダレイにも受け継がれており、彼は『プライド』で稼いだギャラを株に投資してビジネス界進出を目論み始めているから頼もしい。なにしろ、この株は一時はかなりの右肩上がりを見せていたわけだが、テロの影響で一気に株価暴落。大損をこいたわけだが、そこでもくじけず、ドル買いに走って損失補填するという目先の利き具合を発揮しているから将来が楽しみだろう。

そう！　ボクセとは〝格闘家ならやらないことを夢としてそれに挑戦する〟ロマンあふれる団体であり、ある意味、猪木イズムの源流、ブラジルイズムを体現している団体であることを、まずは認識してほしいのである。

では、そのブラジルイズムとは何なのだろうか？

それは毎年死者が出るほど熱狂的なリオのカーニバルを見ても分かるとおり、とことんやるお国柄ということだ。踊り出したら死ぬまで踊る、喧嘩を始めたら死ぬまで喧嘩するという、頭に血が昇ったら最後まで突き詰める国民気質とでも言うヤツだ。例えば、グレイシー一族などは、しょっちゅう兄弟喧嘩を繰り返し、ヒクソン一派とエリオ一派に分裂。最近では、ホイスとホリオンが金銭問題でモメて、エリオ派まで二つに割れてしまったほど喧嘩をし出すと止まらない。まったく、血を分けた兄弟でもこんな調子だから他人同士だったらどうなることやら。

原点にはそんな熱い血を持つブラジル人たちが集まってやる以上、シュートボクセの練習もタダで済むはずがない。

最近になってボクセ勢のスパーリングは実戦さながらと言われるようになってきたが、彼らは以前から俺たちは思い切

ボクセにあるのは“押忍”の精神。フィリォに匹敵する怪物誕生の予感

り殴り合うから強くなるのさと繰り返し主張してきた。そして、それを裏付ける映像が『SRS』のシュートボクセ特集（10月19日）で放送されたのだ。

その映像には胴プロテクターをつけたシウバやアンデウソンたちのスパーリングが映し出されていたのだが、平手で殴り合う様子は、一見するとごく普通のマス・スパー。ところが、よく見ていくと、プロテクターをつけた場所にスキができるとバシンバシンと思い切り蹴りを入れているのだ。しかもラッシュをかけるとなると壁に突き飛ばし、そこに飛びヒザ蹴りまでブチ込んで甚だしいほど過激！

日本では通常プロテクターというのは、自分の身体を守るためにヒザやスネに当てるのが基本であるのに、彼らの感覚だとプロテクターは標的であり、そこは思い切り打撃を叩き込んでいい場所というまったく逆の発想なのだ（しかし、映像で見た限り、彼らのプロテクターはホント、薄かったと思うのだが）。

ヴァンダレイは言う。

「打撃の真理を1つだけ教えてあげよう。打撃の練習で最も大切なのはパンチを打つことなんかじゃない。パンチを顔面に受けることなんだよ」（『Number』524号）。こんな練習方法を実践しているからこそ、ボクセ勢は迫力あるファイトを常に見せつけることができるのである。

実際、ヴァンダレイの初試合はサンパウロで行われたバーリ・トゥードマッチで、相手は102キロの巨漢。そんな大男を向こうに回して、85キロのヴァンダレイは過酷な打撃戦を敢行し、相手の頭蓋骨を骨折させて完全勝利を手にする。だが、その勝利の代償は指の骨折とマブタのカット&モノ凄い腫れという壮絶なものだったわけなのだ。

また、下の写真をご覧になれば分かると思うが、ニンジャの試合にしても、傷口から流れる相手の血で、上半身が真っ赤になるほどなのに試合は続行されている。こんな凄惨な試合は日本やアメリカだったら、とっくにドクターストップになってるはずなのだ。

ヴァンダレイの尊敬するペレにも伝説的な試合があり、それは97年に行われた「ワールド・バーリ・トゥード・チャンピオンシップ4」。ペレはその試合で打撃の連打を顔面に浴び続け、両マブタだけでなく両頬まで腫れ上がって、マジメな話、ETにそっくりな顔になってしまうほど膨れ上がってしまったのだ。それでも、タップしたわけでなく、ドクターストップ負けというから打撃に対する耐性はどいつもこいつも人間離れしている。

練習にしても試合にしても殴り始めたら止まらないし、殴られても誰かが止めてくれるまで止まらないという、ブラジルイズムがここでも発揮されているわけである。つまり、人生の全てが〝なんでも有り〟のバーリ・トゥードになってしまうというブラジル人気質が、特に色濃く出ているのがシュートボクセということなのだろう。

よく考えてみれば、フジマールが格闘技の道に入ったきっかけは、バイクの事故で負傷した足のリハビリのためなだけ。前回の『プライド』で松井大二郎と闘ったムリーロ・ニンジャに至っては目的はダイエットというのだから、志が低いにもほどがある。

なのにフジマールは今や世界最強に近い格闘技道場の会長となり、ムリーロも『プライド』で活躍するファイターへと成長したのだ。どうやら、のめり込み方が並みじゃないのがボクセの特徴のようだ。

で、余談だが、女性に接する態度もヤツらは同じ様子。というか、オスとしての欲望のままだ。

ヴァンダレイはかつてのガールフレンドと未婚のまま子供を作り、しかも現在でも未婚のまま。アスエリオにしてもボクセのあるクリチバ市に移り住んだ理由を「ゴージャスな美女が揃っていたから

見てみ、この凄い顔ぶれ！これがシュートボクセの凄玉ファイターたちだ！

ヴァンダレイ・シウバ
1976年7月3日生まれ（25歳）。182センチ、90キロ。

■主な戦績

大会	結果
『PRIDE.10』（2000.8.27）	○ガイ・メッツアー（1R3分45秒、KO）
『PRIDE.11』（2000.10.31）	×ギルバート・アイブル（1R21秒、ノーコンテスト）
『PRIDE.12』（2000.12.23）	○ダン・ヘンダーソン（判定）
『PRIDE.13』（2001.3.25）	○桜庭和志（2R21秒、レフェリーストップ）
『PRIDE.14』（2001.5.27）	○大山峻護（1R30秒、TKO）

アスエリオ・シウバ
1974年6月18日生まれ（27歳）。180センチ、101キロ

■主な戦績

大会	結果
『MWVT4』（2000.12.16）	○ペドロ・オタービオ（TKO）
『MWVT5』（2001.6.9）	○ヴォルター・アバ（TKO）
『PRIDE.15』（2001.7.29）	○ヴァレンタイン・オーフレイム（1R2分47秒、ヒールホールド）
『PRIDE.16』（2001.9.24）	○山本憲尚（1R11秒、TKO）

アンデウソン・シウバ
1975年4月14日生まれ（26歳）。180センチ、75キロ

■主な戦績

大会	結果
『MWVT2』（2000.8.13）	○ジョゼ・バヘット（1分7秒、KO）
『MWVT4』（2000.12.16）	○クラウジオ・フォンティネリ（KO）
プロ修斗（2001.3.2）	○加藤鉄史（判定）
『MWVT5』（2001.6.9）	○イズラエル・アルバカーキ（6分17秒、TKO）
プロ修斗（2001.8.26）	○桜井“マッハ”速人（判定）

ペレ
1973年9月15日生まれ（28歳）。180センチ、80キロ

■主な戦績

大会	結果
『ULTIMATE BOXING』（2000.6.11）	○メジド・アブドゥルナシル（判定）
『MWVT4』（2000.12.16）	○ジアマンチ・ネグロ（TKO）
『WARRIORS WAR』（2001.2.8）	○マット・ヒューズ（6分25秒、TKO）
『WARRIORS WAR』（2001.2.8）	●カリーム・バルカロフ（8分43秒、TKO）
『PRIDE.14』（2001.5.27）	●松井大二郎（判定）

ムリーロ・ニンジャ
1980年5月22日生まれ（21歳）。181センチ、84キロ

■主な戦績

大会	結果
『MWVT2』（2000.8.13）	○イズラエル・アルバカーキ（1分37秒、TKO）
『MWVT4』（2000.12.16）	○レオポルド・ゼラオン（7分11秒、TKO）
プロ修斗（2001.5.1）	△郷野聡寛（判定）
『MWVT5』（2001.6.9）	○ホゲイロ・サガテ（3分54秒、アームロック）
『PRIDE.16』（2001.9.24）	○松井大二郎（3R51秒、KO）

フジマール・フェデリゴ
この優しそうな紳士が、なんと17歳でシュートボクセを創始した「フジマ会長」ことフジマール・フェデリゴ会長。決して身体は大きくないが、その肝の図太さは並じゃない。このフジマ会長のもと、一枚岩の結束で“最強軍団”は怒濤の快進撃を見せている

▲こんな血だらけの状態でも、試合が続行されるブラジルのVT。日本やアメリカでは間違いなくドクターストップだ（MWVT4、対レオポルド・ゼラオン戦）

さ」（『ゴング格闘技』）と男らしく断言。引っ越して早々にやったこともブロンドのガールフレンドを作ったという手の早さまで見せつけて羨ましい。ホント、ボクセの野郎どもは生き方がすこぶる心地良いの一言！

さて、もう1つのボクセの特徴について語ろう。それは練習を組織的に行ってるということだ。

柔術やルタの道場などは各自が自由に練習を行い、飽きたらそれで終わりというのが通常のようだが、ボクセの場合は空手式に集団練習。一般生徒を教える時だけでなく、ヴァンダレイやアスエリオ、ペレらが参加するエキスパートのみの練習もみんなが輪になって準備運動を始め、技の練習にしてもヒザならヒザを全員でやっていくから、互いの技術的な伸びが早いのだ。ボクセ勢が皆、ヒザ蹴りに自信を持っているのはそんな理由からで、誰かが突出した技術を見つければ、全員がそれを共有できるというのは、自分たちのことをファミリーだと公言してはばからない彼らならでは。ブラジリアン・トップチームのようにフリーの集団となるとそうはいかない部分があるので、この一体感は非常に重要だと思う。

また、日本のファンのツボを気持ち良くついてくるところとして挙げたいのは、上下関係がキチンとあるところ。

ここで、ブラジルに極真を根付かせた磯部師範の著書『ブラジル極真』に、ブラジル人に上下関係を教えることがどんなに困難なことなのかが書かれているので引用したい。

「ブラジル人には、みな平等という意識が根付いている。年齢で人を判断することはまずないと言っていい。また、会社を例に挙げると、日本では経営者が労働者を雇ってやっているという意識が強い。しかし、ブラジルでは労働者が働くからこそ、経営者は生活していけるのだという考え方が一般的である。だから、年上だ、先輩だという理由だけで人を尊敬するのを嫌がった」

つまり、彼らブラジル人の間に上下関係を成立させるには、揺るぎない実力の差と、親兄弟並みの信頼関係が存在しないと成り立つわけがないのだ。

そこには、実力と人間性によって人を制する真の意味での〝押忍〟の精神が必要。

ボクセにあるのは、この本物の〝押忍〟の精神であり、そして一番重要なことは、本当の〝押忍〟の精神をブラジル人が身に付けてしまったら、とてつもないバケモノが誕生するということなのだ。つまり、極真史上初の外国人世界王者・フランシスコ・フィリォに匹敵する怪物が生まれてしまうということなのである。

さて、次回の『プライド』ではヴァンダレイは桜庭のリベンジを受けて立つ。寝技になれば桜庭有利と言われるが、ヴァンダレイだってバカじゃない。その対策を練ってこないわけがないのだ。

そもそも、シュートボクセ自体、バッハ・グレイシーと昔から積極的に技術交流をしていて寝技の研究には余念がない。

それにだ。バッハの技術については、ブラジルに柔術留学した矢野卓見が「バッハの青帯はほかのアカデミーの紫帯に匹敵する」と証言しているほどレベルが高い。ヴァンダレイが学んでいるのは、そんな技術であるわけだから、転ばされたら簡単と思うこと自体が大間違いと言える。その証拠に、かつて、グラバカの郷野聡寛と対戦したニンジャは、郷野が仕掛ける関節技の数々を瞬間的な判断で次々とかわしていき、常に自分が上になっては強烈なパンチを振り下ろすというグラウンドコントロールの良さを見せつけている。

相手に打撃を当てるために必要な技術をとことんまで追究し、完成の域に近付きつつあるシュートボクセ。桜庭は、そんな道場のエース、ヴァンダレイ・シウバと闘うわけなのだ。藤田VSミルコ・クロコップ戦でも証明されたように、打撃は一発当たれば、それで十分。桜庭は最長、20分間に渡ってその恐怖と闘わねばならない。決して楽観視などできるはずがないのである。■

またも増殖！

11・20 シュートボクシングに第４のシウバ来襲！

▲シュートボクセから、またもシウバ姓の選手が登場！　相手はSBのエース、緒形健一だ

シウバ軍団、またも増殖！――ヴァンダレイにアスエリオ、アンデウソンと次々に現れてきたシュートボクセのシウバ姓ファイター。さすがにもういないだろうと思われたが、11月20日に開催されるシュートボクシング後楽園大会に、なんと“第４のシウバ”ダニエル・シウバが参戦することになった。この大会ではSBとシュートボクセの３対３対抗戦が行われ、ダニエルはメインでSBのエース・緒形健一と対戦する。このダニエル、これまでの戦歴も名前に負けない（？）ものを持っており、ブラジルで行われる『メッカ・バーリ・トゥード』、『ストーム・ムエタイ』のタイトルを保持。本場タイでもムエタイの試合を行って勝っているというから、実力はホンモノだ。SBといえば打撃に加えて投げ、スタンドでの絞め・関節技も含んだ立ち技版総合格闘技。ある意味、VT以上にシュートボクセの強さ、怖さが見える闘いになりそうな予感がする戦慄の対抗戦だ！

シュートボクシング『Be a Champ 4th Stage』
11.20★後楽園ホール

《SB VS シュートボクセ対抗戦》

緒形健一（シーザージム） VS ダニエル・シウバ（シュートボクセ）

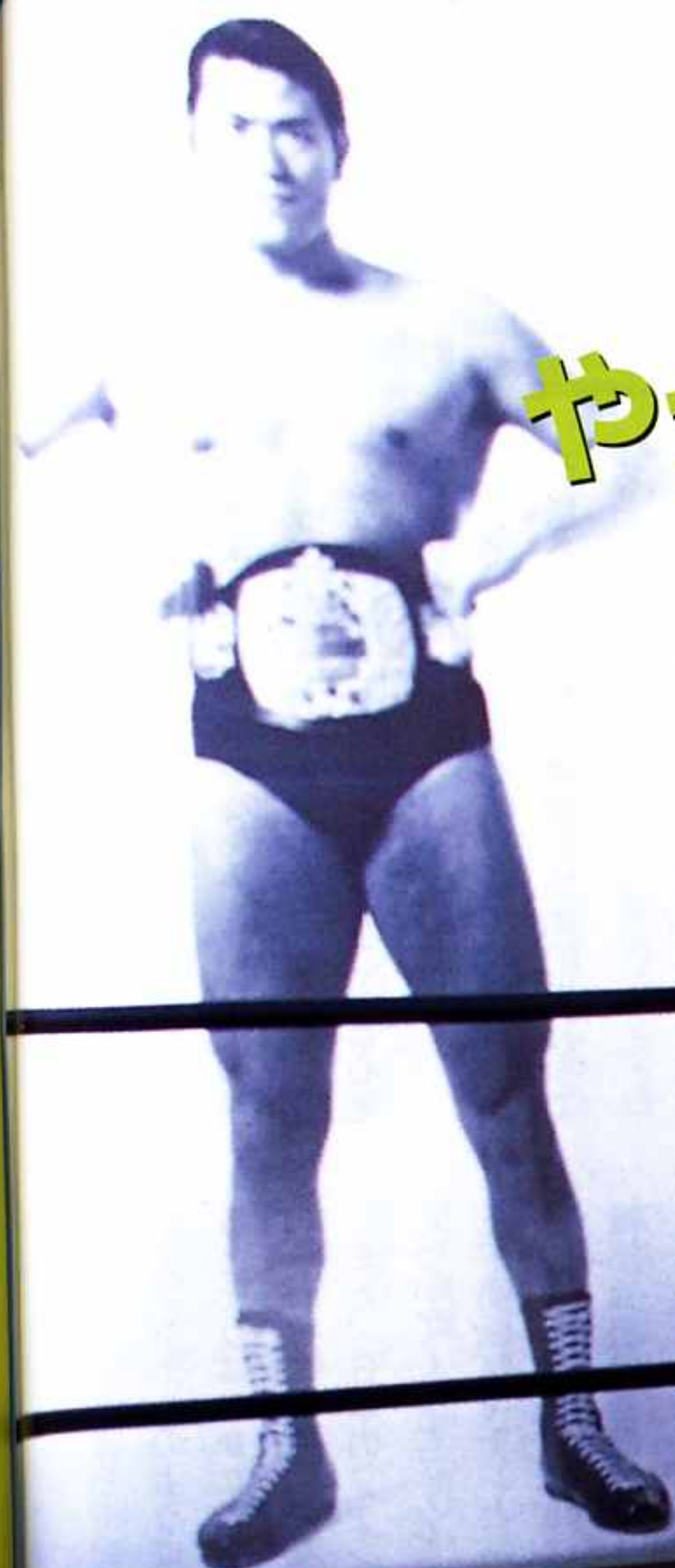
前田辰也（寝屋川ジム） VS オズマ・ディアス（シュートボクセ）

後藤龍治（STEALTH） VS マウリシオ・フェルナンデス（シュートボクセ）

◀前田辰也と対戦するオズマは、修斗にも参戦経験あり

▶マウリシオ・フェルナンデスは“立ち技バーリ・トゥーダー”こと後藤龍治と闘う。最も総合色の濃い試合になりそうだ

※その他のカード、チケット料金など大会の詳細は、P46～の『大会ガイド＆チケット情報』に掲載されています

「何を背負うかと言ったら、やっぱり“新日本”の看板ですね」

11・3東京ドームでヘンゾ戦が決定した

小原道由（新日本プロレス）を直撃！

藤田、石澤、安田に続き、新日本プロレスから第４の男が名乗りを挙げた。その男の名は小原道由！　11・3東京ドームではヘンゾ・グレイシーを相手に『プライド』に参戦する！　その小原を新日本の道場で直撃した！

聞き手◎“Show”大谷泰顕
撮影◎山口比佐夫

きっかけ？　新日本から『プライド』に出た選手は、その後いい形になってるんで、そういうのも大きかった

MICHIYOSHI OHARA

——あの～、実を言うと、僕の持ってる小原さんのイメージって、「水車落とし」なんですよね。

小原　それは昔ですね。今は少なくなりましたよ（苦笑）。

——あ、すいません。正直な話、小原さんに対してあまり詳しくないので、今日はいろいろと話を聞かせてもらいたいんで、よろしくお願いします。

小原　はい、よろしくお願いします。

——今回『プライド17』でヘンゾ・グレイシー戦が決まったわけですけど、小原さんは国士舘大学の柔道部に所属してたっていうのもあったし、今回の『プライド』参戦は、そのバックボーンがあったからこそなんですかね？

小原　きっかけですか？　柔道やってたからっていうのは、関係ないですね。

——まあ、そうですよね（笑）。

小原　やっぱりこういう総合格闘技が主流になってきて、藤田や安田さん、石澤がそれに飛び出して行った。やっぱり、そういう部分で刺激を受けたというのがありますし、かつて一緒に練習してた仲間ですからね。それにレスラーの恐さとか強さを見せたいという部分もありましたし。やっぱり安田さんにしろ、藤田にしろ、石澤にしろ、『プライド』に出た選手はその後みんな変わって、いい形になって帰ってきてるんで、そういうのも大きかったですし。レスラーですから、そういう場があって、チャンスがあったら出たいというのはありますよ。

——実際の話、具体的に「『プライド』に出たい」と新日本プロレスの関係者に対して言ったのは、いつ頃なんですか？

小原　いつだっけ……。今年の5月ですね。

——ああ、今年に入ってからなんだ。一時は「リングス」っていう名前も紙（誌）面で躍ったじゃないですか。

小原　俺はあの話に関しては、全然、聞いてないし。

——あ、聞いてないんですか。

小原　俺自身もまったく知らないところで、新聞なんかが先行して、俺がまるで出るみたいになってて。俺としても「なんで俺が？」みたいに（笑）。それに関しては、特に話はなかったです。

——じゃあ最初から「やるんだったら、『プライド』で」ということだった？

小原　もう最初からそうでした。安田さんと札幌ドーム（7月20日）でやった時に、そういうのは自分の中で決めてましたから。

——なるほど。で、今回の相手はヘンゾなんですけど、グレイシー一族に対してはどんな印象を持ってますか？

小原　ま、非常にビッグネームの選手で、そういう選手とやれることは誇りだと思いますけどね。しかも東京ドームっていう最高の場で、最高の相手（ヘンゾ）とできるっていうのは、嬉しいですね。どうせやるなら、人がたくさん入ってる所で試合して、認めてもらうというか、何かを感じ取ってもらうのが一番いいんで。そういう意味では、言うことないですね。

——はいはい。で、やっぱりグレイシー一族っていうか、ヒクソンでいうと、高田戦だったり、船木戦がありましたけど、あれについてはどう思ってました？

小原　ま、負けた時は運もあるんでしょうけど、やっぱり向こうのほうがね、そういう「闘い」に慣れているわけだし、こちらはこちらで不慣れな部分もあるわけだし、そういう差じゃないかなと思いますね。

——経験値の差。

小原　そうですね。

——逆に「俺だったらこうするのに！」って考えたりしました？

小原　それはなかったですね。

——そうかあ……。じゃあ例えば『プライド』だと、グッドリッジとかコールマンみたいなパワーファイターがいたり、その反面、ノゲイラやグレイシー一族みたいな達人がいたり、いろんなタイプの強豪が集まるリングに小原さんが上がるっていうことに対しては、どう考えます？

小原　べつになんとも思わないですね。

——なんとも思わない！

小原　結局は「闘い」だから、肉体同士でやるわけだから。ナイフとか持ってきてやるんだったらまだしも、鍛えた肉体同士が試合をするわけですからね。なんとも思わないですよ。

——じゃあヘンゾ戦では「これで極めてやろう」とか「ノックアウトしてやろう」とかって考えてる作戦はあります？

小原　ま、リングに上がってみないと分かんないですね。自分でもどうなるか分からないですし。

——でもね、この前の10・8東京ドームで小原さんと対戦したグッドリッジが、試合後に「関節技だったらサクラバよりもオハラのほうが上だ」と言ってましたけど、そこまで言わせるなんて凄いですよね。

小原　桜庭選手と試合したことないですからね（笑）。分かんないですよ（笑）。

——まあ、そうですよね。でもね、例えば桜庭選手だったら「モンゴリアンチョップ」とか「炎のコマ」とか、プロレス技を出したりするじゃないですか。小原さんの場合はどうなりますかね？

小原　ホント、リングに上がってみないと分かんないですからね。ただ、僕の場合、そういうのを意識的に自分からやるっていうのはないですね。

——水車落としを出したりとかは？

小原　それは上がってみないと分かんないですよね。

——いや、でも聞くところによると、小原さんは「道場チャンピオン」というか、「道場ではムチャクチャ強い」って聞くじゃないですか。

小原　ハハハ（笑）。稽古ばっかり強くて、本番に出ていってやられたらそれで終わりですからね。「稽古横綱」なんて頼りになりませんけど。ま、練習してれば、自分の練習して培ってきてるものを試してみたいというのはありますけどね。

——なるほど。ただまあ、小原さんと闘

◀「プロレスラーになろうとしたきっかけ？　僕はもともと浜口ジムには筋力トレーニングみたいな形で通ってましたから。そういう経緯があって、浜口さんとあれこれ話してるうちに『レスラーになりたい』という、そういうのがあっただけですから」

大晦日の『猪木祭り』ですか？ そういう話が自分のところに、出てくるのであれば出たいと思います

うヘンゾの場合はないでしょうけど、ドン・フライと闘ったアイブルみたいに、相手の目に指を入れてくる選手とぶつかることもあると思うんですね。

小原 自分の場合は、自分からそういうことをやるっていうのはないですけど、やっぱりやられたらやり返すしかないですよね。

――おお、やり返しますか！ 実際の話、「プロレス」だとあまりあからさまに顔面にパンチをやれないですけど、それが『プライド』だと、容赦なく顔面にパンチやキックを落とさなきゃならないし、逆にやられるかもしれないじゃないですか。それってどうなんですかね？

小原 やったことないですから、分からないですよね。こればかりは自分でもリングに上がってみなければ分かりませんよ。ま、踏み込まなかったら結局、いい結果は出ませんし、いい結果を出すには踏み込まなければいけませんからね。

――じゃあ、とにかく踏み込むと。

小原 ええ。もちろんスタイルを切り替えてというか、大丈夫だと思いますよ。ただ、向こうのほうが、そういう「闘い」をこれまでやってきたわけですからね。そういう状況の中で、向こうにないモノがこっちにはあるわけだし、それを活かせればって感じですね。

――じゃあ相手の顔面へのパンチだったり、キックを迷いなくやれるというか……。

小原 やらなきゃやられるんだったら、やるしかないでしょう！

――凄いなあ！ でね、小原さんは今回、何を背負って出て行くんですかね。「プロレス」なのか、「猪木軍」なのか、「国士館大学柔道部」なのか、「浜口ジム」なのか……。

小原 そしたら、やっぱりプロレスラーですから「プロレス」じゃないですか。いや、「プロレス」っていうよりも、やっぱり自分は「新日本プロレス」の選手として出ていくわけですからね。「新日本」の看板を背負うっていう気持ちのほうが自分では強いです。

――いや、今回の『プライド17』で、あえて小原さんとグレイシーとでマッチメイクしたっていうのは、やっぱり小原さんが「新日本プロレス」っていう看板を背負ってるからだと思うんですね。

小原 周りはそう思ってるかもしれないですけど、自分はそこまでは思わないですね。「新日本」でトップにいるレスラーじゃないですから（苦笑）。これが、他のトップレスラーならもっとアレなんでしょうけど。そうじゃないんで、言い方は悪いですけど、気楽って言えば気楽ですね（笑）。

――気楽（笑）。それは、もしかしたら、トップのレスラーじゃないから出やすいっていうこと？

小原 それはないですけど。トップじゃないといっても、一応、「新日本」という名を出すわけですから、誰でも出ていいって、気軽にはオッケーしないでしょ。そういうものに関してはアレですけど。

――その新日本のレスラーっていうと、初めに藤田選手が『プライド』のリングに上がりましたよね。あの時は、どう思いました？

小原 やっぱりあの頃から『プライド』に興味が沸いて、見てましたよね。藤田が勝ち上がっていくのを見て、凄いなと思うのと、自分に刺激を受ける部分がありましたね。その頃から、機会があれば出たいなと思ってました。レスラーだから、凄さだとかそういう部分もありますし。

――やっぱり、俺がやったらもっと凄いとか……。

小原 そういうのではないですね。そういうんじゃないですけど、藤田なんかも『プライド』のリングで勝って刺激を受けましたし、安田さんなんかも佐竹に勝ったら周りの状況がガーッと変わりましたよね。自分の取り囲む状況を変えるには、『プライド』で勝つことが一番ですからね。

――ただね、石澤選手なんかだと、『プライド15』ではハイアンにリベンジしましたけど、その1年くらい前には1度負けてしまって、リベンジするまでの間は苦悩の日々が続いたと思うんですよ。

小原 いや、そんなことを試合前から考えたら、何もできないですよ。

――たしかに（苦笑）。

小原 もちろんリスクもあるけど、リスクがあるからこそ勝った時の周りの見方の変化がデカいわけだし。

――そうそうそう！

小原 こんな言い方をしていいのか分からないけど、ま、ギャンブルと一緒ですよ。白か黒か、一か八かですね。

――やっぱりリスクを背負った「闘い」にこそ、見てるこっちも惹きつけられていくんですよね。

小原 ええ。

――安田選手にしろ、藤田選手にしろ、石澤選手にしろ、『プライド』に出れば、どういう形にしろガラッと変わりますからね。

小原 さっき言ったようにリスクが大きいけど、その分、アレした時がデカいですからね。ま、どっちに転んでもデカいですからね。ま、そういうのは気にしてないですけどね。

――そのリスクっていうとね、2カ月前に行われた「K―1 VS猪木軍」のミルコVS藤田戦は見てますか？

小原 見ましたよ。

――率直にいって、どう思いました？

小原 藤田はアンラッキーでしたね。流血して、あのままノビてたらしょうがないですけど、たしかに血は出てましたけど、まだピンピンしてたんで。会場行って見てないんで、詳しくは分からないけど、テレビで見る限りは血は出てたけど、まだできるんじゃないかなって思いましたね。

――じゃあ安田VSレネ・ローゼ戦は？

小川VS橋本戦の時？ みんなに怒りが出てきて、関係ないのに乱闘に出て行ったっていうのはありました

MICHIYOSHI OHARA

小原 安田さんの場合は何回も倒しましたからね。あんだけ倒してて、負けるような試合じゃなかったですからね。それでも負けたというのは、「運」がなかったというのがあるんじゃないですかね。それにルールもあると思いますけど、結局アンラッキーだったんでしょう。

――じゃあ例えば、大晦日には『猪木祭り』があるんですけど、猪木さんから「小原～ッ、出てこ～いッ！」っていうような鶴の一声がかかったら、小原さんはリングに上がります？

小原 全然考えてませんけど、今は11月3日の『プライド17』に集中してますから。ただそういう話が自分のところに出てくるのであれば、出たいと思います。

――まあ、今はヘンゾ戦のことで頭がいっぱいだと思うんですけど、その後、誰か闘いたい相手とかはいますか？

小原 ま、ヘンゾ戦が終わってみないとなんとも言えないですけど。誰とでもいいと言えばいいし。相手を選んで試合ができるくらいなら、べつに出る必要はないと思いますし。よそに出たって、レスラーの凄みを見せられなければ意味はないし。

――たしかに。実際、今は誰のところでどんな練習をしてるんですか？

小原 僕の場合、一からというわけじゃないけど、あらためていろんな人に教えてもらってます。やっぱり「プロレス」と「総合格闘技」というと、ルールも違いますし、やってみなきゃなんとも言えないですけど、感覚的には似てるものがあるかもしれないけど、やる相手が「闘い」のスペシャリストですからね。俺もリングに上がれば頑張るしかないなっていう、ええ。

――じゃあ当日のセコンドに関しては、誰がついたりするんですか？

小原 セコンドは普通のセコンドではない人を用意してます。

――普通のセコンドではない人！

小原 ええ（笑）。僕はレスラーなんで、セコンドにはプロレス的っていうか、そういう感じのセコンドになるんじゃないかと思うんですけど。それらしい人を用意してますよ（笑）。選手というんじゃなくて。

――えっ、それは誰ですか？ 教えてくださいよ～！

小原 それは、当日のお楽しみにということで（笑）。ま、そんなとこ楽しんでもらってもしょうがないですけど（笑）。

――まあね（笑）。あ、じゃあ新日本っていうと、少し前に物議を醸した小川VS橋本戦がありましたけど、小原さんはあの試合をどう見てたんですか？

小原 あの頃、橋本真也っていうのは新日本の強さの象徴みたいなとこあったんですけど。

――ええ、ええ。

小原 俺らも「打倒・橋本真也」という形でやってましたからね。ああいう形になった時に、正規軍に対してだけじゃなく、小川にもみんなにも怒りがガーッと出てきまして、それで関係ないのに乱闘に出て行ったっていうのはありますけど。

――誰にというんじゃなくて？

小原 帰る時に客に言われましたよ。「なんで小原が出てくるんだよ」って（笑）。俺も冷静になった時、なんで俺が出て行ったんだよって思いましたよ（笑）。

――ハハハ（笑）。でも、小原さんが言ってることはなんとなく分かります。

小原 そうですか？

――ええ。あ、それから前に、あれも新日本のリングでしたけど、誠心会館勢とやった試合があったじゃないですか。

小原 ええ。

――あれって、凄く脚光を浴びましたけど、今回の試合はあの延長線上にあるんですかね？

小原 いや、あの試合とは全然違うと思いますけどね。ま、似た要素はあるんだろうけど、ルールも違う、あれとは全然違うものだと思ってますけど。精神的には分かりませんけど、あの時とはまた違う「闘い」になるでしょうね。

――違う「闘い」に。

小原 あの時、自分は若手でしたからね。あまり場数もなかったというか、ちょうどあの時はメイン（※メインの後の「特別試合」として行われた）に組まれたカードだったので、待ってる間の時間が長くて、えらい緊張した覚えありますけどね。

――じゃあ今度はまた、その時の緊張とは違った状態ですか？

小原 今のところは、気負いとかそういうのはないですね。こんなんでいいのか悪いのか分からないですけど、もうちょっと試合が近づいてくれば……、もうすぐそこですけどね（笑）。全然、自然体というか普通ですね。

――いやあ、今日はいろんな意味で楽しめました。試合まで2週間を切ってるのに、ホントにリラックスしてますよね。

小原 いいのか悪いのか分かりませんけど、今さらジタバタしてもしょうがないですからね（笑）。今回、期間がもらえたんで。7月に安田さんと試合して以来、シリーズ出場を控えてましたから、普段の練習よりはこの試合に向けて多く練習できたんで、そういう部分もありますけどね。もう少し日が近くなったらどうなるか分かりませんけどね。

――あの～、ちなみに酒とかも凄く飲むんですよね。

小原 いや、僕は下戸ですよ。ただ、レスラーは飲んだら手がつけられないですよね（苦笑）。

――やっぱり（苦笑）。例えば知らない間に、自動販売機を壊してたりとか（笑）。

小原 いや、自動販売機はないですけど、まあ、今まで人に言えないこともやってきましたからね（笑）。

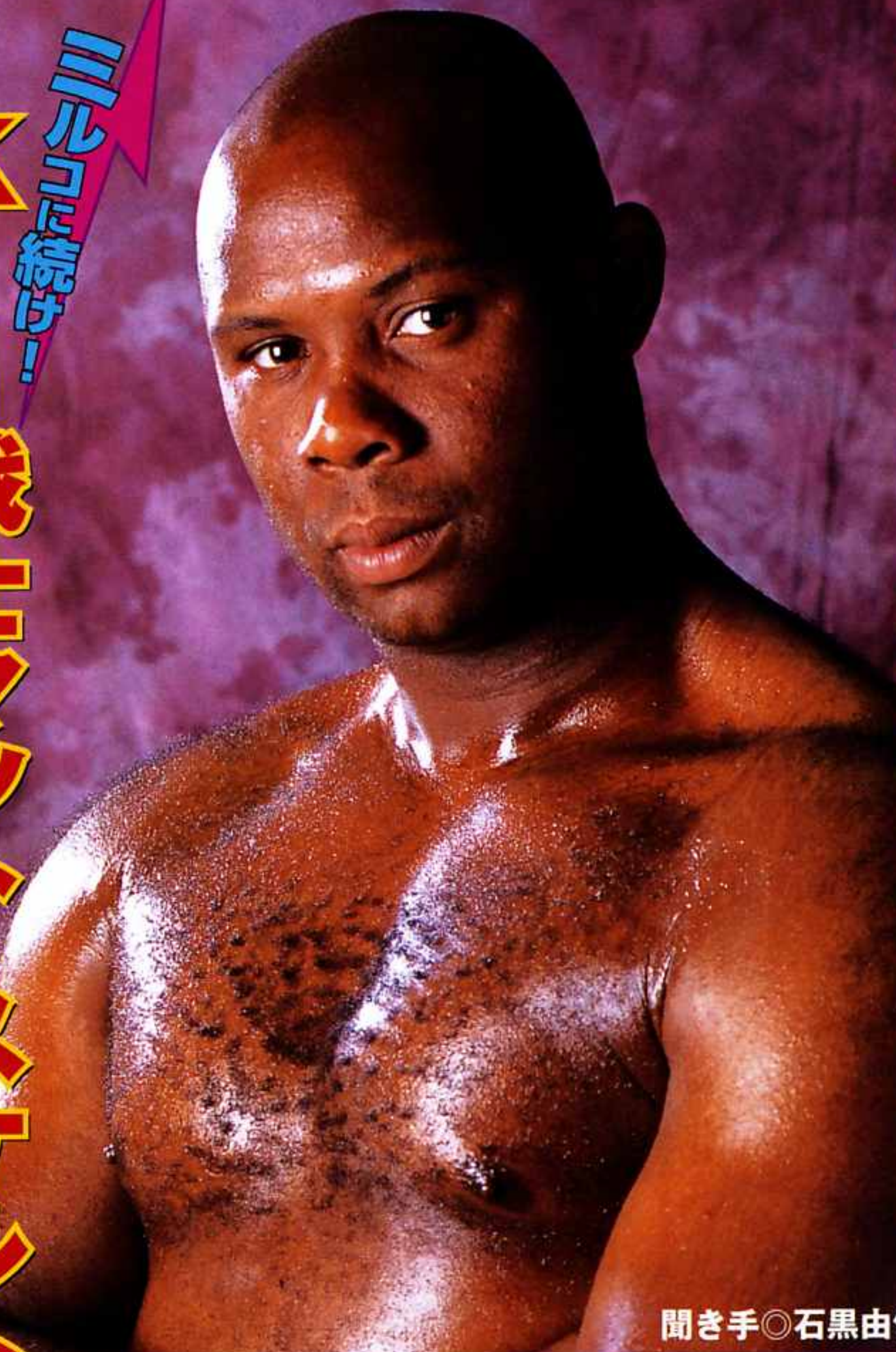
――えーっ！ 例えば？ 人を何人か殺してたりとか？（笑）。一つでいいから教えてくださいよ～！

小原 いやあ、人は殺してないですよ。そんなことやったらここにいないですよ。お縄になってますから（苦笑）。■

▲「今までに『こいつは強い！』と思った選手？ やっぱりドン・フライですね。アマレスで下地ができてるし、ああいう試合も慣れてますしね。ああいう世界で頂点を極めた人ですから、やっぱり違いますよね。『プライド16』の試合を見てても、足をケガしてて歩けないくらいの状態なのに、よくあそこまで闘えたと思いましたよ」と小原。ちなみに『プライド』は過去に2回観戦している。1回目は藤田VSナイマンのあった『プライドGP』で、2度目は石澤VSハイアンのあった『プライド15』だった

VT挑戦で格闘家としての潜在能力が覚醒されるか？

ミルコに続け！

K−1戦士マット・スケルトン、11・3『プライド17』に電撃参戦！

聞き手◎石黒由佳子

10・8 K-1 福岡大会でこれまでのスタイルを一新し、アグレッシブファイターとなったスケルトンだが、結果は不運な判定負け。がっくり肩を落としイギリスに帰国したスケルトンになんと『プライド17』へのオファーが！　K-1 参戦当初よりVTに向いていると言われていたスケルトンが遂にVTに参戦！　しかも相手はあのトム・エリクソンである。さっそく、イギリスにいるスケルトンに国際電話で意気込みを直撃してみた！

© K-1

――マットさん、福岡大会では残念な結果に終わりましたが、試合後に「K−1に合わせるためにスタイルも変えたのに、これからどうしたらいいか分からない」と話していましたよね。イギリスに帰って、気持ちはもう落ち着きましたか？

マット　もともと、ボクはクリンチワークが多いと指摘されていたんだよね。それを変えるように努力をして福岡大会は挑んだんだ。お客さんから見てもエキサイティングな試合だと思ってもらえるようにできるだけのことはやったつもりさ。でも、結果が伴わなかったから、それは残念に思ってる。イギリスに帰ってきてからも、まだロイドとの試合の判定には納得はしてない。だからといって、これでもう試合をしないというわけにもいかないし、もっと試合はしたいから先のことを考えるようにしているんだ。

――なるほど。まだちょっと傷心なんですね。そんな状況のマットさんに聞くのもなんなんですけど、今、ミルコをはじめとして、K−1の選手が総合格闘技にチャレンジしていますが、マットさんはVTに興味がありますか？

マット　うん。と〜っても興味があるよ。これまでキックボクシングを長い間やってきたけど、違ったタイプの格闘技に挑戦することによっていろんな可能性のドアが開かれると思うんだ。一選手としてさらに進化できると思ってるよ。

――VTの競技自体については、興味はないですか？

マット　もともとK−1をやる前は、ムエタイをしてて、クリンチワークが多かったんだ。そういう部分ではVTはボクにとってはやりやすい競技だよ。ただ、グラウンドになってしまうと、お客さんにとっては面白くないんじゃないかなぁ。でもね、「猪木軍VSK−1」のルールのように、ブレイク後はスタンドの状態から始められるというのは、とても興味が持てるルールだよね。だから、やってみたいなぁと思うよ。

――ほぉ〜、やってみたい！　いいですねぇ。石井館長はマットさんをVTに向いている選手として挙げていますが、その評価に関してはどう思いますか？

マット　たぶんそういう評価をされたのは、ボクのK−1での試合を見たからじゃないかな。クリンチが多いとか、ナチュラルにボクの体が大きいというのもポイントじゃないの？　ウェイトとかやって無理矢理体重を上げてるわけじゃないし、ボクの体はそのまんまで大きいでしょ（笑）。あとはなんだろうなぁ……試合中に相手を投げ飛ばしたりしちゃったのも見られたからかな。

――まあ、そうでしょうねぇ（笑）。

マット　でも、そういう理由でボクがVTに向いていると言われるのは構わないよ。なんでもチャレンジしていきたいと思っているし、チャレンジした分野に関しては、きっちり極めたいという気持ちがあるから。

――極めましょうよぉ。そのためにも、もうVTの練習をやっているんですか？

マット　うん、やってるよ。実は福岡大会前にもしかしたら、VTの試合に出るかもしれないというオファーがあったから始めていたんだ。知り合いでリングスに出ているリー・ハスデルという選手がいるんだけど、彼に教わってるよ。ただし、今までやってきたことを無にするような考えじゃなくて、立ち技をちゃんと有効に使えて、サブミッションを防御できる練習をしているんだ。

――へぇ〜。サブミッション！

マット　といっても、基本的なかわし方を学んでるんだ。タックルをかわすというよりも、自分がガードポジションの状態から抜け出して、自分に有利であるスタンドになれるようなトレーニングをしてる。まあ、タックルを切るのはおそらくできると思うんだよね。

――うわぁ〜、頼もしいなぁ。こうなると、マットさんがVTを闘う場合は、どんなスタイルになるんですかね？

マット　やっぱり立ち技を中心に考えるよ。実はちょっとサブミッションの練習もしているんだ。だけど、相手は寝技のプロだからね。そんなに簡単に太刀打ちできないから相手の土俵で闘うんじゃなくて、自分の得意な打撃で勝負するさ。

――理想の試合内容はどんな感じですか？　マウントになってボコボコ殴る？

マット　理想的なのはあくまでも立ち技の状態でKOすることだよね。仮にグラウンド状態になって、ボクがマウントを取れるならいいんだけど、もし、ボクがガードポジションの状態で相手が極められなかったら、ボクが休めるんだよ。だから、スタミナ的にもボクのほうが有利

VTでもいつ何時、誰のオファーも受けるっ!

な気がするんだよね。

——ますます自信ありそうですねぇ。リー・ハスデルさんとのスパーリングとかでも、マットさんがマウントの状態でバンバン殴ることってあるんですか?

マット もちろんだよ。自分で考えられる展開はできるだけ自分のものにしようとは思っているんだけど、あまり詰め込みすぎても経験がない分、実戦で使えないからね。どちらかというと、基本に忠実な動きを繰り返しやっているよ。

——でも、スタンドの状態でパンチを出すのと、マウントの状態で出すのでは感覚的にもかなり差があるでしょう?

マット 違うけど、基本的な筋肉の動き方としては、ストレートを打つ感覚と同じだからなんとかなるんじゃないかな。

——ん～、マットさんのマウントパンチ迫力ありそうですよねぇ。ところで、マットさんがベストと思うVTファイターって誰ですか?

マット 誰が一番って聞かれると難しいんだよなぁ。有名なところで言うと、グレイシー一族じゃない。でも、彼らですら試合で負けてるからね。他には……ボブチャンチンは凄くアグレッシブで打撃を多く使うよね。あとはフジタかな……でも分からないよぉ。

——そうですかぁ。では、闘ってみたいVTファイターはいますか?

マット 一ファイターとして闘う相手を選ぶべきじゃない。オファーをされたら必ず受けるというのがボクのモットーなんだ。K—1での試合を見てくれたらよく分かるだろ?

——つまり、VTでもいつ何時誰とでも闘うってこと?

マット オフコース(笑)。

——そ、それでホントにいいの(笑)。実際にマットさんよりも、一歩先にVTに踏み出した選手たちがいますよね。8・19の試合って見ましたか?

マット それが見てないんだよ。

——そうなんですか。この試合に関して何も話を聞いたりしてませんか?

マット 試合は見てないけど、話は全部聞いてるよ。ムエタイをやっていた選手は非常にヒザ蹴りが強いから、ミルコはフジタにうまくヒットできたんだと思うよ。でも、人それぞれ試合のスタイルがあるから、ボクがやってうまくいくとは限らないけどね。だけど、できる限りの研究はして、相手のことが分かればさらに研究をして試合に臨みたいね。

——では、マットさんは『プライド』の試合を見たことがありますか?

マット 何試合か見たことがあるような気がするなぁ……でもね、この試合っていう感じで印象に残ったものはないんだよね。

——レベルはどんどん高くなってるんですけど、そんな中、マットさんに『プライド17』出場のオファーがあって、相手はなんと白鯨・トム・エリクソンらしいじゃないですか。

マット あのね、ボク知らないの。

——えっ? エリクソン知らないの?

マット うん、知らない。

——ちょっとだけ教えると、エリクソンは120キロくらいで、レスリング系の選手なんですけど、マウントパンチが得意な選手なんです。だから、マットさんが闘う場合にポイントとなるのは、エリクソンのタックルをいかに切れるかじゃないかなぁと思うんですね。ここまでの情報を聞いて無謀かも知れませんけど、どんな作戦でいきますか(笑)。

マット エ～ッ、分かんないよぉ。でも、キミが言うようにグラウンドが強い選手なんだろうから、当然グラウンドにならないように、打撃で頑張る。まぁ、ルールは3分5Rらしいから、なんとかやるよぉ。

——まあ、これからじっくり考えください(笑)。今の話を聞いてる限りでは、マットさんは寝技に対しての恐怖心はないようですね。

マット うんっ、恐怖心はまったくないよ。ただ、ボクには経験がないからいろいろやりたくても、まだできないだけなんだよ。これから経験を積むことによって、対応は十分できると思ってる。

——マットさんはこれまでキック以外に柔道やレスリングなどの経験はあるんですか?

マット ほとんどないよ。小さい頃に柔道をちょっとかじったくらい。段をとったっていうわけでもないし、残念ながら、皆さんにお話しするほどのことはないんだよ。

——じゃあ、ホントに一からの挑戦なんですね。あの、『プライド17』への挑戦も大変だと思うんですけど、もう1つ、年末に「イノキボンバイエ」というイベントで猪木軍VSK—1の対抗戦があるんですね。もし、オファーがあったら出ますか?

マット もちろんっ! これはホントに出たいっ! 『プライド17』も大切だけど、「イノキボンバイエ」はかなり出たい。今のボクの最大の目標は「イノキボンバイエ」なのっ! イノキグンっていうのはよく分からないけど、いつ何時誰のオファーでも受けるさ。

——ほぉ～、年末も楽しみだなぁ。ところで、マットさんは今後もK—1とVTの両方をやっていきたいと思ってますか? それとも、どちらか一方に専念したいですか?

マット 両方やっていきたいね。

——へぇ～、マットさんの試合の幅が広がるだろうなぁ。では最後にマットさんにとってVT挑戦の意義は?

マット どんなことにも常にチャレンジをしたいという気持ちは昔からあったんだよね。K—1に参戦したのもそういう気持ちがあったからだし。今回こうやってVTの試合のチャンスをもらったことは、ボクにとって新たな挑戦なんだけど、だからこそ、頑張って活躍の場を広げるためにもVTをやるんだ。だから、期待してよ。■

やっぱりマットはVT向き? K—1でその兆候が……

▲パワー全開で相手を投げてるマット。ここはK-1のリングだというのにまったく無視! これがVTでどんなふうに活かされるのか?

▲クリンチから相手を持ち上げる場面も多かったマット。持ち上げられているのは、今年のK-1GP決勝戦優勝候補のイグナショフだ

“平成のエスペランサ”応援企画第2弾

大山峻護、奮闘日記【闘病編】

前号でお伝えしたように、大山峻護が右目網膜剥離のため、都内の病院に緊急入院し手術を行った。手術は無事に成功し、その後の経過も良好。現在、どんどん快方に向かっており、この号の発売日にはもう退院していると思われる。本誌では急きょ「ガンバレ大山!」＆心配するファンの皆さんへの「安心してネ」企画として、大山の闘病日記を掲載することにした。涙あり笑いありの日記をとくとご覧あれっ!

構成◎林　毅

お見舞いに行く度に増えていた千羽鶴。「本当に嬉しいッスねぇ」と、大山は送ってくれたファンや友人たちに心から感謝している様子だった

今回は、関係者の皆さん、ファンの皆さんには、本当にご心配をおかけしてしまって大変申し訳なく思っております。今は、手術を無事に終え、あとはゆっくり回復を待つばかりの状態です。一日も早くリングに戻れるように頑張りたいと思います。

9月28日(金)

チーム・ドラゴンで打撃の練習の後、みんなと談笑。右目の調子が良くないことを伝えると、「医者に診てもらったほうがいいから」と勧められる。「でも、まさか網膜剥離ではないですよね。わっはっはっは!」とみんなで楽しく笑った1時間後、医者から「網膜剥離です!」と言われてしまい、笑いごとではなくなってしまう。すぐに入院、手術をしなければいけないとのこと。目の前が真っ暗になる……。

9月29日(土)

網膜剥離になってしまうと、とにかく目を閉じてジッとしていなければいけないらしい。紫外線も良くないとのことで、部屋を真っ暗にしてジッと横になる。その間、知人や関係者の方々にいい医者を探していただいていた。入院先が決まるまでは、とにかくジッと我慢。不安の日々。

10月2日(火)

ついに都内で、この分野では有名なお医者さんを見つけてもらった。さっそく親父に車を出してもらって病院へ向かう。その時は、すぐにでも入院できるようにと荷物をまとめて行った。先生にも「入院する準備はできています!　よろしくお願いします!」とまるで芸人の弟子入り志願のようにやる気満々でお願いすると、即、入院ＯＫ。良かった、良かった。でも、すぐに手術日が決まるわけではないので、ベッドでジ～ッと横になる。いろんな不安が頭を駆けめぐる……。

10月3日(水)

なんとなく周囲から浮いてしまっている自分に気が付いて、パジャマを買ってもらう。さっそく着てみるとフツフツと「俺は今、入院している!」という実感が沸き上がってくる。これが“患者魂”というものだろうか。まずは病院に溶け込むことに成功する。

10月6日(土)

ついに右目網膜剥離の手術日。朝から思いっきりテンションが下がる。先生にも「できるだけ痛くないようにお願いします」、「あなた痛いのが当たり前の職業でしょ!」、「いえ、それとこれとは別です」と思いっきり格闘家らしからぬ発言を繰り返す。格闘家だって痛いのはキライなのである。

ストレッチャーに乗せられてゴロゴロと手術室に向かう。だいぶ覚悟も固まってきたが、看護婦さんが「大丈夫ですか?　大内さん」と名前を間違えるので、さらに緊張感が増す。う～ん、怖い!

手術は局部麻酔なので、目の前で起こること全て見えてしまいます。麻酔をしているとはいえ、やはり目を切られたり、いじられたりするのは生理的にもつらい……。また、先生の「チェッ」とか「クソッ」という言葉まで聞こえてしまうので、その度に「何があったの?　何かあったの?」と心の中で叫びます。さらに先生は「もっと小さなハリ出してくれ!」、「今、切らしてまーす」、「たく……」って。おいっ!続けるんかい!!　僕の心の突っ込みもむなしく、手術は淡々と続くのであった。

網膜剥離なんかに負けるな～ッ！ シュンゴ～ッ！

手術開始から3時間40分後に終了。とにかく長い長い時間だった。手術が終わり病室に戻ると、もの凄い激痛が襲ってくる。もう今まで経験したことないくらいの痛み……。とてもつらい夜でした。

10月7日（日）

一夜明けて、たいぶ痛みも引いて落ち着いてくる。さっそくお見舞いに来てくれる人もいるが、目を開けられない状態での会話となった。そういえば一人、名前を聞くのを忘れて、淡々としゃべってしまった人がいるのだが。いまだに誰だか分からない。うーん、誰だったのだろう……。ナゾだ。

10月9日（火）

眼帯が取れる。術後の経過も順調とのことでホッとひと安心。僕のホームページの管理人さんが毎日のようにファンメールを届けてくれる。本当にありがたい限り。ファンメールは全て目を通しています。本当にありがとう！

また、コンテンダーズの試合後、若林さんと高瀬選手が僕に向けてあたたかいメッセージを送ってくれたと聞き、胸が熱くなる。2人の気持ちはしっかりと僕に届きました！

10月11日（木）

入院中はやはりヒマです。考えることもひととおり考えてしまったので、今は「ああ、そういえば、大事MANブラザーズってどこ行っちゃったんだろう……」とか、ホントどうでもいいようなことが頭に浮かんでくる。う～ん、ヒマだ。

そういえば、入院中はテレビも見ていなかったので、アメリカの空爆開始も知りませんでした。一人、思いっきり取り残された気持ちになる今日この頃。

10月12日（金）

どんどん調子が良くなってくる。ずーっと寝ていたので、昔からの古キズも良くなっていくのが分かります。結構いいオーバーホールになっているのかもしれません。甦れ！ ヒザ！

10月13日（土）

天気が良いので、屋上で体操。そして「ヨシッ！」と上半身裸になって軽くシャドー。でも、ちょっと調子に乗りすぎて、目が痛くなってきた。やはり安静が一番ということに気付く。今は我慢。我慢だ。

10月14日（日）

リングスの横井宏考選手がわざわざ入院先を調べて、お見舞いに来てくれた。感激！ そういえば修斗の村浜天晴選手も心配して来てくれました。格闘家は本当に良い人が多いっス。本当にありがとう。

今は、とにかくお見舞いの人が来てくれるのが何よりも楽しみで、最後の来訪客が帰ってしまうと、「ああ……」と一人病室でうなだれます。そして、そういえば、アイツ来るって言っておいて来ないじゃないか。そうか、そうか、お前の気持ちはそんなものか！ とまだ来ぬ友人に思いを馳せながら、今日も夜が更けていくのであった、まる。

10月15日（月）

看護婦さんにもすご～く冷たい人がいるんだということを知る。ナースコールを押すと「何ナースコール押しちゃってんの？ こっちは忙しいのに！」というオーラ全開バリバリ喧嘩上等の勢いで来やがった。くそ～っ。久しぶりに殺意を覚える。

10月16日（火）

HP管理人さんが、もの凄い数の千羽鶴を持って来てくれました。ファンの人や関係者の方々が一生懸命作ってくれたとのこと。ジ～ンとあたたかい気持ちになる。みんなの気持ちに応えるためにも、しっかりと完治させてリングに戻ろうと決意を固める。ふつふつと勇気が湧いてくる。みんな本当にありがとう。

10月17日（水）

病院にいると時間がゆっくりと流れます。う～ん、ヒマ過ぎる……。あ～腕立てしたい。外、ランニングしたい。バーベル持ち上げて胸パンパンにしたい。そんで温泉入って芸者さん呼んで……。いかん、いかん、妄想が広がってゆく。もう、入院生活も限界にきているようだ。あ～、ヒマだぁ～！ わ～っ!!

10月18日（木）

こんな状態になって彼女がいないとやはり寂しいものがあります。昔、クリスマスイブの日にコンビニでケーキを買って、一人でミュージックステーション・スペシャルを見てしまった寂しさに似ています。さらに昔、イブまでには彼女ができるだろうと踏んで、玉置浩二のコンサートのチケットを2枚購入し、結局、彼女ができなくて1人で行ってしまったという敗北感も思い出してしまいました。う～ん、相変わらず切ない……。

今日は、リングスの高阪剛さんが3時頃、そして小路晃さんが夕方、お見舞いに来てくださった。お二人とも普段、それ程深いお付き合いをしているわけではないのだが、こうしてお見舞いに来てくれるなんて、本当に人柄の良さが分かる。ありがとうございます。

10月19日（金）

最近になってお見舞いに来てくれる人の数が増えました。不思議なもので、だいたいみんな同じ時間帯にドッと来ます。そうするとどうしても同じ空間に知らない者同士がいることになってしまい、軽い緊張感が生まれます。それでもまだボソボソ会話をしている間はいいのですが、ピタッと会話のなくなった時のあの気まずい雰囲気。う～ん、つらい。そのような状態が一日に3回もあると、面会時間の終わる頃には結構ヘロヘロだったりします。このままではイカン。一日も早く退院しなければと決意を固めるのでした……。◉

術後の経過はおかげさまで順調です。入院中はたくさんの知人や関係者の方々、ファンの方々に励まされました。あらためて今、自分はたくさんの人たちに囲まれ、そして支えられているんだということを実感しました。

弱気になった自分もたしかにいましたが、そういった周囲の方々のパワーのおかげで前向きな自分を取り戻すことができました。今は本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

デビュー以来、ガムシャラに突っ走ってきたので、これも自分を見つめ直す良い機会だと考えています。そして、復活後はさらに大きく成長した大山峻護を見せられるように頑張っていきたいと思います。

たくさん練習して、たくさん経験積んで、一日も早くシウバ、イズマイウにリベンジができるように頑張ります！ とことん頑張ります！ 押忍！

2001年10月19日病室にて
大山峻護 ■

▲カメラを向けられると、病院の廊下でも条件反射でファイティングポーズをとってしまう大山。おいおい、病院でそのポーズはないだろっ

▲とても優しくしてくれる看護婦さんとパチリ。文中に出てくる看護婦さんとは別人だそうです。白衣の天使ってやっぱりいいなぁ

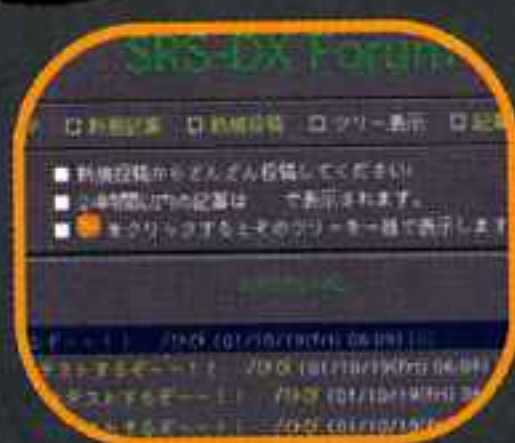
▲一応、病室で寝ている写真も撮っておきました。ベッド小さすぎというか身体デカッ！ なぜかガッツポーズだし……

大山選手のHPアドレスは、http://homepage2.nifty.com/owweb/

フィシャルサイト
グランドオープン！！

マット界に激震！
ネット界にも微震！

http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/

BBS
“ご本人書き込み”もアリ！
前代未聞のコミュニケーションの場

掲示板では、ウェブゴングやニュースをネタに大いに語り合える。もちろん、格闘技に関する話題ならなんでもOK！　しかも、ココは業界著名人や選手がガンガン乱入する、前代未聞のコミュニケーションの場なのだ！（編集部が独自で取ってきたコメントを、本人の言葉として書き込む場合もアリ）本人かどうかは“本人”マークで識別できるぞ！　コア・ファンの生の声を聞かせてやってくれ！

Guide	大会ガイド&チケット、テレビ、ビデオ、グッズ、本、イベント……何かと役立つ格闘技情報が満載！
Calender	大会日程、チケット発売日、テレビ情報など、日付順で見たい人はカレンダーが便利！
Column	編集部リレーエッセイ、裏★座談会など、読み物はこちら！
Result	大会の試合結果はココをチェック！
Link	団体や選手のサイトのリンク集もあるでよ！
Magazine	本誌『SRS・DX』の今号のコンテンツと、バックナンバーの在庫情報が分かる！
Net Shopping	ショップ『グレート・アントニオ』でオンラインショッピングも楽しんでね！

12・31『INOKI BOM-BA-YE 2001』チケット特別先行予約

11月4日（日）　0:00～24:00

『SRS・DX』オフィシャルサイトにて
URL→http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/

紅白を裏に回して、さいたまアリーナで開催される『INOKI BOM-BA-YE 2001』。誰が出るのか今から楽しみだよねッ！　ということで、『SRS・DX』オフィシャルサイトではチケットの先行予約を行います。受付は11月4日、午前0時（3日の深夜）からスタート。良い席はお早めに！　このチャンスを逃すなよッ♥

INOKI BOM-BA-YE 2001
～猪木軍vsK-1全面対抗戦～
12月31日（月）　さいたまスーパーアリーナ

◆開場／17:00　試合開始／19:00（予定）

◆入場料（全席指定・消費税込み）

VIP席（専用入場ゲート・グッズ付）	100,000円
RRS席	35,000円
SRS席	25,000円
RS席	15,000円
スタンドS席	10,000円
スタンドA席	7,000円

ドームに行けないあなたに朗報！

『プライド17』速報やります!!

高田VSミルコ、桜庭VSシウバ、ノゲイラVSヒーリング……、これでもかッ！ってな感じで豪華なカードが並んだ『PRIDE.17』。残念ながら会場に行けないあなたに、試合結果はもちろん、内容・選手の試合後のコメントまで『SRS・DX』オフィシャルサイトがリアルタイムでお届けします！　なお、速報中はトップページにアップされます！

『PRIDE.17』
11月3日（土）　東京ドーム
試合開始／17:00

『SRS・DX』も
インターネット
はじめました〜！

『SRS・DX』オ

11月1日1時11分、グ

ウェブゴング、ニュース・ジャッジ、掲示板など
サイトの目玉はファン参加型コンテンツ！

皆様、お待たせしましたッ！　『SRS・DX』のオフィシャルサイトが、ようやく11月1日1時11分（もちろん深夜）にオープンします！
　このサイトのコンセプトはズバリッ“コミュニケーション”。ファンと業界関係者、ファンと選手、ファンと編集部がインターネットを介して生で接することができる“場”となるよう、強力なコンテンツをご用意しました！　『SRS・DX』の問いかけにファンが答える「ウェブゴング」、その日のニュースをジャッジする「ニュース・ジャッジ」、ファンの生の声を書き込む「掲示板」などなど。ココから得られたファンの皆様の生の声、生のデータが、マット界を震撼させることになるかも……！？　それはさておき、本誌の誌面でも有効に活用させていただきます！
　また、11月3日には『プライド17』リアルタイム速報を、11月4日には『INOKI BOM-BA-YE 2001』のチケット先行予約も行います！　そのほか、格闘技ガイドなど情報系も充実の品揃えで皆様をお待ちしています！
　まぁ、『暮れには早い年末DOKI★DOKIプレゼントキャンペーン2nd』（詳細はサイトで）もやることですし、一度のぞいてみてくださいねっ！

Top
トップのネタは毎日変わる！ とりあえずココから チェックしよう！

第1回目のWebゴングはコレだ
猪木軍団vsK-1、100%ガチンコってマジ!?

『SRS・DX』のトップページは、毎日いろんなネタが入れ代わるのだ。ウェブゴング、ビッグマッチの試合速報、チケット先行発売情報、緊急ニュースなどなど、毎日ガンガンアップしますよ〜！

Web Gong
『SRS・DX』の問いかけに、ファンはどう答えるのか？

小川vsノゲイラが見たいんでどーですか、お客さん？

面白いネタや、大きな出来事があった時、そのテーマで『SRS・DX』からファンに問いかけをします！　問いかけは簡単なアンケート形式で、誰でも投票可能。しかし、このファン投票で得たデータが、格闘技業界の勢力図を塗り替えることも……？

News Judge
その日のニュースを ジャッジせよ！ 結果はリアルタイムで 表示される

ニュース・ジャッジ

その日の格闘技ニュースを一気にチェックしながら、のれる／のれないをキミにジャッジしてほしい！　今、旬の話題はなんなのか、白黒ハッキリ付けてくれ！

Report
気になる話題を 『SRS・DX』が徹底取材！

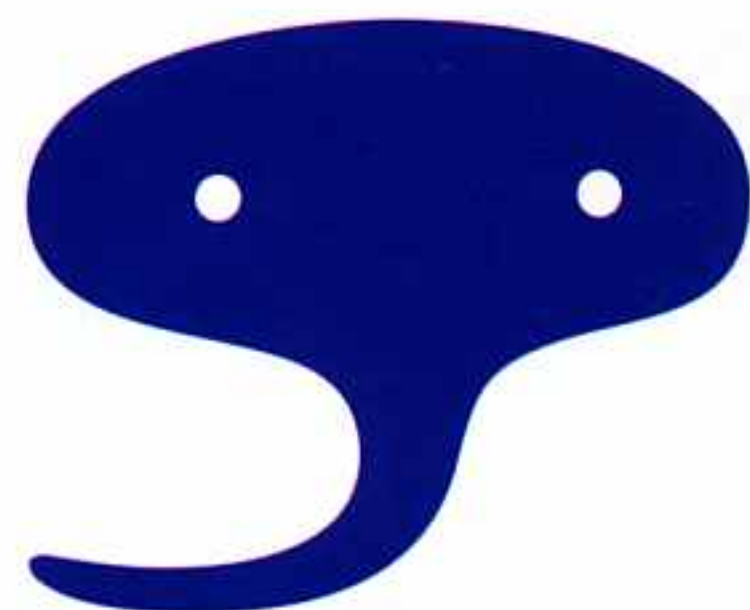
猪木軍団敗北にも、アントニオ猪木余裕の発言！
「まあ、良かったんじゃないの、ムフフフ」

あるひとつのテーマを、『SRS・DX』が徹底追跡！　まずは、年末に向け話題騒然の「猪木軍VSK-1」をレポート！

ANTONIO RODORIGO NOGUEIRA

HEATH HERRING

KAZUSHI SAKURABA

東京ドームより 完全独占 生中継

DE.17

SKY PerfecTV! LIVE SPECIAL/ PRIDE.17

11/3(土・祝) ch.111 17:00～ 視聴料金 2,000円／回

※16:30よりch.200にて事前カウントダウン番組有り(無料)

再放送

■11/3(土)21:00～/ch.113 ■11/ 4(日)19:00～/ch.111 ■11/ 5(月)22:00～/ch.111
■11/6(火)21:00～/ch.122 ■11/ 7(水)21:00～/ch.122 ■11/ 8(木)21:00～/ch.122
■11/9(金)21:00～/ch.122 ■11/10(土)20:00～/ch.111 ■11/11(日)12:00～/ch.121

TOKYO DOME [東京ドーム]

※選手のケガ等により参戦選手が変更となる場合があります。

対戦カード

ニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

髙田延彦×ミルコ・クロコップ

佐竹雅昭×セーム・シュルト／小原道由×ヘンゾ・グレイシー

※対戦カードは10/16現在のものです。

緊急決定!PRIDE.17直前特番!

PRIDE HISTORY スペシャル～PRIDE.17への道～

PRIDE.17出場予定選手の過去のベストバウトを織り交ぜながら、今大会の見どころを余すところなくお届けするスペシャルプログラム!

放送日時:10月23日(火)22:00から11月3日(土)まで連日放送中!!

放送ch:ch.121,141 パーフェクト チョイス 視聴料金:500円／回

お問い合わせ カスタマーセンター **TEL.0570(039)888**

大満足間違いなし。なんて

生試合 感動独占

東京ドームより

MIRKO CROCOP

NOBUHIKO TAKADA

WANDERLEI SILVA

Welcome to the 格闘技テーマパーク

PRIDE

DREAM STAGE entertainment

http://www.so-net.ne.jp/pride/

主催／株式会社ドリームステージエンターテインメント　後援／SKY PerfecTV!　協力／メディアファクトリー、東海テレビ放送　オフィシャルドリンク／VAAM

協賛／アイフル　アクセル　アデランス　エニックス　株式会社ガリレオ　協和発酵　So-net　Dole　BANPRESTO　PHILIPS　FromA　明星食品　明治生命　焼肉屋さかい

2001.11.3 土・祝 OPEN/15:00 START/17:00

決定対戦カード

PRIDEミドル級チャンピオンシップ

桜庭和志×ヴァンダレイ・シウバ

PRIDEヘビー級チャンピオンシップ

ヒース・ヒーリング×アントニオ・ホド

※選手

チケット絶賛発売中!!

チケット料金 [全席指定／消費税込]

VIPビップ ¥100,000 専用入場ゲート グッズ付　RRS ロイヤルリングサイド ¥23,000　スタンドS ¥13,000　スタンドA ¥7,000

高田延彦応援シート／桜庭和志応援シート スタンドS [応援グッズ付き] ¥13,000 ※各応援シートはDSE・PRIDEオフィシャルサイトのみの販売となります。

特典満載! i-mode PRIDE オフィシャルサイト スタート! アクセス方法 i Menu → メニューリスト → スポーツ／趣味 → 格闘技 → PRIDE

すべてに関するお問い合わせ 株式会社ドリームステージエンターテインメント TEL.03 (5775) 5700

主催：フジテレビジョン　株式会社K-1　ニッポン放送　TOKYO FM　企画制作：株式会社K-1
特別協賛：アルガ　協賛：[illegible]

12・8「K―1 WORLD GP 決勝戦」東京ドーム

トーナメント組み合わせ、決定!

第1試合
ステファン・レコ〈ドイツ〉 VS アーネスト・ホースト〈オランダ〉

第2試合
ジェロム・レ・バンナ〈フランス〉 VS マーク・ハント〈ニュージーランド〉

第3試合
ニコラス・ペタス〈デンマーク〉 VS アレクセイ・イグナショフ〈ベラルーシ〉

第4試合
フランシスコ・フィリォ〈ブラジル〉 VS ピーター・アーツ〈オランダ〉

この組み合わせは、何の兆候なのか？

撮影◎乾晋也

10・8K―1福岡大会（敗者復活戦）の翌日、フジテレビで恒例の「K―1ワールドGP決勝大会」公開組み合わせ抽選会が行われた。抽選方法は、選手がまず東京ドーム行きを決めた順番に箱の中に入ったボールを引き、そのボールに書かれた番号順に、トーナメント枠に自らの意志で入っていく方式。つまり、組み合わせは、選手の運だけでなく、意志も見えるという画期的なシステムで行われた。

例年、この公開抽選会では、石井館長も組めないようなミラクル・カードが1回戦で実現する。昨年のフィリォVSバンナもそうだし、一昨年のアーツVSバンナもそうだった。また、ホーストのような手堅く選ぶファイターもいて、抽選会を見ているだけで楽しい。

そんな抽選会がどうだったかというと、今年は思いきり、ファンの期待をスカす形となった。石井館長のようなプロデューサーが介入したら、とてもこんな組み合わせにはなっていなかっただろう。結果的に決定した1回戦の組み合わせとヤマ型を見て、〝これは何の兆候なのだろう〟と不気味にすら感じる。それほど、K―1の女神はいたずら好きである。

抽選会直前、ファンが期待したのは、極真がらみのカードだったのではないだろうか。まず、バンナVSニコラスが1回戦でぶつかり、もしバンナが勝てば、準決勝でフィリォVSバンナが実現する。そして、その勝者が決勝で、ディフェンディング王者のホーストと闘ったら面白いというのが大方の見方。その他の1回戦は当然、「K―1四天王VS新世代軍」で、特に注目を集めたのが今年一番のシンデレラボーイ、マーク・ハントではなかっただろうか。

ところが、今年の組み合わせは、そんな理想の組み合わせをまったく無視するような結果となった。これには石井館長さえも「奇抜でビックリするような組み合わせ。選手はホント何を考えているんだか分からない」とニガ笑いをする。

特にバンナがホーストを避けずに隣の枠に行ったこと。そのバンナにマーク・ハントがいきなり対戦を挑んでいったのは、この抽選会の最大のヤマ場だった。結果、1回戦の組み合わせは次のとおりになった。

①レコVSホースト。
②バンナVSハント。
③ニコラスVSイグナショフ。
④フィリォVSアーツ。

このヤマ型を見て一番感じるのは、ホント誰が優勝してもおかしくない組み合わせだということだ。本命はもちろん、トーナメントで勝ち上がることを熟知しているホースト。しかし、今年ばかりは誰が勝ち上がってくるか、本当に予想がつかない。

ホーストは自信を持ってレコとの1回戦を選んだが、レコは最近急速に力を付けているし、「GP優勝よりもホースト一本に絞って練習してくる」と断言している。その一方、ホーストが全盛時の力を失いかけているのは否めない。

話題の中心は第2試合のバンナだが、それもまた1回戦が勢いのあるハントなら危険極まりない。昨年、バンナは唯一ハントをKOできなかった。したがって、今回も勝っても判定になるのは明らか。その分、バンナは体力を消耗するし、今の強運と勢いから考えると、ハントに勝利の女神が転ぶかもしれない。

第3試合は、ニコラスにとって最もやりにくいイグナショフが相手となった。

神のいたずらはこうして決まった

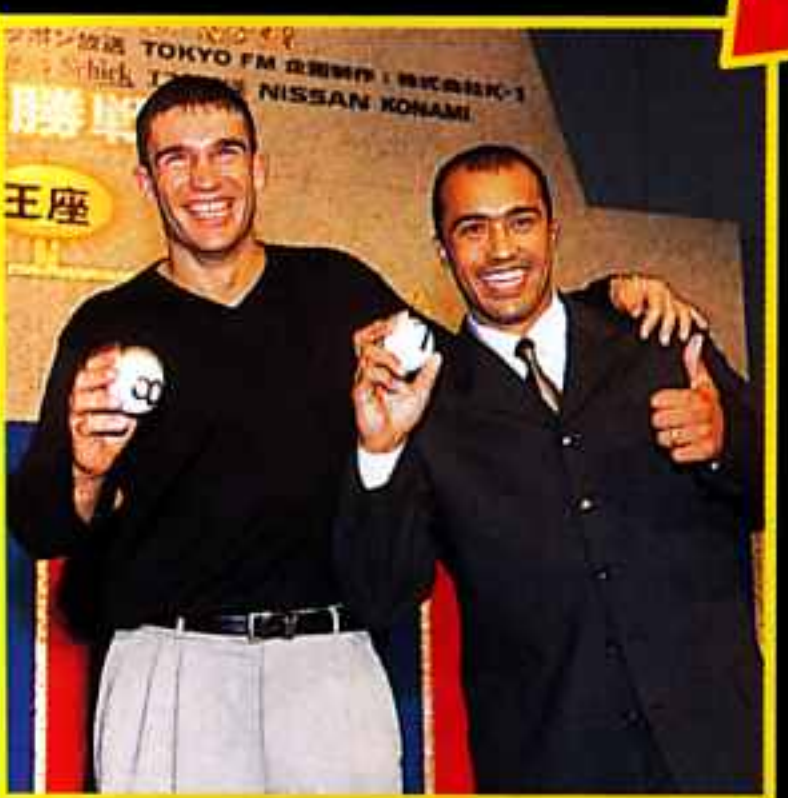
▲一番最初に「1番」を引いたのはレコ。当然、1回戦Aに入った

▲2番目に引いたのはディフェンディング王者ホースト。ホーストはいきなりレコを標的に選んだ。レコの心境は複雑？

▲3番目を引いたのは、「レコと闘いたい」と言っていたニコラス。ニコラスは逆ブロックEに入った

▲ニコラスVSバンナを期待した人も多かったが、4番目を引いたイグナショフがニコラスの隣に。ニコラスにとってはやりにくそうな相手だ

▲惜しくも5番目を引いたのはバンナ。バンナはホーストを避けるのではなく、試合順の早い第2試合を選んだ

▲6番目に選んだハントは、「バンナにリベンジしたい」と男らしくバンナの隣へ。バンナも大喜び

▲結果的に7番目と8番目を引いたアーツとフィリォが、第4試合で闘うことになった。アーツの体調が気になる

いきなり、バンナVSハント激突！ 優勝は新世代軍か、それともホーストか？

ニコラスはそもそも、相手をよく知ってないと燃えられないタイプ。その点、イグナショフは掴みどころがないし、ニコラスにとっては初めてのムエタイ・ファイターだ。相当苦戦するのは間違いないが、意外にもホーストらトップファイターも「要注意はイグナショフだ」と答えている。

イグナショフは若いのに経験豊富。ムエタイ・スタイルも完璧に身に付けている出来上がりのファイター。それなのに、肉体は今も成長しており、なんといってもハートが強い。その不動心はホースト並みだと言っていいだろう。これまでアーツとホーストが3度ずつ優勝してるところから考えても、K―1ではムエタイ・スタイルがやはり強いのだ。

後半のブロックで一番決勝に上がる確率が高いのは、フィリォである。1回戦の相手アーツはまだコンディションが完璧ではない。結果的にネット上のファン投票も考慮されて「石井館長推薦枠」に選ばれたアーツだが、手術した右ヒジの回復が間に合うのは試合ギリギリ。もしかしたら、リザーバーのベルナルドやセフォーに変更されるかもしれない危うい状態である。

その点、K―1ルールに慣れてきたフィリォは、最近欠点が少なくなってきている。トーナメントは極真ですっかり慣れているし、今までにないほどのチャンス到来と言っていいだろう。フィリォの課題は「何がなんでも優勝してやる」というモチベーション次第だ。

K―1でチャンピオンになるための条件は、①コンディション、②経験、③トーナメント向きの闘い方などの戦略と、いろいろあるが、中でも勝ち運が巡ってくるかは重要である。その意味で、昨年のセフォー、一昨年のミルコ決勝進出は誰も予想がつかなかった。そういう波乱は、今年のK―1でも必ず起こるはずだ。

順当に考えれば、決勝戦はホーストVSフィリォ、バンナVSフィリォのリベンジマッチになる可能性は高い。だが、そんな予定調和を破壊するのが、新世代軍たち。特にハントとイグナショフは何かやらかしそうだ。

ハントやイグナショフが優勝すれば、K―1ならではの〝何が起こるか分からない〟ファイナルとなる。極真者的にはアンディ以来の感動を覚えたいだろう。フィリォやニコラスに優勝してもらい、それとも、やっぱり今年もホーストなのか。K―1の新エース・バンナが文字どおりの頂点に立つのか？　さらに言えばアーツが涙の復活劇を見せるのか、とドラマは尽きない。

「猪木軍VSK―1」の抗争もあって、新たな関心も集めるようになった、今年の「K―1ワールドGP」。12月8日、東京ドームで真の勝者となるのは、いったい誰だ――。■

▲石井館長推薦枠は、インターネット上のファン投票の結果も踏まえて、過去3度の優勝をしているピーター・アーツが選ばれた

21世紀のK―1を変えるニューフェイスたち

今年のグランプリは新世代が面白い！

「ボクがタフ？　ハハハ、ミニ・バスに轢かれた時はダウンしたよ」

〝サモアン・タフガイ〟

（ニュージーランド）

マーク・ハント

今年、世界各地で行われたK－1ワールドGP開幕戦、ジャパンGP、敗者復活戦では、今までK－1を支えてきた選手たちに代わって、新しい世代の選手の台頭が目立った。決勝トーナメントに出場する8人の選手のうち、なんと3人が初出場。このマーク・ハント、ニコラス・ペタス、アレクセイ・イグナショフにステファン・レコ（出場2回）を加えた4人のフレッシュな顔ぶれに話を聞いてみた。

撮影◎乾晋也
聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

――なんか眠そうですね（笑）。

ハント む〜、昨日もたくさん取材があって寝れなかったんだよぉ。試合よりキツイよぉ。

――なんか、昨日今日合わせて16本も取材が入ってるようですね。今回のK―1取材では一番ですよ（笑）。

ハント む〜、眠いよぉ。

――さっさと起きてもらえますか（笑）。一昨日のK―1福岡大会でのレイ・セフォー戦は抜群に面白かったですよ。なんで、あんなにタフなんですか。

ハント なんか、みんなにタフだ、タフだって言われるんだよね。だけど、ボクは普通の人間なんだよ。トイレにだって行くし。

――何を言ってるんですか（笑）。

ハント 自分では全然分からないんだけど、勝ちたかっただけだと思うんだ。

――でも、勝ちたかったら、ノーガードで顔出すのっておかしいですよ（笑）。

ハント まあちょっと試合中はねぇ……。

――つい興奮して、と。

ハント そう、そう。興奮、興奮（笑）。

――ワハハハ！　ハントさんって普段はなんだか可愛いですね（笑）。

ハント いや、普通なんだよ。

――いや、普通じゃあないです（笑）。セフォーさんにキスされた時はどう思いました？

ハント ビックリしたよォ！　でも、ボクはホモじゃないからね（笑）。

――分かってますって（笑）。だけど、バンナを一発で倒したセフォーのハードパンチをよく受けましたよね、顔で。

ハント パンチはハードだったよ。

――だけど、効いてなかったんですよね。

ハント 効いてたよ、痛かったよ。でも、倒れたくなかったんで立って闘ったよ（笑）。

──結果についてはどう思ってます？

ハント 今ここにいるのはとてもラッキー！（笑）。誰かに見守られていたんじゃないかと思うんだ。ボクは今までK―1で闘ってるレイに憧れて試合をしてきたんだからね。

──リスペクトしてる相手だったんですね。

ハント おかしなことに、尊敬してるからこそ、よりハードに闘おうと思ったんだ。

──だから、あんなにいい試合になったんでしょうね。ところで、試合後のインタビューで「アマチュア時代に1回ダウンしただけで、あとはダウンしたのは車に轢かれた時ぐらい」って言ってましたが、本当ですか。

ハント そうだね。

──どんな車に轢かれたんですか。

ハント ミニバスみたいなヤツ。

──ミニバス!? バスに轢かれたんですか！

ハント ワゴン車みたいのだよ。だけど、ドンってぶつかって倒れただけだよ。身体を飛ばされるような大きな事故じゃなかったんで、大したケガなんかしてないんだ。心配ないよ。

──もうちょっと詳しく聞かせてください。例えばあなたは何をしてたんですか。

ハント 酔っ払ってました（笑）。

──酔っぱらってたのか（笑）。ミニバスには全然気付かなかったんですか？

ハント 全然見えてなかったよね。で、当たって倒れて、また立ち上がってそのまま歩いて帰ってきただけなんだ。

──全然ケガはなかった？

ハント アゴに切りキズをちょっと。

──なんでそんなに頑丈なんですか（笑）。

ハント 分からない。ただ、その時は酔っ払ってたからなぁ。

──酔うと強いの？（笑）。

ハント それはないけど。

──いったい、どんな食べ物を食べてるんですか。

ハント 基本的になんでも。だけど、魚介類は大嫌い。

──なんでもじゃないじゃないですか（笑）。海辺で生まれ育ったんでしょ。

ハント でも、他の家族は食べるからね。ボクだけが魚とか貝とかをあんまり食べれないんだ。おいしくない……。

──ところで、日本では「サモアの怪人」と呼ばれてますが、そのネーミングについてはどう思われますか。

ハント そう呼ばれているのは知らなかったよ。今初めて聞いたけど、かっこいいんじゃないかなぁ。

──で、今サモア人ってスポーツの世界ではもの凄く活躍してるんですよ。相撲で言えばKONISHIKIがいるし、プロレスで言えばWWFのロックもそうだし、そしてK―1ではあなたですよ（笑）。

ハント でも、ボクはニュージーランド生まれのニュージーランド人なんだけど。でも、サモア人の血は流れているからね（笑）。2、3日前にはコニシキさんとかムサシマルさんとも会ったばっかりだよォ（笑）。

──サモア系のビッグ3ですね（笑）。どんな話をしました？

ハント う〜ん、食事をしながら、普通の話だよ。べつにこれといった事はないなぁ。

──そうですか。でも、サモア人には期待してますよ。でですね、10代の頃はどんな生活をしてましたか？

ハント 本当に一般的な10代でした。ベリーグッド！（笑）。

──学校終わってどんな遊びをしてました？

ハント いや、学校の後はすぐ家に帰らないとお母さんに怒られるんだ。家の仕事を手伝いながら宿題もやらなきゃいけなかったし。

ボクは足も速いよ。ラグビーではウイングだったんだ（笑）

──お母さんが怖い！ 宿題をする！ はぁ〜、それはまた普通の10代ですね（笑）。

ハント イエス！

──信じられないなぁ（笑）。スポーツとかはしなかったんですか。

ハント ラグビーをしてたよ。ポジションはウイングだった。

──え！ ウイングって足の速い人がなるんじゃなかったでしたっけ？

ハント だから、とても速かったんだよ（笑）。ボクは今でも足が速いよ。

──聞けば聞くほど意外なネタを持ってる人ですね、あなたは（笑）。喧嘩とかはしなかったんですか。

ハント トラブルにはよく巻き込まれてましたよ（笑）。

──さっきと言ってることが全然違うじゃねえか！（笑）。で、そのきっかけは？

ハント 酔っ払ってたんだよ（笑）。

──またか（笑）。どんな喧嘩だったの？

ハント セキュリティをやっていたナイトクラブで大乱闘が起きて、その時は1対4ぐらいで闘っていたのかな。

──クラブの用心棒までやってたのか！ 当然勝ったんでしょ？

ハント いや、負けました。

──負けたんですか！

ハント 自分で自分をノックアウトしちゃったんだよ。相手を倒そうと思ってダイブしたら外れて、テーブルに頭をぶつけて気絶しちゃったんだよ（笑）。

──ワハハハ！ ホント、キュートだな、あなたは！（笑）。

ハント サンキュー！ （額のキズを指さして）これがその時のキズです（笑）。

──さて、次は「ワールドGP」ですが、バンナさんとの闘いを自ら選びましたね。

ハント 「昨日、頭を打たれ過ぎておかしくなったのか」ってセコンドに言われたよ（笑）。だけど、ボクの人生はこれまでも簡単な道のりじゃなかったから、これがいいのかなって思ったんだ。厳しい道のりを選ぶほうがボクらしいんだよ（笑）。

──ホントに素晴らしいハートですね（笑）。じゃあ、バンナのパンチも顔で受けてもらえますか（笑）。

ハント 前に試合した時も受けたんで、それはしょうがないかなぁ。だけど、ホントに痛いんだよ。知ってた？

──いいえ（笑）。だから、あなたの試合を見て感じてみたいと思ってます（笑）。■

最強最後のサムライ日本代表
「準決勝は極真対極真になると凄く面白い」

“最後の空手バカ一代”

ニコラス・ペタス（デンマーク）

撮影◎乾晋也・真崎貴夫（試合写真）
聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

――まずはジャパンGP前に負傷した足のケガなんですが、あれ、試合の時も全然治ってなかったんですね。

ニコラス 完治はしていませんでした。でも、グランプリまでには治るよう、努力しています。

――実は試合中とか凄く痛かったんでしょ？

ニコラス 蹴りを出すたびに痛かったですね。それで、試合前よりさらに悪化してしまいました。

――でも、試合前のインタビューでは「全然大丈夫です」とか言ってて、試合でもカカト落としをガンガン出して（笑）。

ニコラス ケガを言い訳にしたくなかったし、対戦相手にも知られたくなかったので、普段どおり蹴りを出しました。試合中は本当に苦しかったのですが、ペタスコールが沸き上がって、観客の皆さんに背中を押していただいて、優勝することができました。本当に嬉しかったですね。

――凄いよなぁ、そんな状態で優勝したんだから（笑）。で、いよいよ、「ワールドGP」が間近に迫りましたが、相手はアレクセイ・イグナショフになりました。

ニコラス お互い、ベスト8で試合するのは初挑戦なので、気持ちいい試合をしたいですね。

――ヒザ蹴りが怖いじゃないですか。

ニコラス イグナショフ選手とは、身長差がかなりあるので、ヒザを少し上げれば自分のアゴが待っている状態になるので、かなり警戒しなければならないですね。ただ怖いっていうイメージを頭の中に入れたら、ダメだと思うんですよ。当たったらどうしようと考えていると、ちょっと当たっただけでも体がドンッと固まってしまうと思うので、「自分には絶対当たらない」と言い聞かせて試合に臨みます。

――頼もしいですね（笑）。じゃあ、準決勝の話ですが、フィリォさんが上がってくる可能性もあるじゃないですか。気持ちの中ではちょっとやりにくいとかってあります？

ニコラス 極真対極真ですね。今は想像もつきませんね。でも試合になったら、先輩、後輩、友達、家族も全然関係ないですから。

――っていうか、極真の世界大会の時には、フィリォさんと当たっても勝つ自信があるっておっしゃってましたね。

ニコラス そんなこと言ってましたか（笑）。

――だから、ニコラスさんとしては「フィリォよ、上がって来い」って感覚なのかなって。

ニコラス 同じ極真の所属選手なので。これも極真の世界大会だと思っているんですよ。世界中から強い選手が集まって来てますからね。そう思っていないとやってられないでしょ（笑）。

――やってられない（笑）。

ニコラス 普通に考えればやってられないよ（笑）。一緒のチームでお互いにサポートしながらやってきたんですから。同じ苦労して、試合になったら声がガラガラになるぐらい彼の応援して。だから冷静になったら、やってられないです。でも、試合は違うんです。

――できることなら当たりたくない？

ニコラス 選択できるとしたら、ピーター・アーツとやりたいですね。でも、ピーターが勝ち上がったら、フィリォが負けてることになるから、それはそれでちょっと複雑なんですよね、この辺は（笑）。

――難しいですね（笑）。で、先日のK―1福岡大会でフィリォさんの闘いぶりを間近で見た感想はどうですか。

ニコラス フィリォの能力は、リングで出しているものより、ずっと凄いと自分は思っています。身内だからひいき目でそう思うのではなく、客観的に見て本当に凄いんです。自分はスパーリングを見たりしているので、フィリォがもっと凄いことをよく知っていますから。本当はお互いが絶好調の1回戦で、力いっぱい闘ってみたい気持ちもあります。

――難しいですね（笑）。では、日本代表としてトーナメントに参加する意気込みをお願いします。

ニコラス ヘビー級同士の闘いなので、一撃で試合が決まってしまうことがあるので、十分注意しなくてはいけないと考えています。グランプリは初出場なので、力いっぱい闘って、悔いの残らない試合をしたいですね。それと応援をしていただけたら、嬉しいですね。そして、その応援を裏切らないような試合がしたいです。あと、これはなかなか言えないんで言いたいんですけど、全国で試合してて自分はこんな応援されてるんだって思うと凄く力になってるんで。どこに行っても見てくれてる人がいるんだなって。そういう人達の力を借りてジャパンのチャンピオンとして、日本代表として応援してください。■

◀ジャパンGPを制したニコラスは、日本代表として決勝トーナメントに挑む

素顔は心理学専攻の大学生「いっぺん切る前に、7回測れ」

"もしかして本命? レッド・スコーピオン"

アレクセイ・イグナショフ（ベラルーシ）

撮影◎乾晋也・真崎貴夫（試合写真）
聞き手◎小松伸太郎

——イグナショフさん、来日する時大変だったみたいですね。

イグナショフ うん、実は非常に怖い思いをしたので、あんまり思い出したくないんだ。

——飛行機のエンジンが爆発して、墜落しそうになったと聞いたんですけど。

イグナショフ 日本でのことは、いい思い出にしておきたいので、そのことはもう……。

——よほど、怖い目に遭ったようですねぇ（笑）。

イグナショフ 思い出したくもないよ。スカイダイビングをやってるから、飛行機自体は怖くはなかったんだけど、今回のことがあって、飛行機が怖くなってしまったね。

——分かりました（笑）。話題を変えましょう。イグナショフさんは、今大学生なんですよね?

イグナショフ 2年生だよ。将来、学者になろうと思って、心理学の勉強をしているんだ。

——えっ! 心理学者を目指しているんですか! インテリなんですねぇ。でも、大学とキックボクシングの両立は大変でしょう?

イグナショフ だけど、大学の先生も事情を分かってくれていて、自分の講義の時間外でも、私の時間がある時に教えてくれるんだ。

——頑張ってますねぇ。大学で勉強している心理学って、K—1のリングで闘っている時に、何か役に立つことってあるんですか?

イグナショフ まだ、勉強中だから、相手が緊張しているとか、それぐらいは分かるけど、超能力者ではないからね（笑）。

——ワハハ、そうですか。今度の決勝戦で、イグナショフさんのことを、本命に推す人もいるんですけど、いかがですか?

イグナショフ それは正しくないと思うよ。

——正しくないって（笑）。

イグナショフ でも、そう言ってくれた人たちが、「正しかった」と言われるように、頑張りたいね。

——いや、本当に期待されてますからね。ところで、1回戦で当たるニコラス・ペタス選手の印象を聞かせてください。

イグナショフ とても手強いと思うよ。空手の選手は非常に動きが予測できないからね。

——抽選の時に、ニコラス選手のところを選んだのは、なぜなんですか?

イグナショフ 誰もいない場所に入って、誰が来るか分からないよりも、誰と闘うか分かったほうがいいと思って。

——なるほど。ニコラス選手を見て、闘いやすいと思ったりしたわけじゃないんですね。

イグナショフ まさか。誰も、彼と簡単に闘うことはできないと思うよ。まあ、ただ自分の相手を選べるんだったら選びたいからね。

——そうですか。名古屋大会で優勝して、ベラルーシでも人気が出たんじゃないですか?

イグナショフ あんまり、コマーシャル的なものがないから、知られていないと思うよ。ただそのほうが、私にとってはいいんだ。あんまり人気が出て、私の生活が乱されたりするのは嫌だからね。

——自分の生活を乱されたくない! 憎らしいこと言うなぁ（笑）。ベラルーシでは、K—1は放送されているんですか?

イグナショフ 放送されることはあるんだけど、定期的にではなく、不定期なんだ。

——じゃあ、優勝して、ベラルーシでも定期放送できるようにしましょうよ。

イグナショフ まあ、できるとは思うけど、慎重にならなきゃいけないね。

——慎重に（笑）。

イグナショフ ロシアの諺に「全てやってもいいけど、気を付けなければいけない」というのがあるからね。

——そんな諺があるんですか（笑）。対戦相手が誰になるのか分からないのは嫌だとか、結構慎重派ですよねぇ。

イグナショフ 自分自身のことを、自分でどういう人間かと言うよりも、客観的に見てもらったほうが分かると思うよ。また諺なんだけど、「いっぺん切る前に、7回測れ」というのがあるんだ。何かを切る前には、何回でも測れるんだから、せめて7回は測ってから切れということなんだ。切るのはいっぺんで終わってしまうけど、測るのは何べんでもできるからね。

——またも、諺（笑）。さすがインテリだ。それでは、決勝戦への意気込みをファンに対して、お願いします。

イグナショフ ムエタイがどういうものかというのを、お見せしたい。そして、その魅力をファンに感じてもらいたい。私は、格闘技というのは意外さだと思うんだ。

——意外さ?

イグナショフ そう、アッと驚かせる闘い方をお見せするよ。

——そうですか。大観衆をアッと驚かせるような闘いを期待します。

イグナショフ アリガトウ。

——スパシーバ（笑）。■

▲イグナショフ得意のヒザ蹴りは、決勝トーナメントでも炸裂するか!?

「第一世代も終わりだね」と、女に優しい伊達男

K−1第二世代の貴公子

ステファン・レコ（ドイツ）

撮影◎乾晋也
聞き手◎沖崎亜希

――レコさん、実は私、レコさんが初めてなんです（モジモジ）。

レコ　ンッ？

――えっと、ちゃんとした選手のインタビューをするの、レコさんが初めてなんです。

レコ　あっそう。それは光栄だなぁ。まあ、緊張しないでなんでも聞いてくれよ。

――あ、ありがとうございます。では、さっそくお聞きしますが、今までレコさんは実力があると言われながら、自力で決勝大会に出ることができませんでしたよねぇ？

レコ　うん、たしかにそうだね。

――今年は、やっと実力で決勝進出を決めたということで、まずは、決勝大会に臨む意気込みをお聞きしたいのですが。

レコ　はっきり言って、今回は優勝できると思っているよ。今まではプライベートや健康面で問題を抱えていたけど、全てクリアになって、最高のトレーニングができているから、ベストの状態で試合に挑めそうだよ。

――まず、1回戦で対戦するホースト選手についてはどんな印象をお持ちですか？

レコ　ホーストはK−1の中で最高の選手だと思うし、もちろん尊敬もしている。でも、試合は試合だからね。

――今までにホースト選手と対戦したことはあるんでしたっけ？

レコ　5年前に一度、K−2で対戦したことがあるけど、その頃は経験も浅くて負けてしまった。でも、今度はそうはいかないよ。

――多くのファンはホースト選手が勝ち進むと思っていると思いますが？

レコ　たしかにホーストはいい選手だから、みんながそう思うのは分かるよ。でも、今回のボクはトーナメントを闘うというより、ホースト戦に全てを集中して準備していくから、みんなの予想とは違う結果になるだろうね。

――カッコイイッ！　自信のある男ってステキですね。でも、今まで、レコさんってトーナメントでいい結果を残していないような気がするんですけど、トーナメント戦はあまり好きじゃないんですか？

レコ　いや、そんなことはないよ。日本でのトーナメントは負けることが多かったけど、それは体調に問題を抱えている時だったからなんだ。トーナメントと言っても、1回戦を勝てれば、あとは難しいことはないよ。

――なるほど、初戦が重要なんですね。それでは、その重要なホースト戦に向けての準備というのは、具体的にはどんなことですか？

レコ　まず、スタミナを蓄えることだね。ラスベガス大会の時には95キロがベストだと言っていたけど、今回は93キロに絞っていこうと思っている。具体的な戦略に関しては、秘密だよ（笑）。

――体調はどうですか？

レコ　今はとってもいい。本格的なトレーニングは11月から始めようと思っているよ。

――ホースト選手に勝つと、次はジェロム・レ・バンナVSマーク・ハントの勝者との対戦になりますが、どちらが勝ち上がってくるでしょう？

レコ　どちらでもいいけど、バンナにはこの前（6・24仙台大会）、判定で負けているから、もう一度闘いたいね。

――勝つ自信は？

レコ　もちろん、あるよ。

――ところで、毎年、決勝トーナメントは非常に波乱が起きますよねぇ……。

レコ　トーナメントには運が関係するからね。第1試合で3Rまでフルに闘った選手と、1Rであっさり勝った選手が次に闘うことだってあるし。昨年のフィリォ戦（決勝トーナメント1回戦）も、勝っていたと思っているんだけど、トーナメントになると、どうしても一つ二つのアクシデントは出てくるよね。

――決勝まで勝ち上がれば、そのフィリォ選手と対戦する可能性もあるのですが？

レコ　フィリォは全て揃った完璧な選手だけど、もちろん負けるわけにはいかないな。

――レコさんはK−1でいうと〝第二世代〟と言われているんですが、〝第一世代〟のホースト選手やアーツ選手に対して思うことは？

レコ　そろそろ〝第一世代〟も終わりを迎えるだろうね。

――ちょっと、プライベートな質問なんですけど……、レコ選手は彼女とかいるんですか？

レコ　いるよ（笑）。

――カッコイイから凄くモテるでしょうね？

レコ　そう、かもね（笑）。君はどう思う？

――えっと、ステキだと思います（ポッ）。日本でお気に入りの場所はどこですか？

レコ　ロッポンギ。

――やっぱり！

レコ　冗談だよ（笑）。どこでも好きさ。

――K−1はいま猪木軍との対抗戦をやっていますが、レコさんは、VTをやってみたいという気持ちはありますか？

レコ　チャンスがあれば出てみたいね。K−1軍に入ってもいいと思っているよ。■

▲ラスベガス大会決勝では強烈な右ストレートでアーツの顔面を骨折させたレコ。今度はホーストの顔面に炸裂するのか!?

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS-DX
スペシャル・リング・ガイド
No.57 11・8

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

編集長インタビュー

ターザンの直弟子 週プロ4代目編集長は「超危険な男？」

聞き手◎谷川貞治
撮影◎中島ミノル（インタビューカット）
写真協力◎『週刊プロレス』

今、『週刊プロレス』編集長・ケンファー佐藤氏がちょっとした話題となっている。前編集長・浜部良典氏の「クラスマガジン」宣言から一転、「猪木軍ＶＳＫ－１」では「どうしてくれるんだ、藤田！」と盛んに業界を刺激しまくっているのだ。そんな超過激（？）なケンファー佐藤氏がなんと、本誌のインタビューを受けてくれた！

佐藤正行編集長 初登場！

「編集長になると、敵が増えるんですよねぇ」

――今日は実は僕、非常にやりにくいんですよ。それは、佐藤編集長が僕の昔いたベースボール・マガジン社の後輩とかいうんじゃなく、佐藤編集長って、僕以上にボケのタイプじゃないですか？　だから、ボケVSボケでインタビューになるかなって（笑）。ＧＫ（『週刊ゴング』金沢編集長）は僕、凄く好きなタイプで、僕の聞くことにビシビシと答えてくれるんで、佐藤編集長もひとつ頼みますよ。

佐藤　はい。

――で、今、佐藤編集長のことをボケタイプと言いましたけど、編集長になってからやってることは結構、過激だよねぇ。ある時は髙田選手に脳天気に怒られてみたり、また最近では「猪木軍VSＫ―１」でプロレスラーをバンバン煽ったり。石井館長を出して「ミルコに負けてプロレスは悔しくないんですか？」と随分挑発的にやってるじゃないですか。

佐藤　あーっ、はいはい。

――あっ、その前にさ、藤田がミルコに負けた感想もいろんなレスラーに聞いてましたよね。藤田を表紙に「どうしてくれるんだ!?」ってのもあったし。あれは反響があったんですか？

佐藤　う～ん、あんまりプロレスファンには喜ばれてないかもしれないですねぇ。

――えっ？　喜ばれてない？

佐藤　今のプロレスファンの意識からすると、もしかしたらプロレスだけやってくれよっていう意識が強いかもしれないです。もう最近はそういうファンばっかりなんですよ。反発があるというより、遠い話なんですよ。

――あっ、そう。

佐藤　というのも、やっぱり僕は前編集長の浜部さんから引き継いだわけですけど、浜部さんの編集方針というのは、い

週プロ
佐藤正行編集長 本誌初登場！

わゆるクラスマガジンだったじゃないですかぁ。

──あぁ（笑）。浜部編集長はボウリングやラグビーの専門誌のようなクラスマガジンとしてプロレスを扱おうとしていましたよね。

佐藤　そうなんです。それで、僕はそのクラスマガジンの読者まで受け継いでしまったと。やっぱりクラスマガジンの読者は、そんなに格闘技なんか見ないよという読者が多いんですよ。K―1も、グレイシーも関係ない。プロレスらしいプロレスを見せてくれっていう、そういう方針で浜部さんは雑誌を作ってましたからね。そういった読者からは拒絶反応があるんですよ。

──拒絶反応というのは、逆に反響があるんじゃないの？

佐藤　まあ、そうなのかなぁ。それを良しとすべきなんでしょうね。

──しましょうよ。やっぱりそこはターザン・イズムの血が騒ぐの？

佐藤　いやっ、でも谷川さんも「山本さんの弟子だ」って言ってますよね。そこで僕が一番言いたいのは、谷川さんは山本さんの弟子じゃなくて、杉山さん（初代『週プロ』『格通』編集長）の弟子なんじゃないですか（笑）。

──ダハハハハ。そ、そうだよなぁ。

佐藤　谷川さんは山本さんの色じゃないですよ。やっぱり山本さんの弟子っていうのは、宍倉さんであり、僕であり、鈴木健クンであり、市瀬さんであり、ちょっと内側にエネルギーが向くタイプですよ。

──あぁー、僕は外側にエネルギーが向いてるのね。

佐藤　なんて言うか、脳天気な感じじゃないですよね。

──佐藤編集長に言われてもなぁ。じゃあ、そういうことにしておきましょうか（笑）。で、山本さん育ちの佐藤編集長としては、クラスマガジンは反対だったわけ？

佐藤　いや、僕の意志がどこにあろうが、編集長の方針は絶対だと思ってましたから。当然、浜部さんから「流血シーンはあんまり大々的に扱うな」とかね、浜部さんがそういった方針を打ち出す以上、それに従うのは当然だと思ってやってましたから。そこに僕たちの意志は必要ないというか……。

──山本さんの時もそうだったの？

佐藤　山本さんの時のほうが、むしろ強かったんじゃないですか？　う～ん、どうですかねぇ。ただ、そう言いながらも、試合リポートに関して、山本さんから「ああ書け、こう書け」とは全然言われなかったですね。

──僕は結構、言われたと思いますよ。

佐藤　えっ、そうなんですか？　どうなんだろうなぁ、僕は意外と浜部さんの記憶のほうが強いなぁ。あれ、なんでだろう？　やだなぁ（笑）。

今のプロレスファンの意識からすると、プロレスだけやってくれよっていう意識が強い

──ダハハハハハ。浜部編集長からはどんなことを言われたんですか？

佐藤　要するにね、表紙は試合の写真を載せようとか、スキャンダル的なものを載せるのはやめようとか。プロレスとしての試合を評価しようということですね。ある意味、それは当たり前のことなんですけど。

──それって、プロレスで当たり前のことなの？（笑）。

佐藤　浜部さんは嫌いでしたね、スキャンダルは。特に一番顕著だったのが、やっぱり例の99年の1・4小川VS橋本戦。表紙は小川だったんですけど、巻頭カラーは武藤VSスコット・ノートンの試合だったんですよ。

──へぇぇぇぇぇ～。

佐藤　あの時はまして、大仁田が蝶野とやりましたからね。少なくとも、僕は大仁田じゃないかと思ったんですけど、浜部さんはあの時、武藤VSスコット・ノートンのIWGP戦を譲らなかったですね。だから、いい試合をしたレスラーを評価して載せるってことですね。

──へぇ～。そういうことをクラスマガジンって言うんだ。

佐藤　う～ん、そうですねぇ。だからそのクラスマガジンを自分なりに超えていきたいというか、自分の色を出すには、浜部さんとは違うものを作らざるを得ないっていうのは今、ありますよね。で、自分がなんなのかって言ったら、もしかしたら『週刊ファイト』色なのかもしれないですね。

──ええっ？　佐藤編集長は『ファイト』色だったの？

佐藤　スキャンダルっていうか、そういうのが好きでしたね。だって、谷川さんも『週刊ファイト』の読者で、井上義啓に憧れてたじゃない？

──ああ、まあそうだね（笑）。じゃあ、今の『週プロ』はスキャンダリズムだと。

佐藤　まぁ、そういうのも、僕なりにやっていきたいってことでしょうね。それで、僕が今年3月に編集長になって、いきなり『ZERO―ONE』の旗揚げがあり、それから「猪木軍VSK―1」があってK―1にも触れたと。そこで、石井館長に初めてお会いして……。

──石井館長やK―1に触ったのは大きいですね。

佐藤　そうですか？

──そういう自覚はあまりない、と。

佐藤　谷川さんにも届きましたか？　でも、今のファンはあまり視野が広くないんですよ。なぜそれが言えるかっていうと、僕自身が狭かったから。

──ああ、そう。

佐藤　僕も新日本の担当をずっとやってきましたから、もうそん中に入っちゃうと、外の世界が見えてこないんですよね。これは一つの担当記者制度の弊害もあると思うんですけど、一つの団体の担当になると、もうそこしか見なくなっちゃう

▶ケンファー佐藤氏が仕掛けた『週プロ』の表紙の数々。最近は「猪木軍VSK―1」でかなりの波紋を広げた

んですよね。だから、それではダメだ、もっと外の世界を見なきゃダメだという反省はあるわけですよ。

——じゃあ、今は毎日が新鮮なんだ。

佐藤 凄く新鮮なんですよね、K—1とか。石井館長もしゃべってみると、凄く頭がいいし。でも、やっぱりK—1を本気で見たのは、8・19でしたね。それは凄かったですよね。藤田は額に深い傷を負ったし、安田は白目をむいて倒れたという具体的な形で凄さを示してくれたし。

——ははぁ〜ん。「猪木軍VSK—1」は、佐藤編集長には大ショックだったんだ。

佐藤 ショッキングでしたねぇ。

——髙田VSヒクソンよりも？

佐藤 だから、僕は当時新日本の担当でしたから、僕も新日本の関係者も、その時はまったく別の世界の出来事で、本当にピンときてなかったですよね。だから、この前のK—1との闘いも、読者にとってはまだピンときてないと思いますね。逆に言うと、そういった読者を少しでも意識改革していかなきゃいけないって感じですね。

——8・19にピンと来てない！ でも、山本さんが編集長の時代は、読者もそんなんじゃあなかったでしょう。山本さんの時代は髙田VSヒクソンがあったら、ズバリ直球ストレートでしょう。

佐藤 いや、山本さんの時もどうだろうなぁ。山本さんの時は、骨法とかK—1はやっていたけど、あれは山本さん自身のキャラクターが面白かったんじゃないのかなぁ。K—1そのものに興味があったというよりも、山本さんに振り向かせるだけのカリスマ性というか、大衆を先導する力があっただけだと思うんですけどね。

——そうかなぁ。でも僕は、確実に読者の中に欲求があったと思うんだよね。だから、山本さんも先導していったんだと思うし。

佐藤 そうかもしれないですね。

——ど、どっちなの？（笑）。じゃあ、今、佐藤編集長がそういうことをやり始めたことによって、読者の人から反発はあるんじゃない？

佐藤 ありますよ。たとえば髙田選手に関していっても、要するにプロレスの試合をしていないレスラーに対する反発って凄いんですよ。ということは、ウチの読者はクラスマガジンの人なんだって、僕は思っちゃいますけどね。浜部さんは試合の中身を評価してきた。だから、僕がK—1のことをやったりすると、メールとか、iモードとかに意見がバンバン入ってきますよ。

——でもさぁ、逆に言うと、髙田さんはプロレスラーだから、今回のような行動を起こしているんですよ。そんなんだったら、髙田さんがインタビューで怒るのも無理ないんじゃない？

佐藤 でも、僕の周りの人からは、「なぜ髙田選手にあそこまで言われて、怒って帰って来ないんだ」っていう意見もありましたよ。でも、僕にしてみれば、あそこで僕が寝たからこそ、髙田さんの本音が出たと思ってるんですよ。あれはいいインタビューだったなぁと。

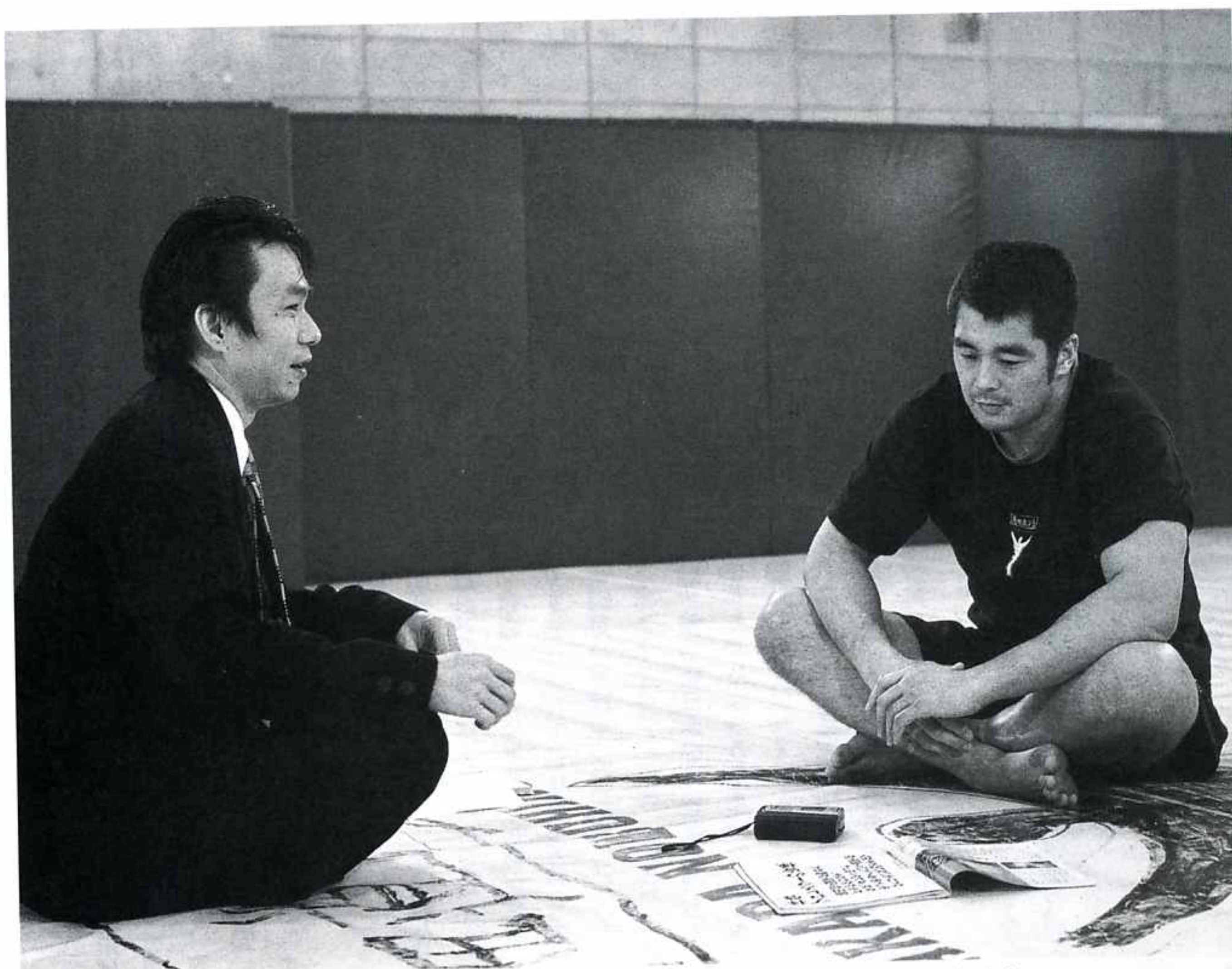
——いや、面白かったですよ。じゃあ、試合をしていないっていう意味じゃ、小川選手は人気ないの？

佐藤 小川選手はヒール人気ですよね。それは僕、あると思ってますよ。「試合をやってないのに、何を偉そうなこと言ってるんだ」とか。プロレスファンっていうのは、やっぱり試合で頑張った人を応援しようとしますからね。それは山本さんの時代からもそうであって、全日本プロレスなんかスキャンダルはないけど、試合の中身が凄いって評価してきたじゃないですかぁ。

石井館長やK－1に触ったのは大きいですね（谷川）
そうですか？（佐藤）

——じゃあ、試合をしないってことで、小川選手なんか、本当は反響がないわけ？

佐藤 まあ、反響を呼ぶという形ではあるでしょうね。ただ、今のファンはそれほど長いスパンで見ていないんですよ。だから、リングの外の変な部分ばっかで騒いでも、それが嫌だと思ったら、すぐにサッサと離れちゃいますからね。そのへんのサジ加減が難しいですね。

——ふ〜ん。僕が驚いたのはね、先週の『週プロ』で猪木さんは必要ないというか、嫌われているという意見が、過半数を超えてたじゃないですか。「新日本プロレスに口を出すな」とか「猪木は否定せざるを得ない」という意見が、iモードの調査で70%を超えていたのには驚いたよぉ。

▲髙田延彦にかなり怒られながら行ったインタビュー。髙田から「あなたの考えはどうなの？」と何度も意見を迫られた

週プロ
佐藤正行編集長
本誌初登場！

佐藤　あれはマニアックなプロレスファンからしたら当然な結果だと思いますよ。
——ええっ？　どうなってるの？
佐藤　猪木さんは大衆には人気がありますよね。一般メディアでは、それこそブームと言っていいくらい人気がある。じゃあ、猪木さんが今やってるのがおかしいのか、それとも今のプロレスファンの感性がおかしいのかってことになると思うんだけど。
——あなたはどうなの？（髙田風）。
佐藤　僕は分からない。それぞれの立つ立場によって違うでしょうからね。
——じゃあ、悩むねぇ（笑）。
佐藤　悩みますよ、どっちを押していくべきなのか。でも、こうして表紙に猪木さんを使ったってことは、猪木さんを押していることになるのかもしれないですけど、へへへへ。実際、僕も先週号の表紙は三沢光晴と大谷晋二郎の初対決を表紙にするかどうか悩んだんですよ。
——ええっ、三沢VS大谷と悩んだぁ？
佐藤　クラスマガジン的に考えたら、当然そうなるでしょうね。でも、マニアのファンといっても、時代とともに意見は変わると思いますから、今、猪木さんを否定している過半数以上の人たちも逆転する可能性はある。今、こういう時代だけど、僕はそういう可能性も頭に入れて問題提起したんですよ。

▼石井館長とのニコニコ・インタビューにもかなりの波紋があった。石井館長から「新日本の中西や永田選手はなぜ出て来ないの？」という言葉まで引き出している

藤田VSミルコ戦なんて30秒で終わったじゃないですか 頭使う前に勝負が決まっちゃう（笑）

——あの〜、僕らの感覚からすると、猪木さんが面白くなくて、何が面白いのっていう感じなんですけど、それは間違ってるの？　猪木さんのどこがそんなに嫌いなの？
佐藤　う〜ん、結局、猪木さんっていうのは、試合前までの話題作りという点に関しては天才的なんですけど、いざゴングが鳴ってしまうと、その猪木さんがプロデュースした試合というのは、お互い選手同士の信頼関係がないから、どうしても噛み合ったいい試合にならないんです。たとえば、今年1月4日の橋本VS長州戦とか、タッグでぶつかった長州・中西組VS小川・村上組とか。
——ええっ？　その噛み合ってないと言われた長州と小川なんか、凄く面白かったけど、それはおかしいの？
佐藤　今のファンはダメでしょうね。
——で、あなたはどうなの？（再び髙田風）。
佐藤　僕もギスギスした試合も好きですけどね。要は両方あってもいいと思うんですよ。そういった噛み合った馬場さん的なプロレスもいいし、一方で猪木さん的な噛み合わないギスギスとしたプロレスもいいし。でも、猪木さんがプロデュースした小川と長州の試合なんか、やっぱり後味の悪い終わり方をしてるじゃないですか。それを今のプロレスファンはけしからんと思うんでしょうね。
——へぇ〜。
佐藤　でも、どっちが正しいかっていっても、それで売れなきゃダメだと思うし。興行も、雑誌も。
——うん、そうだよね。でもさぁ、今はK—1とか『プライド』のような格闘技が出てきて、それでプロレスの試合内容で見せるということは、佐藤編集長的にはどう思ってるんですか？　要するに、今は4点ポジションで顔面にヒザを入れたりするルールまで格闘技はなってきてるじゃないですか。僕らが子供の頃に見ていたプロレスとは、環境が違うと思うんですね。
佐藤　それは1回、武藤選手の試合を見たほうがいいですよ。武藤選手が今、純プロレスの王様ですから。
——あ、そう。
佐藤　今の『週プロ』の読者は、明らかに『プライド』のようなものより、武藤選手の試合のほうが好きだと思っている人は多いでしょうね。で、僕は2つあってもいいと思うんですよ。一方で武藤選手のような純プロレスがあって、もう一方で『プライド』のような試合がある。その真ん中で右往左往している人が、一番問題なんじゃないのかなぁ。
——なるほど。じゃあ、『プライド』のようなものが出てきても、全然関係ないというか、純プロレスは安泰だと。
佐藤　純プロレスはもうなくなることはないですよ。それに純プロレスのほうが……、やっぱり僕は純プロレス派なのかなぁ……。純プロレスを見るほうが非常に頭を使うというか、見る感性が必要ですからね。やってるほうも感性を問われる。でも、いわゆる『プライド』的なものって、ある意味で技術論とか、勝負論だけじゃないですかぁ。どっちが勝ったとか負けたとか、どういう攻防があったかっていう話をしたり顔で言い合ってるだけじゃないですか？　もちろん、そういう勝ち負けの世界では、それなりの人間の感性みたいなものは出ますけどね。
——それは、ごく一部のマニアな専門家

だけじゃないんですかね。K―1も『プライド』もそういう気持ちで見ている人は少ないと思いますよ。逆に佐藤編集長は、『プライド』のような試合を、純プロレス的に頭を使って見られないんですか？

佐藤　ああ、でも藤田VSミルコ戦なんか30秒で終わったじゃないですかぁ。頭を使う前に勝負が決まっちゃう（笑）。

――ハハハハハ、時間の問題！（笑）。

佐藤　考えるいとまがないんですよね、新プロレスのほうは。もちろん、終わったあとはあれこれ考えさせられますけど、試合中に感情移入させる時間的なゆとりがないんですよね（笑）。

――でも、終わったあとでもいいから、語れるものがあれば、やっぱり頭を使えるんじゃない？

佐藤　そうですね。そういう意味じゃあ、8・19は語れましたよね。でも、『プライド』のような新プロレスは、試合数が絶対的に足りないですよね。昔の猪木VSアリ戦のように、試合前と試合後で、ずっとその試合を引きずるような、そういうサイクルで世の中も動いてないじゃないですかぁ。今のお客さんは2カ月以上のスパンが楽しめない。その点でも、純プロレスは負けないような気がしますね。

――ああ。じゃあ、業界の反応はどうなんですか？　今、佐藤編集長がやってることに対しては。

佐藤　やっぱりおかしなことをやってるなって反発はあると思いますよ。特に新日本プロレスなんかは、「K―1や『プライド』を持ち上げるのはいいけど、そことウチをリンクさせて書くのはやめてくれ」と言われますね。

――はは～ん。

佐藤　やっぱり新日本の中では、もう別物だという意識が強いんですよ。要は90年代の新日本プロレスは、昔の新日本プロレスとは変わっちゃってるんですよね。これがいいか悪いかは分からないけど。

――でも、佐藤編集長の仕掛けは、そういった部分を刺激してますよね。

佐藤　まあ、そうなってますよね。

――なってますよねぇって（笑）。もしかしたら、ターザン以来の取材拒否を食っちゃうんじゃないですか？（笑）。

佐藤　ねぇ………それは困っちゃいますよね。

クラスマガジンの読者の意識を変えていきながら、新しい読者を獲得していきたいですね

――そうなったら、本当に2代目ターザン襲名だね（笑）。

佐藤　いやいやいや、やめてくださいよぉ。山本さんの頃は、それこそ売れてましたからねぇ。僕は今、地盤を固めているところですから。

――大変だなぁ。じゃあ、今の佐藤編集長にとって、敵はなんなんですか？

佐藤　敵ですか？

――そうそう、対立概念として持っておきたい敵というか……。

佐藤　う～ん、う～ん、僕の中で今、のしかかっているのは、クラスマガジンかもしれないですね。クラスマガジンの読者！　そういう読者の意識を変えていきながら、新しい読者を獲得していきたいですね。

――クラスマガジンの読者が敵！　いいねぇ（笑）。『週刊ゴング』とかじゃないんだ。

佐藤　いやぁ～、やっぱり本来は『ゴング』のほうがクラスマガジン的であるべきだと思うんですよね。でも、今は『週プロ』がクラスマガジン的になったと思うんで、逆に言えば『SRS・DX』とか、『紙プロ』が出てきたんじゃないのかなぁ。金沢編集長もかなりセンセーショナルなものを作ってますけど、なんだかんだと言って、最終的には僕はクラスマガジンだと思いますね。

――へぇ～、じゃあ『SRS・DX』的なもののほうが『ゴング』より共感できるんだ。

佐藤　いや、僕は向こうが意識しているほど、思ってないですよ。『ゴング』は伝統的に凄く『週プロ』を意識してるらしいですから。たとえば、リングで選手にトロフィーを渡す時も、『週プロ』に大きさで負けるなっていう指令が出されているみたいですし（笑）。

――ハハハハハハハ、本当ぉ、それ（笑）。僕は金沢編集長は好きなタイプなんですけど、佐藤編集長はどう思ってるんですか？

佐藤　大学の先輩なんですよね。で、同じ新日本担当でしたし。でも、なんか凄く意識されているような感じがするんですよ。見張られているような。なんか、こっちが怪しい動きをすると、必ず金沢さんと目が合うんですよ。

――なんかウマが合いそうにない2人だねぇ（笑）。

佐藤　なんで谷川さんは、金沢さんのこと好きなんですか？

――いや、べつにあんまり親しくないんですけど、自分のスタンスがはっきりしてるじゃないですか。あと、業界人としてのポリシーもプライドもあるし。なるほど、プロレス専門誌はそうやって考えるのかって思うんですよね。僕はクラスマガジンというけど、GKは浜部さんとは全然違うタイプだと思いますよ。

佐藤　ああ。でも、今度大学の先輩・後輩っていうことで、青学でトークショーやるみたいなんですよ。高木三四郎を囲んで。

――ええっ、それは楽しみだなぁ。たぶんGKは、髙田さんくらい怒ると思うよ（笑）。

佐藤　僕にですかぁ。

――うん。あなた間違ってるって（笑）。言わないかな。

佐藤　ああ。普段は挨拶もしてないんですけどね。僕は結構、同じような考えをしていると思うんですけど……。

――ガハハハハ。じゃあ、佐藤編集長にとって新日本プロレスとは？

週プロ
佐藤正行編集長 本誌初登場！

佐藤　新日本プロレスはG1ですよ。グレード・ワン！　最高級のものじゃないですか。最高のコンディションを整えたプロレスラー同士が、素晴らしい精神状態でぶつかる。新日本は素晴らしいですよ。

――僕からすると、新日本プロレスというとアントニオ猪木って感じがするんですけど、佐藤編集長はどうなんですかぁ～。長州力とか。

佐藤　たぶん、僕にとって新日本は、蝶野正洋ですねぇ。今、体調が悪くて試合に出てないんですけど、蝶野が出てくれば前面プッシュですよ。

――蝶野なんだ。

佐藤　それくらい、90年代の後半に入ってから、新日本プロレスもいろんな価値観が入って、それぞれの世界になってきたんじゃないですかね。だから、石井館長なんかは、ミルコ戦に名乗りを挙げた髙田選手に対して、「猪木さんの真の後継者だ」みたいなことを言ってたけど、髙田さんがどんなにプロレス背負って向かっていっても、プロレスファン全員が昔のように一致団結して応援というのは疑問ですよね。それくらい、ファンもそれぞれ考えるレスラー像が変わってきてますから。

――そ、そんな寂しいこと言わないでよ（苦笑）。だいたい、髙田VSミルコ戦のきっかけを作ったのは、『週プロ』の影響も大きかったと思いますよ。藤田がミルコに負けた時も「どうしてくれるんだっ」って挑発していたし、石井館長を使って煽ったりしたり。これは責任重大ですよぉ。

佐藤　やっぱり、僕も関わった以上は、しっかり応援したいですね。本来ならね、髙田選手のインタビューをやったら、90％くらいのファンが「よし、髙田行け」ってなってしかるべきだし。それなのに、非常になんて言うか、逆風の中でね、髙田選手はミルコだけじゃなく、さらにもう一つ観客という敵に立ち向かっていかなければならない。髙田さんはそういう意味で、凄く孤独だと思いますよ。

――佐藤編集長も逆風なんじゃない？

佐藤　ハハハハハ、そうですよねぇ。孤独です。でも、僕はわりとなんて言うんですかね、粘り強いですから。マゾなところがあるんですよ。逆風を喜んでいるようなところがあるんで（笑）。

――でもね、そういう意味で言えば、新日本の客とは違うのかもしれないけど、『プライド』は今、お客さんが入ってますよねぇ。猪木さんのことを過半数が否としたり、髙田さんのことを100％応援してないかもしれないって言ってたけど、それについてはどう思うんですか？

佐藤　だから『プライド』は新しいファンを確実に作ってますよね。会場に行っても、凄く騒いじゃっているし。僕なんか、谷川さんも一緒かもしれないけど、2階の最前列でじっくり見るのがプロレスという意識ですから。そういうファンとも、ちょっと違うと思うし。

――うん。

佐藤　だから、そこで新日本の話に戻っちゃうんですけど、蝶野だったら頑張って蝶野の世界にするのか、猪木さんをもう一度呼び戻すのかって、瀬戸際に来ているんじゃないですか？

――あ・な・た・は、どっちに行ってほしいの？（三たび髙田風）。

佐藤　どっちに行ったらいいかと言ったら、新日本の向かう方向に行くしかないというか、新日本自体が混乱しているから迷っちゃいますよね。僕も、『週プロ』も。

髙田さんがどんなにプロレスを背負っても、ファンが一致団結するかは疑問ですよねぇ

――そこを佐藤編集長が水先案内人となって「こっちだ」ってやっちゃうとか。

佐藤　そうですね。僕がそういうことを言えたら、もうワンランク・アップできるんでしょうね。でも、団体サイド、業界トップの新日本プロレスですよぉぉ！　そんなこと言ったら、本当に反発食らっちゃいますよぉ（笑）。

――もう、すでに言ってると思うんだけどなぁ（笑）。

佐藤　だったら、やっぱり絶対に蝶野ですよね。蝶野の方向性だって言ったら、たぶん業界的には拍手喝采ですよねぇ。でも、猪木さんの方向性がいいって言ったら、分からないですねぇ。

――ああ、でもそれはクラスマガジン的ってことでしょ？（笑）。

佐藤　クラスマガジン的になっていくんでしょうね。猪木さん的にやるのは、いろいろ壊していくことになっていきますから。

――ターザン・イズムの佐藤編集長としては……。

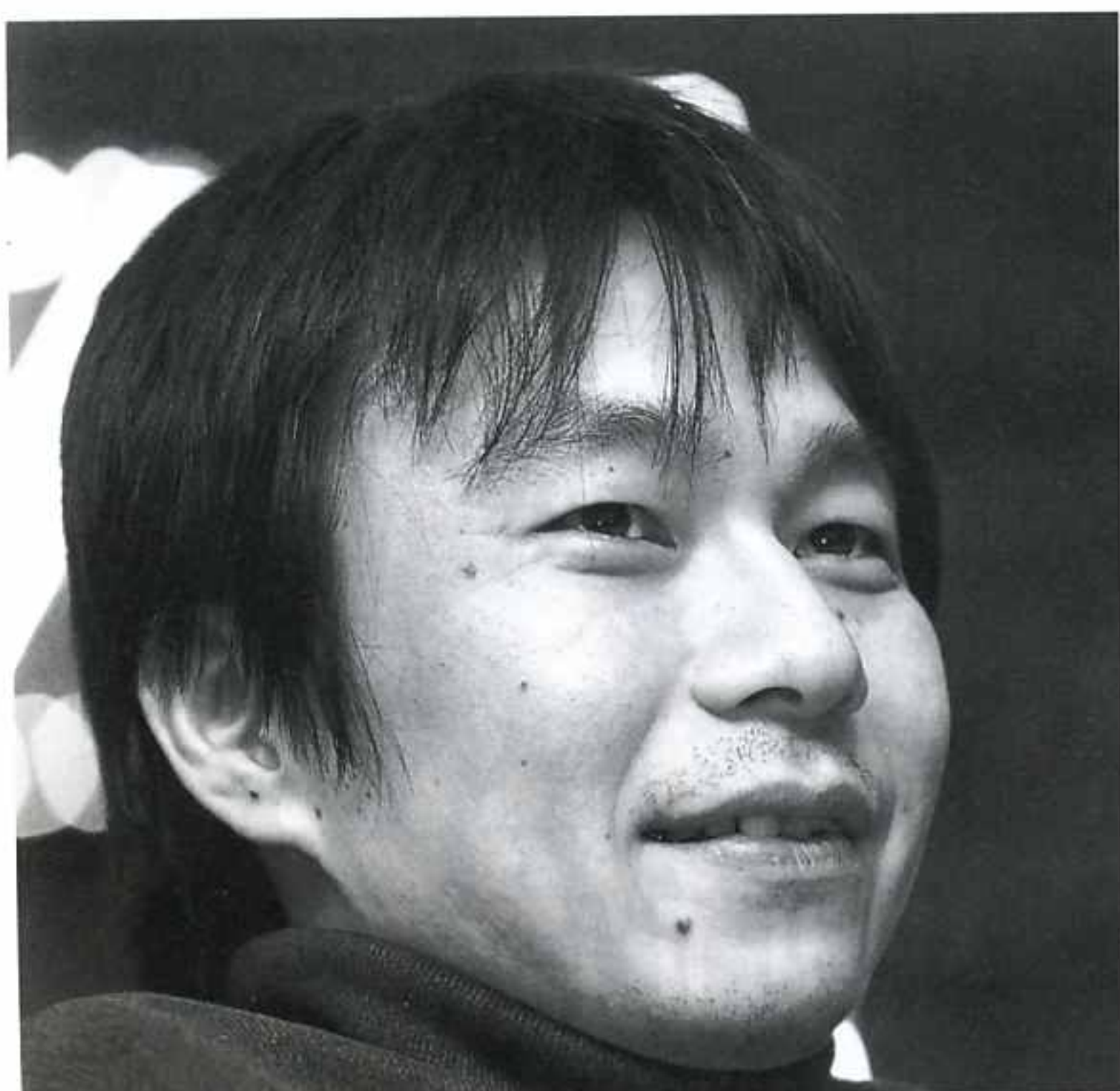
佐藤　ターザン・イズム？　もう山本さんはすっごい遠い存在になっちゃってるなぁ。

――えっ、忘れちゃったの？

佐藤　というか、僕の視界に入っているのは今、浜部さんのほうですよね。なんでだ？　あれだけ山本さんには影響を受けたつもりだったのに、今、僕の中では浜部さんとずっと格闘しているような気がする。浜部さんという人は山本さんほどインパクトはなかったかもしれないけど、4年間下で働いて、考え方とか、ファンの思考が出来上がっちゃいましたもんね。浜部さんのほうが自分の中で大きくなってますよ。それが僕の一番のモチベーションになっていることに今、気が付きました（笑）。

――ふ～ん。

佐藤　山本さんには単純に誉められたいって思ったんですけど、今は芸人になっちゃいましたからね。もちろん、書いてるものは読みますけど、視界にはないですね。逆に浜部さんは基本的に人をバカにする人じゃないから、見返してやろうというエネルギーは湧かないんですけど、なんていうのかな、僕の中では大きいんです。

◀ケンファー佐藤氏が自信を持ってススめる純プロファイターは蝶野正洋。「優しい心と無意識な仕掛けで旋風を巻き起こす！」

——僕は自分が雑誌作りに集中できない時は、今でも山本さんのことを思い出しますよ。こんなんじゃあ、山本さんにバカにされるだろうなって。それは今でもあるんだけど。

佐藤　そうですか。だから、僕はまだ自分の軸に関して、手探りの状態なんですよ。これから、『週プロ』をどうやってやっていくかは、本当に難しいテーマですね。浜部さんなんか、逆にもっと大変だったと思いますよ。山本さんがあれほどの毒を撒いておいて、それを修復しながら、クラスマガジンに方向転換していったんですから。だから、今の僕以上に孤独だったんじゃないですかねぇ。

——へぇ～、そんなに浜部さんのことを考えているんだ。

佐藤　ですねぇ。ホント、なんでなんだろう。だからねぇ、今の僕には新日本がどっちの方向なんて、はっきり分かりません。

——正直な人だなぁ（笑）。長州さんとはどうなの？

佐藤　まだ口もきいてくれませんねぇ。先週号の『ゴング』で「最後の矢はお前に撃つ！」ってあったけど、俺のことかって思いましたもん（笑）。

——ダッハハハハ、一番届いたんだ。

佐藤　逆に言うと、今、長州さんのインタビューを『ゴング』が出してきたのは、やっぱり『週プロ』の一連の方向性が刺激を与えて、そう思わせたのかなって。

——言いますねぇ（笑）。やっぱり、それだけの波紋を広げていると思いますよ。

佐藤　でも、取材拒否は嫌ですねぇ。

——いいじゃあないですか、そうなったらメチャクチャ暴れてみれば。

佐藤　クビになっちゃいますよぉ（笑）。

——そうなったら、また『ケンファー』の編集長をやれば？

佐藤　ああ、そうかぁ。

——ダッハハハハ。本当にいいのぉ？　でも、それにしてもよくウチの雑誌に出てくれたよねぇ。ホントに感謝してますよ。

佐藤　どうしよう、怒られるかなぁ（笑）。でも、人生面白いことをやったほうがいいじゃないですかぁ。金沢さんもこれに出たことがあるし。

——頑張ってください。今日は本当にありがとう！　■

先週号の『ゴング』の「最後の矢はお前に撃つ！」って、俺のことかって思いましたもん（笑）

10/25THU～11/8THU
CALENDAR

10/25 THU	■ZERO-ONE/東京・日本武道館（19:00～）⬅p47 ★『SRS・DX』57号発売日
10/26 FRI	■バトラーツ/沖縄・宜野湾運動公園　野外劇場（19:00～）⬅p47 ●フジテレビ系『SRS』（25:45～26:15）放送⬅p69
10/27 SAT	◆DEEP2001 3rd IMPACT/チケット先行予約⬅p47 ◆『LIGHT ON!』&『BULLET』/チケット発売⬅p49
10/28 SUN	■新日本キック協会/東京・後楽園ホール（17:15～）⬅p49 ◆INOKI BOM-BA-YE 2001/チケット特別先行予約⬅p46 ◆DEEP2001 3rd IMPACT/チケット先行予約⬅p47 ◆PANCRASE 2001 PROOF TOUR/チケット発売⬅p48
10/29 MON	
10/30 TUE	■パンクラス/東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p48
10/31 WED	■女子総合格闘技AX/東京・北沢タウンホール（19:00～）⬅p46
11/1 THU	
11/2 FRI	■ニュージャパンキック連盟/東京・後楽園ホール（17:45～）⬅p50 ●フジテレビ系『SRS』（25:45～26:15）放送⬅p69
11/3 SAT	■極真第33回全日本空手道選手権大会／東京体育館（11:00～）⬅p50 ■MA日本キック連盟/千葉・袖ヶ浦臨海スポーツセンター（16:30～）⬅p49 ■PRIDE.17/東京ドーム（17:00～）⬅p46 ◆DEEP2001 3rd IMPACT/チケット一般発売⬅p47
11/4 SUN	■極真第33回全日本空手道選手権大会／東京体育館（11:30～）⬅p50
11/5 MON	
11/6 TUE	
11/7 WED	
11/8 THU	★『SRS・DX』58号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

イノキ・ボンバイエ

INOKI BOM-BA-YE 2001 ～猪木軍vsK-1全面対抗戦～
12月31日（月）　さいたまスーパーアリーナ

◆開場/16:00　試合開始/18:00（予定）◆入場料/VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付）　RRS席35,000円　SRS席25,000円　RS席15,000円　スタンドS席10,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット発売/下記の表を参照　◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

12・31『INOKI-BOM-BA-YE 2001』チケット発売情報

〈特別先行予約〉
10月28日（日）10:00～19:00
特別先行電話予約　☎052-961-6341

〈一斉発売〉
11月11日（日）10:00～
ドリームステージ　☎03-5775-5700
PRIDEオフィシャルサイト
（http://www.so-net.ne.jp/pride）
チケットぴあ　☎03-5237-9999、☎03-5237-9977、☎03-5237-9966
ローソンチケット　☎03-3569-9900
CNプレイガイド　☎03-5802-9999
eプラス　☎03-5749-9911
（http://eee.eplus.co.jp）

◎店頭販売
サークルK、サンクス、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、チャンピオン、後楽園ホール

フィットネスショップ格闘技　☎03-3265-4646
チケット&トラベルT-1　☎03-5275-2778
AOコーナー　☎045-412-6460
相鉄ジョイナスプレイガイド　☎045-319-2456
公武堂　☎052-241-2511
グレート・アントニオ　☎03-3219-9550

女子総合格闘技AX

We Do The Justice
10月31日（水）　東京・北沢タウンホール

◆開場/18:30　試合開始/19:00
◆入場料/スーパーシート4,500円　SRS席3,500円　立見席3,000円（当日のみ）　中学生、55歳以上1,000円（当日のみ/要身分証）　小学生以下無料　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、DDTステーキ☎03-3515-6465、米里倶人満　小伝馬町店☎03-3639-8605　◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/女子総合格闘技AX☎03-5286-7921

決定対戦カード

星野育蒔vs久保田有希
（米里倶人満）　（総合格闘技 荒武者）

張替美佳vs加藤悦子
（フリー）　（湘南格闘技クラブ）

藤城生実vs二瓶奈津子
（SSS）　（非公開）

中嶋智希vs中川加奈子
（フリー）　（非公開）

PRIDE

初代ヘビー級王者はノゲイラか？　ヒーリングか？

ミドル級と共に、いよいよ決定するヘビー級王者を争うのは、ブラジルの柔術マジシャン、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラとテキサスの暴れ馬、ヒース・ヒーリングだ！　そして初参戦、新日本プロレスの番犬・小原道由はヘンゾ・グレイシー戦に挑む。同じ新日の石澤常光が弟ハイアンに勝利しているだけに、小原も負けられない！

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvsヒース・ヒーリング

PRIDE.17
11月3日（土・祝）　東京ドーム

◆開場/15:00　試合開始/17:00（予定）
◆入場料/VIP席100,000円　RRS席23,000円　スタンドS席13,000円　スタンドA席7,000円　高田応援シートスタンドS席13,000円　桜庭応援シートスタンドS席13,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ドリームステージ、PRIDEオフィシャルサイト（http://www.so-net.ne.jp/pride）、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、サークルK/サンクス、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チャンピオン、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、後楽園ホール、AOコーナー☎045-440-3355、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319-2456、グレート・アントニオ☎03-3219-9550
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

髙田延彦vsミルコ・クロコップ
（髙田道場）　（クロアチア/クロコップ・スクワッドジム）

《ミドル級チャンピオンシップ》
桜庭和志vsヴァンダレイ・シウバ
（髙田道場）　（ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー）

《ヘビー級チャンピオンシップ》
アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvsヒース・ヒーリング
（ブラジル/ブラジリアン・トップ・チーム）　（アメリカ/ゴールデン・グローリー）

ヘンゾ・グレイシーvs小原道由
（ブラジル/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー）　（新日本プロレス）

佐竹雅昭vsセーム・シュルト
（怪獣王国）　（オランダ/ゴールデン・グローリー）

出場予定選手

クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン（アメリカ/チーム・イハ）

K-1ワールドGP・シリーズ

K-1

ハント人気で、チケット売り切れ間近！

10.8福岡大会でのナイスファイトで、人気爆発のマーク・ハント。決勝大会では、1回戦でジェロム・レ・バンナと対戦という好カードが決定した。ハント人気のためか、チケットがバカ売れしているそうなので、チケット購入はお早めに！

ジェロム・レ・バンナvsマーク・ハント

K-1 WORLD GP2001 決勝大会
12月8日（土）　東京ドーム

◆開場/14:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席35,000円　RS席21,000円　SS席17,000円　S席11,000円　A席7,000円　B席5,000円
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/キョードー東京、チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、JTB各支店、JTBトラベランド各店、JTB提携販売店各店、JR東日本みどりの窓口・びゅうプラザ、デジシート（http://k-1.world-gp.com）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場決定選手

- ステファン・レコ（ドイツ/ラスベガス大会優勝）
- アーネスト・ホースト（オランダ/メルボルン大会優勝）
- ジェロム・レ・バンナ（フランス/大阪大会優勝）
- マーク・ハント（ニュージーランド/福岡大会Bブロック優勝）
- ニコラス・ペタス（デンマーク/ジャパンGP優勝）
- アレクセイ・イグナショフ（ベラルーシ/名古屋大会優勝）
- フランシスコ・フィリォ（ブラジル/福岡大会Aブロック優勝）
- ピーター・アーツ（オランダ/主催者推薦枠）

PRIDE.18
12月23日（日）　福岡マリンメッセ

◆開場/13:30　試合開始/15:00（予定）
◆入場料/VIP席100,000円　RRS席23,000円　スタンドS席13,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット発売/特別先行電話予約11月11日（日）、一斉発売11月25日（日）　◆チケット発売所/詳細未定　◆会場アクセス/JR博多駅より車で5分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

バトラーツ

Extrem Brawl ～極限への挑戦～

10月26日（金） 沖縄・宜野湾運動公園 野外劇場

◆開場/17:00 試合開始/19:00 ◆入場料/特別席5,000円 自由席3,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/沖縄テレビ事業部☎098-869-4415、チケットぴあ、ローソンチケット、リウボウ☎098-867-8246、三越☎098-862-5111、ロータスクラブ☎098-898-0630、バトラーツオフィシャルサイト（http://www.battlarts.jp） ◆会場アクセス/那覇空港より系統120・124番バス乗車、真志喜バス停下車徒歩15分。または空港リムジンバス乗車、宜野湾球場前下車徒歩1分。那覇バスターミナルより系統28・55・88・112番バス乗車、宜野湾球場前下車、徒歩1分 ◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

決定対戦カード

カール・マレンコ（バトラーツ）、アレクサンダー大塚（バトラーツ） vs バス・ルッテン（オランダ／フリー）、臼田勝美（バトラーツ）

石川雄規（バトラーツ） vs 小野武志（バトラーツ）

日高郁人（バトラーツ） vs X

モハメド・ヨネ（バトラーツ） vs 大場貴弘（バトラーツ）

Mrさかい vs パブロ・マルケス

DEEP2001

DEEP2001 3rd IMPACT 12.23 X'mas in DEFFER ARIAKE

12月23日（日） 東京・ディファ有明

◆開場/14:00 試合開始/15:00
◆入場料/VIP席30,000円 SRS席15,000円 アリーナS席9,000円 アリーナA席7,000円 アリーナB席5,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/11月3日（土・祝）一般発売
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、ディファ有明☎03-5500-3731、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP2001事務局
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

出場予定選手

村浜武洋（大阪プロレス）
坂田亘（EVOLUTION）
ドス・カラスJr（メキシコ／AAA）
パンクラス所属選手
U-FILE CAMP所属選手

12・23『DEEP2001 3rd IMPACT』チケット先行予約
10月27日（土）、28日（日） 10:00～18:00
DEEP2001事務局 ☎052-339-0303

修斗

SHOOTO TO THE TOP

11月25日（日） 東京・ディファ有明

◆開場/15:00 試合開始/16:00
◆入場料/RS席8,000円 SS席6,000円 S席6,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋店、KEEL CAFE、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

《フェザー級チャンピオンシップ》
マモル（シューティングジム横浜） vs 大石真丈（K'zファクトリー）

吉岡広明（パレストラ東京） vs X

廣野剛康（和術慧舟會） vs 今泉健太郎（SKアブソリュート）

井上和浩（インプレス） vs 阿部裕幸（RJWセントラル）

久保山誉（K'zファクトリー） vs 端智弘（PUREBRED大宮）

倉持昌和（フリー） vs 飛田拓人（インプレス）

SHOOTO GIG EAST vol.7

11月26日（月） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/パレストラ東京、KEEL CAFE、デジタラジア（http://DIGITALAZIA.com）
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

決定対戦カード

池田久雄（PUREBRED大宮） vs 村田一着（フリー）

松下直揮（ALIVE） vs 冨樫健一郎（パレストラ広島）

喜多浩樹（パレストラ東京） vs 木部亮（ALIVE）

朴光哲（K'zファクトリー） vs パトリック・ベゾン（オランダ／NTL修斗マルタイン道場）

SHOOTO TO THE TOP

12月16日（日） 千葉・東京ベイNKホール

◆開場/14:00 試合開始/16:00
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 SS席10,000円 パノラマS席12,000円 パノラマ席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅より路線バス12系統でヒルトンホテル下車すぐ
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

プロレスリングZERO-ONE

小川が参戦表明！ 橋本はゴルドーと対戦！

真撃参戦を表明していた小川直也の対戦相手が決定した。相手のジョー・デンプシーは伝説的ボクサー、ジャック・デンプシーのひ孫で元プロボクシングIBF世界4位という経歴の持ち主だ。そして我らが破壊王・橋本真也は先日、アメリカのNWAに参戦した際に乱闘で左外側靭帯損傷。手負いのままゴルドーとの対戦が決定。真撃にまたもや黄色信号が点ってしまった。さらに橋本からオファーを受けた高山善廣は大谷晋二郎との対戦が決定。ノアマットでの大森隆男の正妻争いとしても注目される。

大谷晋二郎vs高山善廣

「真撃」第Ⅲ章

10月25日（木） 東京・日本武道館

◆開場/17:30 試合開始/19:00 ◆入場料/RS席20,000円 SS席10,000円 S席7,000円 A席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、チケットショップ・GAMA（http://www.gama.co.jp）
◆会場アクセス/地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999

決定対戦カード

橋本真也（ZERO-ONE） vs ジェラルド・ゴルドー（オランダ／カマクラジム）

小川直也（U.F.O.） vs ジョー・デンプシー（アメリカ／LAボクシングジム）

大谷晋二郎（ZERO-ONE） vs 高山善廣（フリー）

マーク・ケアー（アメリカ／フリー） vs ディック・フライ（オランダ／フリー）

トム・ハワード（UPW） vs ブルーザー・アルファロー（アメリカ／フリー）

高岩竜一（ZERO-ONE） vs 藤原喜明（フリー）

田中将斗（フリー） vs ハーバート・ヌメリック（オランダ／フリー）

佐藤耕平（ZERO-ONE） vs 大久保一樹（U-FILE CAMP）

星川尚浩（ZERO-ONE） vs ミッキー・ヘンダーソン（アメリカ／UPW）

「真撃」第Ⅳ章

12月5日（水） 大阪城ホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR大阪城公園駅、地下鉄大阪ビジネスパーク駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ステージア☎06-6344-4441

総合格闘技&ノールール系

キックボクシング

J-NETWORK

THE CRUSADE-Ⅳ
11月21日（水）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30　試合開始/18:00
◆入場料/S指定席7000円　A自由席5000円
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田、ソーチタラダ渋谷、池袋ジム
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-PROMOTION☎03-3418-6598

決定対戦カード

増田博正 vs テーワリッノーイ・SKVジム
（アクティブJ）（タイ）

蔵満誠 vs 中村玄志
（アクティブJ）（山木ジム）

黒田道鷹 vs 武井豊
（アクティブJ）（谷山ジム）

堺谷ケイト vs 楠本竜生
（アクティブJ）（サバーイ町田）

SHIN vs 川上慶彰
（アクティブJ）（JMTC）

シュートボクシング

Be a Champ 4th Stage
11月20日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30　◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、ワールドスポーツプラザKINGS☎03-3462-1001、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

決定対戦カード

《シュートボクシングvsシュートボクセ対抗戦》

緒形健一 vs ダニエル・シウバ
（シーザージム）（シュート・ボクセ・アカデミー）

前田辰也 vs オズマ・ディアス
（寝屋川ジム）（シュート・ボクセ・アカデミー）

後藤龍治 vs マウリシオ・シェルビンス
（STEALTH）（シュート・ボクセ・アカデミー）

土井広之 vs ダニエル・ドーソン
（シーザージム）（オーストラリア）

伊賀弘治 vs シリル・ディアバテ
（龍生塾）（フランス/チームオートテンション）

宍戸大樹 vs シャノンF16フォレスター
（シーザージム）（オーストラリア）

topic!　SB新ルール採用！

旧ルールでは1R5分、2R4分、3R3分の3R制だったが、新ルールでは3分5R制で決着がつくまで無制限の延長の完全決着ルールとなった。そして、各階級の呼び名も変更となった。

旧		新
オウル級	→	Sバンタム級
カーディナル級	→	Sフェザー級
シーガル級	→	Sライト級
Sシーガル級	→	ウェルター級
ファルコン級	→	Sウェルター級
ホーク級	→	Sミドル級

総合格闘技&ノールール系

パンクラス

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
10月30日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/SS席10,000円　A席6,500円　B席4,500円　立見3,000円　※当日券は500円増し　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

《ミドル級キング・オブ・パンクラス　タイトルマッチ》
ネイサン・マーコート vs 星野勇二
（アメリカ/コロラド・スターズ）（RJW／CENTRAL）

KEI山宮 vs 郷野聡寛
（パンクラス・東京）（team GRABAKA）

石井大輔 vs 佐々木有生
（パンクラス・東京）（パンクラス・GRABAKA）

渡辺大介 vs 佐藤光芳
（パンクラス・横浜）（パンクラス・GRABAKA）

窪田幸生 vs 石川英司
（パンクラス・横浜）（パンクラス・GRABAKA）

伊藤崇文 vs 三崎和雄
（パンクラス・横浜）（パンクラス・GRABAKA）

佐藤光留 vs 岩崎英明
（パンクラス・横浜）（ストライプル）

大石幸史 vs ミック・グリーン
（パンクラス・横浜）（パンクラス・オーストラリア）

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
12月1日（土）　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:00　試合開始/18:30
◆入場料/SS席16,000円　RS-A席7,500円　RS-B席5,500円　2F-A席10,000円　2F-B席6,000円　2F-C席3,500円　3F席4,500円　※当日券は500円増し　◆チケット発売/10月28日（日）　◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス　◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

《ヘビー級王者決定戦》
髙橋義生 vs 藤井克久
（パンクラス・東京）（V-CROSS）

topic!　マルセロ・タイガーが永久追放に！

10月5日に、9.30横浜文化体育館大会の第7試合、髙橋義生vsマルセロ・タイガー戦のマルセロ・タイガーのサミング攻撃の裁定についての会見が行われた。尾崎社長、廣戸審判部長が出席し、マルセロ・タイガーのパンクラス永久追放が発表された。

▲問題とされているマルセロのサンミング攻撃の場面

廣戸審判部長見解
「マルセロ・タイガー選手は、偶然眼に指が入った、一種のアクシデントであるとコメントを出したようですが、客観的に判断して、信憑性は薄いと思われます」

尾崎社長見解
「パンクラスとして、マルセロ・タイガーのサミングによる反則行為は意図的であるという結論に達しました。マルセロ・タイガーは永久追放という措置になると思います。本人は文書で抗議を出すと言っていますので、異議申立ては受けるつもりですが、現時点では出場凍結とします。髙橋義生の病状に関しては、病名は眼球打撲と眼球内の内出血です」

リングス

WORLD TITLE SERIES
12月21日（金）　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆入場料/RRS席20,000円　アリーナRS席15,000円　RS席10,000円　SS席7,000円　スタンドS席7,000円　スタンドA席5,000円　スタンドB席3,000円　学生特別優待席A席2,000円　学生特別優待B席1,000円　※学生特別優待席はチケットぴあのみで販売。なお、購入できるのは高校生以下。購入の際、学生証の提示が必要　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、レッスル渋谷、レッスル池袋、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、格闘技プロショップ・イサミ☎03-3352-4083、イサミ尚武堂☎03-5214-6487　◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/リングス☎03-3461-0257

キングダム・エルガイツ

THE ROAD "bankrupt or yoyogi" 第10戦
11月21日（水）　東京・後楽園ホール

◆開場/18:00　試合開始/18:30　◆入場料/SRS-Ⅰ席20,000円　SRS-Ⅱ席15,000円　RS席12,000円　アリーナ席7,000円　指定A席4,500円　指定B席3,500円　キングダム応援席4,000円（100席限定）　※当日券は指定A、B席共に500円増し
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、チャンピオン、新宿ファイター、きんとき中央林間店、ザ・スクエア鍼灸接骨院、総合格闘技道場U.W.F
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/キングダム・エルガイツ☎042-331-2797

出場予定選手

入江秀忠（キングダム・エルガイツ）
今成正和（キングダム・エルガイツ）
稲野岳（キングダム・エルガイツ）
龍ヶ崎五郎（キングダム・エルガイツ）
石井淳（超人クラブ）
町田生五月（烏合会）
藤原喜明（藤原組）

キックボクシング

新日本キックボクシング協会

ROAD TO MUAY THAI 2001
10月28日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　A席指定7,000円　B席指定5,000円　立見4,000円（当日のみ）◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/伊原道場、協会各ジム、チケットぴあ、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3461-4258

主な対戦カード

深津飛成（伊原ジム） vs センサック・シンマナサック（タイ）
菊地剛介（伊原ジム） vs サックニラン・サックテーワン（タイ）
石井宏樹（藤本ジム） vs ティティマー・ギャットプラサンチャイ（タイ）
小出智（治政館） vs トゥンソンノーイ・シンボンローハー（タイ）
米田克盛（トーエルジム） vs ソンコム・ギャットヌクン（タイ）
松本哉朗（藤本ジム） vs メッケンナー・ソーキングスター（タイ）
庵谷鷹志（伊原ジム） vs 賴信（トーエルジム）

KICK GENERATION
11月22日（木）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/SRS席10,000円　RS席7,000円　A席5,000円　立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/協会各ジム、チケットぴあ、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/新日本キックボクシング協会☎03-3780-1350

主な対戦カード

マサル（トーエルジム） vs ムァンファーレック・ギャットウィチアン（タイ）
北沢勝（藤本ジム） vs ホカトモヒロ（治政館）
鷹山真吾（尚武会） vs 高杉茂男（伊原ジム）
風神和昌（野本ジム） vs 葵真吾（トーエルジム）

日本キックボクシング連盟

後楽園ホール大会
12月2日（日）　東京・後楽園ホール

◆詳細未定　◆日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

〈NBK統一トーナメント〉
楠本勝也（東京北星ジム） vs 神谷秀明（ピコイ・錦）
小野瀬邦英（渡辺） vs 中村篤史（北流会君津）
広川靖之（小国ジム） vs 石毛慎也（東京北星）
原田忠典（闘真ジム） vs 山根浩司（八王子FSG）
宮本勲（大和ジム） vs 小野寺亮（神武館）

全日本キックボクシング連盟

新たなカリスマ、小林聡出場！

9月に現役ラジャダムナン王者をKOした小林聡の出場が決定した。11.30の後楽園ホール大会では、ヨーロッパの強豪を迎え撃つ。持ち味の"倒すか、倒されるか"のファイトスタイルにハズレなし！

LIGHT ON！
11月30日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見3,500円　※当日券は1,000円増し　◆チケット発売/10月27日（土）
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック、Bout Review（http://www.boutreview.com）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

小林聡（藤原ジム） vs ヨーロッパ強豪選手
金沢久幸（TEAM-1） vs タイ強豪選手
野地竜太（極真会館） vs X
〈全日本ライト級王座決定戦トーナメント1回戦〉
浜川憲一（作真会館） vs SHI-LOW（士心館）
松本竜大（名古屋JKF） vs 大月敦史（藤原ジム）
〈LIGHTNING全日本ライト級トーナメント決勝戦〉
藤牧孝仁（はまっこムエタイジム） vs ラスカル・タカ（月心会）

BULLET
12月9日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見3,500円　※当日券は1,000円増し　◆チケット発売/10月27日（土）
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック、Bout Review（http://www.boutreview.com）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

新田明臣（S.V.G） vs X

MA日本キックボクシング連盟

ADVANCE-4
11月3日（土・祝）　千葉・袖ヶ浦市臨海スポーツセンター

◆開場/16:00　試合開始/16:30　◆入場料/SRS席15,000円　RS-A席12,000円　RS-B席10,000円　指定席A7,000円　指定席B5,000円　2階A席3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、他　◆会場アクセス/JR内房線長浦駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/花澤ジム☎0438-62-7967

主な対戦カード

山上健吾（花澤ジム） vs 井手本高司（八街ジム）
花戸忍（東金ジム） vs 天野哲成（マイウェイ）
菅原誠二（花澤ジム） vs 阿倍乃康彦（東金ジム）
中西陽介（山木ジム） vs 加瀬大策（八街ジム）
寺口一也（花澤ジム） vs X
福原啓太（花澤ジム） vs 藤田啓一（土浦ジム）
美根トシフミ（花澤ジム） vs X
白須康仁（花澤ジム） vs 滝沢尚也（マイウェイ）
三幣一裕（館山花澤ジム） vs 東金ケンジ（東金ジム）

MAX-MA
11月9日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見席3,000円（当日のみ）◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/MAキックボクシング連盟☎03-3485-7063

主な対戦カード

《フライ級タイトルマッチ》
森岡卓司（武勇会） vs 辻直樹（山木ジム）
《バンタム級王座決定戦》
田中信一（山木ジム） vs アトム山田（武勇会）
カズ工藤（土・新座） vs ハンニバル鈴木（山木ジム）
巌流小次郎（東金ジム） vs 荻野兼（ビクトリージム）
木村充（土浦ジム） vs 泉雄策（山木ジム）

Result!
2001激動シリーズ
10.13★東京・後楽園ホール

★第10試合
○石毛慎也〈東京北星ジム〉（判定2-0）瀬尾尚弘●〈JK国際〉
★第9試合
○中村篤史〈北流会君津ジム〉（判定2-0）三苫純次●〈福岡リアル・ディール〉
★第8試合
○広川靖之〈小国ジム〉（判定2-0）篠原一仁●〈杉並ジム〉
★第7試合
○松本浩幸〈八王子FSG〉（3R1分34秒、KO勝ち）清水力一●〈小国ジム〉
★第6試合
○神谷秀明〈ピコイ・錦ジム〉（3R2分45秒、KO勝ち）難波博志●〈截空道〉
★第5試合
○TURBO〈パシフィック〉（判定2-0）児玉正暁●〈ピコイ・錦〉
★第4試合
○平吹貴仁〈町田金子ジム〉（判定2-0）中岡秀夫●〈大阪真門ジム〉
★第3試合
○武笠則康〈渡辺ジム〉（1R0分32秒、KO勝ち）柿沼善行●〈誠ジム〉
★第2試合
○SINGO〈村越ジム〉（判定3-0）大沢健幸●〈みなみジム〉
★第1試合
○中島和希〈大阪横山ジム〉（2R2分47秒、KO勝ち）道中克明●〈千葉ジム〉

空手

極真会館（松井派）

第33回全日本空手道選手権大会
11月3日（土・祝）、11月4日（日）　東京体育館

◆開場/10:00　開会式/11:00（11月4日は11:30）◆入場料SS席35,000円（前売りのみ、2日間通し券、パンフレット・大会記念品付き）　S席8,000円　A席6,000円　B席3,000円　※当日券は1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/極真会館、極真会館テレフォンサービス☎03-5992-7739、チケットぴあ、ローソンチケット　◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分　◆お問い合わせ/極真会館☎03-5992-9200

第14回全関西空手道選手権大会
12月2日（日）　兵庫・神戸ワールド記念ホール

◆開場/9:00　試合開始/10:30　◆入場料/S席4,000円（当日5,000円）　大人自由席2,000円（当日3,000円）　小・中学生1,000円（当日1,500円）、幼児無料　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、極真会館兵庫県・大阪南支部各道場、兵庫県・大阪南支部事務局　◆会場アクセス/JR三宮駅からポートライナーで市民広場駅下車　◆お問い合わせ/中村道場☎078-531-0664

大道塾

北斗旗　第1回世界空道選手権大会
11月17日（土）東京・国立代々木競技場第二体育館

◆開場/9:00　試合開始/10:00　◆入場料/SS席12,000円（当日15,000円）S席8,000円（当日10,000円）　A席3,500円（当日4,500円）　A席（中学生）1,500円（当日2,500円）◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、大道塾公式ホームページ（http://www.daidojuku.com）◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

新空手

第64回新空手道交流大会
11月11日（日）　東京武道館・第一武道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/500円（大会パンフレット付）
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

第2回新空手道京都大会
11月23日（金・祝）　京都・岡崎武道センター　旧武徳殿

◆試合開始/12:00
◆入場料/500円（大会パンフレット付）
◆会場アクセス/京阪丸太町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

士道館

第21回士道館杯争奪ストロング オープントーナメント全日本空手道選手権大会
11月4日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/9:30　試合開始/10:00　◆入場料/特別席5,000円　自由席3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、チャンピオン、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/士道館総本部☎042-942-3721

キックボクシング

ニュージャパンキックボクシング連盟

後楽園ホール大会
11月2日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:15　試合開始/17:45　◆入場料/SRS席10,000円　RS席8,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円　指定D席2,000円　立見2,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟　☎03-5625-2371

主な対戦カード

チョンポップ・ギアットボルティップ（タイ） vs 押川童子丸（キングジム）
弘中史樹（ウィラサクレックジム） vs 藤原国崇（拳之会）
飯田誠一（町田金子ジム） vs 宮本勲（大和ジム）

〈NBK統一トーナメント予選〉
佐藤友則（小国ジム） vs HIDE（八王子FSG）
孫悟空丸山（小国ジム） vs 外山繁幸（上州松井ジム）
馳大輔（JK国際） vs 岩井伸洋（小国ジム）
増倉敦史（一心館） vs 獅子丸修平（小国ジム）

北道院拳法

第7回全日本大学オープン選手権大会
11月23日（金・祝）　大阪・豊中立武道館ひびき

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/阪急宝塚線服部駅より徒歩12分
◆お問い合わせ/北道院拳法大会本部事務局☎06-6333-7004

アマチュアKoK

第2回KoKリミテッド
11月25日（日）　東京・新宿区スポーツ会館4階総合体育館

◆詳細未定　◆会場アクセス/JR中央線・総武線大久保駅より徒歩5分、JR山手線新大久保駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/リングス☎03-3461-0257

アマチュアシュートボクシング

第12回全日本アマチュアシュートボクシング選手権
12月9日（日）　東京・文京スポーツセンター

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/営団地下鉄丸ノ内駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

Result!

CHALLENGE TO MUAY THAI 10
10.8★東京・Cassスポーツクラブ

★第16試合
○木浪シャーク利幸（2R2分37秒、KO勝ち）堀江孝幸●
（小国ジム）（千葉ジム）

★第15試合
○AVISO1（判定3-0）名乗り啓司●
（小国ジム）（千葉ジム）

★第14試合
○渡辺秀策（判定2-0）滝口浩太郎●
（小国ジム）（一心館）

★第13試合
○山本雅美（判定3-0）近藤彰●
（北流会君津）（小国ジム）

★第12試合
△目黒勇気（ドロー）キャリー宇佐美△
（小国ジム）（東京北星）

★第11試合
△太田英夫（ドロー）大樹△
（ウィラサクレックジム）（小国ジム）

★第10試合
○米田貴志（2R0分33秒、KO勝ち）金子光一●
（小国ジム）（八王子FSG）

★第9試合
○北原孝志（1R1分27秒、KO勝ち）櫻井伴保●
（小国ジム）（ウィラサクレックジム）

★第8試合
○赤羽秀一（判定3-0）岩渕正幸●
（ウィラサクレックジム）（小国ジム）

★第7試合
○金井秀行（判定3-0）千島克彦●
（小国ジム）（東京北星）

★第6試合
○堀口聡（判定3-0）森国広●
（町田金子ジム）（健心塾）

★第5試合
○石黒竜也（不戦勝）加藤健●
（東京北星）（小国ジム）

★第4試合
○佐々木達也（判定3-0）丸山寛文●
（小国ジム）（健心塾）

★第3試合
△深沢英男（ドロー）松田徹△
（小国ジム）（PITジム）

★第2試合
○佐々木靖卓（2R1分19秒、KO勝ち）膽畑旭●
（小国ジム）（岩瀬）

★第1試合
○中須賀芳徳（判定3-0）大坪弘和●
（小国ジム）（PITジム）

アマチュア

アマ修斗

函館フリーファイト&B.J.J.JAM2
10月28日（日）　北海道・函館大学体育館

◆開場/10:00　試合開始/11:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/JR函館駅から市電に乗車、終点「湯川」下車、徒歩20分。またはJR函館駅から市バス「香雪園行」に乗車、「函館大学前」下車　◆お問い合わせ/パレストラ函館☎0138-31-0024　パレストラ東京☎03-5984-3209

日本拳法

第13回日本拳法大演武会
11月23日（金・祝）　東京・立川市錬成館柔・剣道場

◆開場/13:00　試合開始/13:30　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR中央線立川駅南口より徒歩7分（諏訪神社内）
◆お問い合わせ/世界日本拳法連合総本部講武会館
☎0903-5496-464

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999
チケットセゾン ☎03-3250-9999
ローソンチケット ☎03-3569-9900
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
オデッセー ☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513
レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
チャンピオン ☎03-3221-6237
書泉ブックマート ☎03-3294-0011
後楽園ホール ☎03-5800-9999

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

《7・12　49号》

●スペシャルインタビュー/石井和義インタビュー
●『プライド15』直前情報/吉田秀彦vs大山峻護、スペシャル対談、柏崎克彦、ヘンゾ・グレイシーインタビュー、すべては敬愛するエリオのために
●山本憲尚インタビュー、恒例！　猪木成田会見
●大会詳報/6・24K-1ジャパン仙台大会、6・16K-1ワールドGPメルボルン大会
●SRS・DXの注目！/6・14ZERO-ONE『真撃』大阪城ホール大会、鈴木みのるインタビュー、藤田和之inタイランド、堀辺正史師範がズバッと斬る！（後編）
●極真世界ウェイト制大会徹底検証/ロシア旋風を徹底検証、数見肇インタビュー

《7・26　50号》

●話題騒然！　「猪木軍団vsK-1 全面対抗戦」の行方/アントニオ猪木、藤田和之インタビュー
●主役は誰だ！　7・29『プライド15』さいたまアリーナ大会/注目！　『プライド15』の最新カード、桜庭和志、ハイアン・グレイシー、DSE森下直人社長、佐竹雅昭インタビュー
●8・19K-1アンディ・メモリアルで何かが起こる！/ニコラス・ペタス、武蔵インタビュー、コラム◎石井館長に猪木イズムあり！
●SRS・DXの注目！/松井章圭館長、レミー・ボンヤスキーインタビュー
●7・1UFC32詳報！/はせキョーの初体験！　UFC観戦記、近藤有己、渋谷修身インタビュー
●大会レポート/6・26パンクラス後楽園大会、7・6修斗後楽園大会

《8・9＆8・23　合併号　51号》

●猪木軍団vsK-1全面対抗戦/バンナ、石井館長インタビュー、コールマン＆グッドリッジ対談
●7・29『プライド15』最終情報！/アントニオ・ノゲイラインタビュー、大山峻護奮闘日記
●祝・リングス取材解禁！/前田日明と久々の再会、金原弘光が8・11有明大会をズバリ分析、前田日明主催・マスコミ懇親会
●大会速報/7・20K-1ワールドGP2001名古屋大会
●噂の三面記事　特大版/猪木成田会見、『プライド15』全カード決定、K-1ラスベガス大会情報、リングス有明大会情報、『DEEP2001』全カード決定、大道塾世界大会開催
●8・19K-1ジャパンGP決勝戦/中迫剛、ノブ・ハヤシ、大石亨インタビュー

《9・13　臨時増刊号　52号》

●大会速報/7・29『プライド15』　さいたまスーパーアリーナ大会
●K-1vs猪木軍団続報/どうなる！？　8・19K-1ジャパン、ミルコ・クロコップインタビュー
●SRS・DXの注目！/前田日明主催、マスコミ懇親会（後編）、極真、真夏の他流試合3連戦、東孝インタビュー、『プライド』＆UFC、ラスベガス大会実現へGO！
●8・11K-1ラスベガス大会最終情報/ピーター・アーツ、内田ノボルインタビュー
●大会レポート/7・22全日本キック後楽園ホール大会、7・26SMACK GIRLclubATOM大会、7・28新日本キック後楽園ホール大会、7・29パンクラス後楽園ホール大会
●大盛況！　グレート・アントニオ津田沼店

《9・13　53号》

●大会速報/8・19K-1 ANDY MEMORIAL 2001たまアリ大会、ジェロム・レ・バンナ、マイク・ベルナルドインタビュー、8・18『DEEP2001』横浜文体大会
●大会詳報/8・11K-1ワールドGPラスベガス大会、8・11リングス旗揚げ10周年記念有明大会
●SRS・DXの注目！/堀辺正史の『プライド15』総括インタビュー、ミルコ・クロコップ、わずか2週間でバーリ・トゥーダーに大変身！？　髙田延彦＆桜庭和志in沖縄
●グレート・アントニオ夏の陣　イベント速報/8・5破壊王トークショー、8・11浅草キッド、Tシャツ即売会
●大会レポート/8・10全日本キック後楽園ホール大会、8・4『キング・オブ・ザ・ケイジ10』
●巻頭座談会/『プライド』の「メジャー化」で失われていくものとは何か？

《9・27＆10・11　合併号　54号》

●徹底追跡！　猪木軍vsK-1軍、開戦の波紋/アントニオ猪木、石井館長インタビュー、堀辺正史「猪木軍vsK-1軍の意義とは？」、サム・グレコ、グッドリッジインタビュー
●『プライド16』直前情報/『プライド』に来襲する他団体の王者をキャッチ、ドン・フライ、セーム・シュルト、ヒカルド・アローナインタビュー、ホイスが「ノゲイラvsコールマン戦」を徹底検証、『プライド16』最新カード
●リングス新展開！/ヴォルク・アターエフ、レナード・ババル、伊藤博之インタビュー
●SRS・DXの注目/10・14バトラーツ大会情報、橋本真也vsサダハルンバ谷川
●大会レポート/9・2正道会館全日本大会、8・25パンクラス大阪大会ほか

《10・25　臨時増刊号　55号》

●徹底追跡＆詳報！/12・31『INOKI BON-BA-YE 2001』TBSで放送決定、11・3『プライド17』で髙田vsミルコ戦実現へ。髙田インタビュー「なぜ小川戦をやめてミルコと闘うのか？」
●大会速報！/9・24『プライド16』大阪城ホール大会、9・21リングス後楽園ホール大会
●噂の三面記事/K-1、TBSに進出！　来年2月に「K-1ミドルGP」開催、極真会館プロ参入へ「Kネットワーク」旗揚げへ！　ほか
●SRS・DXの注目/松井章圭館長、桜庭和志、魔裟斗＆小比類巻、緒形健一インタビュー
●10・8K-1福岡大会直前インタビュー/フランシスコ・フィリォ
●大会レポート/9・7〜15KICKダイジェスト、9・16新日本キック・ディファ有明大会

《10・25　56号》

●徹底追跡！「猪木軍vsK-1」から「プロレスvsK-1」へ/ミルコ、石井館長インタビュー、K-1ファイター意識調査「総合挑戦は是か、非か？」、アーツ、ベルナルド、バンナ、セフォー、アビディインタビュー、佐竹＆藤田が髙田延彦の強さを語る
●21世紀最初のオールスター戦『プライド17』特集/アントニオ・ノゲイラ、ヴァンダレイ・シウバ、ヒース・ヒーリングインタビュー、桜庭和志VS小室哲哉対談
●大会詳報/9・30パンクラス横浜文体大会、9・28『UFC33』ラスベガス大会
●SRS・DXの注目/山崎進、滑川康仁インタビュー、アントニオ猪木inパラオ
●大会レポート/9・23極真アメリカズ・カップ2001、9・29キング・オブ・ザ・ケイジ11ほか

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝100円、以下一冊増えることに50円増し。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1〜2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

速報！

NEXT ISSUE
次号予告

11・3 東京ドーム大会 PRIDE.17

21世紀最初のオールスター戦、すべて見せます！
果たして、桜庭vsシウバ、髙田vsミルコの結末は……？

11・3〜4 極真カラテ 全日本選手権

数見欠場の戦国大会を制すのは誰だ！？

どうなる！？
12・31
『猪木軍vsK-1』
気になる新情報 続々！

読めば間違いなく、決勝戦の面白さアップ
決戦の日まで残すところ1カ月。カウントダウン企画

12・8 K-1 WORLD GP 2001決勝戦

SRS・DX
Special Ring Side
スペシャル・リング・サイド

11/8（木）発売

毎月第2・第4木曜日発売
2001年11月22日号 No.58
定価680円（税込）

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
最新URLはこちら↓
http://www.asakusakid.com

K－1VS新日ドーム、10・8興行戦争 キッドのジャッジメントは!?

博士 10・8は新日本プロレスの東京ドーム大会とK－1福岡大会の興行戦争だった。視聴率の結果はK－1の勝利！

玉袋 新日本プロレスは追放中の小川乱入のシーンがトップですよ。皮肉なもんですな～。

博士 かき回すだけかき回したオ～ちゃんの逃げ足の速さは最高！

玉袋 原新監督が代走要員としてスカウトしたそうです。

博士 しないよ！　しかし、何が驚いたって、新日本プロレスの裏番組のK－1の会場に猪木様がいたってことだ。あんなことあっていいのか？

玉袋 これは解説しますと、息子・いしだ壱成容疑者の大事な初公判の日に、父親・石田純一が長谷川理恵と海外旅行に行っちゃうようなもんですよ。

博士 どんな解説なんだよ！

玉袋 もっと言えば、高橋尚子がシドニー五輪で金メダル激走中に、田代マーシーが……。

博士 だからもうマーシーは忘れといてやれっての！　猪木様、大胆にも今大会でブレイクしたマーク・ハントに触手を動かした。

玉袋 ハントをさっそくハントしちゃいまして、ンムフフフ。

博士 猪木様レベルのダジャレになってるだろ！　猪木様は新日本プロレスの本放送、テレビ朝日の番組構成を糞味噌！

玉袋 他局より遅い朝5時半の放送開始は遅すぎる、徹子の部屋はもういらない、などとバッサリ。

博士 なんでテレ朝の編成にまで口出すんだよ！

玉袋 だから坂口会長の息子、坂口憲二よりも自分の娘、猪木寛子を入れろ！　ってことですよ！

博士 そんなことで怒ってないよ！　でも乙葉を見てやっぱりイライラしたかもしれない。

玉袋 林家三平師匠の娘にもかかわらずそこまで言わなくても。

博士 三平師匠の娘は乙葉じゃなくて泰葉だよ！

玉袋 テレビ朝日との契約が来年まで。来年は撤退してフジテレビに行くから、「俺も後を追う、前田日明先に行ってくれ」状態か？

博士 UWF騒動じゃないんだよ！

玉袋 いったいどこのチャンネルに行くんだろうか？

博士 テレビ東京がポケモンマネーで新日本プロレス買っちゃえばいいんだよ！

玉袋 でもテレ東はテレ朝から新日を引き抜かないで、「男はつらいよ全48作」を引き抜いてました。

博士 ほっとけよ！

玉袋 じゃあいっそ新日は日テレもあり得ますし、パラダイスチャンネルってこともある。

博士 ないよ！　なんでアダルト専門放送局が新日本プロレス買うんだよ！

玉袋 だけど「そもそもテレビ朝日はウチ（新日）の大株主だよ。どうやって関係切るの？」。

博士 って、猪木様がせっかく揚げたアドバルーンにマジレスしてどうするんですかぁ、藤波社長ぉぉぉ!!!　で、結局佐々木健介は頭を坊主にしただけだった。

玉袋 ストロング小林からストロング金剛に変わった程度のイメージチェンジだったんですね。

博士 イメージだけじゃなく根本的にチェンジしてほしい。ぜひとも引きこもらないで『プライド』に出場してくれ！

玉袋 そうじゃないと奥さんの佐々木久子のほうが先に出場しそうですよ！

博士 出るわけないだろ！　蝶野が連れて来たという触れ込みの巨人2人も爆笑だった。

玉袋 ラジャ・ライオンとエル・ヒガンテですね？

博士 違うよ！　ジャイアント・シルバ&ジャイアント・シンだよ！

玉袋 特に初登場のジャイアント・シンのほうが良かったですね。ボディスラムしたらすぐポージングのあの加減が最高でした。あのサウスタワーとノースタワーを仕掛けて破壊するような気概を持つ選手がほしいよね。

博士 平成の前田VSアンドレ・ザ・ジャイアントをいつでもやるチャンスがあるよ！

玉袋 でも、「洋服の青山」のCMに出ていた巨人のほうがでかくて、インパクトありましたよ。

博士 あれも意地悪なCMだよな。

玉袋 それだけじゃないですよ。ファンの間では「新日本プロレスの試合よりも、スクウェアから発売されるプロレスゲームのオールスタープロレスリング2のCMの武藤VS三沢が一番面白かった」って声もあるぐらいですよ！

博士 我らが新日本プロレスがCMに負けるなよ！　話変わって『プライド17』は高田延彦VSクロコップだ！

玉袋 強敵ですよ！　また高田選手は背負って闘うことになるとは……。

博士 しかし橋本真也は「ミルコは藤田の獲物、人の獲物を取ってはいけない」と言ってた。

玉袋 これは解説しますと、NHK有働アナの獲物であった石井琢郎を、元フジの荒瀬アナが取ってしまったようなもんです。

博士 だからいちいち芸能界サイズに引き戻して解説するな！　でも、弱肉強食、やったもん勝ちの世界だから、順序だとか言ってる場合じゃないよ。

玉袋 そして桜庭和志VSヴァンダレイ・シウバですよ！

博士 シウバのブラジルの生活をSRSで見たけど、彼は試合の態度とは別人で凄いナイスガイだった。

玉袋 妹が大金星でしたよ！

博士 グッドリッジの妹と妹対決だ！

玉袋 実家で親父がバーやってるんですよ！　店名もズバリ「ヴァンダレイ・シウバー」

博士 ウソつけ！　またダジャレが猪木様レベルになってるよ！　とにかく、世界注目の再戦だよ！

玉袋 『プライド17』は新日本プロレスの小原道由がいよいよ参戦ですよ！

博士 彼の風貌は、俺のソックリさんだから、頑張ってほしいよ。

玉袋 スポーツ会館で本格的にトレーニングしてるそうだから、相当気合い入ってますよ。

博士 相手はヘンゾだけど、とにかく、一言。またもプロレスラーが食い物にされないことを祈る。

玉袋 アニマル浜口ジム代表だ！　「気合いだー！　燃えろー！」 ■

K−1で初めて見せた“顔面”受けの美学！

「新・破壊王」マーク・ハント 100発殴られても、ケロリ！

見る物のド胆を抜いた、セフォーとハントのノーガードの打ち合い。セフォーは勝ったにもかかわらず、眼窩底骨折で決勝戦に出場できなくなってしまった

◀ハントはセフォーに代わって出場した決勝戦で、勝利をもぎ取り東京ドームへのキップを手に入れた

撮影◎真崎貴夫

こんな人間が地上に存在するなんて…… この男、象が踏んでも壊れない？

とにかく、一撃一撃が凄まじい威力を持つハントのパンチ。よく、セフォーもこんな男と打ち合ったものだ

★第5試合（K－1ワールドGP2001in福岡敗者復活戦Bブロック1回戦・3分3R、K－1ルール）
○レイ・セフォー（3R判定3-0）マーク・ハント●
※30－29、30－29、30－28

K—1は他の格闘技と比べて決定的な違いがある。それは〝攻防〟というものが、生まれにくい世界だということだ。

『プライド』のような総合格闘技、キックやボクシング、そして極真のような空手の試合には、必ず攻防というものがある。なぜ熟練した格闘家同士に、そのような攻防が生まれるかというと、〝我慢〟が成り立つ世界だからだ。

攻防には、ある程度肉体が耐えうる〝我慢〟の世界が必要である。ところがK—1の場合、100キロ以上の人間が、我慢のできない絶対急所である顔面を攻め合う。だから、K—1は我慢が成り立たない代わりに、KOという爽快感を売りに人気を集めることに成功したのだ。

K—1の中でプロレスができないというのは、我慢による受けの美学が見せられないからだ。K—1を見るとスカッとするが、記憶に残りにくいのは、そんな特徴があるからだろう。

ところが、そんな常識を打ち破る男が出た。まさかこんな人間が地上に存在するなんて、長らく格闘技を見ていても、予想もつかないことだった。

その男は、今回の敗者復活戦にリザーバーとして、すべり込みで参加してきたマーク・ハント。昨年、ジェロム・レ・バンナに唯一、KO負けしなかった男である。

たしかに打たれ強さは天下一品。しかし、今回の福岡大会では、その〝打たれ強い〟なんて言葉を遥かに逸脱して、思わず子供の頃に見た「象が踏んでも壊れない」アーム筆入れのCMを思い出すほど

何発殴っても倒れない……
ワットも3発のパンチでKO!

▲負傷欠場のセフォーに代わってハントは決勝戦に出場。この試合でも、ハントはワットのパンチをしこたま受けたにも関わらず、たった3発のパンチで勝ってしまった。ワットは、試合後「1回戦のようなフットワークができなかったのが敗因」と語っていた

★第8試合（K－1ワールドGP2001in福岡敗者復活戦Bブロック決勝戦・3分3R、K－1ルール）
○マーク・ハント（3R1分38秒、TKO勝ち）アダム・ワット●
※3R、ワットの額からの出血がひどいため、ドクターストップ。ワットは、2Rに右フックによりダウン1、同じく右フックによりダウン2、3Rにパンチでダウン有り

敗者復活Bブロック

マイク・ベルナルド（南アフリカ）
アダム・ワット（オーストラリア）
レイ・セフォー（ニュージーランド）
マーク・ハント（ニュージーランド）

ハントのコメント

「タフなのは、人種的に代々受け継がれてきたものだよ。理屈抜きでリングに上がって闘おうという気持ちだった。レイは尊敬すべき選手だ。（笑っていたのは？）レイにお前のパンチじゃ倒れないぞという意思表示をしたんだ。
（リングで倒れた経験は？）車に轢かれた経験はあるよ（笑）。いつかは東京ドームに行きたいと思っていたので、夢がかなったよ」

セフォーのコメント

「（決勝に出られなかったのは？）右目の視点が合わなくなってしまったんだ。自分としてはやるつもりだったんだけど。ハントとはプライドを賭けた殴り合いをした。同じ国の出身同士で、いい試合ができたと思うよ。同じポリネシア出身の血を賭けたタフな試合だったよ。ノーガードの殴り合いは後悔していない。こういうことを経験して、一回りも二回りも強くなりたい」

▲ボクシングテクニックで上回るセフォーは、何発もハントにパンチをクリーンヒットさせていたのだが……

▶ノーガードで打ち合っている最中、セフォーはハントのほっぺにチュッ!

あれだけ打ち合った後なのに、ケロッとしているハント。この後、まさか決勝戦に出ようとは

まさに土壇場の救世主!
ハントの登場で東京ドームのチケット、ナント3万枚売れる

の強烈なインパクトがあった。

1回戦の相手は、本場米国ヘビー級ボクシング界でも立派に通用するハードパンチャーのレイ・セフォー。ところが、バンナをも一撃で倒したセフォーのブーメランフックを何十発も食らいながらも、ハントはビクともしない。それどころか、殴り合っているうちに、ニヤリと笑いながら自らノーガードとなり、最も有り得ない〝顔面〟を突き出して、受けの美学を見せるではないか。

それに対して、セフォーも男の中の男。ハントのこの挑発に、東京ドームの決勝大会を忘れるかのようにノーガードになり、20キロも重いハントと打ち合う。こんな壮絶な殴り合いを見るのは、矢吹丈VSカーロス・リベラを見て以来。そして、2人は殴り合っているうちに、遂にキスまで交わし始めた。こんな境地ってあるんだろうか。それにしても、K―1でプロとしてこんな芸が見せられる人間が存在するなんて、驚くばかりだ。

壮絶な殴り合いは、手数と的確さでセフォーが圧勝した。しかし、壊れたのもセフォー。100発近くのパンチを顔面で受けてケロリとしていたハントは、そのまま決勝戦でもアダム・ワットに殴られ続け、たった3発ほどのパンチで反撃してワットを破壊。なんと誰も予想しなかった優勝を決めた。

この常識破りの「新・破壊王」の登場に、福岡の話題は完全に独占された。それどころか、1週間後の東京ドームのチケット一斉発売では、3万枚が売れたという。K―1に、土壇場となってハントという救世主が現れた。（谷川）

敗者復活戦最大の大番狂わせ！

過信ベルにまたも「神の裁き」

▶1R中盤、ワットの左フックがベルナルドにヒット！ やる気満々で福岡に乗り込んできたワットの勢いが、そのまま試合にも出た

▶だらしなく、大の字に伸びてしまうベルナルド。ここからなんとか起き上がったのだが……

決勝戦でのベルvsフィリォ ベルvsバンナのリベンジ消える……

▶ワットの右ストレートで、ベルナルドは呆気なくKO負け。今年も決勝トーナメントには出場できなかった

★第4試合（K−1ワールドGP2001in福岡敗者復活戦Bブロック1回戦・3分3R、K−1ルール）

○アダム・ワット（1R2分27秒、KO勝ち）マイク・ベルナルド●

〈オーストラリア／ショアボクシングジム〉 〈南アフリカ／スティーブズジム〉

※ベルナルドは1Rにワットの左フックでダウン1、右ストレートでダウン2有り

寂しそうな顔で引き上げるベルナルド。もう、神はベルナルドに味方しないのか……

実は今年のK—1決勝大会に、一番必要だったのは、マイク・ベルナルドだった。なんと言っても、今年のK—1はベルVSバンナの「幻のKO劇」からドラマが始まっている。その決着戦は当然、東京ドームで見たい。

また、フィリォも「KO負けしているバンナとベルにはリベンジしたい」と語っていたし、ベルVS王者ホーストの過去の対決は、K—1史上に残る名勝負だった。ニコラス、イグナショフ、レコらとも闘ってないため、ベルがらみのカードは新鮮なものばかりだ。

だから、新世代の台頭著しい今年のK—1の中でも、敗者復活戦ではフィリォとベルに勝ち残ってもらいたいと思った者が多かっただろう。まして、組み合わせを見ても、セフォーとハントは必ず潰し合いをする。もともとクルーザー級のアダム・ワットと1回戦で闘うベルは、ラクに優勝するのではないかと思われていた。

ところが……。その楽勝ベルがワットにまさかの1RKO負け。その時、リングサイドにいたバンナやホーストが声を上げて驚くほどの番狂わせが起こった。K—1というのは、つくづく筋書きのないドラマが待っている格闘技だ。

早くからK—1王者を期待されながら、ベルはこれで3年連続ベスト8入りを逃している。特に今回の負けは、過信としか思えないどーしようもない負け方だった。今度ばかりはだらしなく見えたベル。K—1のレベルは年々上がっている。いったい、どうするんだ。こうなったら、本当に猪木軍と闘って頭を冷やせ！

（T）

まだまだこんなもんじゃない!

フィリオと数見は、あの世界大会で“燃えつき症候群”に陥ってしまったのか?

それでも断言できる！ ロイドとマットを止められたのは、敗者復活戦ではフィリオだけだった

ロイドの突進を止めたフィリオの前蹴り。この日のフィリオは蹴りよりもパンチのコンビネーションを重視していた

★第7試合（K-1ワールドGP2001in福岡敗者復活戦Aブロック決勝戦・3分3R、K-1ルール）

○フランシスコ・フィリォ（延長判定2―0）ロイド・ヴァン・ダム●

<ブラジル／極真会館>　<オランダ／ドージョー・チャクリキ>

※10-9、10-10、10-9。本戦は1-0。29-29、30-29（ロイド）、29-29。2、3Rにロイドにローブローにより注意1あり。

敗者復活戦のトーナメント表を見る限り、地味だけどキツイのは、明らかにフィリォのいるAブロックだ。僕は正直、マットやロイドは、ベルナルドやセフォーでは止められないと思っている。この2人を本当に止められるのは、K—1の中でもアーツとホースト、そしてフィリォだけだろう。

かくして、フィリォはそんな期待に応えて、決勝戦でロイドを止めて見せた。ロイドの武器はなんと言っても殺人ローキック。しかし、極真の選手が顔面パンチではなく、ローキックで倒れたとしたら天下の一大事。フィリォはそんなプレッシャーのもと、「ローキックには前蹴り」という定石どおりに、ロイドの前進を止め、最後は見事なコンビネーションを駆使して判定勝ちを収めた。フィリォの決勝進出は、ホッと一安心といったところだ。

それにしても、ロイドの殺人ローキックは凄い！　あのフィリォが明らかに体を持っていかれるシーンが何度も目についた。極真の世界大会に出て、ロイドがどこまでやれるか見てみたいものだ。ロイドはある意味、極真ファイターよりも、極真らしい闘いをK—1で体現して強さを発揮する男。

しかし、そんな極真対決に世界王者のフィリォが負けるわけにはいかない。ロイドに負けることは、バンナやベルナルドといったボクサーに負けるよりマイナスのダメージを極真に与えることになる。

その意味で、フィリォの勝利はまたもK—1での実績作りとなった。ただし、僕はあえて言おう。〝フィリォはこんなもんじゃない

んだ〟と。

アルゼ
K-1 WORLD GP 2001
〜敗者復活トーナメント〜
in福岡
10.8★マリンメッセ福岡

敗者復活戦Aブロック

フランシスコ・フィリォ（ブラジル）
セルゲイ・イバノビッチ（ベラルーシ）
マット・スケルトン（イギリス）
ロイド・ヴァン・ダム（オランダ）

フィリォのコメント

「東京ドームに行くことよりも目の前の試合に集中して、積極的にパンチを打っていった。（ロイドは自分の勝ちだと言っているが？）私もラスベガスでの判定を納得したのだから、彼らも納得すべきだ。パンチとキックのコンビネーションはわりと良かった。ここまで来れたことに満足しているし、東京ドームの相手は考えていない」

ヴァン・ダムのコメント

「なんと言っていいか分からない。延長ではオレが勝っていた。ただ、この結果は予想はついていたよ。だってフィリォやマイクは人気者だからね。オランダに帰ったらスッパリ忘れてトレーニングを始めて、K－1が認めてくれるまで頑張るさ。ダメージはないっ。スケルトンには驚いたが、ローキックは効いていただろうね」

▲誰が相手でもスタイルを変えないロイド。ここぞという時にパンチやローキックでフィリォに襲いかかったが、フィリォの牙城を崩すことはできず

▼ギリギリのところで東京ドームへのキップを手にしたフィリォ。初優勝の可能性は高い！

1回戦ではラスベガス大会のリベンジを辛くも果たす

◀ラスベガス大会でまさかの判定負けを喫したイバノビッチと1回戦で対戦したフィリォは、なかなかエンジンが掛からなかったが、パンチで押し切り判定勝ち。雪辱を果たした

★第2試合（K-1ワールドGP2001in福岡敗者復活戦Aブロック一回戦・3分3R、K-1ルール）
○フランシスコ・フィリォ（3R判定3−0）セルゲイ・イバノビッチ●
＜ブラジル／極真会館＞ ＜ベラルーシ／チヌックジム＞
※30-29、30-27、30-28

12・8東京ドーム 組み合わせを見ればフィリォは優勝できる！

んだ〟と。

「地上最強のカラテ＝極真」を証明するために、この世に生を受けたフィリォは、この程度の勝ち方で本人も、世間も満足するタマではない。フィリォはたしかにK―1でも課題をひとつずつクリアしているのだが、初期の頃に思わせた最強幻想が薄らいでいるのも明らか。いったい、フィリォの何がそうさせているのだろうか。

僕にはその理由は、あの第7回極真世界大会にあるとしか思えない。優勝したフィリォ、そして2位に甘んじた数見は、ともに己の人生の半分以上を費やした空手修行の集大成を試すため、全身全霊を賭けた一世一代の勝負を闘い抜いた。そして、完全燃焼した2人は、試合後によく言われる〝燃えつき症候群〟に陥ったのではないだろうか。

あの一戦以来、フィリォも、数見も、どこか魂が入っていない闘いが続いている。もちろん、練習量もこなしているし、気持ちも入っているのだろうが、2人は明らかにあの世界大会の決勝戦を引きずっている。だから、魂があの時ほど見えないのだ。

決勝大会の組み合わせを見る限り、フィリォには十分優勝できるチャンスが転がっている。K―1でも頂点に立てるかどうかは、あの世界大会や、K―1デビューのアンディ戦の頃のモチベーションを持ってこられるかどうかだろう。

フィリォにとっては、これがもしかしたら、ラストチャンスかもしれない。フィリォよ、キミは本当に〝地上最強〟になれる男なんだよ。

（谷川）

もう誰も隠すことはできない！マット&ロイドにベスト8の実力あり

マット大変身！"まだオレらは地味ですか？"

これまでクリンチ大魔王だったスケルトンだが、スタイル一新！　ノーガードでヴァン・ダムをスカしちゃう場面も！

▲本戦は優位に攻めていたスケルトンだけに、延長での大逆転負けにガックリ肩を落とした

▲延長で ヴァン・ダムは伝家の宝刀ローキックで確実なポイント稼ぎ作戦に。ああ、スケルトンはまんまとハマってしまった

"不沈艦"の異名をとる者同士の対戦は迫力満点な打ち合い&潰し合いとなった

スケルトンのコメント

「1Rはロイドが優勢だったかもしれないが、2、3Rは取っていた。延長もああいう感じだったからもう1R延長があったほうがスッキリした。この結果は不満だ。これまでオファーがあれば誰とでも闘ってきた。K−1に合わせてファイトスタイルも変えたのに、これで認められなかったらどうしたらいいのか分からない」

★第3試合（K-1ワールドGP2001in福岡敗者復活戦Aブロック一回戦・3分3R、K-1ルール）

○ロイド・ヴァン・ダム（延長判定3−0）マット・スケルトン●

<オランダ／ドージョー・チャクリキ>　<イギリス／イーグルジム>

※10-9、10-9、10-9。本戦は1-0。30-30、29-29、30-29（スケルトン）

もう誰も隠してはおけない。この際、ハッキリ言っておこう！

「ロイドとマットは強いんです」

それも、ただの強さじゃない。2人はそれこそ、K−1のベスト8ファイターに入ってもおかしくないほどの超実力派。だけど、この2人がベスト8に入って、残りがイグナショフだとか、レコだとか、まだ人気が伴っていない選手ばかりが東京ドームに残ってしまうと、K−1そのものの人気が危ういんです。だから、2人はこうして、1回戦で潰し合いをしなければならないんです。

"俺たち、そんなに地味ですか？"

そんな声が聞こえてきそうな、悲しき2人の対決。それを知ってか、2人は誰が見ても納得せざるを得ない、肉弾相打つ闘いを見せてくれました。

ロイドのローキックの壮絶な音は、一発で観客を黙らせます。マットに至っては、これまで何度も掴みながら殴るラフファイトを"汚い"と指摘されたためか、見違えるようなフットワークを使ってのヒット&アウェイ戦法。しかも、時にノーガードにして、鬼気迫る目でロイドを睨み付けます。

そして2人の攻防は、ホントこれがグランプリの決勝戦と言ってもおかしくないほどの素晴らしいものでした。ああ、でも案の定、決着が付かずに延長戦へ。とことん悲しき潰し合いです。

結果、延長で僅差でロイドの判定勝ちになりましたが、マットの勝ちでもおかしくない内容でした。2人とも、本当に頑張りました。それでもロイドとマットは、まだ地味ですか？　（T）

◀1Rに痛めたヒザが、アビディのローキックによって、遂に悲鳴を上げた

確実な進歩を見せたグラウベ、一発のパンチに泣く……

回転の速いパンチで攻め立てるマクドナルドは、2Rに左フックでダウンを奪った。ミルコをKOしたパンチは健在だ

▶グラウベはヒザ蹴りを多用していたが、マクドナルドをとらえることはできず

▼ダウン差が効いて判定はマクドナルドへ。グラウベは復帰戦を白星で飾れなかった

★第1試合（K−1ワールドGP2001in福岡リザーブファイト・3分3R、K−1ルール）
○マイケル・マクドナルド（3R判定3−0）グラウベ・フェイトーザ●
〈カナダ/フリー〉 〈ブラジル/極真会館〉
※30−27、30−27、30−28。グラウベは2Rの左フックでダウン1あり。

ニコラスが8月のジャパンGPを制覇し、フィリォも決勝大会進出を決めるなど今年の極真勢の活躍は目覚ましい。あとはグラウベが覚醒すればパーフェクトである。相手のマクドナルドは今年6月のメルボルン大会でミルコをパンチで1RKOに葬ったパンチのスペシャリスト。昨年の福岡大会のワンマッチでニコラスと対戦し、やはりパンチで圧倒して判定勝利を収めている。極真的にも、ここでマクドナルドにきっちりリベンジをしておきたいところだ。グラウベは試合経験が増えたことで、K−1ルールにも順応し、以前のようにガード一辺倒になることなく、蹴りを織り交ぜながらのコンビネーションを自然の流れで繰り出していた。中でも、極真での決まり技になっている上段ヒザ蹴りは秀逸。この技がK−1でも決まり出せば、怖い存在になってくるだろう。グラウベは2Rにマクドナルドにダウンを奪われ判定負けしたが、確実な進歩を見せた一戦だった。■

富平、対猪木軍に名乗りを挙げるも、いきなりアビディにつまずく……

▶この日のアビディは、いつもの荒々しさが影をひそめていた

▲富平は試合前、「アビディはベスト8ファイターだが、他の選手と比べると1ランク落ちる」と語っていただけに、勝っておきたかったのだが……

◀1Rに痛めたヒザが、アビディのローキックによって、遂に悲鳴を上げた

★第6試合（K−1ワールドGP2001in福岡スーパーファイト・3分5R、K−1ルール）
○シリル・アビディ（4R2分30秒、TKO勝ち）富平辰文●
〈フランス/"チーム・ロメアス"ボクシング・プラネット〉 〈日本/SQUARE〉
※レフェリーストップ。富平は、4Rにアビディのローキックによりダウン1あり。

今年のグランプリ決勝戦には、日本人は誰一人として出ない。同じ日本人として、悲しい限りだ。「ここは一丁、猪木軍に挑戦してやろうかな」という言葉でも聞ければと思ったのだが、これも聞けそうにない。そう思い込んでいたのだが、なんと富平が名乗りを挙げたのだ。ブラガVSアビディも楽しみだったが、これでガ然富平とアビディの試合が楽しみになった。そこまで言った覚悟というものを、見せてほしい。ところが、アビディがいつもと違う。あの無鉄砲なファイトが影をひそめている。これはチャンスと思いきや、1Rから、ガンガンとローキックで攻め立てた富平だったが、逆にヒザを負傷し、さらに鼓膜まで破れてしまった。アビディはその足を、珍しくローキックで攻めてくる。この負傷もあり、4Rにはこの試合初めてのダウンを奪われ、さらにダウンを重ねてレフェリーストップ負け。だが、富平が試合後も強気な態度のままだったのが救いだ。人気だけが先行していると思っているアビディに、負傷さえなければ勝てたと思っているのだ。このまんまの強気で、猪木軍と闘い、他のジャパン勢の尻に火を付けてほしい。■

新日本の皆さん、元気ですかーーっ！

カンジ・イノキとカズヨシ・イシイの新K・1砲誕生！

爆笑！ K・I 砲の開会宣言

石井　福岡の皆さん、ようこそK－1に。本日はご来場、誠にありがとうございます。21世紀、新しい年。新しいK－1のスタートとして、世界中でトーナメント予選。そして、本戦。この激戦の中を勝ち抜き、東京ドームへのキップを手に入れた5名。そして、残り2枚のそのチケットをめぐって、今日本当に最後の闘いが、この福岡で行われます。**今日のテーマはズバリ完全燃焼です。**本当に選手は最後の1分1秒まで、決して諦めない。ネバー・ギブアップ。その精神で、闘っていただきたいと思ってます。本当に今日はこの福岡のこの地で、歴史に残るような闘いが、繰り広げられると思います。それを皆さん、この会場にいる皆さんと共に、歴史の検証人になりたいと思ってます。今日は、東京ドームのチケットを手に入れた5名のファイターをここに呼んでます。**カモン！　ベスト・オブ・ベスト・ワン・ファイナル！**

［ここで、5名のK－1戦士がリングに登場］

石井　ええ、皆さん、もう一度拍手をお願いします。でも、皆さん、これで驚かないでください。今日は、K－1が目指すモノ、それは世界最高峰の闘いと世界最強です。世界最強を目指すには、避けては通れないこのゲストをお呼びしました。**どうぞっ！**

［猪木が炎のファイターで登場］

石井　えー、今日はせっかくなんで、一言頂戴したいと思います。

猪木　元気ですかーっ！　元気があればなんでもできる。世の中が乱れ、混乱した時に俺の出番。世の中は本当に混乱しています。格闘界も混乱をしていますが、この混乱から立ち上がって、素晴らしいイベントを組んでいきたいと思います。**実は、K－1というのは、猪木のK－1なんです。**そして半分は石井館長。カズヨシ・イシイ、カンジ・イノキ。これでK－1になりましたね。ということで、これから本当に本来は闘っているライバルなんですが、一つこの暗い時代に手を携えて、時代を変えようかと。そんなことで、12月の31日に「猪木軍VSK－1」という夢の闘いというか、非常識が実現することになりました。**裏にはNHKが控えておりますが、俺たちが表です。**えー、そんなことでですね、本当に今こそ、戦後力道山の師匠がですね、戦後の中で本当に夢を与えてくれた。その遺伝子をいろんな形でみんなが引き継いでいると思いますが、頑張っていきたいと思います。今日は、東京ドームで新日本がやっているんですねぇ。**新日本の皆さん、元気ですかーっ！**　なんて言おうと思ったけど、やっぱり俺も小心者なんで（笑）、それは後になりましたが。まあ、でもそういうような本当に常識を越えたモノ、皆さんの夢というのが限りなく広がってきておりますが、どうぞ館長ね、もう1回よろしくお願い致します。

石井　猪木さん、一つやってくださいよ。

猪木　今日も空港で何人か気合いを入れてきました。**今日は館長に気合いを入れようかと**（笑）。えー、いつかね、俺の夢ですから。**館長を思いっきり、ベーンッと張り倒せればと。**今日はそれは後回しにして、じゃあ1、2、3やりましょうか？　素晴らしい試合が今日行われます。期待しております。そして、素晴らしい我々格闘家が、世界に時代を変えるために発信します。そんな思いを込めまして、**行くぞーっ！　1、2、3、ダーッ！**

［猪木と5名のK－1戦士が退場］

石井　ええ、今日会場で応援のほど、よろしくお願い致します。押忍っ！

10・8テレビ視聴率戦争 新日本10・2％、K－1 14・9％ K－1軍、またも圧勝！

10・8K－1福岡大会の裏では、東京ドームで新日本プロレスが同日興行を開催。にもかかわらず、創始者A・猪木はわざわざ福岡までK－1を観戦にやって来た。猪木がK－1の会場に姿を現すのは、これまでたびたびあったが、リング上で挨拶をするのはこれが初めて。来たる12・31「イノキ・ボンバイエ」でのK－1軍との全面対抗戦に向けて、リング上で猪木イズム爆発の挨拶。K－1のベスト8ファイターがキョトンとする中、K－1初の「1、2、3、ダーッ」を行った。それにしても、猪木と石井館長のからみは妙におかしかった。なお、この日はテレビでも新日本とK－1が視聴率戦争。テレ朝が午後6時30分から1時間半枠の放送をしたのに対し、フジがK－1を午後7時から2時間にわたって放送。テレ朝が平均10・2％、フジが平均14・9％という結果を出し、ここでもK－1軍が圧勝した。なお、瞬間最高視聴率はテレ朝が小川乱入時の13・8％、フジがセフォーVSハントの22・1％だった。

三代目格闘ビジュアルクイーン

長谷川京子(はせキョー)の超SRS宣言！

第20回

10・8 K-1 WORLD GP 2001 敗者復活戦

マリンメッセ福岡で行われた『K－1ワールドGP』敗者復活戦。アーツとミルコが欠場したものの、トーナメントは大番狂わせ有り、壮絶な打ち合い有りで大盛り上がり。はせキョーもドッキドキだったみたいだっ！

セフォーとハントの殴り合いに興奮 こんなドキドキしたの初めてかも♥

10月8日、福岡で行われたK―1ワールドGP敗者復活トーナメント。

当初、予定されていたカードは確かに『裏K―1ワールドGP』と呼ぶのにふさわしい、超豪華なカードで凄く楽しみだったんです。でも、このところ毎回と言っていいほど、どの選手かは欠場になってしまうんだよなぁ、なんて心配していたら、案の定、アーツ選手とミルコ選手が欠場という知らせ。

アーツ選手はラスベガス大会でのヒジのケガのため、そして、ミルコ選手はアメリカのテロ事件の影響のため。2人とも、やむを得ない事情での欠場で、恐らく本人たちが一番悔しいハズ。見るほうとしてもとっても残念でしたが、でも今回は、このスター選手2人が欠場になってしまっても、面白い試合、凄い試合がたくさんありました。

その試合の中で、やっぱり悲しかったのが、優勝大本命とされていたマイク・ベルナルド選手が1回戦で敗れてしまったこと。今まで何回もK―1のトップファイターが予期せぬところで敗れてしまうシーンを目撃してきていますが、とても寂しくて切ない気持ちになりますよネ。それだけ、他の選手の技術も、トップファイターたちに近付いているということなんでしょうけど……。ちょっと複雑な気持ちです。

でも、そんな気持ちが吹っ飛んでしまうくらい、ホントに我を忘れるくらいに興奮したのが、レイ・セフォー選手とマーク・ハント選手の対戦。これはもう、「素晴らしい！」としか言えません!! いつも、私たちを釘付けにしてくれるセフォー選手と、同じニュージーランドから来た豪腕パンチのハント選手。試合前は、2人は同じ国同士だし、やりづらいんじゃないのかナァ？ と思っていたんですが、そんなことはお構いなしと言わんばかりに、開始早々からガンガンの殴り合い!! しかも、お互いにパンチを顔で受け合っているんですよ！ それでも、2人とも闘うことを楽しんでいる感じで、こんなにドキドキした試合は初めてかもしれないデス。試合とは関係ないですけど、セフォー選手、婚約者の彼女と別れてしまったんですって。つい最近まで、あんなにラブラブ♥だったのに。男と女って分からないですネ。

あと、マット・スケルトン選手VSロイド・ヴァン・ダム選手の試合も良かったですネ。始まる前から、ディープな試合になりそうだなぁと楽しみにしていたんですが、予想どおりの好試合。1R目はお互いに様子を見ている感じでしたが、2R目からはスケルトン選手が一変して、急に攻撃的に。まったくのノーガードで、ヴァン・ダム選手を威嚇するような物凄い表情!! これはもう、ケンカですよ。この2人の試合は、トーナメントなんて無視した潰し合いの闘いで、本当に面白かったです。

そして、今回優勝したフィリォ選手。優勝した瞬間、自分の子供の名を呼んでリング上に上げて、ギュッと抱きしめたんです。いつも奥さんとお子さんのことを思っているのがよく分かりました。本当にステキな方ですよネ。

もう片方のブロックの優勝者、ハント選手は凄くカワイイ人なんですよ。ハント選手の重いパンチ、どんなに打たれても、ビクともしない鋼鉄のような身体。それなのに普段は、目をクリクリさせていて、素直で本当にカワイイ♥って感じなんです。ケンカなんてしたことないって言うし、リング上とはまるで別人。これからのハント選手に、大・大・大注目ですよ!!

こうして終わった福岡大会。そして、残すは12月8日の決勝大会のみとなりました。今年はいったい誰が優勝するんでしょうか？ ■

はみだし はせキョー

長谷川京子（はせがわ・きょうこ）1978年7月22日生まれ。現在、毎週木曜夜10時から放送のドラマ『スタアの恋』（フジテレビ系）にレギュラー出演中。12/19にはポニーキャニオンより待望のファーストビデオ＆ＤＶＤ『La fille naturelle』を発売。2002年度版カレンダーが好評発売中！

アスリーターを愛する　すべての人たちのために…

商品のご注文方法

電話注文で手に入れろ!!

・電話注文のみのご注文となります

☎03-3204-4410（東京）
☎06-6358-4363（大阪）

（株）BEGINスポーツ

・商品お渡し方法
代金引換でのお受け取りとなりますので、ご注意ください。
（ご家族がいらっしゃる場合は、その旨お伝えください）

・注意事項
★商品代金のほかに送料500円、代引手数料360円がかかります。
★現金書留での受付はいたしません。

当社は可能な限り、
消費税はいただきません!!

※お問い合わせは、（有）M・D・K ☎03-3796-2993まで。

K-1キャップ
サイズ:フレックスフリー★¥3,800

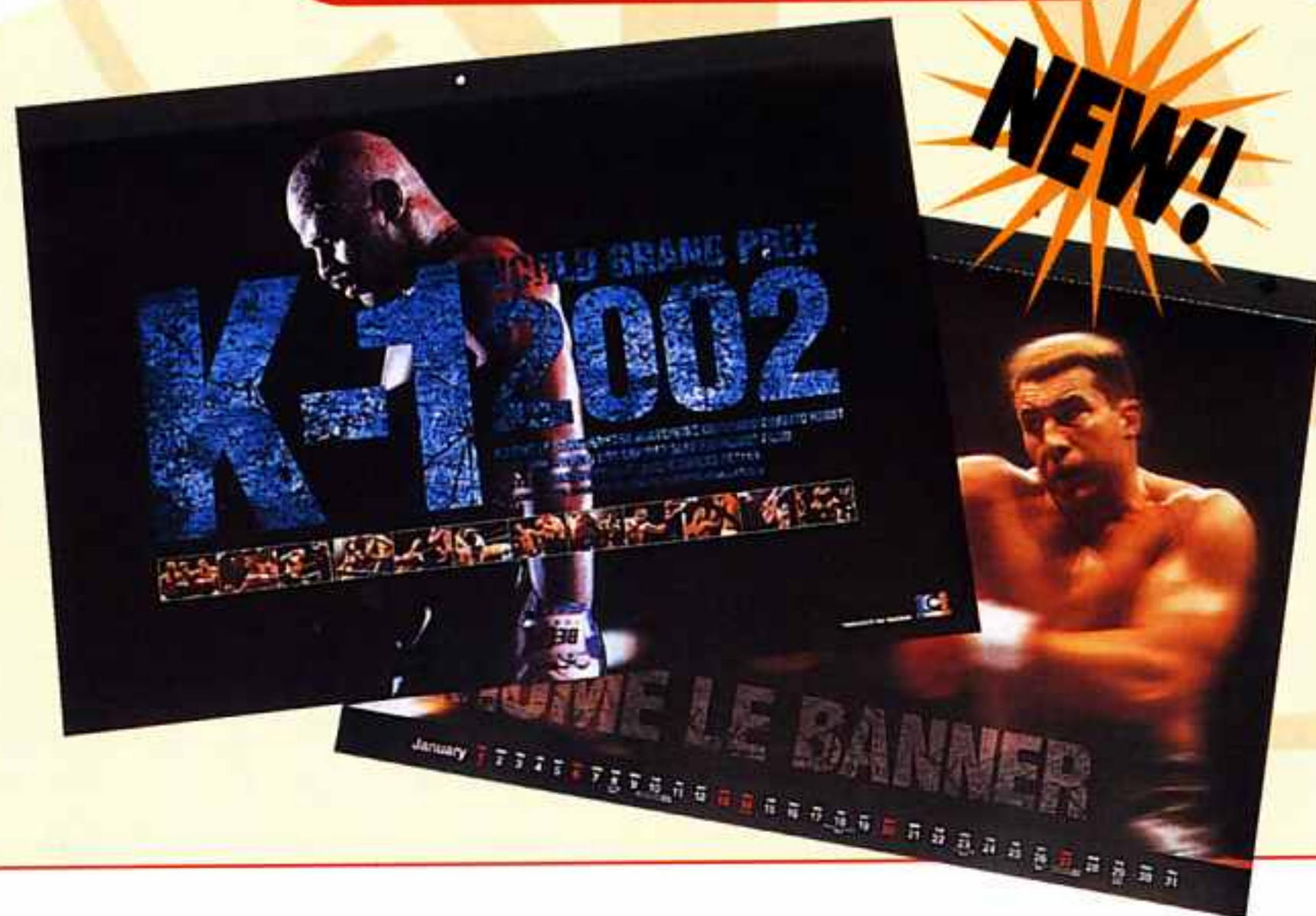
ブラック　ホワイト

カモフラキャップ
サイズ:フレックスフリー★¥4,000

ブラウン　シルバー　グリーン

K-1戦士ピンズ
★¥350

K-1ソフトフィギュア
★¥1,200

K-1カレンダー2002（大
サイズ:縦36 4㎝×横51 5㎝★¥2 000

K-1卓上カレンダー2002
サイズ:縦14.0㎝×横21.0㎝★¥1,000

K-1 OFFICIAL GOODS 2001

商品に関しましてはK-1ホームページの
オフィシャルショップ・大会会場・通信販売にて。
★K-1オフィシャルホームページ
http://www.k-1.co.jp/

サポーターTシャツ
サイズ:M、L★¥5,800

ピーター・アーツ
FRONT
BACK

アーネスト・ホースト
FRONT
BACK

ジェロム・レ・バンナ
FRONT
BACK

武蔵
FRONT
BACK

ミルコ・クロコップ
FRONT
BACK

マイク・ベルナルド
FRONT
BACK

シリル・アビディ
FRONT
BACK

ファイターズTシャツ

NEW!

アビディROCK
サイズ:M・L★¥4,000
サックス
ブラック

マイクROCK
サイズ:M・L★¥4,000
ホワイト
レッド

ジェロムROCK
サイズ:M・L★¥4,000
バーガンディ
エスプレッソ

ターゲットジェロム
サイズ:M・L★¥4,000
ブラック
チャコール

アンディBBB ROCK YOU
サイズ:M・L★¥4,000
ブラック
BACK
FRONT

フィリォDEフラメンゴ
サイズ:M・L★¥5,800
ブラック
FRONT
BACK

ピーターアムステルダム
サイズ:M・L★¥5,800
ブラック
FRONT
BACK
レッド
FRONT
BACK

アンディBBNRメモリアル
サイズ:M・L★¥4,000
ホワイト
BACK
FRONT

決戦直前！

パンクラス正規軍VSグラバカ 5対5全面対抗戦

〈GRABAKA＝大将〉

郷野聡寛

「5戦全勝しなきゃいけないですね。文句があるヤツは結果で黙らせる」

聞き手◎橋本宗洋

▲7月は三崎和雄がネオブラッド・トーナメント優勝、9月には菊田がライトヘビー級王座奪取と、パンクラス完全制圧まであと一歩のグラバカ。今回の対抗戦がトドメの一撃となるのか？

今年のパンクラスマットの中心をなしてきたパンクラスVSグラバカの抗争が、ここにきて頂点を迎える。10・30後楽園大会で、正規軍（東京・横浜）とグラバカの5対5全面対抗戦が行われるのだ。9・30横浜大会では、菊田早苗が美濃輪育久を下しているが、さらに今回の団体戦でもグラバカが勝てば、パンクラスの主導権は完全に外様＆フリー軍団が握ることになる。決戦直前、両軍の大将を務める2人に意気込みを聞いた。まずはグラバカ・郷野聡寛の登場だ。

——さあ、いよいよ5対5マッチが近付いてきました。

郷野　まず単純に楽しいですよね。個人競技でありつつ、団体戦でもあるっていうのが。特にオレらは仲がいいですしね。みんなで頑張ろうって気になりますよ。

——同じ対抗戦でも、単純に5試合並ぶのと団体戦とでは気持ち的に違いますか？　意味合いというか。

郷野　とりあえず勝てばいいだけですけどね。まあ、ウチらはもう1勝してるようなもんですから、9月に。

——ああ、菊田さんが。

郷野　なんで、今回2勝3敗でも、6対6の団体戦として考えればタイだなと（笑）。

——いきなり消極的なんですけど（笑）。

郷野　いや、とりあえず言ってみただけです（笑）。勝ちますよ。勝つでしょう、それは。

——ここで勝つのと負けるのではだいぶ違いますよね。

郷野　そうあってほしいですね。これでオレらが勝った場合、グラバカになんかメリットがないとね、具体的な。勝ったのに何もないんじゃ……ねぇ？　それは会社側で考えてほしいですね。

——ただ「勝ちました。嬉しいです」、「負けました。悔しいです」だけじゃあ5対5マッチにする意味も薄れますからね。なんか欲しいですよね。ファイトマネー総取りとかでもいいし。

郷野　賞金制とかいいッスよね。ないですかねぇ？

——とにかく、勝ったほうのチームがパンクラスの主導権を握ることになるのは間違いないんじゃないですか。マッチメイクでも優先されるべきだと思うし。

郷野　勝ったらビッグネームとの試合を優先的に組んでほしいですね。

——やっぱりチャンスが与えられてしかるべきですよね。で、今回こういう団体戦が組まれたのは、それだけグラバカに勢いがある証拠だと思うんですが。

郷野　いや～、そう見えて、実は勢いがあるのって菊田さんだけですよ。リーダーに引っ張られるばっかりですから。

——そんなことないでしょう？　三崎（和雄）選手なんてネオブラッドで優勝してるじゃないですか。

郷野　まあ三崎はいいですけどね。でも、オレは8月の『DEEP』で引き分けちゃったし、佐々木（有生）とか佐藤（光芳）はインパクト残すような試合をしてないし、石川（英司）は石川で負けてばっかいるし。周りからは言われますけど、オレ自身はチーム全体に勢いがあるとは思ってないですよ。

——それはけっこうシビアな認識ですね。

郷野　そういう意味でも今回は勝ち越さないと。いや、勝ち越しつっても3勝

2敗じゃダメですね。最低でも4勝1敗とか5戦全勝までいかないと、「勢いがある」とは言えないでしょうね。

――対戦相手は山宮選手になるんですけど、どんな印象がありますか?

郷野　そうですねぇ……。まあパンチが上手で、腰が強い。レスリング＋ボクシングの日本人版って感じですかね。

――アメリカの選手に多いタイプですよね。

郷野　いますよね、よく。

――対策は何か立ててますか?

郷野　やってますよ。サウスポー対策。サウスポーは苦手なんで、そこだけは。あとはまぁ……。寝技はいつもどおりのことをしっかりやって。グラウンドは上になっても下になっても問題ないんで。引き出しの数で言えば圧倒的にオレのほうが多いですから。はっきり言って、負ける気がしないですね。

――自信たっぷりですね。

郷野　相手もそういうふうに思って来てくれるといいんですけどね。「郷野には負ける気がしない」って。ナメててくれたほうがやりやすいんで(笑)。

――ただ山宮選手は心中かなり期するものがあるみたいですよ。

郷野　危機感はあるでしょうね。

――そこで思うのは、パンクラスの選手とグラバカの試合に臨む姿勢の違いなんですよね。パンクラスの選手には危機感を持ってほしいし、グラバカの選手にはハングリー精神ムキ出しにしてきてほしいし。

郷野　オレらはシビアですよ。

――パンクラスである程度のポジションを築いて、負けても「まあ次も出してもらえるだろう」みたいに思ってほしくないんですよね(笑)。

郷野　それはそうですよ。いい試合しないと試合に使ってもらえないし、ファイトマネーも下がっちゃうし。ま、それは昔からそうなんで、当然っていうか普通のことだと思ってますけどね。パンクラスの所属選手もいろいろ苦労はあるんでしょうけど、いいじゃないですか、とりあえず生活の保障があるんですから(笑)。

――グラバカの公開練習の時には「派手な勝ち方をしないと評価されない世界なんで、素人でも分かる試合をやって勝つ」って言ってましたよね。

郷野　それは前からずっと思ってるし、言ってるんですけどね。お客さんを沸かせないと試合が組まれないんで。

――「素人でも分かる勝ち方」っていうと、郷野さんの場合はどんなパターンを考えてますか?

郷野　関節技とかでも、分かんない人は分かんないと思うんで、もっと分かりやすく。倒すとか血ぃ出したりとか。

――関節技よりもですか?

郷野　オレの場合は極めるより倒すか切るかのほうが確率高いと思いますよ。より白黒ついた感じもするだろうし。

――KOのほうが、優劣のコントラストが大きいというか。

郷野　それもありますね。あと、切るのは楽でいいですよ(笑)。

――楽でいいんだ(笑)。

郷野　倒すまで打たなくても、切るのはスパッと一発でいいですからね。渡辺(大介)戦で味をしめちゃいました(笑)。楽だし、楽しいですよ。

――どんな形にしても、鮮やかなフィニッシュが見たいですけどね。

郷野　オレも最終的にはどんなんでもいいですよ。山宮選手が打撃やりたきゃ打撃で倒すし、組んできたら投げるし、寝たら寝たで極めればいいし。

――ただ、延々差し合いやって、テイクダウンが多かったから判定勝ちとか、そういうのはちょっと(笑)。

郷野　たしかにコーナーで差し合いばっかやってんのはつまんないでしょうね。ただそれもいろんなパターンがあるんで、やってる側からすると一概には言えないんですけどね。打撃の攻防してて、距離が詰まって組むってことはあるんですよ。ただ打撃ができないから差しにいくしかないっていうのはキツいですね。ウチの石川みたいに。

――あ、そこで石川選手が(笑)。まあ、差し合いは絶対にないとは言えない局面だから、そこからいかに展開させるかってことでしょうね。

郷野　あ〜、そうッスね。見てるだけでは分かんないこともあると思うんですけど、最後にしっかり勝てばいいんで。文句があるヤツは結果で黙らせればいいかなと。

――勝ったんだから文句は言わせないと。

郷野　ただ勝つんじゃ納得しないでしょうから、しっかり勝つってのが大事ですね。みんな一本なりKOなりで勝って、オレらのほうが強いってことを、誰が見ても分かるように示したいですね。

――そのためにも5戦全勝と。

郷野　そうッスね。で、勝ったらビッグネームとやらせてくれ、と。無傷だったら12月1日の横浜も、12月23日の『DEEP』も出る気はありますんで。■

▲グラバカではあるが、打撃も得意とする郷野。パンクラス初参戦となった渡辺大介戦では、ヒザ蹴りで出血させてのTKO勝ちを収めている

軍団対抗戦なんだから、勝ったら グラバカに具体的なメリットがないとね

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
10.30★後楽園ホール

〈東京・横浜VSGRABAKA対抗戦〉

★大将戦
KEI山宮VS郷野聡寛

★副将戦
石井大輔VS佐々木有生

★中堅戦
渡辺大介VS佐藤光芳

★次鋒戦
窪田幸生VS石川英司

★先鋒戦
伊藤崇文VS三崎和雄

パンクラス正規軍VSGRABAKA
10・30後楽園で5対5マッチ

〈パンクラス正規軍＝大将〉
KEI山宮

聞き手◎橋本宗洋

続いては正規軍の大将・KEI山宮のインタビューをお届けする。今回がグラバカとの初遭遇となる山宮。これまでのグラバカの台頭を、果たしてどんな思いで見てきたのか……。静かな口調ながら、そこにはパンクラス生え抜き選手として、またプロとしての揺るぎないプライドがあった。

—山宮選手はグラバカ勢とは初のカラミですよね？

山宮 試合は初めてですね、はい。

—このところのグラバカの台頭はどんな気持ちで見てましたか？

山宮 やっぱりハタから見てても勢いは感じました。特に、今年前半は自分がケガで休んでたんで、余計に。

—もどかしいというか。

山宮 精神的に卑屈になってくるんですよ。やりたくてもできないし、でもみんな凄い試合してるし。正直、嫉妬してましたね。それはパンクラスの選手に対しても。

—今回は5対5マッチですけど、こういう試合が組まれるくらい、グラバカが活躍してるってことだと思うんですよ。

山宮 そうですね。

—逆に言うと、それだけパンクラス本隊の選手の立場が狭くなってるっていうか。そういう感じは……？

山宮 まあ正直……面白くないですよね。

—ですよねぇ。その辺のイライラというか、危機感みたいなのが、パンクラスの選手から見えてくると面白いなと思うんですよね。

山宮 最近も他の雑誌でありましたね。「仲間がやられて、なんでおまえら怒らないんだ!?」みたいな記事が。

—謙吾選手がドス・カラスJrに負けた時ですよね。近藤（有己）選手も「ルチャに負けちゃいけない法律はない」って思いっきり言っちゃって（笑）。

山宮 でも、みんな内心は面白く思ってないはずですよ。人になんか言われて、そのとおりに答えるのがシャクだから逆のことを言ってるんじゃないですかね。うまくかわして。

—その内心の部分を、リングで叩きつけてほしいですね。まして今回は団体戦なんで、結果次第でパンクラスのリングにもかなり変化があると思うんですよ。

これぞ生え抜きパンクラシストの矜持！
「グラバカの活躍は、正直、面白くないと思ってる」

山宮 はい。団体戦っていうのはかなり意識してますね。

—鈴木（みのる）選手も「個人の闘いじゃなく道場のプライドをかけた闘いになる」って言ってましたね。

山宮 単純に言って、勝ち越したいなと思いますし。まして自分は大将なんで。

—相手は郷野選手ですけど、どんなイメージがありますか？

山宮 なんでもできる人だなぁっていうのが、まず。

—オールラウンドなタイプ。

山宮 はい。なんでも使いこなせて。特に蹴りが凄いですね。打撃があるんで、所属はグラバカですけど、グラバカっぽくないっていうか。最近の試合もそうですし、修斗の試合も見させてもらいましたけど、一言で言って強いなと。

—あと精神的な部分で言うと、グラバカはハングリーっていうかガツガツしてるじゃないですか。それに比べるとパンクラスの人たちはおとなしい感じがするんですよね。

山宮 おとなしいですか？

—っていうのは、勝っても負けても、結局次もパンクラスのリングに上がるわけじゃないですか。「次がある」ってことをポジティブに捉えるのはいいですけど、そこに安住しちゃうと……。

山宮 う〜ん……。そんなことはないと思うんですけど。やっぱり負けたら悔しいですし。負けたりショッパイ試合して株を下げても、休むわけにいかないしんどさもありますし。「これ、辞めちゃったほうが楽なんじゃないか？」って思う時もなくはないですからね。そういう気持ちとの闘いもあるんですよ。

—あぁ、なるほど。休みたくても休めない、逃げ場がないという。

山宮 どんだけボロクソに言われても、試合に出続けるしかないですからね。はっきり言って今の自分がそうです（笑）。

—あぁ。鈴木選手との試合で酷評されて。

山宮 『真撃』でもみっともない試合しちゃったんで。正直、頭から離れないですから。何やってても、気が付くとそのことを考えてるんですよ。

—「あれはマズいよなぁ」って？

山宮 また自分が人一倍気がちっちゃいんですよ（笑）。だから今回はホントにヤバいんですよ。対抗戦っていう部分でも、自分自身に関しても、絶対に負けるわけにいかないですね。■

▶今年1月の『DEEP2001』名古屋大会でパウロ・フィリョと対戦した山宮。ガードポジションを取ってから打つ手がなく、グラウンドパンチをしこたま浴びてKO負け。郷野との試合でも"ガードから先"に展開できるかどうかがカギになる

SRS
SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

10/26、11/2の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは10月15日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

10/26

21世紀最初の極真全日本王者は誰だ！

11・3～4極真『第33回全日本空手道選手権大会』直前情報！

10月26日（金）/25:45～26:15

11月3日（土）～4日（日）の2日間にわたって、東京体育館で開催される極真会館『第33回全日本空手道選手権大会』の特集でございます。極真不動のエース、数見肇が、今年もケガのため欠場。そこでSRSでは、2連覇を狙っている昨年の全日本王者、木山仁の所属している鹿児島支部へと足を運びました。木山仁といえば、97年の全世界ウェイト制大会では80キロ未満の階級で優勝するなど、かつては中量級の選手というイメージが強かったのですが、それが今や93キロ！　以前の姿からは想像もできないくらいまでにウェイトアップをはかりました。「体重増加＆パワーアップ」の秘密も含め、意気込みを聞いちゃいますよっ！　さらに、先日ニューヨークで開催された『アメリカズ・カップ』でも大活躍した若手のホープ、田中健太郎にも直撃取材を敢行。テロの影響を吹き飛ばして行われた『アメリカズ・カップ』の模様も含めて、30分丸ごと極真特集ッス。押忍！

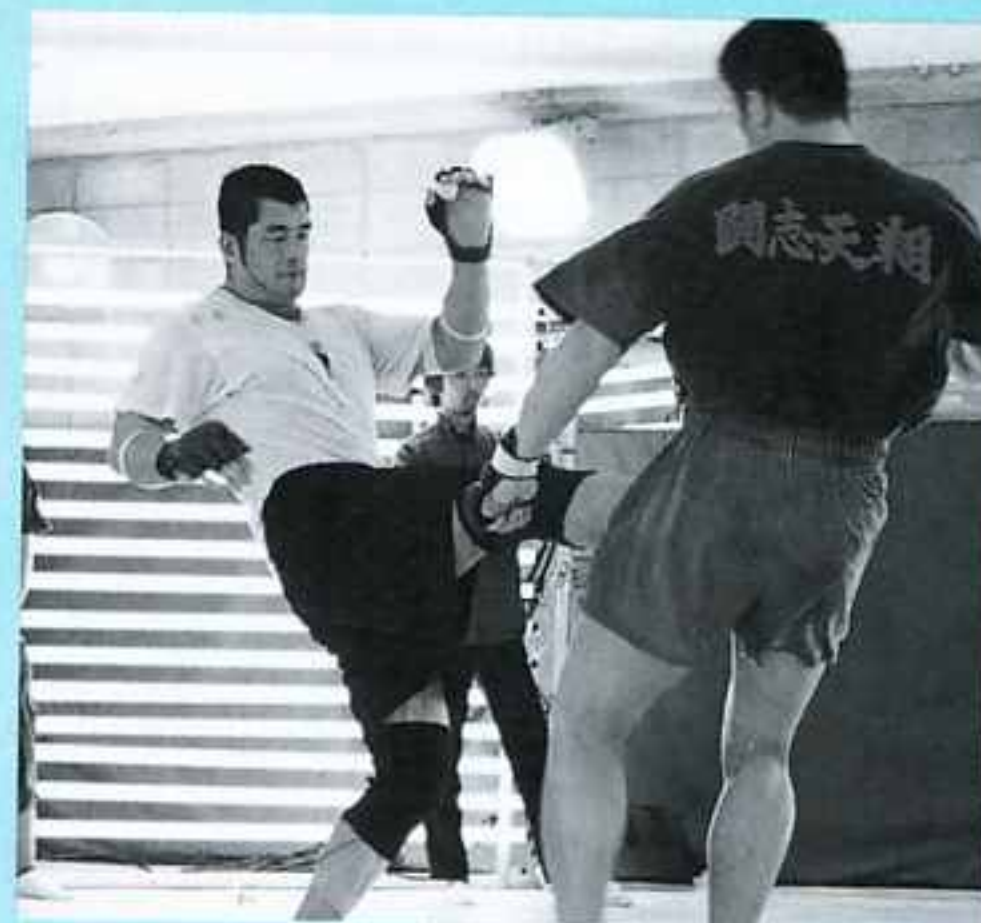
▲今回の大会でも、木山はこの壇上に上がることができるのか？

11/2

決戦前夜の最新情報満載！

11・3『プライド17』直前情報！

11月2日（金）/25:45～26:15

今後の格闘技界の流れを大きく左右するとっても重要な『プライド17』の決戦前夜ということで、もちろん！　SRSでは、皆さんが気になる『プライド17』情報をお送りします。中でも注目なのが、“アイ・アム・プロレスラー”髙田延彦と“K-1戦士”ミルコ・クロコップの世紀の一騎打ちでしょう。8月に行われた藤田戦では、カウンターのヒザ蹴りで格闘家としての潜在能力の高さをファンに知らしめたミルコ。現在、ミルコはテロ対策特殊部隊の同僚と一緒に、コマンドモード全開で寝技の練習をしているらしいとのことです。もちろん、髙田だって負けてな～い。久々の『プライド』のリング登場ということで、道場での練習に余念がないそうですよ。今回のSRSでは、決戦を目前に控えた2人の近況を、練習の模様も含めてお送りします。さらに、桜庭vsシウバや、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラとヒース・ヒーリングのヘビー級王座決定戦など、『プライド17』の全対戦カードを一挙に紹介。大会前日のSRS。これを見逃したら絶対後悔するぞ～！

▲打倒・ミルコへ向けて、いよいよ髙田延彦が出陣するぞ！

フジテレビ系列の番組から

◎フジテレビ
11・3～4極真
『第33回全日本空手道選手権大会』

11月4日（日）25:00～26:30（予定）

11月3日、4日の2日間にわたって開催される『極真全日本大会』の模様を大会終了当日の深夜に放送します。10月26日のSRSの放送でも、同大会を特集しますので、そちらもお見逃しなく！

◎CS721
『K-1 ワールドGP2000決勝』

11月4日（日）14:00～18:00

昨年12月10日、東京ドームで開催された『K-1ワールドGP決勝大会』では、ホースト、フィリォ、アビディ、アーツなど8名のトップ選手が、20世紀最後の王座を賭けて激闘を繰り広げました。今年のグランプリ決勝を前に、あの感動をもう一度味わいましょう！

▲世紀末K-1を制したホースト。カッコイイ！

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
10/25（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	これまでの『ワールドコンバットファイト』の再放送シリーズ。『WPKLムエタイチャンピオンリーグ』（88.5.23）から4試合。同内容放送10/31・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	修斗、北沢タウンホール大会（00.4.12）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	日本キック連盟、後楽園ホール大会（00.2.26）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	9.29に後楽園ホールで開催されたMA日本キックボクシング連盟『ODYSSEY-4』
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	10.13に後楽園ホールで開催された日本キック連盟『2001激動シリーズ』大会。同内容放送10/29・4:00～、11/1・14:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	ジェレミー・ホーン特集。同内容放送10/26・13:00～、10/29・6:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る。同日再放送25:00～
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	船木誠勝が語るパンクラス・ヒストリー22～～96.7.22&23 後楽園ホール
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題から、選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる。再放送10/30・14:20～
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	髙田＆藤田の合同練習
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	27:00～27:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。同内容放送10/29・31が27:00～、10/30・11/1が17:00～
10/26（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	10/25を参照　同日放送12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	10/25を参照。『ERUPTION』（98.11）から5試合、『HORIZON』（99.3）から4試合。同内容放送11/1・8:00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22:00～24:00	船木誠勝ストーリー8　再放送10/28・18:00～
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	➲P69
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	10.19横浜文化体育館大会
10/27（土）	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	26:00～27:00	カルガリー・スタンピード・レスリング特集最終回。ハート・ファミリー特集・前編。　同内容放送10/30・27:00～、11/3・26:00、11/7・25:00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	10.21神戸ワールド記念ホール大会
10/28（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	2001 G1 WORLD 9.23大阪なみはやドーム大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE侍	19:00～21:00 23:00～25:00	➲Pick Up①
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～25:00	10/27のスカイスポーツ2と同内容　同内容放送11/1・24:00～、11/3・27:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	27:00～28:00	10/25を参照
10/29（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	10/25を参照。『USWF11　パート2』から8試合。同内容放送11/3・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。同内容放送10/30・11/1・5・7が27:00～、10/31・11/6・8が17:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE侍	19:00～21:00 23:00～25:00	これまで放送された『PRIDE侍』を再放送。第1回を19:00～と11/3・27:00～、第2回を23:00～と11/4・5:00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ特集
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	K-1ジャパン戦士の近況
10/30（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	10/25を参照。『USWF11 パート1』（98.8.22）から4試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE侍	19:00～21:00 23:00～25:00	これまで放送された『PRIDE侍』を再放送。第3回を19:00～と11/4・8:00～、第4回を23:00～と11/5・14:00～
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	10.14バトラーツNKホール大会＆『PRIDE.17』直前情報
10/31（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE侍	19:00～21:00 23:00～25:00	これまで放送された『PRIDE侍』を3日連続で再放送。第5回を19:00～と11/6・14:00～、特別編を23:00～
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	『PRIDE.17』直前特集
11/1（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	修斗、北沢タウンホール大会（99.11.4）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	MA日本キック連盟、後楽園ホール大会（99.12.24）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	10.8に横浜ランドマークホールで開催された『The CONTENDERS-6』。同内容放送11/5・4:00～、11/8・14:00～
	GAORA	全日本キックボクシング	20:00～22:00	9.7後楽園ホール大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『ポール・ジョーンズ特集パート1』から3試合。同内容放送11/2・13:00～、11/5・6:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	10/25を参照　同日再放送25:00～
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	船木誠勝が語るパンクラス・ヒストリー23～～96.9.7 NKホール
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	10/25を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	10/25を参照
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	髙田vsミルコ戦、直前情報
11/2（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	10/25を参照　同日再放送12:00～、18:00～
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	➲P69
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	初代GHCタッグ王座決定トーナメント特集
11/3（土）	GAORA	K-2エクストリーム	17:00～18:00	全日本新空手連盟主催の『第63回新空手道交流大会』
	GAORA	全日本キックボクシング	21:00～23:00	➲Pick Up②
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	10.28福岡国際センター大会
11/4（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	10.28福岡国際センター大会
	WOWOW	リングス2001	18:00～20:00	WORLD TITLE SERIES アブソリュート級
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	22:00～24:00	『ブラジル・MECAバーリ・トゥード特集3』を2時間の拡大枠で

ON THE AIR 10/25～11/8

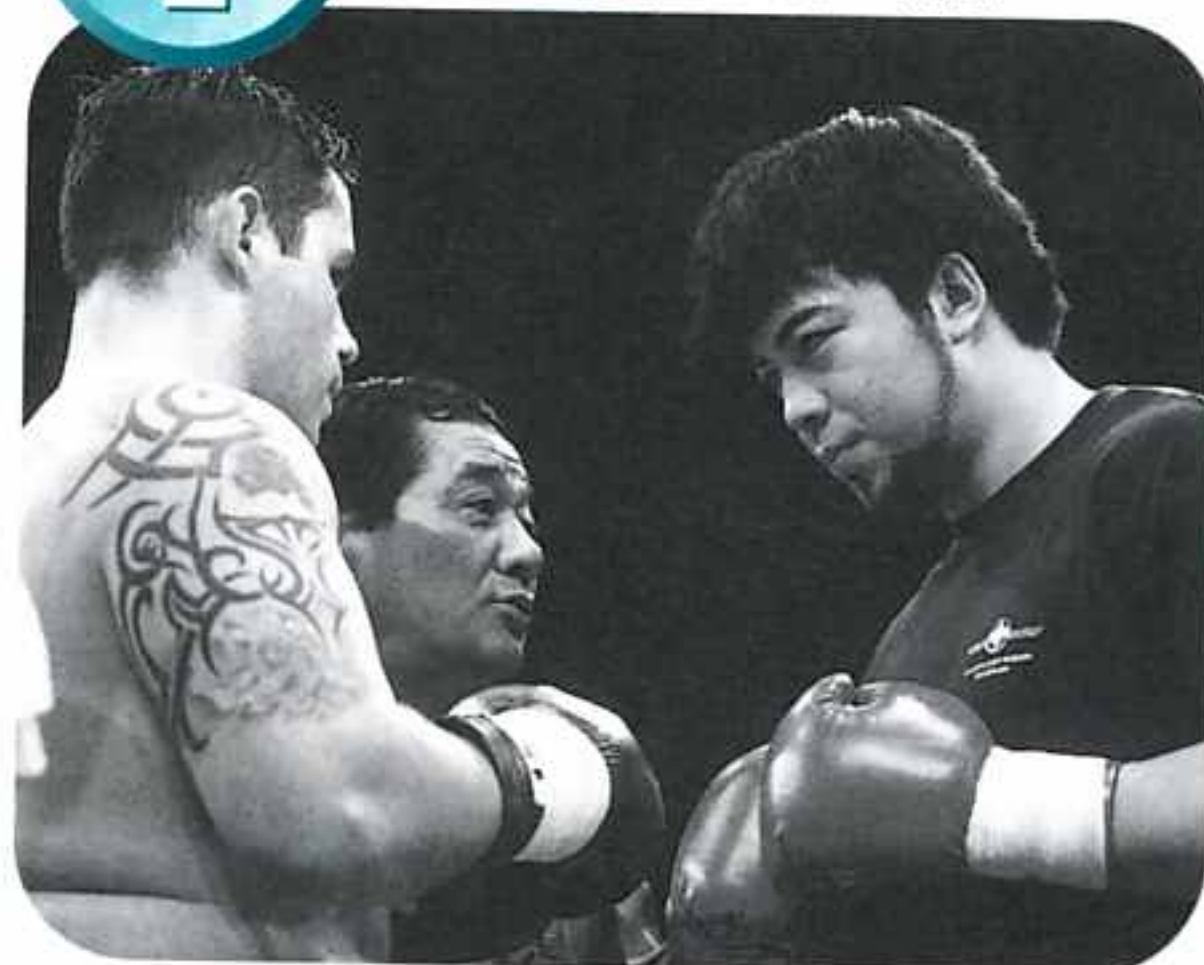
格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1 『PRIDE侍』

FIGHTING TV SAMURAI!
10月28日（日）/19:00～21:00
23:00～25:00

辻"ヒャッホー"よしなり氏が司会を務める、月1回放送のバラエティ色あふれる『プライド』情報番組。今回はゲストに谷津嘉章と高山善廣を迎え、『プライド16』を振り返りつつ、次回の『プライド17』で行われる桜庭vsシウバ、髙田vsミルコ戦の展開を予想するぞ！（再放送10/29・10:00～、11/3・13:00～、11/7・14:00～）

Pick Up 2 『全日本キックボクシング』

GAORA
11月3日（土）/21:00～23:00
5日（月）/15:00～17:00

10月12日に開催された全日本キック後楽園大会の模様をゲスト解説小林聡で放送する。90年代キック界のカリスマ・立嶋篤史が、王者復権を賭けて挑んだフェザー級タイトルマッチや、極真会館の野地竜太がオランダのヘビー級格闘家に挑んだ試合など、大興奮のKOシーンが続出！　秋の夜長に熱くなれること間違いナシだ！

『プライド17』PPV情報

◆放送時間/11月3日（土・祝）17:00～（CH.111）
※同日16:30より、事前カウントダウン番組（無料）を放送します。

◆再放送
11月3日（土）21:00～（CH.113）
4日（日）19:00～（CH.111）
5日（月）22:00～（CH.111）
6日（火）21:00～（CH.122）
7日（水）21:00～（CH.122）
8日（木）21:00～（CH.122）
9日（金）21:00～（CH.122）
10日（土）20:00～（CH.111）
11日（日）12:00～（CH.121）

◆視聴料/2,000円
◆お問い合わせ/スカイパーフェクTV！カスタマーセンター
☎0570-039-888（10:00～20:00）

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	27:00～28:00	10/25を参照
11/5（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	10/25を参照。『WPKLムエタイチャンピオンリーグ』（98.11.14/オランダ）から4試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。同内容放送11/6・8が27:00～、11/7が17:00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	21:00～23:00	9.30横浜文化体育館大会　再放送11/7・22:00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／内容未定
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	内容未定
11/6（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	10/25を参照。『HOOKnSHOOT "HORIZON" パート1』（99.3.20）から5試合
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『PRE-PRIDE4』オーディション
11/7（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	10/25を参照。『サブミッションファイティングチャンピオンシップ　パート2』（98.1.29/イリノイ州）から8試合
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	『PRIDE.17』速報！
11/8（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	10/25を参照。『HOOKnSHOOT "HORIZON" パート2』（99.3.20）から4試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～12:00	国際空手道連盟　極真会館「第7回全世界空手道選手権大会」（99.12.4～5　東京体育館）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	10.28に後楽園ホールで開催の新日本キック協会『ROAD TO MUAY THAI 2001』大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『ポール・ジョーンズ特集パート2』から5試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	10/25を参照　同日再放送25:00～
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	10.30後楽園ホール大会
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	10/25を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	10/25を参照
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	髙田vsミルコ戦の今後と12.31『猪木ボンバイエ2001』への展望

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888 ☎03-5802-5550
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5280-1104／☎06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00 土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ・ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5351-4055
（16：00～21：00）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

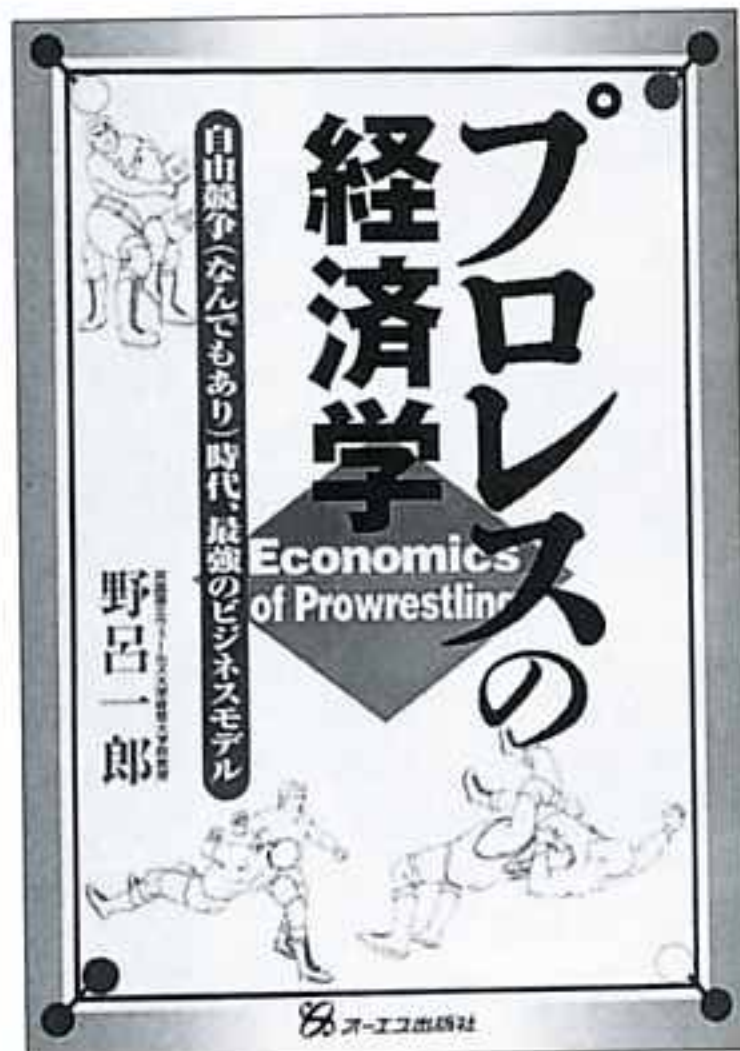
BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介❶〉 It's HOT!

『プロレスの経済学』

野呂一郎著/オーエス出版
本体価格　1,300円/発売中

なんでもありの時代に、最強のビジネスモデル本登場！

現在のマット界の状況を、"経済活動"という視点から分析した本が登場したぞ！この本を著した野呂氏は、「プロレスこそ生きた経済の教科書だ」という理念のもとに、千葉商科大学で経営学の講義を受け持っている人物。実際の講義では、タイガーマスクのマスクを被って授業をしたり、教壇で生徒にSTFをかけたりしているというから驚きだ。本書でも持ち前のユニークさが遺憾なく発揮され、新日本プロレスとWWFのビジョンの違いが経営にどう反映されているかや、三沢と藤波を比較することによってリーダーの資質を考察したり、桜庭をブレイクさせた髙田延彦のコーチングを例にとり部下と上司の最良の関係を検証したりなど、氏のオリジナルの視点からプロレスの経営戦略の分析がなされている。"経済学"というと、一見堅苦しく感じるが、プロレスLOVEを持っている人になら誰にでも読みやすいぞ！

〈新刊紹介❷〉 It's HOT!

『バーリ・トゥード最前線からの証言』

ローリング・ストーン編著/スタジオDNA
本体価格　1,500円/発売中

第1回UFCから『プライド15』までのバーリ・トゥードの歴史を徹底検証！

『プライド17』や『イノキ・ボンバイエ2001』など、これから年末にかけてますます盛り上がっていく総合格闘技界。そのブームの原点とも言うべきホイス・グレイシーが衝撃的に登場した第1回UFCから、ヒクソンvs高田、船木戦、桜庭のグレイシー狩り、最近の『プライド』ブームまで、バーリ・トゥードの近年の歴史を徹底検証したのが本書だ。小路晃、近藤有己、美濃輪育久、菊田早苗、安田忠夫、藤田和之などのバーリ・トゥードの闘いに挑み続ける日本人選手へのインタビューだけでなく、格闘技に携わる専門マスコミの証言をもとに本書は構成されている。本誌でもお馴染み"格闘技界の哲人"堀辺師範のインタビューがあったり、マスコミ座談会には本誌編集長のサダハルンバ谷川も登場しているぞ。ホイスのUFC登場から8年。バーリ・トゥード界がどのように展開してきたか、この一冊でその歴史をバッチリおさえよう！

PRESENT!

今回このコーナーで紹介した『バーリ・トゥード最前線からの証言』を抽選で本誌読者3名にプレゼントするぞ。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今号の感想を明記した上、下記のあて先までご応募を。締め切りは11月8日（木）の消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部　BOOKS『バーリ・トゥード最前線からの証言』係

GOODS INFORMATION

『WORKS』

フォーブリック/12,000円

髙田&桜庭グッズが盛りだくさんの特別限定ボックスセット、11月3日発売！

髙田延彦と桜庭和志のグッズが盛りだくさんの特別限定ボックスが、11月3日東京ドームで開催される『プライド17』の会場と、Net通販で販売されるぞ。欲しい人は、会場に足を運ぶか、今すぐインターネットにアクセスだ！
◆商品/髙田延彦&桜庭和志の写真集（2冊1セット）、髙田vs桜庭の道場3ラウンドマッチのDVD、WORKS限定Tシャツ（髙田バージョン、桜庭バージョン各1点）、WORKSオリジナルトートバック1枚
◆Net販売アドレス/http://www.so-net.ne.jp/pride/
http://www.takada-dojo.com
◆お問い合わせ/株式会社フォーブリック　☎03-5312-1080

BOOK RANKING (10/1～10/14調べ)

1. **ダイナマイト・キッド自伝『ピュア・ダイナマイト』**
ダイナマイト・キッド著/エンターブレイン
本体価格　1,800円
2. **『合気道の奥義』**
吉丸慶雪著/ベースボール・マガジン社
本体価格　2,500円
3. **『極真魂』**
黒澤浩樹著/双葉社
本体価格　1,400円
4. **『俺の魂』**
アントニオ猪木著/あ・うん
本体価格　1,500円
5. **『からだには希望がある』**
高岡英夫著/総合法令出版
本体価格　1,400円

1位　ダイナマイト・キッド自伝『ピュア・ダイナマイト』

ダイナマイト・キッドの自伝本が堂々の1位を獲得。初代タイガーマスクとの激闘、全日、WWF時代、ステロイドとの闘い、そして妻との離婚まで、私生活を赤裸々に語っている。読み応え十分だ！

書泉ブックタワー

東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲プロレス・格闘技の本を探すならここ、『書泉ブックタワー』！　本誌のバックナンバーも常備しているので、探している本があったら秋葉原の書泉へGO！

書泉ブックタワー　後藤　実副主任

「今月も新刊が多数出ました。中でもダイナマイト・キッドの本はダントツの売れ行きですね。その他にもボクシング関連の本が数多く出版されたりと、今月は幅広く売れました」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介①〉 It's HOT!

『WHEYプロテイン
ストロベリータイプ（700g）』
健康体力研究所/4,800円（税別）
体力をつけたい人にぜひおすすめ！

100％ホエイプロテインをベースに、ビタミン、ミネラルを強化したプロテインが出た！　脂肪を燃焼させ、効果的に筋力を付ける高レベルのアミノ酸を含んでいるから、体力アップにはもってこいだぞ！

〈おすすめグッズ〉 Recommend

『ゴング』
ISAMI/9,800円（税別）
ゴングの透き通った音色がキミの部屋に！

「ゴングが欲しい！」という声に応えて、ISAMIから台座、木槌付きの本物のゴングが9,800円のリーズナブル価格で登場だ。寝起きやこれから勉強を始める時など、ゴングを鳴らせば、身がキュッと引き締まるぞ！

〈新作紹介②〉 It's HOT!

『カラースパッツ』
ISAMI/2,800円（税別）
このフィット感がたまらない！

総合格闘技系の試合で選手が着用することが多いショートスパッツが大好評発売中だ。色は赤と青を用意しているが、それ以外の色を特注することもできるぞ！　詳しくはイサミ尚武堂までお電話を。

イサミ尚武堂から嬉しいお知らせ！

本誌持参で10％OFF

現在、イサミ尚武堂では、特別キャンペーン実施中。10月25日～11月30日までの期間、今号を持参すると、レジにてお買い上げの品物が10％OFFになるぞ。さっそく『SRS・DX』を手にイサミ尚武堂へGOだ！
※ただし、一部商品を除きます。

イサミ尚武堂（株）
大貫勲店長

「これから肌寒くなっていく冬シーズンに向けて、ぞくぞくと新しい商品が入荷します！　店内の改装も終わりました。当店は年中無休ですので、お気軽にご来店ください」

イサミ尚武道（株）
東京都千代田区三崎町2-18-5　京三会館2F
☎03-5214-6487
営業時間/11:00～19:00（年中無休）

Et cetra

船木誠勝&バス・ルッテン主演映画『シャドーフューリー　アルティメット・クローン』上映

10月26日（金）〜11月2日（金）、渋谷パンテオンで開催される「東京国際ファンタスティック映画祭2001」に船木&ルッテン主演映画『シャドーフューリー　アルティメット・クローン』が上映されることになったぞ！　なお、上映日当日は船木&ルッテンの舞台挨拶もある。これを見て「明日、また生きる！」勇気をもらおう。

◆上映日時/10月30日（火）15:30開場〜17:50終了（舞台挨拶16:00〜）
◆場所/渋谷パンテオン（東急文化会館1F）
◆料金/前売り1,000円、当日1,200円
※チケットぴあ（☎03-5237-9999）、ローソンチケット（☎03-5537-9999）、東急文化チケットセンター（☎03-3406-1513）で発売中
◆お問い合わせ/東京国際ファンタスティック映画祭事務局 ☎03-5777-8600

『第12回全日本アマチュアシュートボクシング選手権全国大会』出場選手募集

シュートボクシング協会では、12月9日（日）、文京スポーツセンターで『第12回全日本アマチュアシュートボクシング選手権全国大会』を開催する。現在、出場選手を募集しているぞ。果たしてキミの実力はどこまで通用するのか？　ぜひチャレンジだ！

◆日時/12月9日（日）8:50〜
◆場所/文京スポーツセンター（地下鉄丸の内線「茗荷谷」駅から徒歩5分）
◆出場料/7,500円
◆種目/軽量級（57kg以下）、中量級（67kg以下）、重量級（67kg以上）
◆出場資格/身体健康な満15歳以上の男女で、プロの試合に出場したことがない者
◆申し込み方法/申し込み用紙に必要事項を記入し、下記のあて先までお送りください
〒111　東京都台東区花川戸2-2-8　ワコー花川戸ハイツ1F
※申し込み用紙が手元にない方は、電話もしくはシュートボクシング協会にて直接お取り寄せください
◆申し込み締切/12月3日（月）必着
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会　☎03-3843-1212

『第3回 アマチュアパンクラス オープントーナメント』出場者募集

11月23日（金・祝）P's LAB東京にて『第3回アマチュアオープントーナメント』を開催、出場選手を募集中だ。今年はいったいどんな熱い試合が繰り広げられるのか？　それは参加するキミの手にかかっているぞ！

◆日時/11月23日（金・祝）10:00〜
◆階級/60kg未満、70kg未満、80kg未満、120kg未満
◆試合会場/70kg未満、80kg未満…P'sLAB東京（地下鉄日比谷線「広尾」駅から徒歩5分）60kg未満、120kg未満…P'sLAB横浜（JR「関内」駅から徒歩3分）
◆出場料/6,000円
◆出場資格/格闘技経験2年以上で、16歳以上の心身共に健康な男性
◆申し込み方法/住所、氏名、電話番号を明記し、80円切手を同封の上、下記の宛先まで申し込み書をお取り寄せください。後日、書類を返送します
〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25　P's LAB 2F（株）ワールドパンクラスクリエイト「アマチュアパンクラスオープントーナメント」係
◆申し込み書取り寄せ締切/11月9日（金）消印有効
◆出場申し込み締切/11月16日（金）消印有効
◆お問い合わせ/ワールドパンクラスクリエイト ☎03-5792-7079

『PRIDE　プロレスラー列伝』ビデオ&DVD発売！

高田延彦のヒクソン・グレイシーへの挑戦からはじまった『プライド』4年間の歴史の中から、アレクサンダー大塚、谷津嘉章、藤田和之、高山善廣など日本人プロレスラーたちの闘いを厳選。ビデオ&DVDになって登場だ！　未公開映像などを含めた貴重な映像が満載。またDVDには、『PRIDE.10〜15』までの「元気ですか〜」から始まる猪木の"ダー"全集が収録されているぞ。

◆商品名/『PRIDE プロレスラー列伝　Great Respect 〜猛き群雄の生きざま』
◆価格/ビデオ9,500円（税別）/100分/11月2日発売
DVD4,800円（税別）/110分/11月9日発売
◆発売元/メディアファクトリー/フジテレビ映像企画部
◆お問い合わせ/メディアファクトリーカスタマーサポートセンター　☎03-5469-4880（月曜〜金曜日10:00〜18:00）

ターザン山本、PRIDE前夜祭トークライブ開催！

格闘技プロレス図書館「闘道館」では、前回好評だったターザン山本自画自賛トークライブに続き、第2弾『ターザン山本PRIDE前夜祭トークライブ』を決行する。「猪木軍とは何か？」、「桜庭はシウバに勝てるのか？」など、『PRIDE.17』前夜に、格闘技界の気になる話題をぶった斬るぞ！

◆日時/11月2日（金）19:00〜（90分一本勝負）
◆場所/東京都千代田区三崎町2-9-9ナカヤビル5F　闘道館内（JR総武線「水道橋」駅から徒歩3分）
◆料金/前売り1,500円（当日2,000円）
◆お問い合わせ/闘道館　☎03-3512-2080、ホームページアドレスhttp://toudoukan.hoops.livedoor.com/
※塾長ターザン山本の「一揆塾」がホームページを開設！
◆アドレス/http://www.info-station.net/ikkijuku/

宇月田麻裕の 北斗占い

Mahiro Utsukita

破軍 武曲 廉貞 文曲 貪狼 禄存 巨門

10/25〜11/7

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が表る。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブコク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

貪狼星

全体運
小さなこだわりは捨てたほうが良いとき。スキルの探求、仕事のレベルアップと、こだわることが大切なこともあるけど、必要以上はNG。ささいなことから、ケンカやトラブルが勃発することに。今は大らかにどーんと構えていて。

恋愛運
デートのあとに別れを惜しむくらい、恋人とラブラブなときだけど、常識を超えた付き合い方はNG。フリーは、ご無沙汰している女性に連絡してみると◎。

勝負運 邪念が足を引っ張るとき。クリアな気持ちで。
健康運 深夜までの遊びはNG。体調不良になりそう。
金運 金欠のときはクヨクヨするより楽観的に。

★ラッキーカラー★ グレーピンク
★ラッキーアイテム★ アクセサリー
★ラッキースポット★ 展望レストラン

巨門星

全体運
規則正しい生活を心掛けて。心身のバランスが崩れやすいので、なるべくキープできるようにしていこう。落ち込んだときには、恋人や友達に思い切りグチってみてもOK。ただし、いつまでも長引かせるのはNG。スッキリが秘訣。

恋愛運
ラッキーハプニングの予感。思い掛けないところでターゲットの女性と出くわしたり…、な〜んてことが。カップルは、二人にとって嬉しいニュースあり。

勝負運 焦りがちな気持ちを安定させるとOK
健康運 ちょっと神経過敏に。気にしないのが一番！
金運 友達の情報に耳を傾けるとラッキーあり。

★ラッキーカラー★ ゴールド
★ラッキーアイテム★ ヘッドフォン
★ラッキースポット★ フィットネスクラブ

禄存星

全体運
コミュニケーション運がダウン。気遣いのハートを持つことで運気は好転。八方美人過ぎるかな〜って思うくらい、周囲にサービス精神を発揮するとグッド。とくに年上のオジ様には念入りに親切を。人の頼みごとは快く受けるとOK。

恋愛運
フリーは、気になる女性がいたら、笑顔でアピール。やたらに筋肉美を披露するのは逆効果に。カップルは、エッチが二人の絆を深めてくれるとき。

勝負運 ライバルと切磋琢磨すると運気アップ。
健康運 カゼをひきやすいとき。防寒を考えた服を。
金運 保険の見直しをすると、ムダが見つかりそう。

★ラッキーカラー★ イエローグリーン
★ラッキーアイテム★ チケット
★ラッキースポット★ 車の中

文曲星

全体運
目標をひとつにキメて行動をしよう。エネルギーが分散しやすいので、あれもこれもと欲を出すと失敗して、結局アブハチ取らずになりそう。破軍の友達や先輩が、あなたにパワーを与えてくれるので、相談を持ちかけてみるとグッド。

恋愛運
ライバルに要注意。大好きな人が知らない間に略奪されてしまう可能性あり。あなたの格闘家としてのメンツを賭けて、恋の闘魂をメラメラ燃やして。

勝負運 体調をキープできるかが勝敗の分かれ道。
健康運 右ヒザが弱点に。しっかりガードしておこう。
金運 お金の貸し借りは絶対にダメ。友情にヒビが。

★ラッキーカラー★ ワインレッド
★ラッキーアイテム★ ハーブ
★ラッキースポット★ 映画館

廉貞星

全体運
吉兆星が輝いています。積極的に行動をしよう。あなたのリーダー的資質が発揮されて、大舞台でビシっとキメられる暗示。また、以前からチャレンジしたかったことに果敢に挑んでいくとグッド。予想以上の好結果が期待できそう。

恋愛運
合コンなど、友達に誘われたら迷わずGO！そこにはステキな出会いが待っているハズ。デートは、火曜、水曜がラッキーデー。誘うならその日に。

勝負運 アドレナリンを一気に発揮して勝利をゲット。
健康運 眼精疲労からくる肩こり、頭痛に要注意。
金運 感謝されるような行いをするとラッキーあり。

★ラッキーカラー★ シルバー
★ラッキーアイテム★ レザーファッション
★ラッキースポット★ 地下街

武曲星

全体運
違いを作ることで成長できるチャンス！　コツコツと努力することが苦手なあなたも、今は縁の下の力持ち的な役割に徹すると◎。地道な作業を続けることで、大舞台に立つには、ステージを作ることが大切だって実感できるハズ。

恋愛運
派手な演出や言動よりも、ハートが何よりも大切。恋人に思いやりの言葉を投げかけてみて。いつもと違うあなたに、彼女のハートはもうメロメロ。

勝負運 勝負を賭ける時期ではないので見送ったほうが。
健康運 充分にストレッチをして体を温めるとOK。
金運 情けは人のためならず精神でいくとグッド。

★ラッキーカラー★ ネイビーブルー
★ラッキーアイテム★ ベルト
★ラッキースポット★ 改札口

破軍星

全体運
凶兆星が現れます。ミスが多くなりがちなので、何をするにも必ず要チェック。約束の場所や時間も、携帯があるからいいや、な〜んて安易な気持ちでいると、電波が届かない場所だったりして、大失敗につながりそう。

恋愛運
複数恋愛はNG。安易な交際は、性病をうつされたり、相手を妊娠させてしまったりと、とんでもないことに発展。一人の本命と大切に愛を育んで。

勝負運 北の方角に向かっていくと勝運がアップ。
健康運 階段や乗り物の乗り降りには要注意。
金運 病院の治療代や物の修理代で出費がありそう。

★ラッキーカラー★ ブラウン
★ラッキーアイテム★ ジーンズ
★ラッキースポット★ ファーストフード店

宇月田麻裕プロフィール　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、タロットをはじめ西洋、東洋の占いをオールマイティに使う。TBS「ワンダフル」出演をはじめ、雑誌、映像などで活躍中。URL http://www.happiness-f.com/

のマイク・タイソンが、11カ月ぶ

界王者から勝利を収めているが、ラリ

「悪いデキじゃない」とタイソンは満足

タイソンが今回ニールセン戦をこなし

ワンパンコラム 連載第57回

タイソンの担ぎ出しに暗雲——異種格闘技戦は2003年以降に

あのマイク・タイソンが、11カ月ぶりに復活した。ただし、周知のとおり、格闘技ファンが期待した総合格闘技でも、K—1でもない。やはり、プロボクシングでのリングである。まずはその概要から振り返っておこうか。

10月13日、デンマークのコペンハーゲンで試合は挙行された。40年のプロモーター・キャリアを持つモーゲン・パレは、屋外のサッカー場パーケン・スタジアムに巨大なテントを張って、会場を設営した。前座には31戦全勝の英国のスター、ジョー・カルザーギが登場するWBO世界スーパーミドル級戦をはじめ、自分の傘下にある世界ランカー級を続々と登場させる豪華版である。米国への中継に合わせて深夜の興行だったにもかかわらず、2万5000用意されたシートはほぼ満杯の観客で埋まった。

もっともファンが本当に待ち望んでいたのは、マイク・タイソンその人に他ならない。試合の12日前に現地にやってきた元統一世界ヘビー級チャンピオンに、連日、スポーツ・マスコミは群がった。気晴らしにタイソンがナイトクラブに出かけると、ファンが殺到して、お目当てのストリップ・ショーが始まる前にホテルに帰らなければならなかった。

そのタイソンの相手に指名されたのは、ブライアン・ニールセンという36歳のボクサーだ。IBOというマイナー団体の世界王者だが、世界的には無名と言っていい。バルセロナ五輪銅メダリストで、プロ転向以来63戦62勝43KO1敗と経歴は立派だが、誰も数字と実力が一致しているとは思っていなかった。6人の元世界王者から勝利を収めているが、ラリー・ホームズはそのとき47歳だったし、ティム・ウイザスプーンも42歳だった。「立派な体（191センチ、118キロ）は見た目どおりに頑丈で、防御が固くスタミナもある」という評価も、ごく少数派に過ぎない。戦前の掛け率も20：1、さらにタイソンの1RKOに賭けて大儲けを企んでも、100ドル稼ぐのに300ドルの投資が必要とされた。

タイソンも計量では239ポンド（108・6キロ）を計測した。これは16年のキャリアの中で、これまでの最高値を6ポンド更新する新記録で、なおかつ前戦のアンドリュー・ゴロタ戦から16ポンドも重い。タイソンの実際の身長は175センチと言われているから、いかに肉がついていたか分かる。この体重こそ、タイソンが対戦相手のニールセンをどう見ていたかの証にもなるのだろう。試合後、「相手の体が大きかったから、体重を増やしたんだ」と本人とフィジカル・トレーナーのステーシー・マッキンリーは言っていたが、誰が信じるもんか。

果たして試合では、ニールセンは想定どおりに、タイソンの動くサンドバッグを務めることになる。地元では絶大な人気を持つニールセンは「前半は耐えて、後半勝負」と目論んでいたが、初回からタイソンの豪打の雨を浴びて、その戦力は見る見るうちに削ぎ落とされる。3Rには左フックを食らって、ついにダウンを喫してしまった。それでも立ち上がったニールセンの闘志はほめられるが、最後は「左目が見えない」と訴えて、7回開始ゴングに応じることはなかった。

「悪いデキじゃない」とタイソンは満足そうだった。「なかなかスピードはあった」とレポーターたちの評判も悪くなかったが、この評には「相手があれでは……」と辛口のただし書きがつく。タイソン本人も「世界戦までに2試合の準備が必要」と言っていたもの。次戦は1月に予定されているという。このスーパーボクサーも34歳になって、ベストの状態がどのあたりにあるのか、まだまだ彼自身の体に聞いてみなければならないようだ。

ひと仕事片付けたタイソンは今後1カ月以上、米国に帰る気はないらしい。ヨーロッパのどこかでトレーニングを積むと言う。それもそうだ。米国に帰れば煩わしい雑事が待っている。7月にはスーパーの50歳のレジ係に「レイプされた」と訴えられ、9月にもメイドからも性的暴行を告発された。ラスベガスにある自宅は、すでに地元警察から家宅捜索されたという。ありあまる名声と金を持つタイソンが、見境なく女性を組み伏せるとは思えないが、これも有名税だから仕方ない。ついでにビンラディンのテロのおかげで、イスラム教徒のタイソンが米国では居心地がいいわけがない。のんびりヨーロッパにいて気分を休めたいのだろう。

さて石井館長、アントニオ猪木が綱引きをして盛り上がった、タイソンの異種格闘技戦参戦は今どうなっているのか。格闘技ファンとしてはもっとも興味あるところに違いない。だが、実現性はきわめて薄くなったと言えよう。プロレスのWWFが年内の興行にタイソンを呼ぶと言っているが、これもゲストに過ぎない。

タイソンが今回ニールセン戦をこなしたことで、世界王座奪回への路線が明確に固まったと言えるからだ。それでなくても、タイソンとの契約を持つショータイムは、金ヅル確保に躍起だ。HBOと米国のペイテレビの最大シェアを争う同局の収益歴代トップ10の1位と2位がタイソンの試合なのである。すでに消えたものの、WBC王者ハシム・ラクマンに対して、タイソンとの対戦を約20億円で持ちかけたこともある。タイソンへのペイはおそらくこの倍にはなるはず。最大のライバルにして、もっとも金になる対戦相手レノックス・ルイスも、不本意なKO負けを喫したこのラクマンとの再戦を11月に行う。これにルイスが勝てば、世紀の一戦実現は一気に現実味を帯びてくる。ショータイムとルイスを傘下にするHBOは、この世紀の一戦の権利を奪うために、さらに猛烈な条件闘争を行うはずだ。タイソンがよそ見をする暇はない。

もしタイソンが異種格闘技戦を行うとすれば、この全てのスケジュールが終わったあと。2003年以降ということになりそうだ。（宮崎）

▲世界中での視聴者数累計は1億9千万人にのぼるとPPV局のショータイムは発表。タイソンの人気は依然としてもの凄い

0月8日、私は福岡にいました。K―1を取材し

ABNORMAL★MOGUTAN

あぶもぐ

九日目

親方◎小松モグタン

10月8日、私は福岡にいました。K―1を取材していたからです。目の前には、中洲のネオン街が広がっていました。私は意気揚々と、中洲に乗り込みました。目的はアレ一つ。しかし、不覚にも昼間にお金をおろすのを忘れてしまい、独り寂しく長浜ラーメンを啜るはめに……。チクショーッ！　そんな悔しさも込めて、9日目いくぞーっ！

『金曜日の妻たちへ』

僕は関脇に買われたチャンコの材料です。関脇は十両をシバいてチャンコを作らせます。十両は悲しくて泣きます。

悲しくて、悲しくて故郷の懐かしい風景やお母さんの顔を思い出します。包丁を握りしめて、関脇のヤローを刺してやろうかとも思います。でも、我慢します。なぜなら、チャンコ作りを覚えることは、廃業した後のことを考えると、とても大事なことだからです。

僕は、十両にブツ切りにされたり、細切れにされたりしていました。と、その時。

親方夫人が入ってきました。夫人は、物欲しそうな顔で十両をジッと見つめてます。体の火照りが目の奥に宿っています。十両もその気になりました。

しかし、十両はある一つの恐ろしい事実を知りません。

夫人は気に入った男を腑抜けにするまで放さない、カマキリのような女なのです。

ハッケヨイ！

（山西浩男・東京都府中市・45歳）

相模原チグモン3歳
（4コマ）

ミドル級GP

この程TBSはK―1ミドル級GPの放映権を獲得。
新番組「格闘王」も放送開始いたしました。
K―1ミド

どうも。イメージキャラクターのケイン・コスギです。
自分も体格的にはミドルなんで最終的には参戦の方向でいきたいと思います。

カシャ
カシャ
K―　ル級　P

…ミ、ミドルですよね？
ええ。

考太郎

第3回オープントーナメント
格闘家“男前”選手権
〜たとえ小川、ヒクソンでもこの土俵には上がれない〜
男前！
(K.O.D)
プロレス界のプリンス 高田延彦
ハセキョーもゾッコン！ K-1の貴公子 ミルコ・アビディ
元祖男前!? 安田忠夫

▶安田顔・石川県金沢市・？歳
◇正直、安田ばっかり取り上げてすまんとは思うけど、本当に男前だからしょうがない

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

〈読者の声〉

【55号】

K－1vs猪木軍はとても分かりやすいと言える。決して、K－1vs『プライド』（総合）ではないと言える。そして、猪木軍はプロレスであり、競技格闘技ではない。10・8の新日も見たけど、総合モドキだけはやめてほしい！　ある意味純プロレスのほうが面白い。特に藤田vs佐々木はハンパな試合だった。プロレスを見せるなら、プロレスと、してほしかった。『プライド』とはまったくもって比較にならない！　メインの秋山の出た試合のほうが、プロレスを見せてくれた。SRS・DXも『プライド』と猪木軍（プロレス）は一緒の扱いだけはしないでください。
（松山義弘・千葉県山武郡・40歳）
◇たしかに、10・8東京ドームで一番格好良かったのは、武藤だったけど……。猪木軍が、プロレスを背負ってくれているところを見せてくれれば、それでいいです。

プロレス専門誌とは違う切り口で、バーリ・トゥードに参戦したドス・カラスJrなどの特集を見たい。
（松儀博史・山梨県山梨市・30歳）
◇バトラーツでも村上といい試合をしたドスJr。次の『DEEP2001』への出場も決定したので、正直楽しみ

K－1の肩を持つような記事じゃなくて、平等な記事を書いてほしい！！　プロレスファン、ナメんなよ！！
（北山良明・富山県高岡市・27歳）
◇怒れ！　プロレスファンよ！　その怒りを『プライド17』と大晦日の「イノキ・ボンバイエ」にぶつけろ！　ただ、べつに『あぶもぐ』は読者をナメたりはしていないぞ

【56号】

プロレス団体全体が低迷している！　プロレスファンとして、どうしたら熱くなるのか？　我こそは、と思うプロレスラーよ立ち上がれ！　そして、戦え！　会社と戦え！　時代と戦え！　負けるな！　プロレスラーたちよ！
（右手祐太・大阪府羽曳野市・18歳）
◇熱いプロレスファンのメッセージ。この声に立ち上がれ、プロレスラーよ！

ヒーリングのインタビューなど他誌にない記事があって好きです。11・3ですが、ミルコが来るか心配です。あと小川、好きだったのですが、最近は楽しようとしてる姿が目につき、嫌いです。ファンは『プライド』での小川を見たがっているのに……。SRSからもガンガン小川を煽ってくださいヨ！
（渡辺淳也・新潟県柏崎市・19歳）
◇とりあえず、真撃に出場する小川を見に行こう！

パレスチナ問題が「世界の中でインディ」とありますが、正確には「日本、中国、韓国、北朝鮮では扱いがインディ」だと思います。
（甲下雅也・神奈川県横浜市・31歳）
◇こういう国際問題に触れてくる人がいると、誌面も締まる

小川vsノゲイラが見たいんですけど。小川がノゲイラと闘うように追いつめてください。『プライド』もヒクソンに1億円のギャラを払うなら、小川に1億円のギャラを払ったほうがいい。
（渡辺弘幸・愛知県名古屋市・32歳）
◇見たいねぇ、小川vsノゲイラ。渡辺さん、1億円出せない？

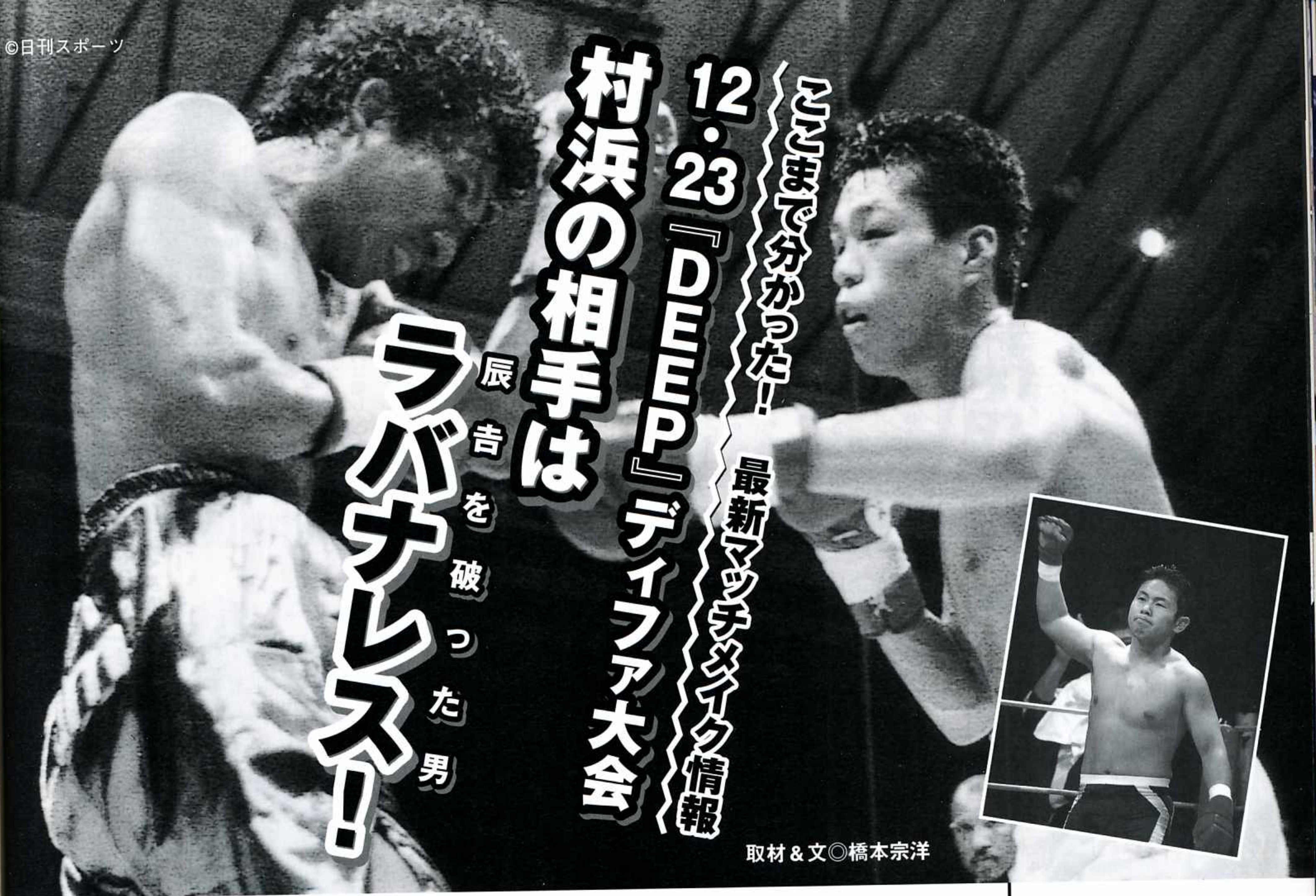
橋本と猪木が仲良くしてほしいので、SRS・DXが二人の仲を直してください。また、橋本のZERO-ONEをマスコミの力で破壊してください。お願いします。
（長南憲司・千葉県流山市・25歳）
◇また、物騒なハガキが。破壊王のZERO-ONEを、破壊できるわけがねぇだろう！

もし小原が『プライド』に出場したら、『狂犬パワーボムTシャツ』作ってくれい！　正直、買う。
（八武崎貴広・東京都江戸川区・18歳）
◇小原vsヘンゾ・グレイシー決定！　犬軍団vsグレイシー一族の抗争に発展するか！？

どうして関西テレビでは「SRS」の放送が2～3週間も遅れるのか、取材してください。
（春乃・兵庫県明石市・35歳）
◇それは、テレビ局の都合で……。

最近大阪でのビッグマッチが少ないので、そこんとこよろしく。季節外れでハセキョー水着グラビアしてよー！
（青戸渉・鳥取県米子市・27歳）
◇このスケベ！　でも見てぇなぁ、ハセキョーの水着グラビア、ンムフフ

つまらないのは（戦争で）あるかないかも分からないミルコvs髙田が一面にきていること。モハメド・アリvs石川雄規のほうが良かったと思う。石井館長の総合に向いているK－1戦士、亡くなっているアンディが1位？「イノキ・ボンバイエ」にプロレスラーのサップを出すな。ミルコvs藤田でのルール問題など、石井館長は信用度を増してほしい。
（原崎吉美・静岡県藤枝市・38歳）
◇そんなことはないぞ、石井館長は信頼できる人だ。ミルコvs髙田は、あるかないか分からないことまで含めて、ドキドキできる。2倍楽しめるぞ！

ここまで分かった！　最新マッチメイク情報

12・23『DEEP』ディファ大会
村浜の相手は辰吉を破った男ラバナレス！

取材＆文◎橋本宗洋

12月23日に日程が変更、修斗NK大会とのバッティングを回避したと思ったら、今度は『プライド』福岡大会と日程がカブってしまった『DEEP2001』ディファ有明大会。が、『DEEP』のウリは修斗とも『プライド』とも違う独自路線にある。その奇想天外なマッチメイクには、今回も期待大！　というわけで、佐伯繁代表に出場選手＆対戦カードをギリギリのところまで語ってもらった。

「村浜VSラバナレスはエスケープありの特別ルールで」

　毎回、異色のカードで我々を驚かせたり喜ばせたりの『DEEP』佐伯代表が、今回もやってくれた！

　一部新聞で報道されたように、村浜武洋の対戦相手として、元WBC世界バンタム級チャンピオンのビクトル・ラバナレスと交渉中だというのだ。ラバナレスといえば、あのカリスマ・ボクサー辰吉丈一郎に初黒星をつけた男。38歳になる今も現役を続けているが、当然VTは初挑戦。それにしても、凄いところに目をつけるもんだ。

「いっつもそんなことばっかり考えてるもんでねぇ（笑）。変わったことやってかないと、ウチみたいな団体は。オファーはもう出してて、出場の意思も確認してます。10月中には正式に決まりますよ。ルールはエスケープありの特別ルールにしようと思ってます。1Rにつき5回までとか。グローブもオープンフィンガー、ボクシンググローブどっちでも選べるようにしようと。後から『オープンフィンガーはやりにくかった』とか言い訳されてもイヤなんでねぇ。解説は辰吉さんにお願いしたいです」

　村浜のほうも、ラバナレス戦を了承。ジョン・ホーキへのリベンジに燃えているという村浜だが、そのためにもラバナレスにいい勝ち方をしたいところだ。勝ちに徹するなら寝技勝負だが、ここはやはり、打撃戦を期待したい。

　また、今大会にはもう一人、初参戦の外国人選手が登場するかもしれない。

「あんまり名前は知られてないですけど、ヘビー級で、本当のパワーファイターです。ストロングマンコンテストなんかで何度も優勝してて、VTも1回やって勝ってますね。力ではグッドリッジでも勝てないんじゃないかなぁ。ウチは〝軽・中量級が中心〟ってコンセプトで始まったんですけど、まあそれは置いといて（笑）、もし出たら面白いでしょう」

「ルチャは今後もどんどん出します！」

　さて、前回の大会での最大の話題といえば、ルチャドール、ドス・カラスJrだった。最初はただのイロモノかとも思われたが、なんと謙吾をフロントスープレックス（暗号名・チリマ）で右ヒジ脱臼に追い込み、TKOで見事な勝利。一気にルチャ幻想を膨らませた。今回も引き続いてドスJrの出場が正式決定。気になる対戦相手は……？

「ドスは実際どこまで強いのか、もっと見てみたい選手なんで今回も出場をお願いしました。相手には、意外な選手が名乗りを挙げてくれたんですよ。謙吾選手の敵討ちということで。まだ発表はでき

ドスJrと闘う超大型日本人とは？

気になる田村の出場は……？
来年は日本VSルチャ5対5マッチを計画！

ないんですけど、日本人です、ハイ。謙吾選手にゆかりのある人で、超大型ファイター。この人とドスのカラミっていうのは、もう異色もいいとこ（笑）。でも面白い試合になるんじゃないかと思いますよ。打撃技も持ってるし、投げにも強い。ドスのスープレックスももらわないでしょうねぇ、まず」

謎が謎を呼ぶドスJrの対戦相手。佐伯代表曰く、「発表したら、みんなひっくり返りますよ、これは」というほどの選手らしい。

一方、ドスJrに敗北を喫して大バッシングを受けた謙吾の復帰戦も、この大会で行われる見込みだ。

「これは謙吾選手のケガの回復状況次第なんで、あくまで予定なんですけどね。当然、ドスとやりたいと思うんですけど、復帰していきなりっていうのはやめとこうと。今回は別の相手とやって、次に万全のコンディションでドスとのリベンジ戦に挑んでほしいということで。負けていろいろ書かれて、一番悔しい思いをしてるのは本人でしょうけど、なにしろ人生かかってますからね（笑）、そこは大事に」

ドスJrと謙吾のリマッチは来年2月か3月に予定される大会場での興行で行われるという。その目玉企画として、佐伯代表はこんな仰天プランまでブチ上げた！

「ルチャと日本人の5VS5マッチをやろうかなと。ドスVS謙吾もその中で。ルチャの出場候補ではシコデリコJrとかいろいろいるんですけど、どうもリスマルクJrが強いらしんですよ。あと100キロくらいあってホントに強いのもいて……って言ったらほかの選手はなんなんだって話になるんですけど（笑）、格闘技路線の選手もいますし、とにかくルチャは今後もどんどん出していきますよ」

他にも豪華＆異色カード満載！「採算が合わないかも……」

全7～8試合を予定している今大会。他にはどんな対戦が？

「まだ伏せておいてほしいんですけど、軽量級で考えてる組み合わせがあるんですよ。ちょっとマニアックだけど、いいカードですよ。あと坂田選手の相手はパンクラスから。トンパチなんで何を言い出すか怖いんですけど（笑）。それと、ウチと初めてカラむ団体もあります。プロレス団体で」

そのほか大物外国人によるエキシビジョンもあるとのこと。

「オファー出してる人から全員OKが出たら、ディファじゃ採算が合わないんで困っちゃうんですけどねぇ（笑）。でも面白いことやらないといけないんで。一回、会場が満員になったとこを見てみたいし（笑）」

「田村選手とは、何度も会って話をしてますんで」

そして、どうしても聞いておきたいのが、参戦の噂が根強い田村潔司について。鈴木みのるからの対戦表明も話題となったが……。

「田村選手の出場に関しては、今回はあるともないとも言い切れないんですよ。本人とは何度も会って『タイミングが合えばいつでも出ます』と言ってくれてるんで、焦らず話を進めていこうと。大会まで2カ月あるんで、今すぐに断言はできないです、これは。まぁ本人の方向性もありますからね。今、ジムが軌道に乗っていい結果も出てますし。彼の新しいスタートになる試合なんで、単にビジネスで出てもらうより、精神的にも肉体的にもいい状況で出てほしいですね」

佐伯代表の構想にはこんな男たちも！

話を進めるうちに、佐伯代表の口から様々な構想が飛び出してきた。今すぐ見たいものからとんでもないものまで、ざっと紹介してみると……。

「マルセロ・タイガーとアイブルとか面白くないですか？　サミングありで（笑）。またそういうこと言うと怒られちゃうけど（笑）」

「ジャイアント・シルバはウチのリストにも挙がってたんですよ」

「いま一番欲しいのは、やっぱりアフガニスタンの選手（笑）。シャレにならなすぎて無理なんですけど」

「キング・ハク（ミング）には前から興味あるんですよ」

あくまで独自路線を突き進む『DEEP』。全対戦カード決定は11月上旬となり、次号でお伝えできる予定なので、刮目して待て！ ■

▶謙吾を倒してプロレスファンの溜飲を下げたドス・カラスJrの参戦が正式決定。謙吾の敵討ちに名乗りを挙げた超大型日本人選手とは誰なのか!?

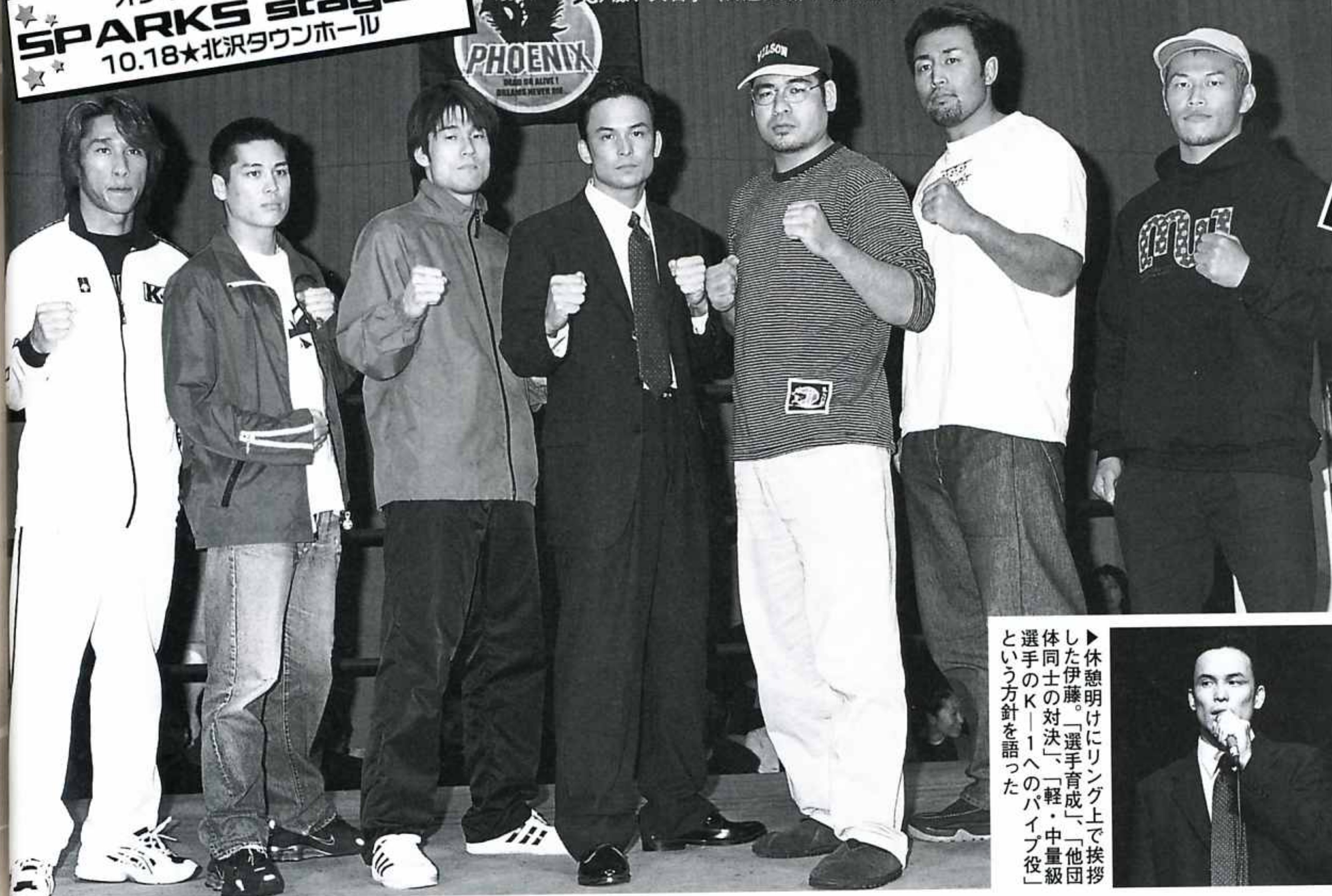
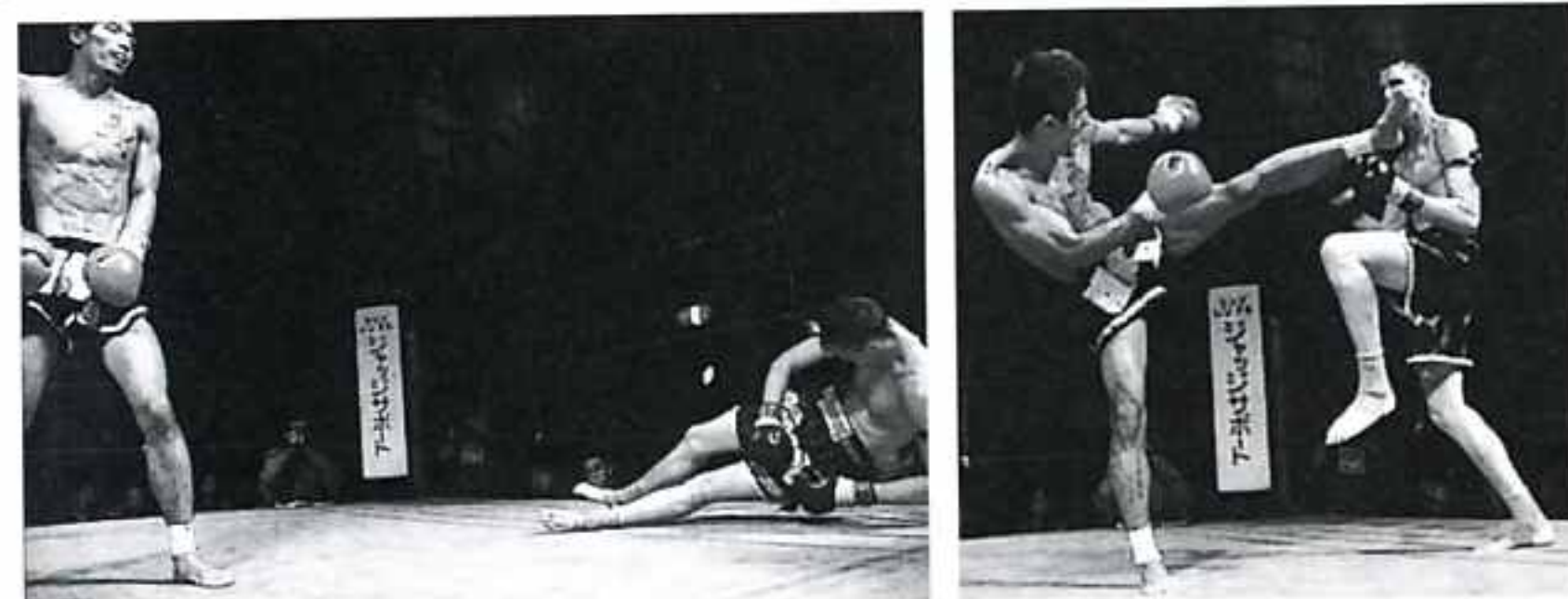
▲ドスJrのスープレックス"チリマ"で投げられて受け身に失敗。ヒジを脱臼して欠場に追い込まれた謙吾。ケガの回復次第で復帰戦を行う予定だ。ここでしっかり勝たなければ、リベンジどころの話じゃない！

◀フリー2戦目の元リングス・坂田亘は因縁浅からぬパンクラスの所属選手と対戦へ。本人は髙橋義生戦を希望していたが、今回は髙橋が12・1パンクラス横浜大会への出場が決まっているため、ほかの選手になりそう

◀前回、ルチャという金脈を期せずして発掘した佐伯代表のアイディアには、これからも要注目。追加情報によると、ラウンドガールには前回から続いて登場の工藤めぐみ、府川唯未に、キューティー鈴木も加わるとか。「季節柄コスチュームはサンタだね！　ボクもトナカイの着ぐるみで本部席に座ろうと思うんですけど、尾崎社長に怒られますかねぇ？」（佐伯代表）

オフィス・フェニックス
SPARKS stage-1
10.18★北沢タウンホール

伊藤隆プロデュース大会に響いた キック版 "俺たちの時代"の鼓動

伊藤隆がプロデューサーを務めた今大会には、団体のワクを越えて多彩なゲストが登場。左から前田憲作（チーム・ドラゴン）、小野寺力（新日本キック）、大野崇（BENEC）、伊藤、大石亨（日進会館）、柳澤龍志（チーム・ドラゴン）、須藤元気（フリー）

▶休憩明けにリング上で挨拶した伊藤。「選手育成」、「他団体同士の対決」、「軽・中量級選手のK―1へのパイプ役」という方針を語った

▲セミでは元MAライト級王者の加藤督朗（フェニックス）がオーストラリアのムエタイ王座を持つソーレン・モンコントーン・キングにKO勝利。途中、スタミナ切れで失速する場面もあったが、最後は見事な左ハイキックでキングを失神させた（4R1分56秒）。なお、SPARKSの試合はヒジなしルールを採用している

その他の試合結果

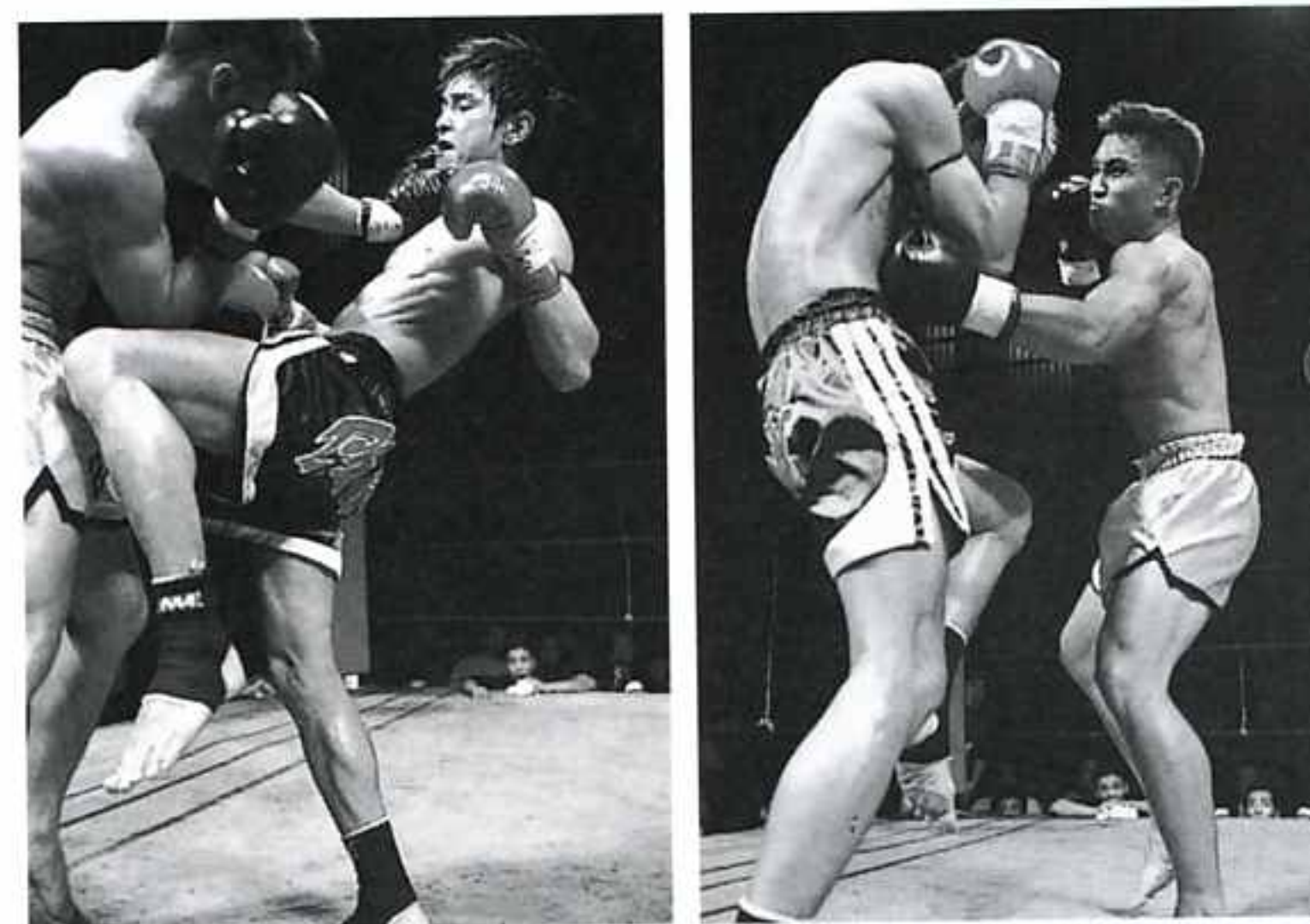
――3回戦――

●平谷法之（1R1分34秒、KO）卯月昇竜○
〈空修会館〉〈チーム・ドラゴン〉

▲AKAMINE（判定0-0、ドロー）桜井聡士○
〈TARGET〉〈湘南ファイトクラブ〉

●緒方洋季（判定3-0）須藤義徳○
〈チーム・ドラゴン〉〈八木橋ジム〉

●三好秀憲（2R2分57秒、KO）水野章二○
〈TARGET〉〈湘南ファイトクラブ〉

メイン登場の隼人は将来性充分！

▲後半2試合には伊藤が率いるチーム『フェニックス』の選手が登場。メインに抜てきされた若手の注目株、隼人は、かつて魔裟斗と闘ったこともあるメルチョー・メノーと対戦した。1Rに右ハイでダウンした隼人だが、その後は3倍以上のキャリア差がある相手に互角の攻防を繰り広げる。メノーのパンチ＆ローにミドルとヒザで対抗、ダウンが響いて判定2－0で敗れたが、今後に期待を抱かせる内容だった

撮影◎中島ミノル

「上の連中には期待できないですからね。オレらが引退して団体を運営する立場になったら、キック界も良くなると思うんですよ」

以前、あるキックボクサーがしみじみとそう語っていた。

分裂を繰り返し、よほどコアなファンでもない限り把握できないくらい団体が増えてしまったキック界。だが実は、選手レベルの交流（交友）は盛んで、多くの選手たちが様々なジムで出稽古や合同練習を行っている。根っこの部分では、団体の垣根などない。闘いたい相手と闘えず、多団体時代の被害者でもあるだけに、選手たちには「オレたちが上に立ったら」という思いも強いのだ。

そんな選手たちが、将来、今の気持ちのままでキック界を動かすようになること。キックの未来は、そこにしかないのではないか。そして、その先駆けとなるような大会が始まった。今年3月に引退した名キックボクサー・伊藤隆がプロデューサーを務める『SPARKS』だ。

大会を主催するオフィス・フェニックスは、団体というよりプロモート組織。『SPARKS』は、これまでのキック界ではありそうでなかった第三者による興行である。当然、どの団体ともしがらみはないし、選手たちとの"横のつながり"も強み。この大会の今後は、キック界を少しでもまともな状態にするために大きな意味を持ってくると思う。（橋本）

『文春ボクシングのレベルアップは

「女子ボクシングのレベルアップはホントに凄いよ」byセレス小林

撮影◎菊地奈々子

八島有美、土田奈緒子。白熱のペース争奪戦。初代フライ級王座は決まらず

八島のコメント

「4回戦からいきなり10回戦をやるので、スタミナが一番心配だったが、それは克服できていたと思う。とにかく、やりにくかった。右目の腫れ？　けっこうバッティングをもらったので。（土田は）接近戦というか、もっと入ってくると思っていた。王者になるためには彼女に勝たなければいけないので、すぐにでもまた闘いたい」

土田のコメント

「（八島は）ジャブが強かった。石をぶつけられたみたいだった。不利の予想？　自分の勝利を信じて闘わないボクサーはいないと思う。自分のやれることは全部やった。だけど、あと1ポイントでベルトが取れたのかと思うと、『あれもやっとけば、これもやっとけば』と思ってしまう。自分にはまだ成長できる余地があると思う」

ハードパンチャーの八島有美、うまく距離を取りながら断続的な攻撃を仕掛ける土田奈緒子。派手なダウンシーンはなくとも、十分に楽しめる10Rだった

▶左ジャブ。時にはここからすぐさま左フックと鋭くフォローされる。八島の左パンチの巧さには、セレス小林もしきりに感心していた

八島の『石のジャブ』が唸る。土田の果敢な『波状攻撃』が光る

土田の伸びのある右ストレートに、大きくのけぞる八島。中盤戦は土田が流れをコントロールしたが、あともうひとつの決め手のパンチを八島が許さない

▶判定は引き分け。規定により勝負は協会預かりとなり、空位の王座は日を改めて争われることになった

▶WBA世界スーパーフライ級王者・セレス小林と土田は師弟関係でもある。「よく頑張った。勝たせてやりたかった」と小林

▲大道塾出身の八島は一撃一撃がとにかくパワフル。左のフックを浴びた土田がたじろぐシーンも何度かあった

★第5試合・メインイベント/初代日本女子フライ級王座決定戦（2分10R）
△八島有美（10R判定1-1、ドロー）土田奈緒子△
〈ゴールドジム横浜馬車道〉　〈入谷〉
※採点…99-98（八島）、100-98（土田）、98-98。タイトルはコミッショナー預かりとなる

ＷＢＡ世界スーパーフライ級チャンピオンのセレス小林が女子ボクシングを観戦するのは、これが2度目のことだという。

「いやあ、ムチャクチャレベルが上がっているよ。スタミナなんかオレよりあるんじゃないの」

世界王者にここまで言わせたのは日本フライ級王座決定戦。なるほど、見事なペース争いに終始したのである。序盤戦、八島の強打が光った。まっすぐに体を立てるアップライトスタイルから繰り出すパンチはゴチンゴチンと鈍い音をたて、リングサイドまで強烈さを伝えてくる。セレスも「（八島の）左。うまいよね。ジャブを打って腕を伸ばしたままでフックを返せるもの」と言った。

中盤戦は土田のアウトボクシングが支配し始める。距離をうまくとって、機を見て飛び込むと右ストレートをヒットした。ここらあたりの展開の読みは、ボクシングジムでトレーナー経験があればこそだろう。ただし、最後の2ラウンドは八島が持ち前の厚みのある攻撃力で土田を追いつめる。試合はそのまま終了し、引き分けと判定が出た。ちなみに私の採点も95—95だった。

セレスの来場は一緒に練習している土田の応援のため。その土田は勝てなかったことが口惜しくて、リングの上で泣きじゃくる。そんな純情を見ていると、やっぱりもっと応援したくなる。

（宮崎）

SRS·DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

10・28『イノキ・ボンバイエ』先行発売を見逃すな!

A 10・8新日本プロレスの東京ドーム大会後、猪木が会見で「新日は客の水増し発表するな!」と言ってたけど、実際に見に行ったファンに聞くと、予想以上に入っていたと驚いているよ。当初は猪木プロデュースなしの同大会を心配する声もあったけど、やっぱりプロレスファンの底力を見た思いがするね。視聴率もK—1には負けたけど、俺はもっと低いのかなと思ってたんだ。

B その新日ドーム大会も驚いたけど、俺的にはK—1の東京ドーム大会が初動で3万枚も売れたという話を聞いて本当に驚いた。さすがに今年は、ベルナルドやミルコ、アビディ、セフォーといった人気選手が途中敗退して若手ばかりの決勝大会になってしまったため、苦戦するかと心配したよ。

C もっと言えば、アンディやグレコもいないし、日本人選手も出てませんからね。話題的にも最近は猪木軍との対抗戦が圧倒的に多いですから。

A 逆に言うと、その露出度は大きいよ。昨年、K—1はアンディが死んでしまったことで、K—1というものが世間的にもの凄く露出した。それが、ドーム史上最高の観客動員数(7万2000人)につながったと思うんだよ。それに匹敵するのが、今年の猪木軍との対抗戦。なんといっても、スポーツ紙やプロレス専門誌に連日のように「K—1」の文字が躍っているからね。結局、今度の『プライド』東京ドーム大会だって、K—1のミルコが大きな目玉になっている。あらゆるジャンルで今、K—1が席巻しているのが、チケットの売り上げにつながったんじゃないかな。

C 特に石井館長の露出は猪木さん並みですもんね。「オールナイト・ニッポン」のパーソナリティまで毎週やってますし(笑)。

B でも、純粋にK—1を見ても、逆に新しい世代の台頭が著しいのが良かったんじゃないかな。東京ドーム大会は年間のファイナルとして、もはや風物詩になっている。だから、「決勝戦だけは見に行こう!」というファンも多いと思うんだよ。でも、毎回同じメンバーだとマンネリになってくる。今のK—1は、どこかで新しいヒーローの登場を願っているでしょ。それを物語っているのが、ハントの登場。ハントが福岡で新しいタイプのヒーローとして出てきたことは大きいと思うよ。正直、今年の決勝大会はハントが一番注目されていると思う。いずれにせよ、石井館長は本当に強運の持ち主だよ。

A 11・3『プライド17』ドーム大会も、すでに過去最高の売り上げを記録しているみたいだし、猪木軍+『プライド』とK—1の今の勢いは凄い。これは年末の『イノキ・ボンバイエ』がどれほどの反響になるのか、楽しみだね。『イノキ・ボンバイエ』は10月28日に先行発売、11月11日に一斉発売するんだけど、あっという間に売り切れる気がする。

B うん。ただ、その中でどんな闘いを見せられるかは大切だよ。特に『プライド17』では、心から桜庭に勝ってほしいと思うね。桜庭がここでシウバに負けたら、日本人は弱いというイメージが再びついてしまう。

C 僕は今度こそ、髙田さんに男になってもらいたい。髙田さんは一試合一試合が引退につながっていくと思うんだけど、これだけ功績があるんだから、最後はいい思いをしてほしいですよ。ミルコが本当にどれだけ総合の練習をしているか分かりませんけど。

A いや、この試合も分からないね。ミルコも本職は警察官だというけど、収入源はほとんどK—1のファイトマネーだったからね。それが、優勝賞金50万ドルがぶら下がっているグランプリをあきらめたわけだから、かなりハングリーなはずだよ。せっかく『プライド』に出るんなら、本当にヒクソンみたいになりたいと思っているはず。桜庭の試合といい、髙田の試合といい、今度の『プライド』は勝負論の緊張感がヒシヒシと伝わってくるよ。■

▲ 今やアーツやフィリォ、バンナさえも抜いて、K-1ドーム大会で注目されているハント

◎いよいよ11月から『SRS・DX』でもホームページを始める。私がこの業界に入った時、専門誌は団体以上にパワーを秘めた大きな役割を担っていた。ところが今現在は、多チャンネル時代の到来、インターネット等のニューメディアの台頭で、出版界全体が冷え込み、若者たちの活字離れに拍車がかかっている。バブル全盛の頃と比べても広告がなかなか入らなくなっており、雑誌がどう生き残っていくかは、出版界全体の課題だ。「最近のファンは活字を読まなくなったんだよなぁ」と嘆く専門マスコミもいるが、よく考えてみると、自分たちも同じ状況になっているのはたしかだろう。その中で、インターネットやiモードでいち早く情報を知り、ファン同士で意見交換する需要は急速に高まっている。その程度の情報で十分満足しているし、掲示板の意見は本当に馬鹿にできないものがある。今、情報操作といった意味で、一番力を持っているのは、あそこではないかと思う時も多い。しかし、そうかといって、専門誌が持つ役割はまだまだある。以前から私は言っていることだが、いかにハードの特性を活用し、メディアミックスしていくか。そこに、ファンの意識を高めていく秘密があると考えている。結局、雑誌とは何か? テレビとは何か? インターネットとは何か? を考えるところに成功の鍵は隠されているのだ。もちろん、本誌はホームページを雑誌の片手間にやるつもりはなく、本誌ならではの切り口で真剣勝負していくつもりだ。とりあえず私はまだ編集部では一人、手書きのアナログ人間。しかし、ソフトには自信がある!
(谷川)

SRS·DX
次号の発売日は **11月8日(木)** です。

発行元:株式会社フジテレビ出版/株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元:株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人:柳沢忠之 編集長:谷川貞治

DESIGNER:梅村あゆみ、水町由美子、su·plex、
岩村唯是、溝口真穂、野尻雅友、松浦千枝

格闘探偵団バトラーツ
格闘ロマン2001
YUKI BOM-BA-YE
10.14★東京ベイNKホール

不安的中！桜庭に負けた男に大惨敗!!
アレクが

ランペイジ

これが現実だ!!

『プライド』復帰
完全消滅

『プライド17』出場権を賭けた、今後を決める重要な試合を落としたアレク。試合後、大泣き……

お株を奪うランペイジの投げ技で アレク、メジャー転落……

▲組み付いて倒そうとするアレクを、逆に持ち上げて……

▲ラッキーアイテムのデカイ鎖を首から下げて、ランペイジがやって来た！『プライド』参戦後は廃バス暮らしも脱したぞ！

▲マスクド・ウィンドブレーカー着用で入場してきたアレク。額には「心」の文字

▲1R序盤、打撃の勝負でランペイジの乱暴者っぷりが全開！　一見雑なパンチだが、的確にヒットしていた

▲マットに叩き付けた!!

★第9試合（1R10分、2・3R5分、PRIDEルール）
○クイントン・“ランペイジ”・ジャクソン（2R終了時、ドクターストップ）アレクサンダー大塚●
〈アメリカ／チーム・イハ〉　〈バトラーツ〉
※1Rと2Rに、ランペイジの金的攻撃によるイエローカードあり

試合前、「ワイは自分のために闘う！」と言っていたタカシ……、もといアレク。しかし、「十分切羽詰まってるよ！」なんて言葉を聞くたび、焦りや苛立ちで強がっているように思え、こっちはますます不安になってしまうのだった。悪い予感は見事に的中するもので、この大事な試合で、アレクはあまりにも残酷な現実を突き付けられてしまった――。

11・3『プライド17』への出場権を賭け、『プライド』ルールで行われた第9試合。

いつもの『AOコーナー』で入場するアレク。ファンの歓声は、一連のZERO―ONEドタキャン事件などの影響もあり、少な目だ。しかし、額に〃心〃と描かれたマスクを脱ぐと、その表情にはむしろ余裕さえ感じられた。

レスリングと柔術の心得もあるランペイジは、『プライド15』で桜庭の復帰戦の相手に抜擢され、チョークスリーパーで敗れはしたが、桜庭の関節技をその怪力のみでことごとく潰し、観衆を大いに熱狂させた。

桜庭戦では1日で7キロもの減量を強いられ、本調子ではなかったランペイジ（といってもかなりのパワーだったが）。今回はまさしくパワー全開で、試合開始からアレクは気持ちいいほど投げられまくっていた。リアル『1・2の三四郎』も形無しだ。

そして、1R7分過ぎと2R開始すぐ、コーナーで組み合っていた時にランペイジのヒザが入り、アレクは2度も金的を食らう。

激痛に身を悶えるアレク。

それまで、いかにもプロレス会場然としていた場内も、少しは張

格闘探偵団バトラーツ
格闘ロマン2001
YUKI BOM-BA-YE
10.14★東京ベイNKホール

ランペイジのコメント

「この前の『プライド』でのサクラバ戦では、体調が良くなかったが、今日は100％の試合ができた。これが俺の真の姿だ。オオツカはタフで強かった。彼に2回金的攻撃をしてしまったが、あれは偶然起こったことだ。しょうがない。（『プライド17』でやりたい相手は？）俺は誰とでもやる。日本人のファイターはタフだから、日本人とやりたいね」

アレクのコメント

「（むせび泣きながら）見てのとおりです……。ただ、これでは絶対終わらないです。必ず、ファンの期待に応えられるように、頑張って帰ってきます。またよろしくお願いします。ありがとうございました（足早に控室へ）」

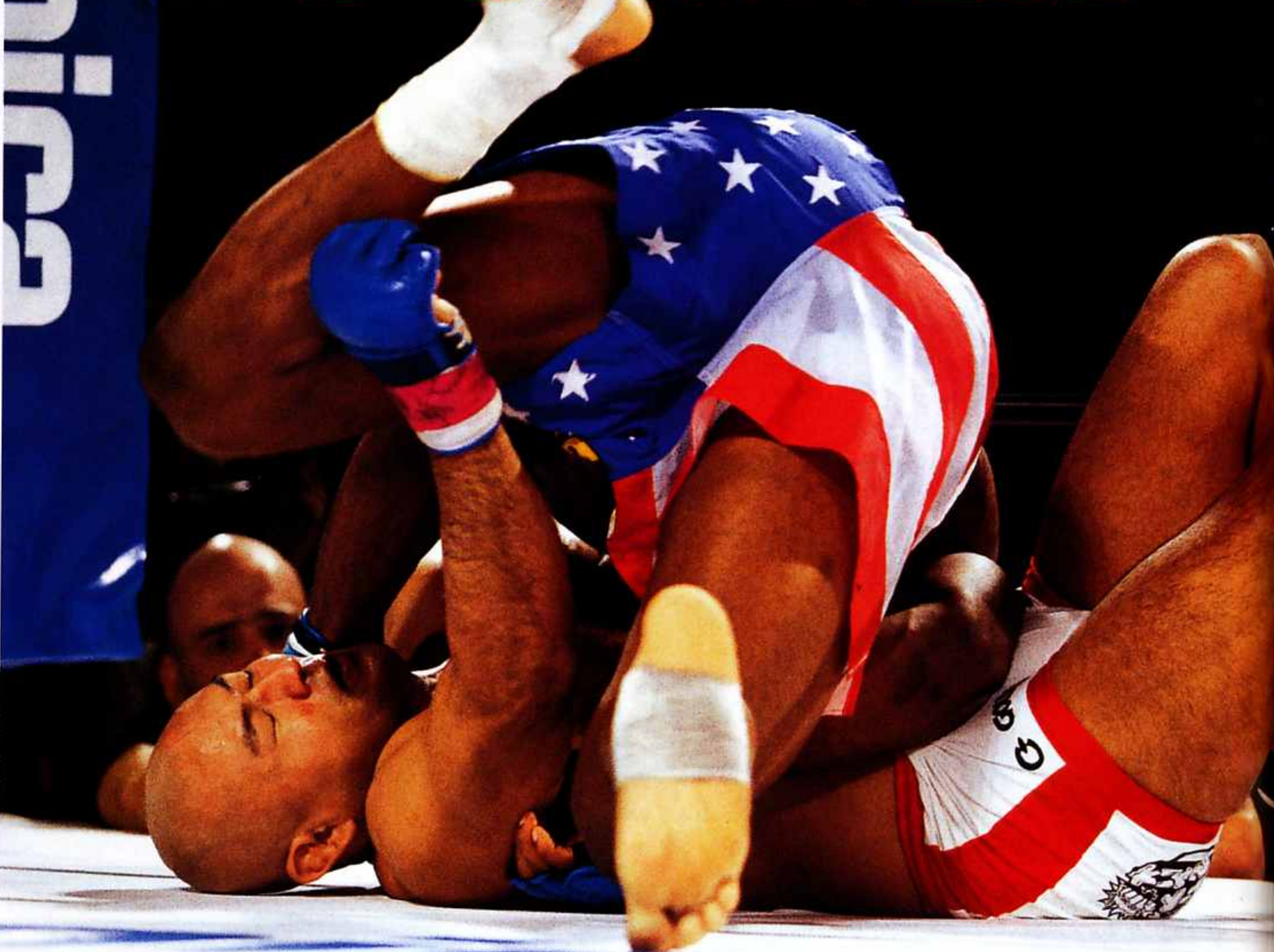
▲アレク、腕を取ってチャンス到来！　しかし、ランペイジのパワーに押され極めきれず

◀コーナーで組み合った時、またもランペイジの金的攻撃が……。2枚目のイエローカードが出された

▲また投げた〜！　アレクの身体を軽々と持ち上げ、ランペイジは何度も投げ飛ばす。そのパワーは、戦前の予想を超えていた！

無念のドクターストップ！
パンチ連打を浴び、鼻から大量出血

▲ここぞとばかりに上から殴りまくるランペイジ。ここで2R終了のゴングが鳴ったが、アレクは起き上がることもできなかった……

▶アレクを倒すとサイドポジションに移行し、ヒザ蹴りを入れる。金的で闘争本能も消え失せたアレクは、されるがままだった

場然としていた場内も、少しは張りつめた雰囲気に変わるのか……と思いきや、ランペイジの「ドーモ、スイマセン」といったリアクションで和んでしまった……。

続行も危ぶまれたが、3分のインターバルの後、試合は再開された。金的はもちろん、ランペイジの故意ではない。しかし、今日は絶好調のランペイジ。致命傷を負い、気勢を削がれ、もはや『プライド』ファイターではなく、一探偵員と化したアレクを仕留めるくらいは造作ないことだった。

2R目が終了し、ゴングに救われたかと思ったが、アレクは起き上がることができなかった。鼻孔からは止めどなく血が滴り落ち、ドクターストップが告げられた。

今年30歳になった男が、マスコミの前でしゃくり上げながら慟哭する姿。それはたしかに、情けない姿だった。しかし、伝わってきたのは、アレクがこの試合に賭けていた意気込みだけだった——。

98年10月11日、東京ドーム。

アレクサンダー大塚、マルコ・ファスに勝利!!　プロレス界の救世主と謳われ、喝采を浴びた瞬間。ほんの1年前まで、アレクは『プライド』の常連としてファンに圧倒的支持を得ていたのだ。ヒクソンでさえ対戦を避けたと言われる男に勝ったことは、もはや過去の栄光でしかないのか……。

ランペイジも含め、今や『プライド』では新参者が勢力を増し、レベルもどんどん上がっている。しかし、出場権を獲得したランペイジも、きっと言うはずだ。「タカシッ！　簡単に『プライド』に出られると思うなよ！」と。（日比）

猪木VSアリ戦の再現ならず…… 石川、モハメド・アリにKO負けで

バトラーツ冬眠……

★第10試合（3分10R、特別異種格闘技戦ルール）

○モハメド・アリ（7R1分1秒、TKO勝ち）石川雄規●

〈オーストラリア／ブレイブハートジム〉　〈バトラーツ〉

※セコンドのタオル投入による。石川はアリのパンチで、2Rにダウン1、3Rにダウン1、4Rにダウン1、6Rにダウン1、7Rにダウン4、合計8度のダウンあり

▲アリに無念のKO負けをしてしまった石川。25年前、猪木がアリと引き分けたようにはいかなかった

猪木と橋本の間に起こった絶縁問題。この2人の間で、勝手に板挟みになり、苦しんでる素振りを見せていたのが、バトラーツである。これまで、ZERO—ONEに対しては、協力体制をとっていたのが、手のひらを返したように撤退宣言。ノアの三沢光晴からも怒りを買い、釈明記者会見では絶縁騒動の原因を橋本のせいにし、ひたすら被害者ぶりをアピール。

ここまでやったら、ファンからヒートを買うのは当たり前だ。有明大会の観衆が99人というのが、それを物語っている。バトラーツのホームページの掲示板には、ファンからの罵詈雑言が呆れるほど、たくさん書き込まれていた。

こんなファンたちの神経をことさら逆なでするように、このNKホール大会で、石川はモハメド・アリという名前のK—1ファイターと闘うことになったのだ。まったく、気持ちがいいほどふざけた男である。

バトラーツに悪感情を抱いているファンから見れば、ギャグとしか思えないだろう。25年前に行われた、猪木VSアリ戦を見た猪木信者から、大ひんしゅくを買ってもしょうがない。

だが、ひんしゅくは金を出してでも買うのが、猪木イズムのはず。石川は、それを意識的にか無意識のうちにかは分からないが、実践していた。石川の、そしてバトラーツの行く道は、とことんひんしゅくを買うこと。もう、それしかない。

四方八方から飛んでくる怒りの声、キャパの割には少ない観客。それらの悪条件を前に、石川は猪

“情念”を背負う石川雄規!! 石川の“情念”の集大成を見よ!

格闘探偵団バトラーツ
格闘ロマン2001
YUKI BOM-BA-YE
10.14★東京ベイNKホール

バトに引導を渡しに来たアリとソフィー

石川のコメント

「今まで、いろんなものを背負いすぎて、やりたいことができなかったからさぁ、いい機会だからみんな身軽になって、本当にこれから自分が目指したい闘いを、みんな揃ってやっていきたいなぁ。一つ屋根の下じゃなくて、これからは頭数の分だけ屋根の数だ。だから、バトラーツはしばらく自主興行を打たない！　アリって野郎に会えて良かったよ。さすが強えよ。今日は完敗だな。タオル投げてくれなかったら、俺は死んでいたよ」

▲もう、お馴染みとなった悪役美人マネージャー・ソフィーに先導されて、モハメド・アリが入場。頼りなさそうな顔をしているのが、クセ者だ

▲情念を背負い、石川入場。Tシャツ姿で入場するレスラーが多い中、キッチリとガウンで決めてきてくるのは嬉しい

▲7Rまでに、アリのパンチによって、4度のダウンを喫していた石川だったが、7Rに入って、アリの猛ラッシュによって、立て続けに4度のダウンを奪われ、セコンドはたまらずタオルを投入。やはりK－1戦士の打撃は本物だった

▲▶相手がモハメド・アリとくれば、やっぱりアリキック。しかし、アリはコーナーに登って、石川の足をよけるという作戦に。石川は、それに対してアリキックの体勢から、ジャンピングハイキックを試みた

▶グラウンドに持ち込んでしまえば、石川ペース。しかし、グラウンドは30秒の時間制限があるために、なかなか極めきれず

◀タオルを投入されて敗れたものの、「俺の人生の中で、タオル投入なんてないからな！」と絶叫！　バトラーツ復活を願うファンがいることを忘れるな！

木軍の一員として、K—1軍のアリと闘った。K—1ファイターとしては、決して実績のある選手ではないが、それでも持っている打撃の技術は驚異的だ。当然、狙うはアリキック。そして、隙をついて、グラウンドに持ち込んでのサブミッション。だが、石川の思ったように、試合はなかなか運ばない。それほどアリの打撃は、確実に石川を捕えていた。

6Rまでで、石川が奪われたダウンは4度。そして7R開始からアリのパンチが石川に、猛烈な勢いで襲ってくる。このラウンドだけで、3度のダウンを奪われながらも、しつこく立ち上がってくる石川。この男は本当にしつこい。だが、そのしつこさも、4度目のダウンを奪われたところで、トドメを刺される。セコンドが、タオルを投入したのだ。25年前、猪木はアリと引き分けたが、その再現はならなかった。しかも猪木軍の名前を背負っての敗北だ。猪木にどう言い訳をするのか。

試合後、バトラーツの自主興行休止が石川の口から出た。団体の枷を外した石川は、さっそくアレクを破ったランペイジへの挑戦をブチ上げたが、これもまた各方面からひんしゅくを買うのは目に見えている。

だが、「破壊なくして、創造なし」。これは、バトラーツに裏切られた男のセリフだが、団体を崩壊させた今、新たなるバトラーツを生み出すには絶好の機会。石川VSアリという、クレイジーな一戦を生み出した情念が、今こそ試される時なのだ。もっと大きなひんしゅくを買ってみろ！

（小松）

どいつもこいつも、猪木軍に入れると思うなよ！

▲"猪木軍の門番"安田忠夫、バトラーツ初見参！

▶島田レフェリーの直訴によって、実現した安田とのシングルマッチに挑む、モハメド・ヨネ。バトファンにはお馴染みの「ヨネ・ボンバイエ」のテーマ曲も、初めて聞いた人はズッケていた

◀安田は、ヨネのタックルを軽く受け止め、得意のタイガードライバーでポーンッと投げ捨てた

▶トドメはフロントネックロック。バトでは大型のヨネを、まったくの子供扱い

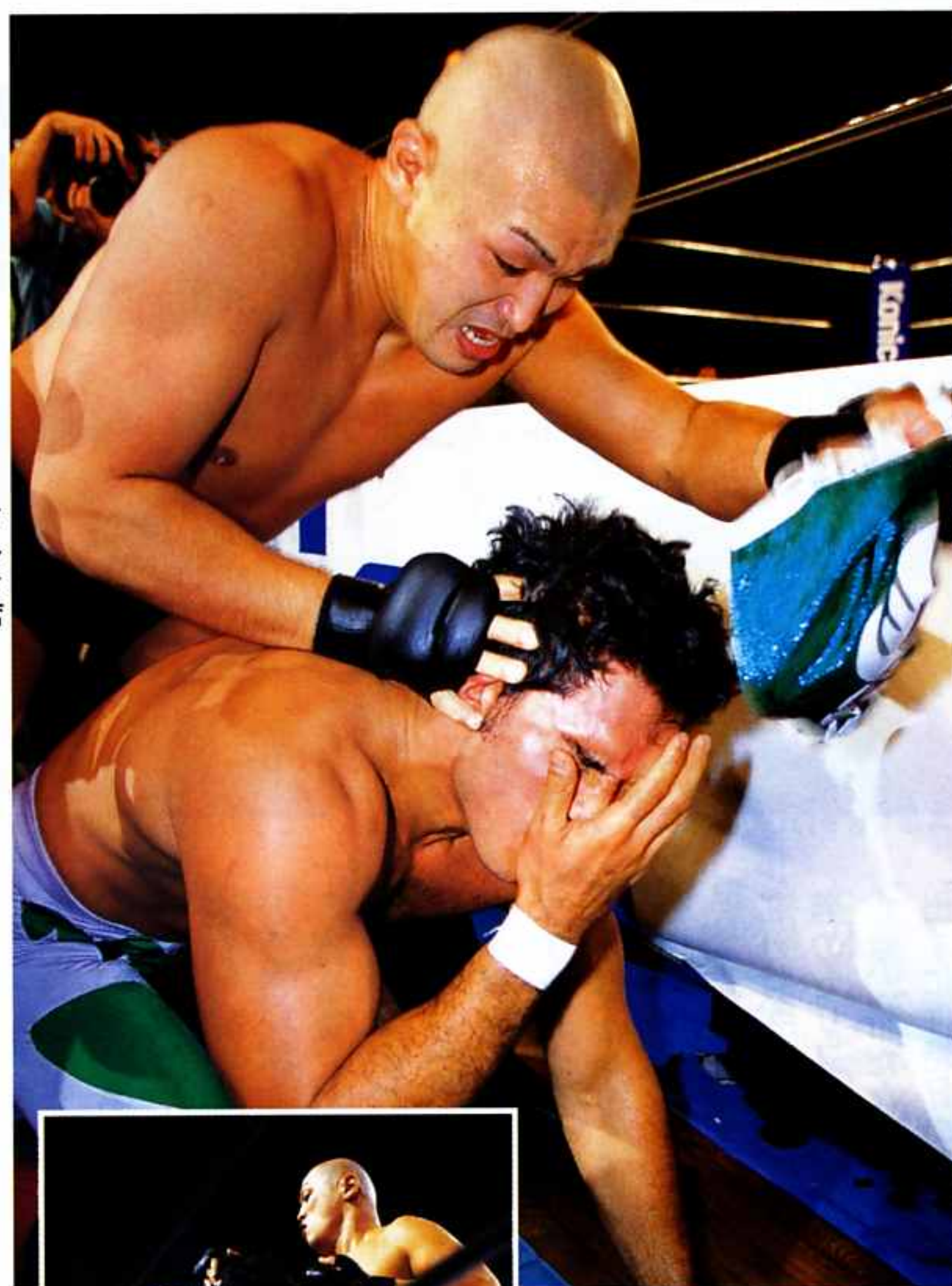
★第6試合／特別試合（30分一本勝負、プロレスルール）
○安田忠夫（1分26秒、フロントネックロック）モハメド・ヨネ●
〈フリー〉　〈バトラーツ〉

安田がバトラーツのリングに上がるとは、正直、想像もしていなかった。元横綱・若乃花が、NFLに挑戦しようとした時ぐらいの驚きがある。しかし、入場時の安田の醸し出す雰囲気は、他の出場選手を圧するモノがあった。さすが、新日本と両国で仕込まれてきただけはある。さて、リング上でヨネを相手に行われたのは、バトラーツの猪木軍入りへの新弟子検査だ。猪木軍に簡単に入ってきた、石川とアレクへのデモンストレーションという意味合いもあるのだろう。ヨネを軽々と投げ捨てたタイガードライバー。あの技に入る形は、相撲では五輪砕きと言って、相撲の「押す」という競技的性格上、極まった時点で、ストップとなる荒技だ。両国仕込みの技まで使って、ヨネを材料に猪木軍の威信を見せつけたのだ。ヨネもジャーマンで安田を投げるなど意地を見せたが、わずか1分26秒での完敗だった。コメントスペースで、「どいつもこいつも、猪木軍に入れると思うなよっ！」という、強烈な捨て台詞を残して帰った安田。猪木軍はハンパな覚悟じゃやっていけない。このことを、身をもって体験している安田の、強烈なバトラーツ（最初で最後の）土俵入りだった。（小松）

ルチャVSテロの一騎討ちは、期待どおりの反則決着
ド、ドスJrの素顔があぁ〜〜っ

▶試合後、ドスJrは「ムラカミとはいつでも殺ってやる」とコメント。最後まで、村上のテロ行為に屈しない姿勢を貫いた

▲試合開始すぐ、村上をスープレックスで投げる。謙吾の腕をへし折った8・18DEEPの戦慄が蘇る

▶ドス・カラスJrを場外に引きずり込んだ村上は、マスクを剥ぎ、そのまま客席に放り投げた

◀ドスJrはあらかじめリング下に用意しておいたVT用のマスクを着用するが、それすらも剥ぎにかかる村上。制止するレフェリーを突き飛ばし、反則負けとなった

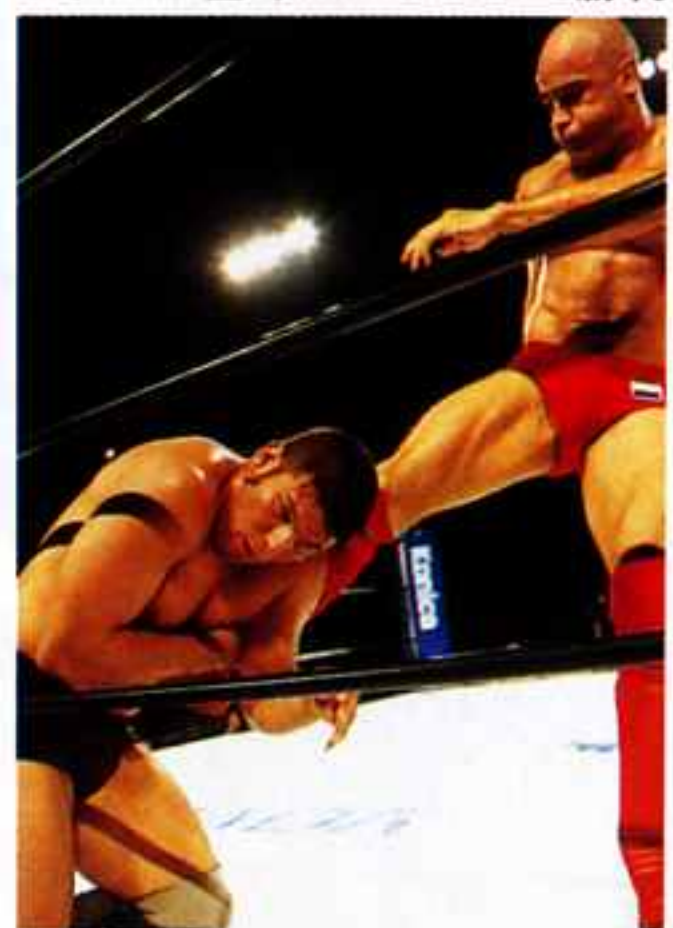
★第8試合（30分一本勝負、ルチャルール）
○ドス・カラスJr（4分23秒、反則勝ち）村上一成●
〈メキシコ／AAA〉　〈UFO〉
※レフェリーへの暴行

一部では、最近の社会情勢に配慮し自粛するのではとの声もあった村上のリング内テロ行為だったが、今回もまたやってくれた！　試合前、「ドスJrの素顔を見せましょう」と声明を出した村上。試合が始まってすぐ、ドスJrのマスクを剥ぎ、リングサイドの観客に向かって投げつけたのだ。その瞬間、「えっ、マスクを取られたドスJrはどうなるの？」「試合の展開は？」と、ますますリングに惹きつけられていく。ドスJrもまた素晴らしかった。あらかじめこうなることを予測して、リング下に、謙吾戦で着用したVT用のマスクを用意して対抗。ルチャVSテロといった異次元のぶつかり合いは、結果、村上のレフェリーへの暴行による反則裁定に終わったが、観客の目をリングから離さない名勝負となった。12月の『DEEP』では、超大物日本人との対戦が噂されているドスJr。次回はどんな闘いを見せてくれるのか？　今から楽しみだ。（渡部）

バトラーツNK大会ダイジェスト

入場者数、4688人!!　神風が…吹いた!?

マレンコに激勝!　ルッテンジャンプ健在だ!

▼UWFルールで行われたバス・ルッテンVSカール・マレンコ。ルッテンは得意の掌打とキックのコンビネーションでマレンコを圧倒。8分2秒、カウンターの左ミドルでTKOで勝利

▲試合後は、お馴染み"ルッテンジャンプ"をリング上で披露。観客からは大声援が沸き起こる。試合後、ルッテンは「マレンコは首にケガがあったようだが、試合をキャンセルすることなくよく闘ったと思う。ボクの左腕の状態が良くなれば、今後、総合格闘技に戻ってきたいですね」と語った

★第7試合（30分一本勝負、UWFルール）
○バス・ルッテン（8分2秒、TKO勝ち）カール・マレンコ●
〈オランダ／ビバリーヒルズ柔術センター〉　〈バトラーツ〉

兄弟子・桜庭に続き、松井もリッチ退治!

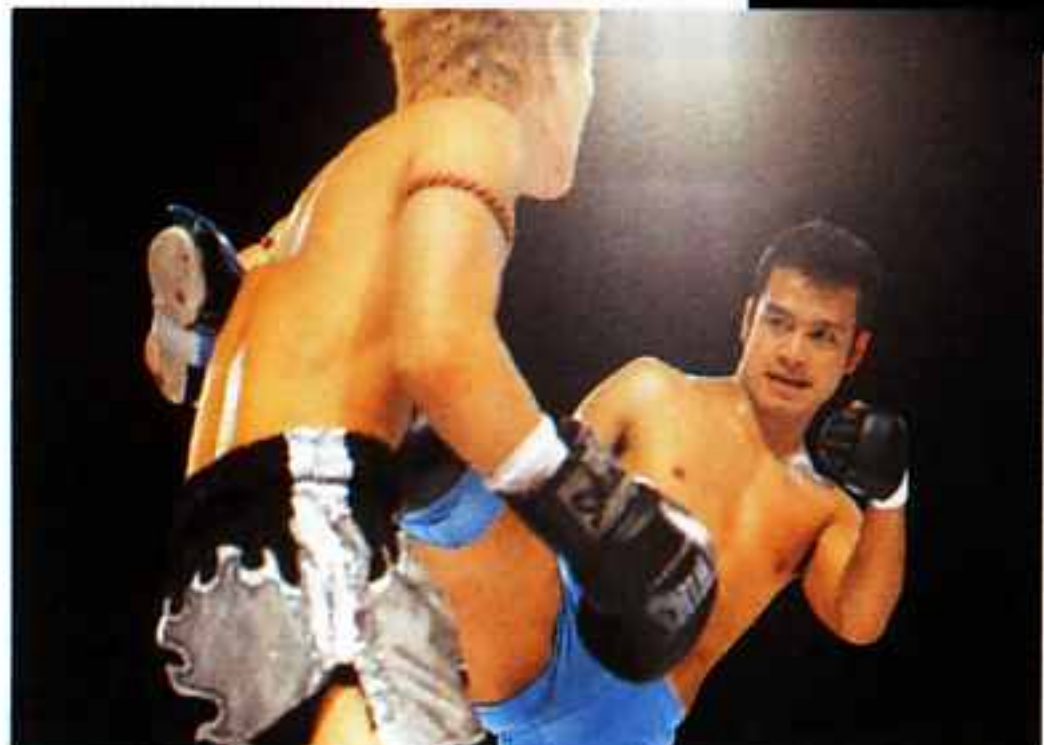
▼『プライド』の桜庭和志戦で、すでに実力が分かっているはずのリッチを相手にあえて鬼の形相で挑む松井。「極めにいく勇気がないと次につながらない」と桜庭に言われていたようだ。最後は「テレビで見て覚えた」というS.T.F.で決めた。ちなみにレフェリーは、ケガで選手を引退した、同門の豊永稔が務めた

▲「シュッ！　シュッ！」と不気味な声を発し攻撃を仕掛けるリッチ。リッチの予測できない攻撃に松井は苦戦した。試合後は「ルールが違えば彼の実力ももっと出たのでは」と評価した

★第4試合（30分一本勝負、バトラーツルール）
○松井大二郎（7分12秒、S.T.F.）シャノン・ザ・キャノン・リッチ●
〈高田道場〉　〈アメリカ／ファイターズハウス〉

小野、最後まで髪型乱れず勝利!

▼小野は試合後、「寝技でやったらすぐ終わっちゃうんで、相手に合わせました」とコメントしたが、試合を決めたのは得意のサブミッションだった

▲DDTのハードヒッター、タノムサク鳥羽を相手に、あえて打撃で応戦した小野武志。前半は防戦一方の小野だったが、後半には投げっぱなしジャーマンが炸裂！

★第3試合（30分一本勝負、バトラーツルール）
○小野武志（6分39秒、腕ひしぎ十字固め）タノムサク鳥羽●
〈バトラーツ〉　〈二瓶組〉

トラジ、お前は何者だ!?　臼田、怒りの勝利!

▶奇妙な行動ばかりを見せるお調子者のナゾのイラン人トラジに、最後は怒りの三角絞めを極めた臼田。トラジは試合後、レフェリングに対する不満をぶちまけ、再戦を訴えた

▲カーロス・ニュートン欠場で、急きょ出場となったトラジ・ムンスリー。本人によれば、21年のグレコローマン・レスリング経験と、5年のブラジリアン柔術の経験があるそうだ

★第5試合（30分一本勝負、バトラーツルール）
○臼田勝美（11分53秒、三角絞め）トラジ・ムンスリー●
〈バトラーツ〉　〈イラン〉

バトラーツNK大会放送予定

◎フジテレビCS721
11月10日（土）　20：00～21：30
（再）11月24日（土）　26：00～27：30
◎東海テレビ「プライド王」
10月30日（火）　24：40～25：10

▶タニー＆ノビーこと、本誌編集長・谷川貞治（ゲスト）と紙のプロレスRADICAL編集長・山口日昇氏がスカパー「フジテレビCS721」での中継の解説を担当した。この熱戦が早くもお茶の間で！

▲エッセ・リオス欠場のため、第1試合は急きょ、ケーキ職人・大場貴弘と練習生・佐藤学のエキシビジョンマッチとなった。両者とも未来に期待できるファイトを見せてくれた。大場と佐藤は、石川社長・臼田のもと、新生バトラーツでがんばっていくそうだ

客席をジュージュー温めた！

▼写真右から、Mrさかい、日高郁人、Mrさかい01。日高は、シングルでエッセ・リオス（WWF）と対戦予定だったが、リオス欠場のため、さかい正規軍に参加することとなった。試合後、リオスとの対戦をファンに約束した

▲第2試合は、Mrさかい、Mrさかい01、日高郁人VSブラックさかい、トミー・ディアブロ、junji.com。格闘技色の強い今大会の中ではプロレスファン向けの楽しい試合。15分30秒、ジャーマンスープレックスからのジャパニーズレッグロールクラッチでMrさかいがブラックさかいを葬った

“バトラーツ活動休止宣言”の
舌の根も乾かぬうちに
『プライド17』でランペイジ戦を直談判！

“燃える情念”石川雄規

10・14NK大会では、モハメド・アリを相手に“異種格闘技戦”に挑んだ、バトラーツ・石川社長。なんと今度は、『プライド17』でのランペイジ戦をDSEに直談判するという。この真意はどこにあるのか？ また、“冬眠”という名の活動休止宣言をしたバトラーツは今後どうなるのか？ 早速、埼玉のバトラーツ道場に急行した！

撮影◎山口比佐夫
聞き手◎日比香苗

ランペイジ？ 俺とやったら分かんないよ 寝てからの技術は俺のほうがあるから！

—石川社長！ 先日はモハメド・アリ戦、お疲れさまでした！

石川 まぁね、ちょっと打たれすぎちゃったけどね。フロントチョークやった時にボディがガラ空きになって、思いっきり食らっちゃって。あれでバランス崩して、ラッシュで畳みかけられてね。

—結局7Rで、タオル投入でしたね。

石川 それまでは結構いい感じだったんだよ。無駄にバカバカ打たれてたわけじゃない。見切れてたんだよ、ハッキリ言って。顔も結構キレイでしょ？

—そ、そうですね。極めるチャンスもあって、アリ・キックも出ましたね。

石川 うん、「(関節を)取ったぁ！」と思ったらヌルっとしやがって。オイル塗ってたと思うよ。グラウンドでも滑っちゃったし。まぁね、でもアイツも頑張りましたよ。馴れない痛みの恐怖に対して。あと、あの男、身長190センチあるからリーチが長いし、入りづらかったよ。すぐロープに届いちゃうし。リングが狭く感じちゃったなぁ。でも、あれで莫大な借金を背負ったんで、格闘技戦に走ります！ 4000万も借金あるからさぁ。

—えっ、意外と少ないような……？

石川 う～んとね、8000万円。

—ヒャッ!? 増えた！

石川 悪いとこから借りてるから、雪だるま式にどんどん増えていくんだよ、ヌッフッフッフ。

—NK大会……、やっぱり赤字だったんですか!?

石川 赤字だったか？ そんなこと気にしなくていいんだよ！ みんなねぇ、会社の経営がどうのこうのって余計なお世話だよ！ いいものを見せて、それで感動してくれればいいの！

—は、はい！

石川 だって、インターネットでもねぇ、ハンドルネームっての？ ホント気に入らねぇんだよ、俺は！ てめぇの名前出せっちゅうねん！ 自分は安全なところにいて、人の誹謗中傷言ってるヤツらは、虫ケラって呼んでるの。エロサイトでも見てろってんだよ！ くだらねぇ！

—そっちのほうが健全ですよね！

石川 そうだよ！ ヤツら必死で俺の足引っ張ろうとするけど、「お前らいくら俺にタオル投入したって、俺の人生にTKOはねぇんだよ！」って。そういうメッセージなの、この間のリング上は。何度でも立ち上がってやるよ！ そんなもの超越して、素晴らしいモノ、凄ェモノ見せるのが“猪木イズム”なんだよっ！

—は、はい！ 分かりました！ しかし社ッ長～、ビックリしましたよ～！ ランペイジ戦、本気ですか？

石川 まぁね、やってみたいよね、せっかくだからさ。

—急に決まったようですが？

石川 いつでもいいんだよ。俺、3日で仕上がるから。いつでも臨戦態勢！ そりゃ村上か。ンムフフフ（笑）。

—試合するって決めたのはいつですか？

石川 今朝、起きた時そう思ったの。

—（DSEの）森下社長に直談判に向かわれるということですが？

石川 そう、近いうちに森下さんに「俺を『プライド』のリングに上げてくれ！」って、言いに行きます。

—それを決心されたのは、やっぱりアレクさんが殺られたから……？

石川 いや～、関係ない関係ない。

—全然関係ないですか？

石川 全然っていったらアレだけど、アレクにはアレクのテーマがあるし、俺には俺のテーマがあるから。まぁ、これから身軽になるんだしね、やりたいことやろうよって。自分より強そうなヤツがいるとむかつくじゃん。

—ランペイジ戦に負けたアレクさんは、『プライド』への道が絶たれてしまいました。石川社長はそこへあえて出るということですが？

石川 うん、でもね、何かを認めてもらって、ステイタスとして『プライド』に出たいってわけじゃないから。ただやってみたいって思ったから、やるだけ。

—この間の、アレクVSランペイジ戦はどう見ましたか？

石川 そうだね、アレクが(関節を)取れるチャンスはかなりあったね。でも、俺とやったら分かんないよ。寝てからの技術は俺のほうがあるから。

—そうですね、私もB・ルール（打撃ナシの寝技限定ルール）のトーナメント

を見ましたよ、社長が優勝した時の。

は、絶対なきゃいけないもの。俺の考え

がやりたいかなんて分かりゃあしないよ、

がやりたいバトラーツっていうのは、元

“分裂”とか“解散”じゃない。屋根を取っ払うってこと 元祖バチバチをやりたいヤツだけ俺の元に来ればいい！

を見ましたよ、社長が優勝した時の。

石川　うん、打撃がなかったら、ハッキリ言って100％勝ちますよ。だけど、そこをあえて新しい領域に踏み込む。でも、ぶん殴るっちゅう技術も、ずいぶん変わってきてますからねぇ。寝てもヒザが来るっちゅうかねぇ。

——じゃあ、打撃はどう克服しますか？

石川　まぁ、ポジション取ったもん勝ちでしょうね。俺は上乗ってから速いですよ、極めるまでが。しっかし、でかいね、ランペイジはねぇ！　手が長くて、意外にスラッとしてたけど、とにかく、あのバケモノのようなパワーは、ホント気を付けないといけない。でも、緻密な技術はまだ持ってないと思うんだよね。

——でも社長、アレク戦での殴り合いもメチャクチャに見えたんですけど、後で写真を見たらかなりいい感じでヒットしてたんですよ。

石川　へ～、うんうん、怖いかもね。打撃の時はキレイな力の使い方してるよね、彼は。面白そうだよ、非常に興味深い。

——そうですかぁ。まぁ、いわゆるガチンコの試合になるんですけども……。

石川　えっ、チンコ？

——ガチンコですよッ！

石川　何、ガチンコって？　知らねぇよ！

——だから……、総合格闘技？

石川　……そんなのねぇ、全部、プロレスという枠の中にあるだけだよ。

——でも、今までとは違った新たな挑戦になりますよね？

石川　たしかにそれはそうだね。要するに、プロレスの中にはエンターテインメントとか空中殺法とかデスマッチとか、そういう集合体がいっぱいあるわけ。その中のひとつが総合格闘技。ましてそれは、絶対なきゃいけないもの。俺の考えではね。それあってのエンターテインメントだと思うんだよね。だから、あくまでも別個のモノとは考えたくないんだよ。

——はいはい。

石川　でも、俺の延髄斬りが使えないから、飛車角抜きでやるようなもんだよ。

——キャハハッ！

石川　まぁ、勝つか負けるかしかねぇんだから。情念でやるしかねぇんだよ！

——そうですね！

石川　やれんのかッ！（猪木のマネで）

——は～い！　今、体調はどうですか？

石川　大丈夫ですよ。まぁ体重も95キロだから、同じぐれぇだな。

——試合まであと20日ですね。

石川　早いよねぇ！

——いざ東京ドームですね！　入場の時には、ブーイング……いえ、声援が上がるんでしょうか！

石川　だったら嬉しいけどね。俺、もう最近凄ェ嫌われてるし、ヒールだからさぁ。みんなで寄ってたかっていじめるからよぉ、傷ついてるんだよぉ。

——そんなブーイングなんて、声援に変えてくださいね！　ところで、先日は沖縄大会が終わったら“冬眠”って……。

石川　そう、冬眠っていうか、屋根を取っ払うってことだから。一緒にしてほしくないのは、“分裂”とか“解散”じゃないんですよ。そもそも、俺たちは同じ思想を持った連中が集まったわけじゃねぇんだから。

——当時はどんな流れだったんですか？

石川　ま、要するに6年前、藤原組ってとこが乗っ取られて、俺たちはほっぽり出されたわけですよ。何も頼るものもない、名もない若手レスラーの集団に何ができるの？　みんな、どういうプロレスがやりたいかなんて分かりゃあしないよ、そんなの。

——それが藤原組の最後、ですよね。

石川　そう。じゃあ、自分たちに何ができるのかっつったら、基本的に殴る蹴るとか、ああいう闘いしかできない。そうやって後付けになった思想だよね、バトラーツのバチバチファイトっちゅうのは。

——ふ～ん……。

石川　たとえば「こういうスタイルやりたいヤツ集まれ！　ここにいたらできないから、飛び出して独立しよう！」っていうのはよくありがちだけど、凄い稀なケースですよ、俺たちは。目も開いてない子猫ちゃんが捨てられるようなもんですよ、バーンつって。それでみんなでニャアニャア鳴いて。

——それを石川社長が集めて？

石川　集めてっていうか、自然にそこにいただけだよ、アレクだってヨネだって。

——じゃあ、もう、今はそれぞれがそれぞれ行きたいところに行け、と。

石川　うん、そうそう。捨て猫だったみんなが一人前になって、それぞれの考え方が生まれてくる。プロレスに対する思いとか、価値観とか、当然やっぱり全員バラバラですよ、いい意味で。そこでやっと自我が生まれたわけだから。そうすると今度は“屋根”、つまり“バトラーツ”ってくくりがあると、お互いに動きづらくなってきちゃうじゃない。だったら、パッと取っ払っちゃって、自分が求めるもの、信じられるもの、そういうものを誰に遠慮することなくやればいい。

——はいはい。

石川　一回全部なくなって“冬眠”する。そこから、改めて同一思想のバトラーツが生まれるんだよ。もちろん、石川雄規は、イコールバトラーツ。そして俺がやりたいバトラーツっていうのは、元祖バチバチ、緻密なレスリング。このスタイルがやりたいヤツは俺の元に来ればいいし。だから、今回のは独立するとか、残るとかじゃない。新生バトラーツに身を投じるっていうことだから。

——バトラーツが生まれ変わる、と。

石川　そう。みんな好きなところにいけばいいし、フリー契約になるのもいい。

——なるほど～。今、バトラーツを選んだ選手はいるんですか？

石川　うん、臼田。臼田とは、やりたいことの路線は非常にガッチリ共通してる。あとは若い2人、大場とデビューを控えてる佐藤。

——あぁ、2人はエキシビジョンマッチをやりましたね。

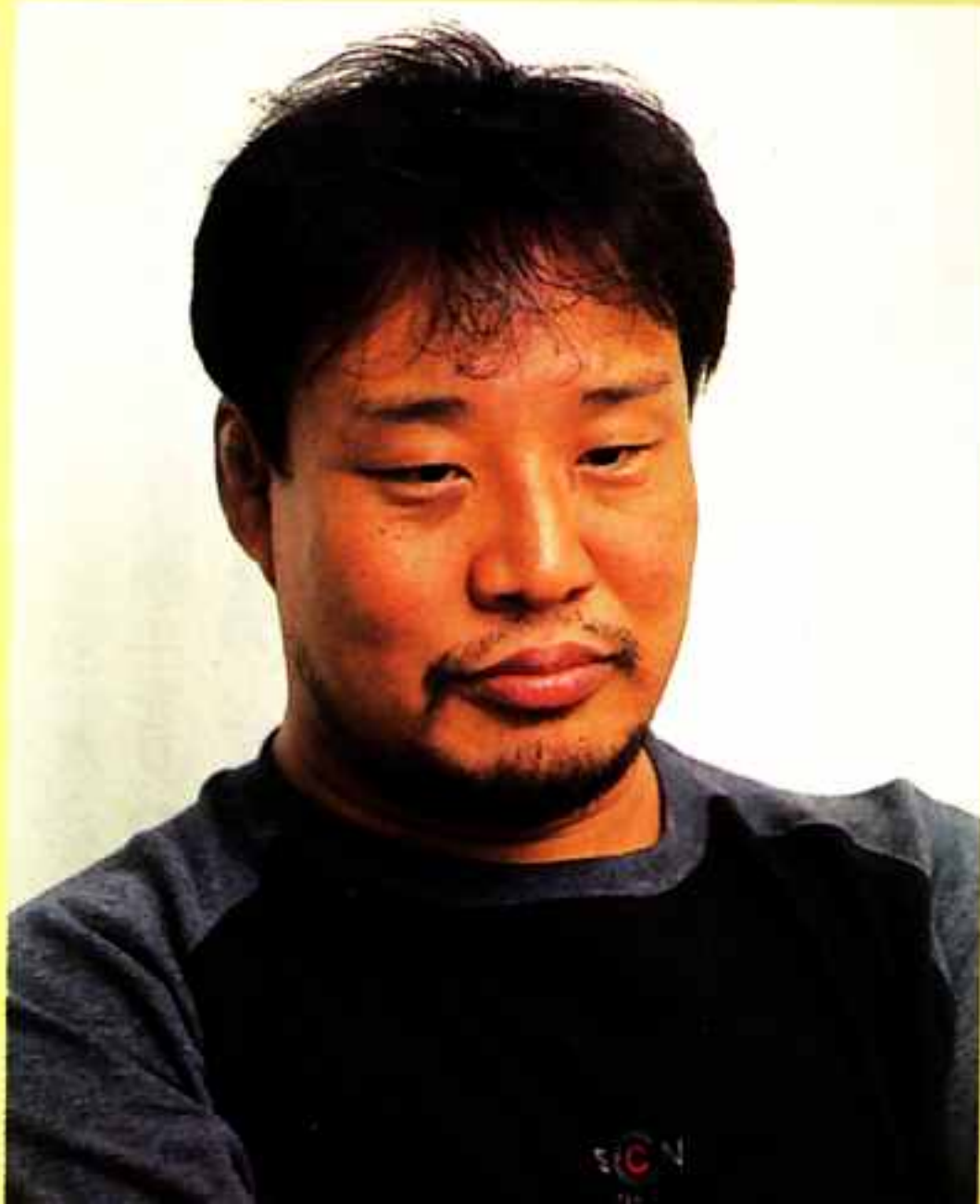
石川　そうそう、素晴らしかったでしょ？　ああいうのを俺はやりたいんだよ。そういったものを、新しく構築していきたいんだよね。……どう、分かった？

——はい！　今日は急なお願いでしたが、ありがとうございました。石川社長のご厚意に甘えさせてもらって。

石川　え？　ムッフフフ、もっと甘えさせてあげようか？

——舌なめずりはやめてくださいッ！　おじゃましました～！　■

新生リングスの敵は前田日明である！

またも未知の強豪出現!! 滑川康仁1ラウンドKO敗！

高阪がタオルを投げ入れ、滑川はＴＫＯ負けを喫する。新生リングスは最初から大きな壁にブチ当たった

★第7試合（アブソリュート級トーナメント1回戦・5分3R）
○エギリウス・ヴァラビーチェス（1R2分18秒、TKO勝ち）滑川康仁●
〈リングス・リトアニア〉　〈リングス・ジャパン〉
※セコンドのタオル投入による。滑川はヴァラビーチェスのパンチの連打に対して、2度のダウン

撮影◎中島ミノル

▲ダメージが心配されたが、控室に戻るとしっかりと意識を取り戻した滑川

RINGS

それにしても前田日明総帥の選手を見る目はあまりにも確かだ。無名の強い外人選手を見つけてきては日本人選手を潰していく。

ああ、ホントに……。

ということで、今回よりリングス・ネットワークに参加することになったリングス・リトアニアからの第1の刺客・エギリウス・ヴァラビーチェスは見事に強い選手であったのだ。

そもそも試合前の経歴を見ると、9歳からサンボを習い始め、18歳からは柔術もやり始め、昨年はリトアニアの柔術大会でも優勝したという、どう考えても組み技系の選手。ところが、試合をしてみればいきなりパンチのラッシュで、滑川を開始早々ダウンさせる。もしかして、コイツ、打撃の人!?

試合後、ヴァラビに聞いてみるとなんと「得意技はパンチ」であり、あの狼軍団・ヴォルク・ハンの弟子にもKO勝ちし、ヘビー級のコピィロフとは判定負けとはいえ、3ラウンドをフルに闘い抜けるだけの実力を備えたかなりの強豪だったわけである。しかも、世界各地をまたにかけてほぼ毎月バーリ・トゥード系の試合をしてるタフガイでもあったのだ。

だが、そんなことは知るよしもない滑川（試合後、「組み技の選手だと思っていた」と発言）は、この一発で相当効いてしまい、タックルで倒すものの抑えきることができず、結局スタンドで打撃の展開になってしまうのだった。

この後、滑川はパンチの打ち合いで再度ダウンを取られ、最後はパンチのラッシュを必死に堪えていたのだが、セコンドの高阪がタ

ス。 オルを投げてTKOとなってしま

サンビストという触れ込みだったヴァラビーチェスだが、実は打撃が得意だという、組んで良し、殴っても良しのトータルファイターであった。91キロと体重は軽めだが、今回のトーナメントでは台風の目になる予感

これがリングス・リトアニアの化け物だ！

ヴァラビーチェスのコメント

「世界中で月に1回くらいのペースで大会に参加しているので、いいコンディションを保てて試合ができたと思います。日本でのデビュー戦なので絶対に負けてはいけないと思ってました。次に闘うヘイズマン選手については強いと思いますが、彼を恐れる気持ちはまったくありません。ロシアの諺には『無敗の者は存在しない』というものがあるからで、勝つ自信は十分にあります」

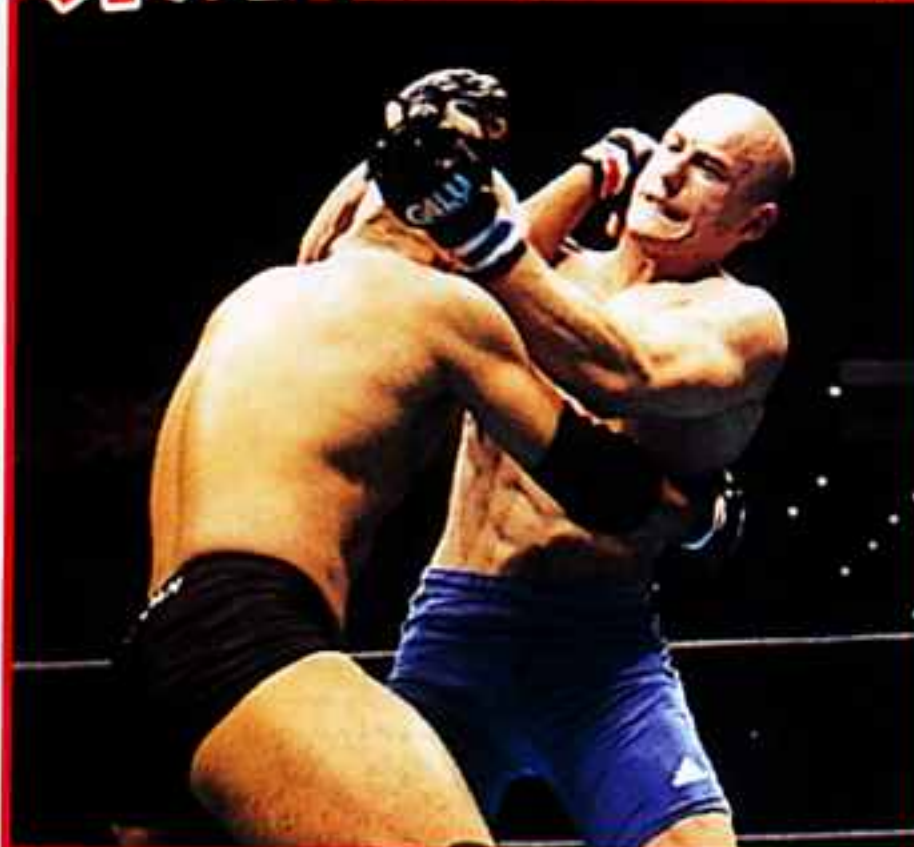
滑川康仁のコメント

「試合をやった気がまったくしないんでもう1回やりたいです。グラウンドで来る選手だと思っていたので、そっちばかり警戒していて。打撃で来るなんて。グラウンドの展開でもダウンが効いてて頭がクラクラしてたから自分が何をやってるのかまったく分からなくて。だけど、負けるたびに強くなる気がするんで、めげてません」

▲ダウンの影響で頭がクラクラしながらも、必死にタックルしていく滑川。この試合だけは落としたくないという気持ちにはシビレる

▲ダウンの影響で頭がクラクラしているため、グラウンドでは何をしているのか分からなかったという滑川。だが、ちゃんと上を制しているのだ

それでも果敢に挑む滑川！

▶先輩の高阪の肩を借りて退場する。自分の試合ができなかった悔しさでいっぱいだろう

▲試合後の記者会見ではおとなしそうな顔なのにリングに上がるとこの顔。真のファイターだ

▲ともかくパンチがうまいヴァラビーチェス。タイミングが良くて連打ができるのが魅力

▲ともかくパンチが重いヴァラビーチェス。一発で滑川からダウンを奪う

オルを投げてTKOとなってしまった。

凄まじくも悲しい結末だった。

敗北が決定した滑川は、リング上に横たわりながら「もう一回、やりてぇ！」とうわ言のように繰り返していたというから、その悔しさは相当なものだろう。

なにしろ、滑川にとって今回の試合は、バトジェネで火がついた新生リングスの狼煙を満天下に示さなくてはならない大事なモノだったのである。ところが結果を見てみれば、リングスネットワークの新入りリングス・リトアニアの強さを印象づけてしまった形になってしまったのだ。

まったくこう言ってはなんだが、新生リングスの敵は前田日明総帥じゃないのかという気すらして憎くなるほど。ジャパンの選手がいくら強くなっても、それ以上に強い選手を次々と発掘してはジャパン勢を奈落の底に叩き落としていくからだ。

そういえば、リングスのキャッチフレーズは「世界一強い男はリングスが決める」である。一見、大げさに感じるキャッチではあるが、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラを見ても分かるとおり、「世界一強い男はリングスが見つけてくる」ということに関しては、紛れもない事実。

つまり、ある日突然、なんの前触れもなく、世界一強い男と闘う可能性があるのがリングスなのだ。ジャパン勢は、そんな過酷で贅沢な経験を積み続けて、強さを追求していくのが宿命。

滑川よ、その宿命に負けるな！　前田日明に負けるな！

（ブチ）

ホフマンがヒョードルから逃げたのは正しい!!

ヒョードル、2階級制覇に向けて、柳澤を軽〜くひねる

好試合の連続!! アブソリュート級トーナメントに追い風!!

▲第3試合はトーナメント1回戦、リー・ハスデルとゲオルギー・トンコフが対戦。ハスデルは、アキラ兄さんもビックリの跳びヒザ蹴りで、1R4分22秒KO勝ち。ちなみに、トンコフは今年の柔道の世界選手権で5位に入賞している実力者なのだ

▲第4試合はクリストファー・ヘイズマンとグロム・ザザの弟、グロム・コバが激突。ヘイズマンの打撃とグラウンドの攻撃にコバはアッという間にスタミナを切らし、ヘロヘロ状態に。結果は判定3－0でヘイズマンの勝利。それでも、3R闘い抜いたのは立派。お疲れ、コバ！

WORLD TITLE SERIES
アブソリュート級トーナメント

- 滑川康仁〈リングス・ジャパン〉
- エギリウス・ヴァラビーチェス〈リングス・リトアニア〉
- クリストファー・ヘイズマン〈リングス・オーストラリア〉
- グロム・コバ〈リングス・グルジア〉
- エメリヤーエンコ・ヒョードル〈リングス・ロシア〉
- 柳澤龍志〈チーム・ドラゴン〉
- リー・ハスデル〈リングス・イギリス〉
- ゲオルギー・トンコフ〈リングス・ブルガリア〉

▲ロシア狼軍団のエース・ヒョードル。大人しそうな顔をしているが、このバカ強さはホントただ者じゃない

◀グラウンドに持ち込むと、恐ろしい力で絞め始める。柳澤は、よくしのいだものだ

◀腕十字の体勢に入る柳澤。この他にも3度極めるチャンスがあったのだが……

★第6試合（アブソリュート級トーナメント1回戦・5分3R）
○エメリヤーエンコ・ヒョードル（3R判定3－0）柳澤龍志●
〈リングス・ロシア〉　〈チーム・ドラゴン〉

RINGS RINGS

8月に行われた『WORLD TITLE SERIES』の2つのトーナメントは実に散々な内容で終わってしまった。

そんなことで、どうなるものかと思われたアブソリュート級トーナメントだったが、1回戦が行われた今大会は、ズバリ言って当たりと断言していいだろう。ハスデルの跳びヒザ蹴りでのKO劇あり、コバの尋常ではない疲れっぷり、そして滑川をKOしたヴァラビーチェスの出現など、8月の失敗を取り返さんばかりの勢いだった。

その中で、このトーナメントの大本命との呼び声の高かったヒョードルは、その際立ったバカ強さを存分に見せつけてくれた。まだ、隙を見せることがあるのだが、とにかくパワーは、人間離れしている。柳澤を1発で吹っ飛ばしたパンチがそれを物語っていた。

グラウンドでは終始、柳澤を圧倒。柳澤は、よく判定まで持ちこたえたものだと、思わず感心してしまうくらいなのだ。ヘビー級トーナメントの決勝戦を、ホフマンが棄権したのは正解だった。確かに嫌だよなぁ、こんなヤツとやるの。きっと、何年後かに、「この男に勝ったら、人類最強！」なんて呼ばれる日が来るんじゃないかと、勝手ではあるが、想像してしまう。

ガ然面白くなってきたアブソリュート級トーナメント。今回は、リングスらしさを存分に見せられた。ヒョードルが出場している限り、「世界最強はリングスが決める」と言っても、正直文句の付けようがない。このトーナメントを制することは、それだけの価値があるということなのだ。（小松）

新ルール導入で初エスケープ奪取!

組み付

ここのところ、連敗が続いている金原弘光。ジャパン勢が手薄と

FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD TITLE SERIES
～アブソリュート級王者決定トーナメント～
10・20★国立代々木競技場第2体育館

新ルール導入で初エスケープ奪取!

金原、10周年を前に連敗ストップ!!

メインを完勝で締めた金原。次は12月21日にデビュー10周年の記念試合に挑む

金原のコメント

「今日は完勝だったと思います。課題はクリアしました。3回もエスケープを取らなきゃいけないのは面倒くさかったですけど、見ているほうは面白かったんじゃないですか？　（ミドル級のタイトルマッチは？）今、空位になっているじゃないですか？僕がなりたいですね（10周年に向けては？）サブタイトルで『金原弘光10周年記念』と付いてたんで、嬉しい反面、もう10年経ったんだって感じですね」

▶金原の対戦相手、ケリー・ジェイコブはリングス・オーストラリアのヘイズマンが、自信をもって送り込んできた刺客。得意技はヘイズマン譲りのアームロックだ

▶セコンドには、高阪、横井のジャパン勢が付いた

▶グラウンドが得意との触れ込みだったジェイコブだったが、金原のテクニックの前には3度のエスケープをせざるを得なかった

★第8試合（ミドル級オフィシャルマッチ5分3R）
○金原弘光（2R1分51秒、ポイントアウト）ケリー・ジェイコブ●
〈リングス・ジャパン〉　〈リングス・オーストラリア〉
※ジェイコブは1Rにエスケープ2回、2Rにエスケープ1回

▲エスケープが導入されたこの大会で、金原は初めて腕ひしぎ十字固めでエスケープを奪った

▲開始早々、打撃で攻め込む金原。この後、組み付いてグラウンドに持ち込む

ここのところ、連敗が続いている金原弘光。ジャパン勢が手薄となり、常にメインの重責を任されているのだから、無理もない。だが、下から突き上げが来ているのも事実。ここは、キッチリとメインを締め、エースの貫禄というものを、示しておきたいところだ。

金原が対戦した相手はケリー・ジェイコブ。オーストラリアのヘイズマンが、「カネハラは彼のグラウンドテクニックに気を付けろ！」と、自信満々で送り込んだ来たファイターだ。そのジェイコブを金原は、逆にグラウンドで苦しめる。

今大会から導入されることになって、話題を呼んでいるロープエスケープの復活。このエスケープを、大会を通じて一番最初に奪ったのが金原だった。グラウンドテクニックに長けていたはずのジェイコブから、3度のエスケープを奪い、ポイントを失わせての完勝である。

前田総帥曰く、エスケープを導入したことによりKOKルールは「世界一過酷なルール」となるはずだったが、金原がそれを見せるには、ジェイコブは相手として少々役不足だったようだ。

ただ、ここのところ強豪との対戦が続く金原にとっては、いい小休止となっただろう。12月21日、デビュー10周年の記念試合の相手は、〝オランダの破壊王〟ことポール・カフーンに決まった。また金原のボヤキが聞こえてきそうな未知の強豪かもしれない。だが、KOKルールが「世界一過酷なルール」ということを証明するような試合をして、デビュー10周年を飾ってほしい。（小松）

SB史上最大の屈辱！エース・緒形が43秒で完敗

シュートボクシング

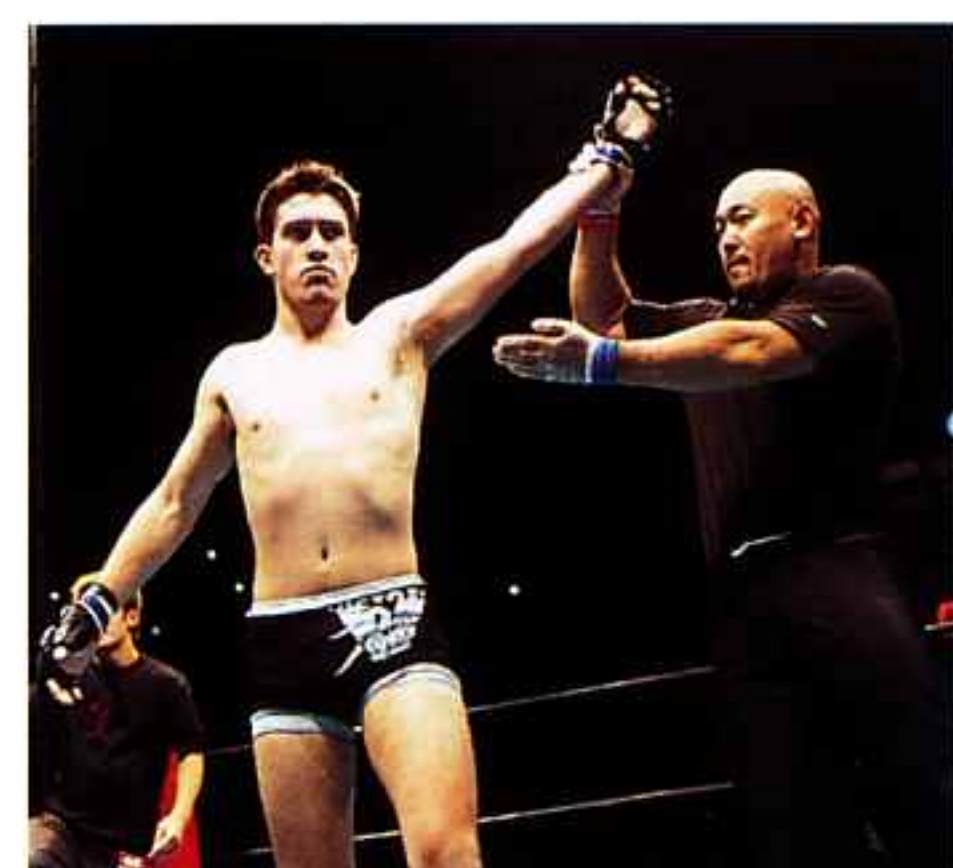
★第5試合（ライト級オフィシャルマッチ5分3R）
○カーティス・ブリガム（1R0分43秒、裸絞め）緒形健一●
〈カナダ〉 〈シーザージム〉

▲SB主力選手に加え、佐藤ルミナまでセコンドにつく必勝体勢でリングスに乗り込んだ緒形健一だが……。カーティス・ブリガムにわずか43秒で完敗！「SBを背負って勝負する」と宣言して出た以上、準備期間が短かったことは言い訳にならない

ブリガムのコメント

「初めての日本での試合で、こんないい試合ができて嬉しい。相手は打撃が強いけど、寝技に持ち込めば勝てると思っていた。下からのアームバーとか、ガードポジションから攻めるのが得意なんだ。相手の寝技の実力は、早く終わりすぎちゃったから分からないね。誰が相手でもいいから、また日本で試合がしたいと思う」

緒形のコメント

「ロープ際で“ブレイクなのか？”って思う時があって、気が付いたら首を取られちゃって。中途半端な逃げ方したら後ろに回られて、パニックになってしまいました。経験不足ですね。これじゃ引き下がれないですから、もう一回やらせてもらいたいです。もう一回ちゃんと、体に染み込ませてから挑戦したい」

◀柔術は紫帯、総合の経験も豊富なブリガム。姿かたちは、あんまり強そうじゃないんだが……

これを“出来事”で終わらせちゃダメだ！

▲大会終了後、後藤龍治、前田辰也がシーザー武志・SB協会会長とともに前田CEOにリングス出場を直談判。前田CEOも「あれで納得されたらこっちも困るからね」と了承。緒形の敗北がよほど腹に据えかねるのか、2人は終始、仏頂面だった

一発も打撃を出せずにタップアウト……

▲タックル対策、スリーパーの逃げ方もルミナと練習していた緒形。一度はブリガムのタックルを切ったが、その後の「引き込み→足関節→バックを取ってチョーク」という“応用編”の攻め方に頭がパニック状態。ロープ際だったが、エスケープできないままタップしてしまった

SBのエース・緒形健一が負けた。完敗だった。リングアナのコール時に大量の紙テープが投げ込まれるなど、期待感はかなりのものだったが、たった43秒でタップさせられてしまった。

同じSBの主力を担う後藤龍治と前田辰也は、

「冗談じゃないっすよ。このままじゃSBがナメられる」（後藤）

「オレを出せ！」（前田）

といきり立っていたが、問題なのは周囲の反応（本誌編集部含む）。変に優しいというか、「総合は初めてなんだからしょうがない」みたいなヌルいことばっかり言ってるのだ。

緒形自身も認めるように、このリングス参戦はSBの強さと独自性を証明するためのもの。看板を背負った他流試合であり、そこでエースが敗れたということは、SBというジャンルの敗北でもある。

この業界に入る前からSBを見てきて、今は担当もやっているボクからしたら、これは石澤がハイアンに負けた時やフィリォがバンナにKOされた時と同じくらいの屈辱感がある。だが、一般的にはSBのリングス参戦は「打撃系の選手が総合にも挑戦」とか「提携団体にゲスト参戦」といった、ただの“出来事”でしかなかったらしい。でなければ「初めてだからしょうがない」なんて言われるはずがない。

つまりSBはその程度にしか認識されてなかったわけで、こうなると二重の屈辱。リベンジするには、まず有り金全部はたいて勝負するような、本気の姿勢を見せつけなきゃいけない。

（橋本）

RINGS RINGS

FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD TITLE SERIES
〜アブソリュート級王者決定トーナメント〜
10・20★国立代々木競技場第2体育館

横井をユニバーサルファイトに出すのは危険だ!!

“怪物”、ヤマケンの弟子を血祭り!!

▲横井は、折橋の首根っこを掴むと、パンチやヒザ蹴りを面白いように繰り出す。とにかく、打撃、打撃の雨あられで2度のダウンを奪って、ポイントアウト勝ち。底なしの強さを見せつけた

★第2試合（ユニバーサルバウトヘビー級5分2R）

○横井宏考（1R3分14秒、ポイントアウト）折橋謙●
〈リングス・ジャパン〉　〈パワーオブドリーム〉
※折橋は横井の右フックでのダウン1、右ストレートでのダウン2

タイトルにも付けたが、横井をユニバーサルバウトに出場させるのは危険すぎる。ユニバーサルバウトは、「日本人有望選手発掘」をテーマに今大会から導入された試合なのだが、このまま横井を出場させ続けたら、発掘どころか潰しかねない。この日の試合で、それがハッキリと分かった。横井の相手となったのは、パワーオブドリームの折橋謙で、第2回のタイタンファイトでは準優勝、アマチュアコンテンダーズのヘビー級でも優勝している実力者。それが、いざ試合になってみると、横井の打撃の前に圧倒されていた。開始早々は、グラウンドの攻防となったのだが、ブレイクとなりスタンドになった直後から、横井の凄まじい打撃のラッシュが、折橋に襲いかかる。折橋は2度のダウンを奪われ、ポイントアウト。圧倒的な実力差を見せつけた勝ち方だった。本人も早く外人と対戦したいと希望している。もう、こんな怪物を若手と対戦させている場合じゃない。普段の人なつっこい笑顔の裏に隠された怪物の本性が、いよいよ覚醒されてきた。（小松）

▶折橋謙はパワーオブドリームの選手で、第2回タイタンファイトで準優勝している大型の実力派ファイター。セコンドには師匠のヤマケンが付いた

リングスニュース

金原、デビュー10周年の相手は“オランダの破壊王”！

12月21日に行われる横浜文化体育館のカードが一部決定された。まずは、この大会でデビュー10周年の記念試合を行うことが決定した金原だが、相手は“オランダの破壊王”というニックネームを持つ、ポール・カフーンに決定。この選手、今年6月10日に開催されたリングスオランダ大会で、30キロも体重差のあるヨープ・カステルにKO勝ちしている。それも、パンチ1発でアゴの骨を砕いてのKOである。外人発掘に関しては、前田の右に出るものはいない。この未知の強豪を相手に、金原はデビュー10周年を飾れるのか？　要注目だ。さらに、あの“ロシアの破壊王”ヴォルク・アターエフとレナート・ババルのカードを現在交渉中だという。アターエフが遂に、トップクラスの選手と対戦するかもしれないとあって、これまた注目の一番。ぜひとも実現させてほしいカードである。

◀この男が、12月21日横浜文化体育館で金原が対戦する“オランダの破壊王”ポール・カフーン。またもや、前田は恐ろしい男を発掘してきたものだ

11月8日より、TKの格闘技セミナーがまた一つ増殖！！

すでに、ケビン山崎氏のトータルワークアウトで、G－スクエアを開講しているTKだが、また新たなクラスを開く。この道場の名前は未定だが、同じ場所ではリングス公式記録員で、元極真会館支部長の田代徳一氏の打撃クラスも開かれる。開講日は11月8日。小田原周辺のファンは、急いで入会しよう！

◆場所/神奈川県小田原市栢山3498
◆開講日/11月8日（木）
◆お問い合わせ/S・Uプロモーション　☎0465-38-2241

▲この10月20日の大会から発売された、アキラ兄さんの『クイック・キック・リー』Tシャツ（グレート・アントニオと紙のプロレスのダブルネーム）。物販コーナーは大盛況だった

伊藤博之、リトアニアへ遠征!!

9月21日の後楽園大会でデビューした伊藤が、いきなり海外遠征を行うこととなった。行き先はリトアニア。11月10日に行われるリングス・リトアニア大会に出場するのである。リトアニアといえば、新しくネットワーク入りしてきた国だが、滑川に勝ったエギリウス・ヴァラビーチェスを見ても分かるとおり、とんでもない選手が出てくる可能性がある。デビュー戦ではガチガチに緊張して、本来の力を発揮できなかった伊藤。ここは、海外の空気を吸って、一回りも二回りもたくましくなって帰ってきてほしい。

前田日明の総評

「（新ルールはいかがでしたか？）新ルールもべつに、蓋を開けてみたら、ダウン取ったり、エスケープ取ったりというのも、それ自体相変わらず難しいということは変わらないですから。今までの総合系のルールだと実力が拮抗したもん同士の試合だとね、ポイント取り合戦みたいなもんで。ポジション取ったら、ジーッと膠着しちゃって、もっと試合が動くようなルールを作りたいなぁと。実力が拮抗したもん同士が試合をやって、マッチメイクしてつまんない試合になるっていうのは、そんな競技はないですよ。ボクシングもそうだし。本来は実力が拮抗しているもん同士の試合が一番面白い。でも、総合系の試合を見てみるとね、ポジション取って、ポイント稼いで、なるべく自分は動かないようにってね。本当に勝負にいくというか。強さとは何かって言ったら、しぶとさなんですよ。あきらめないこと。（滑川選手の試合はいかがでしょう。）滑川はノーガードでローにいこうとして、そっからもらって、煽られてって感じだね。あの選手自体はそんなにグラウンドの技術とかない選手なんだけど、ただ馬力があるのと腰の重さ。バランスがいい。ちょっと戦略的に油断したね。試合っていうのは、書いて字の如く、「試し合い」って書いて「しあい」って読むんですから。何も怖いもんないですよ。リング上にレフェリーがいて、周りにはドクターがいて、セコンドもいて、あとは頭を使って、思いっきりやるだけでしょう。（トーナメントの優勝候補は誰ですか？）今んところ、ヒョードルだね。リーが柔道の強いヤツに勝って、ビックリしたぐらいなんですよ。今年の世界選手権で5位なんですよ。（緒形選手の試合についてはいかがですか？）あれは油断以外の何者でもないね。あとなんか、総合っていうもののセオリーをよく覚えないと。ロープ際って怖いんだよね」

——全日本大会まであと2週間ちょっと

んでやるんじゃなくて、軽く慣らしてい
る感じですね。

木山　そうですね。
——ウェイトトレーニングは？

れしかないですね。
——重さは？

極真カラテ

木山仁

インタビュー

もはや日本のエースは数見じゃない？ その真価を問う！

11月3､4日の両日、東京体育館で開催される極真・第33回全日本空手道選手権大会。日本のエースである数見肇がケガのため2大会連続の欠場となってしまい、それだけに優勝争いはシ烈を極めることが予想される。優勝候補の筆頭に名を挙げられているのは、昨年の覇者でもある木山仁。今年6月の世界ウェイト制・軽重量級も制し、「打倒！ 数見」に燃えていた木山だが、果たして、数見欠場で全日本大会へのモチベーションは大丈夫なのか!？　インタビューしてみた。

聞き手◎林　毅
写真協力◎ワールド空手（真崎貴夫）

――全日本大会まであと2週間ちょっとですが、コンディションはどうですか？

木山　まあ、上々ですね。調整はうまくいってます。

――目標としていた数見肇選手が欠場ということでガッカリした部分があったと思うんですけど、気持ちの切り替えはもうできていますか？

木山　そうですね。しょうがないものはしょうがないんで。今回は、2連覇を目指して頑張りたいと思っていますけど。

――2連覇すること自体、非常に大変なことだと思うんですけど、こんな勝ち方で優勝したいというのはありますか？

木山　やっぱり、相手を一発で倒す、一本で倒すような技で勝ちたいですね。

――2連覇に対するプレッシャーは？

木山　いやぁ、もちろん、ありますね。このプレッシャーに負けないように、試合に挑んでいかなきゃいけないんですけどね。

――当然、前回優勝の木山選手のことをみんな研究してくるでしょうからね。

木山　そうですね。

――自分の闘い方の、長所と短所はどんな点だと思います？

木山　いいところは、誰が相手でも思いっきり行くところですよね。で、悪いところは相手に合わせて見てしまうところがあること。見ちゃうと相手のペースに引きずり込まれてしまうんで、それがないようにしようと思っています。

――木山選手はムチャクチャに、というかムチャクチャな練習をするという印象があるんですけども（笑）。

木山　（笑）そうですか？

――今は、主にどんな練習を？

木山　今はもう調整の時期なんで、軽いミット打ちとか、スパーリングも追い込んでやるんじゃなくて、軽く慣らしている感じですね。

――追い込んだ練習というのはいつ頃までやっていたんですか？

木山　10月の頭くらいまでですね。

――どんな感じでやっていたんですか？

木山　内容自体は、ほとんど一緒なんですけど、ミット打ちにしてもなんにしても量が今とはかなり違ってますね。それから、今はケガをしないように練習してますけど、その時は、スパーリングにしても、ガンガン思い切ってやってましたから、違いはそういったところですよね。

――時間的にはどのくらい？

木山　4時間くらいですかね。

――ぶっ続けで？

木山　そうですね。

――4時間ぶっ続けっていうのは、かなりキツイですよね？

木山　たしかに、長いですかね（笑）。

――何時くらいから始めるんですか？

木山　朝の9時半から。

――ええっ、朝から？

木山　はい。午後2時くらいまで。

――はぁ～。朝からというのは、キツイものがありますね。

木山　そうですね。朝でグッタリ来るんで（笑）。

――その後は？

木山　支部の職員をしていますんで、支部の仕事や道場で指導をしたりですね。

――やっぱり練習としては組手、スパーリングが中心になるわけですか？

木山　その日によって違うんですけど、毎日同じ稽古を繰り返すわけじゃなくて、違う稽古を自分なりに組み立てて、いろんなことをどんどん取り入れていくという感じでやっているんですけどね。

――打ち込みやシャドーとか。

竹師範考案の『自動車押し』、そして『砲丸投げ』パワーが付いたかは、全日本でのお楽しみだ！

木山　そうですね。

――ウェイトトレーニングは？

木山　ウェイトはほとんどやってないですね。

――木山選手は、以前には『自動車押し』をやっていたり、なんか、そういう変わったトレーニングが印象的なんですけど、今はなんかやってないんですか？

木山　そんな、変わったトレーニングというのは……。

――ボクシングの五輪3連覇、キューバのサボン選手もやっていたという、砲丸投げを練習に取り入れているという噂を聞いたんですけど（笑）。

木山　ああ、はい。竹（和也）師範が、ちょっとこれがいいんじゃないかということで、やってみようと。まあ、そんなには飛ばせませんからね、素人ですから。一応、いっぱいいっぱいで投げて、毎日20分くらいやってますけど。

――パワーが付いた感じはあります？

木山　こればっかりは実戦で試してみないと分からないですね。

――全日本で試すのが楽しみですね。いつ頃からやっているんですか？

木山　世界ウェイト制（今年6月）が終わってからずっとやってます。

――距離は飛ぶようになってきました？

木山　いやぁ、それはあんまり伸びはしないですね（笑）。

――距離的な目標ではなく、本数を投げるという感じなんですか？

木山　まぁ、とりあえず、思い切り投げてみようと（笑）。それしかないですね。

――重さは？

木山　7キロですね。

――ちゃんとした砲丸投げのスタイルというか、投げ方で投げるわけですか？

木山　いや、全然誰にも教えてもらってませんから、自己流で（笑）。

――ああ、自己流で（笑）。

木山　なるべく、空手の突きに近いような感じで投げるようにはしてますけど。

――クルクル回ったりはしないんですね。

木山　ハッハハハ。それはしないです。

――ところで、木山選手って元々は中量級だったじゃないですか？

木山　はい。

――やっぱり世界大会を見据えて、無差別でも対応できる身体作りということで、ウェイトアップされたと思うんですが、ウェイトを上げるのは、大変でした？

木山　やっぱり大変でしたね。相当、大変でした（笑）。

――元々は、どのくらいの体重だったんですか？

木山　体重的には83～84キロはあったんですけど、その頃は全然活躍できない選手で、試合に出ても3回戦が関の山という感じだったんですよ。それを一回絞っ

▲昨年の全日本大会は、決勝で木村靖彦を下段回し蹴り「一本」で破り初優勝を遂げた木山。試合後のインタビューでも「打倒！　数見」を口にしていた

て中量級で出て、それからですね、勝てるようになったのは。

——へぇ〜、そうなんですか。

木山　それから体重を元に戻していったんですけど、中量級のスピードを落とさずに、体重を上げるのが大変でしたね。

——それは難しいでしょうね。でも、世界ウェイト制でも、木山選手はスピードで他を圧倒している感じでしたもんね。

木山　はぁ、ありがとうございます。

——練習で特に気を付けているのは、どんなことですか？

木山　やっぱり、スピードを落とさないことですね。体重が増えればやっぱり身体が重たくなるので、そこで気を抜かないようにして、スピードを意識して動き続けるようにしてます。

——動く量が増えれば、逆に体重が落ちてしまうような気がするんですけど？

木山　それはないですね（笑）。ちゃんと食べてますんで。

——食事の量は相当食べるほうですか？

木山　いやぁ、普通ですよ。

——普通（笑）。とか言いながら食べそうですね。

木山　いやいや、他のみんなと変わらないですよ。でも、自分はガンガン体重が付いてしまうほうなんで、今は逆に太りすぎないようにしているんですよ（笑）。

——食べる物とか栄養的なことには気を付けているほうですか？

木山　いやぁ、普通ですよ（笑）。特別にこれは食べないとか、そういうのはないです。

——中量級（80キロ以下）に絞ってから、今の93キロくらいにするにはどのくらいの期間をかけたんですか？

木山　体重は一度増えたんですけど、増やした時に、世界大会で失敗しまして（99年11月、上位進出が予想されたが3回戦でまさかの敗退）、で、あの失敗があって、やっと自分の闘い方が分かってきたという感じですね。

——その失敗が経験となって、世界ウェイト制ではいい結果を出せたと。

木山　はい。

——世界ウェイト制では優勝されたわけですけど、何か反省点はありますか？

木山　なんだかんだ言って、一本を奪えてないんで、一本の取れる技を磨かないといけないなと思いますね。

——世界ウェイト制では、ロシアの選手の活躍が目立ち、木山選手も決勝ではロシアのオシポフ選手と対戦しましたが、振り返ってどうですか？

木山　パワーとスピードがあって強かったですね。

——ロシアの選手だけでなく、外国の選手と闘うことに関してはどうですか？

木山　だいぶ慣れてきましたけど、圧倒的に身体が大きくてパワーのある選手とまだやっていないんで、なんとも言えないですね。この前やったオシポフ選手は自分より大きかったですけど、180センチくらいですし。あとは1、2回戦の相手にしても182センチくらいですもんね。それが185とか190とかになったら、また変わってくると思うんで、それはやってみないと分からないですね。

——まだ全日本大会も終わっていないので、ちょっと気の早い話ではあるんですけど、2003年の世界大会に向け、木山選手は日本のエース候補の筆頭として期待されていると思うんですよ。極端な話、数見選手に代わる次代のエースとして活躍してほしいと。そのへんの意識というのはありますか？

木山　う〜ん、多少はありますけど、そういうのを考えすぎると、身体が動かなくなるほうなんで（笑）、できるだけ考えないようにしてます。

“一撃”は、タイミング、パワー、スピード、気持ち、その全ての要素で生み出される

——地方にいると、練習相手不足という問題があると思うんですが？

木山　その点は、下の者が育ってきて、スパーリング相手にも困らなくなってきましたし、練習環境的にはだいぶ、良くなってきていますね。

——〝極真〟というと、非常に超人的なイメージがあると思うんですけど、木山選手もそういう部分に憧れて極真空手を始めたんですか？

木山　いやぁ、自分は極真のことを全然知らないで入門したんで（笑）。入ってから、なんだこりゃって感じでしたね。

——なんだこりゃ（笑）。

木山　こういう世界もあるんだなぁと。

——今、スポーツの世界だと、科学的で合理的なトレーニングが中心じゃないですか。でも、極真って非科学的な練習をしていますよねぇ。それが魅力でもあると思うんですけど。

木山　でも、それが意外と役に立ってしまうのが極真なんですよね。

——そうみたいですね。竹師範の指導にも、そういった極真らしさみたいなものはあるんですか？

木山　そうですね。師範は、普通の人が思い付かないようなことを思い付きますから（笑）。いつも何をやらされるか分からないです（笑）。

——例えば、どんなことですか？

木山　う〜ん、いろいろあるんですけど、ブラジルの磯部（清次）師範のやっていた〝汽車ポッポ〟に似たような感じで、自分がチューブを持って、竹師範が後ろから引っ張って、それで延々とシャドーみたくして降りていくとか、そういうこともやりましたね。まあ、それはうまくいかなかったんですけど（笑）。

——ハッハハハハハ。うまくいかなかったんですか（笑）。

木山　ええ。そういうのがいっぱいありますよね（笑）。

——それは、まさしく〝極真の遺伝子〟ですね（笑）。また、なんか変わったトレーニングを始めたら教えてください。

▲朝9時半から約4時間ぶっ続けの練習はかなり過酷。練習後には2〜3キロは体重が落ちるらしいが、夜、食べ過ぎて3〜4キロ太ってしまうこともあるとか。いったい1日の体重の変動はどのくらいあるんだ！？

木山　はい、分かりました（笑）。

——ところで、木山選手はどうしてここまで空手にのめり込むというか、空手一筋になったんですか？

木山　やっぱり空手の奥の深さですかね。空手の場合は、運動神経ももちろん必要なんですけど、それだけではなくて、やり込むという気持ちとかいろんなものがあると思うんですよ。そういうところが自分にあったんじゃないですかね。

——さっき木山選手も〝一撃〟で相手を倒すというのが目標だと言ってましたが、〝一撃〟を生み出すのは、パワーなんですかね？

木山　う〜ん、全ての要素ですよね。タイミングからパワー、スピード、気持ち、そういったもの全て。

——なるほど。数見選手や八巻建弐さんには、超人的というか、人間離れした雰囲気があるじゃないですか、腕とか足とか、そういったパーツを見ても。その点についてはどう感じます？

木山　いやぁ、自分が見ても、とてもじゃないなぁと思いますね。こんな人とやろうとしているのかと思いますもんね。

——何をしたらあんな身体になるんだろうって感じですよね？

とりあえず、非常に分かりやすいところで、桜島をバックにした一枚。“薩摩隼人”って感じでカッコイイ！

木山　仁（きやま・ひとし）

1974年1月8日、鹿児島県鹿児島市生まれ（27歳）。高校1年（15歳）の時に極真会館鹿児島支部に入門。97年世界ウェイト制中量級で優勝。99年世界大会3回戦敗退。2000年全日本大会で初優勝し、今年の世界ウェイト制は軽重量級で優勝し、2階級制覇を達成。176センチ、93キロ、血液型A型。現在は、鹿児島支部職員

目標は2年後の世界大会優勝。そのためにも今回の全日本は絶対に勝つ！

木山　ホントにそうですよ。いやぁ、凄いッスね、本当に。

——木山選手もああいうふうになりたいですか？

木山　できれば、ああいうふうになるのが理想ですよね。だけど、やっぱり自分は身体があまり大きくないんで。あんまり横に付けすぎても動けなくなるんで。

——なるほど。数見選手とは空手のスタイルというか、タイプが違いますもんね。

木山　そうですね。

——だからこそ、数見選手と木山選手の試合も見たいし。どんな試合になるのか楽しみなんですよね。実現すると、いいですね。

木山　はい。

——木山選手の身体って、ナチュラルというか、割と、ポッチャリした感じですよね。

木山　もう、すぐ体重が変わっちゃうんですよ。ちょっと前の晩に食べ過ぎると3〜4キロ太っていたり（笑）。

——それはやっぱり食べる量が多いってことじゃないんですか（笑）。

木山　う〜〜ん、まぁ、できるだけ食べる量は少な目に抑えているんですけど、すぐ太っちゃいますねぇ。

——練習しなくなったら大変なことになりそうですね（笑）。

木山　引退するのが怖いんですよ（笑）。

——性格的には、負けん気が強いほうですか？

木山　負けん気は強いですね。

——ケンカをしたこととかは？

木山　ほとんどないですね。

——ちょっと話は変わりますが、フィリォ選手やニコラス選手がK—1で活躍してますが、ご覧になっていかがですか？

木山　やっぱり、ああやって活躍してくれるのは嬉しいですよね。

——8月のK—1ジャパンGPでは、ニコラス選手が見事に優勝して。

木山　正直、嬉しかったですね。でも、ニコラス選手なら、ジャパンでは勝ってくれるだろうと期待はしてましたね。

——初戦（藤本祐介）ではダウンを奪われて……。

木山　あれは、ビビリましたね。

——武蔵選手との決勝は？

木山　興奮しましたよ。勝った時は本当に嬉しかったですね。

——木山選手の最終的な目標は、当然、世界大会優勝ですよね？

木山　はい。2年後の世界大会優勝です。

——そのためにも、今回の全日本は……。

木山　絶対に勝たなきゃいけないですね。

——特に警戒している選手はいますか？

木山　みんなですよね。みんな強いですから、気の抜ける選手は誰もいないですからね。特別に誰を意識するとかじゃなくて、全選手ですね。

——トーナメント表はご覧になっていると思いますが、自分にとってヤマになりそうな相手は誰だと思っています。

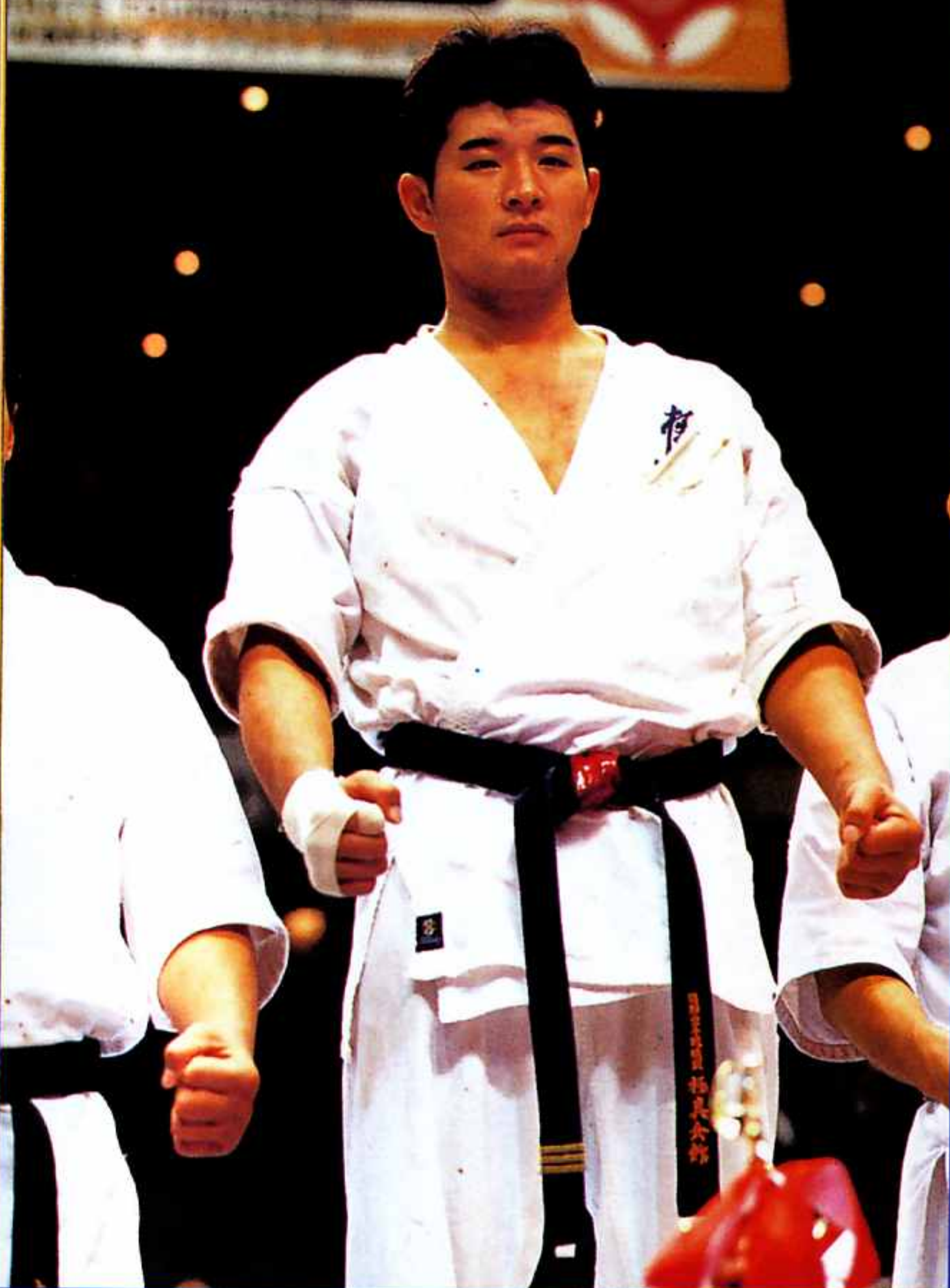
木山　やっぱりベスト8で闘う池田（祥規）さんか伊藤（慎）さんあたりから始まって、市村（直樹）先輩とか。もう何度も対戦してますけど、本当に強いんで。

——前回の全日本では、準決勝の木立裕之選手や決勝の木村靖彦選手が、ケガで完全な状態ではなく、そういうラッキーな部分もあったんで、今回は真価が問われるとも言われていますが、自分でもそういった意識は？

木山　いやぁ、ありますよ。そう思っている人もいると思うんで、今回は実力をしっかり見せて優勝したいですね。■

極真会館・マスコミ懇親会

"地上最強のカラテ"を目指して松井館長、ビジョンを語る！

「地上最強のカラテ＝極真」を目指し、21世紀の激動の格闘技界を突き進む極真空手。そんな極真の舵を取る松井章圭館長が、格闘技専門マスコミを集めて懇親会を行った。今の松井館長には全日本大会、K—1、「Kネットワーク」総合についてなど、聞きたいことがたくさんある。10月11日に開かれたその会見の模様を一挙公開する。

◀前回の全日本大会で、木村靖彦を一本勝ちで破り、見事優勝をはたした木山。今回の大会でもその活躍に期待がかかる

11・3～4『第33回全日本大会』の見所

この10年間、極真会館の日本人の王者に君臨している数見肇が、前回に引き続き欠場となってしまったことは残念ですが、新しい世代が台頭してくるのではないかという希望的観測はありますね。

まず、今大会の注目すべき選手を上げるとすれば、もちろん前回の覇者である木山仁になるでしょう。彼の実力からしたら、2連覇の可能性は高いと思います。もちろん木山仁以外でも、他にも注目に値する選手は多数います。ただそれぞれの選手はなんらかの不安要素を抱えています。例えば、木村靖彦などは実績は十分ですが、精神的なものが技術に反映していて、詰めの甘さというか最後のもう一歩が粗い部分がある。また、先日ニューヨークで開催した『アメリカズ・カップ』で準優勝した田中健太郎などは、たしかに若いわりには落ち着いた組手で非常に優秀ですが、大胆さに欠けるとでも言うのか、もっと荒々しく覇気の感じられる組手をするくらいでちょうどいいと思います。市村直樹については、彼はベテランですからね。安定した力を発揮してくれることでしょう。幸龍敬についてですが、彼はもちろん頑張っていると思いますが、ただこのところ低迷している感がありますね。今のスタイルが頭打ちになっているのかなって思います。でも彼は賢い選手なので、今回の大会に向けて創意工夫を加えてくるでしょう。

今回のトーナメントに関していうと、足立慎史や福田達也なども名を連ねていて、しかも正道会館からトップ選手が数名エントリーしている。それぞれクオリティーの高い選手ばかりが揃いましたから、勝ち残るのは随分と大変な作業になっていくのではないでしょうか。

2年後の世界大会に向けて

極真の世界大会の歴史を振り返ってみると、それぞれの大会ごとに新旧交代というものが起きています。第1回大会では佐藤勝昭師範、第2回、第3回を中村誠師範が優勝した。そしてその次に私達の時代が来たわけです。ただ、第4回の私たちの世代に移る時、随分と大山総裁をはじめ周囲からかなりの不安要素を指摘されました。実際問題としてこの頃の極真は、若返りの新旧交代の時期で、先輩方が一線から一歩退き、ガラリと年代が若返った時期だったわけですね。

たしかに新旧交代というと、若さやヤル気はこれまで以上に全面に押し出されることになりますし、実際に我々の世代の時もそうだったのですが、その反面、経験が浅い選手が増えることも意味します。次回の世界大会でも、新しく誰かが台頭し新旧交代劇が行われるとするならば、我々の上の世代が感じたように、新しい世代に対して、ある種の心細さを感じてしまう部分があるのは事実ですね。新世代が、その心細さを払拭してくれるような世代であることを期待しています。

また別な側面から世界大会を考えてた時、前回の第7回大会ではフィリォが優勝して、初めて外国の極真王者が生まれたわけですね。かつては全日本のチャンピオン＝世界チャンピオンというくらい、日本選手の実力は世界と比べて頭一つ抜けていたわけですが、今度は逆に日本選手が世界に通用するのかという状況が生まれつつあるのは事実です。また、フィリォの優勝によって、海外の極真選手たちはかなりの自信を自分たちに見出してくるでしょう。このことは、関係者も含めた日本選手にとって、かなりのプレッシャーを感じさせますね。今まで以上に気を引き締めていかなければならない状況にあると思います。

日本選手の叱咤が続きましたが、もちろん、実際には日本選手が外国の選手と比べて実力的に劣っているというわけではありません。肉体的にも技術的にも精神的にもまだまだ世界のトップレベルにいると思うんですよね。その自信をどれだけ強固なものにできるかが、これから世界大会までの2年間の課題でしょう。

Kネットワークに賛同する主旨

ある程度のラインが固まったところで記者発表を行おうと考えてますので、詳しいことはその時に譲りたいと思います。

今、言える範囲内で「Kネットワーク」について申し上げるならば、現在の格闘技界を見ると、いろんな試合のスタイルの価値観を認めようという状況になってきていて、実際の社会と同じように混沌としています。ただそういう状況の中で我々極真は、そういう乱世の世に翻弄されるのではなく、適応していかなければならないと思うんです。大山総裁が生き様を通して我々に教示されたように、実戦の中で強さを追求するというような時代になってきている。実際、フィリォやニコラス、グラウベなどの外国の選手をはじめ、野地のような若い選手も混沌とした格闘技界の渦に飛び込むような形で自分の可能性を追求しています。極真が組織全体として空手以外のジャンルに取り組むことはないけれども、そういった状況を踏まえて、個人が〝地上最強の空手家〟を目指す上で空手以外の競技に取り組むのであれば、我々極真としてはその個人に対して最大限のケアをすべきではないかと思ったわけです。その足がかりとして「Kネットワーク」に賛同するのです。今、K―1や『プライド』のようなプロの舞台がありますが、ルールが

違うそれらの競技にいきなり参戦していくのも無理があります。その意味でも「Kネットワーク」を経験と学習の場として活用してもらいたいと考えています。

極真の中で総合をやりたいという人について

これはK―1に出ていったフィリォやペタスと同じ位置づけです。〝地上最強の空手〟を目指すという極真の精神を〝是〟として自分自身の根幹に持ち、枝葉の部分の技術を伸ばす意志で、頭を垂れて他の舞台に上がっていこうと考える選手ならば、極真としても組織としてバックアップしていくつもりです。

全日本キックに上がっている野地にせよ、今度K―1GP決勝大会に出ていくフィリォやニコラスにせよ、彼らの最終目標は極真の世界大会にあるわけです。極真会館の世界大会というものの位置づけを考えた場合、それは至極当然なことであって、その部分を喪失し、あるいは、自分は格闘家であると同時に空手家でもあり武道を追求しているという意識がなくなってしまっているならば、もはや極真会館にいる必要はないわけですからね。そういう姿勢を忘れずに貫き通し、根幹に我々の極真魂というものを確固として持っている選手が総合を希望するのであれば、それを妨げるようなことはせず、逆にサポートしていくということです。

極真会館を掲げている他の流派へ

たしかに我々以外にも「国際空手道連盟極真会館」の看板を掲げて活動している人たちがいます。分裂当初は、その年のウェイト制が開催されるまでは極力一本化を計ろうとしてきましたが、お互い相容れない部分があって決裂したわけです。その延長線上に今日の状況があるわけですが、『SRS・DX』の55号のインタビューでも申し上げたように、再分裂して敵の敵は味方的に結びついて活動している彼らに大義はあるのか疑問に思います。私には彼らが、「極真」というネームバリューに乗って活動しているとしか思えません。以前はみんなが一つの極真会館に所属し、関わってきた人たちですが、そこに主義主張があって活動しているのならまだしも、第三者的に見てもそれすら感じませんからね。もちろんこの問題に関しては、法の下に政治的な解決を見なければならない部分もありますが、たとえ解決したとしても道義的にというか、我々の生き様として、現状のまま、また双方がお互いに歩み寄るということは考えられません。

この『SRS・DX』の私のインタビューを読んだ人の中には、今後、我々極真がそういう人たちと交流もあり得ると捉えた人もいるみたいですが、交流は一切ないです。交流というのは、お互いが認知し尊重し合った上で成し得るものだと思っています。我々は彼らの存在を認知してないわけですから、存在していないものと、交流のしようがない。かつて、彼らの側から、「世界統一戦をやろう」という話も出たようですが、我々はそれを一蹴しました。その姿勢は今もなんら変わっていません。

K-1決勝進出したフィリォとニコラス

ニコラスにしたら、世界選手権では5位に1回入ったけど、全日本選手権ではベスト8に1回も入っていない。そのニコラスが今回ジャパンGPを制したことに対しては、おめでとうと拍手を贈ります。ただ、くれぐれも増長するなと戒めたいですね。ジャパンGPのチャンピオンになったということで、安心してはいけないですし、チャンピオンだからといっても決勝大会では挑戦者ですからね。改めて謙虚に物事を捉えて、頑張っていってほしいです。ただ、彼はジャパンGPを獲った時、「ウォーッ」て吠えていたけど、まるで世界を獲ったみたいに喜ぶなよと言いたい気持ちはあります（笑）。ニコラスだけじゃなく他の選手にも言えることですが、極真の精神として勝っても驕らず、負けてくじけず、常に毅然として立ち向かっていってほしいです。その結果の次にある生き様を問うのが極真の精神なわけですからね。

フィリォに関しては、むしろ決勝大会までいったのは当然というふうに受け止めなければいけませんね。彼は世界大会のチャンピオンですし、年齢的にも今が充実している時期だと思うので、今年こそGPを制覇してほしいです。

9・22『アメリカズ・カップ』の総括

毎年9月末~10月はじめにかけて『アメリカズ・カップ』を開催してるのですが、今回はテロ事件によって空港の閉鎖などもあり、開催自体が危ぶまれました。そんな中で、現地の人たちからも、あるいはスポンサーの方々からも「ぜひアメリカズ・カップを開催してほしい」との声がありました。我々極真としても、テロ事件によって傷付けられた人たちを元気づけたり、また、開催するニューヨーク市に何か貢献できることをしようじゃないかということで、開催に踏み切ったわけです。それに、こういった大会は一つの選手の発表の場であり、極真の活動を世に問う場でもあるわけですからね。

こういう状況の中で参加国数も半分になり、観客動員数も若干減りましたが、

▲松井館長の背に極真のシンボル。新たに「Kネットワーク」に参加しても、その根本にある極真魂は変わることはない

参加者全員が気持ちを一つにして開催できたことは、大変意義深かったと思います。ほんとに小さなことですが、全収益金をニューヨーク市に寄付させていただきましたし、一助の志は通じたのではないでしょうか。

闘いに関してなんですが、今回、優勝したブラジルのテセイラはまだ19歳なんですね。しかも、彼は本来エントリーしていなかった選手で、テロの影響で出られなくなった選手の穴を埋めるような形で出場した選手です。そういう選手でも優勝できる可能性があることを如実に表した大会だったと思います。

一方、結果準優勝に甘んじてしまった田中健太郎について言えば、彼は18歳で世界大会にも出るなど、非常に有望な選手で周りからも期待を受けてますが、結果的に自分よりも年下の相手に負けてしまったわけですよね。私も10代でのデビューでしたが、年上の選手を追いかけているようで、すでに年下の選手から追い上げられている状況を感じたことがあります。彼にもそのことを自覚してもらって、次につなげていってもらいたいですね。

極真道場の中に総合を学ぶ場は？

「Kネットワーク」への参加に関してはあくまでも個人がベースとなります。極真が組織全体としてそこに向かっていくようなことはありません。だから、極真会館内に総合の練習をする場を設けるようなこともないと考えてください。

ただ、空手と言っても、空手の中には裏技のような現在の総合格闘技に通じるものが含まれているんですね。30年前の選手たちは、道場でそういう稽古をしながらも、実際の試合ではルールという枠内で、自分たちの本来持っている技術の一部を削った形で試合をしてたわけです。

ところが、今現在の選手はというと、便宜上できたルールの範疇で練習してクオリティーを高めていってる。同じ稽古をしていても、表れる形は、30年前と違ってきているんです。異種競技に参加していく選手たちは、それに応じて指導を仰がなければならない部分も出てくると思います。他のジャンルを習いにいくというとマイナスのように感じる人もいるかもしれませんが、例えば大山総裁にしろ技術開発のために、他の武術を積極的に学んできたわけですからね。

質疑応答

――「Kネットワーク」の具体的な開催日程は？

松井 1月11日に代々木第二体育館を抑えました。

――大会名は、『SRS・DX』に掲載されているように〝一撃〟となるのですか？

松井 そうですね。1・11〝一撃〟の一並びになります。

――「Kネットワーク」のルールはどのような形になりそうですか？

松井 打撃と総合の2つの柱となるルールを作って、その中で経験なり学習なりしていくものを作り上げていきたいですね。打撃は、基本的にK―1ルールに準じた形で試合をすることになると思います。総合のルールについては、この前の藤田VSミルコ戦で採用されたルールをベースに考えています。また、リングは八角形のものを採用しようかなと検討しています。ロープを張った八角形リングですね。

――極真会館以外で「Kネットワーク」に参加する団体なり組織はどれくらい出てきそうですか？

松井 まだ実体が見えてませんからね。これが何回かイベントを行っていけば、また状況も変わってくると思います。

――「Kネットワーク」に参加する選手の人選というのは最終的には館長が行うわけですか？

松井 最終決済は私がすることになるでしょうが、関係者の意見を受け取り、お互いに意見を出し合って最終結論にしたいと思います。

――どれくらいのスパンで開催していく予定ですか？

松井 年2回くらいを考えてます。我々極真もそうですし、「Kネットワーク」に協力してもらう他団体もそれぞれ自分たちの活動を行ってますからね。無理のない形でお互いが団体交流していけるような状態を保っていきたいと思います。

――「Kネットワーク」で東京ドーム大会などは？

松井 今のところ、まったく考えてないです。

――試合の対戦構図としては、極真VS外国人キックボクサーといった具合に、極真VS他の格闘技というような形になるのでしょうか？

松井 いや、極真同士の総合の試合もあり得ますよ。ただ、極真の選手ばかりが出てるのもなんですしね。

――「Kネットワーク」である程度実績を残した選手を『プライド』にどんどん送り込んでいくことは？

松井 『プライド』側が欲しくない選手をどんどん使ってくれと言うわけにはいきませんからね。逆に、そういう選手が育ってくれば必然的に『プライド』への参戦も出てくるのではないでしょうか。オファーが来るような選手がいれば、どんどん出ていけばいいと思いますし。

――K―1や『プライド』が協力してもいいというような話が出ていますが。

松井 経験の場ですから。極真会館の全日本選手権大会に外国選手が出てくるようなもんでね。優秀な外国の選手はこちらから招待して、全日本大会のクオリティーを高めるようなこともありますから。K―1や『プライド』は今、権威ある舞台で、実力を持った選手が集まってきています。我々は最強を目指している以上、こちらから要請することがあるかもしれませんね。■

◀今回の懇親会は、格闘技専門マスコミを集めて行われた。「今後もこういう場を作り、外からの意見を聞けたらと思います」と松井館長は会を締めくくった

キック3戦目は秒殺KO。野地よ、次の修羅場がキミを待っている！

来年1月、Kネットワークで K-1戦士と対決か!?

作戦：1Rにローキック20発！

これでキック3連勝。またも底なしの可能性を見せた野地

後楽園ホールからの帰り道、今大会を撮影したカメラマン氏は、野地竜太の試合を満足げな顔でこう振り返った。

「いやー、つまんなかったねぇ」

この意見に、ボクも全面的に賛成だ。野地のキック3戦目は、どう見ても好勝負ではなかった。でも、それでいて満足できるものだったのもたしかなのだ。

野地は今回が初の国際戦。相手はオランダの選手だった。総合格闘技の経験もあり、あのボブ・シュライバーのジム出身ということで、試合前はケンカ屋というイメージもあったのだが、野地はそんな相手にまったく試合をさせなかった。

空手家がキックに挑戦すると、どうしても顔面のガードが甘くなるものだ。で、そのためになんとも言えないスリリングな試合になって盛り上がるという部分もある。野地のキックデビュー戦がまさにそれだった。だが、あれから1年。今の野地に、そんなヒヤヒヤする感じはまったくない。

顔面のガードは崩れることがなく、パンチをもらったとしても慌てず反撃することができる。カメラマン氏が試合を「つまらなかった」と言ったのは、それだけ安定感のある、しっかりした試合を野地がしたということ。そしてその成長ぶりに、大いに満足もできたというわけだ。考えてみれば、野地がキックを始めてか

オランダの総合ファイターに地力だけで圧勝！

▶フィニッシュはこれ。左手で相手の首を抑えつけるような体勢から右アッパー。全力を出さないままの完勝だった。野地も涼しい顔

★第9試合（3分3R）
○ **野地竜太（1R1分59秒、KO勝ち）エドウィン・ガーテンバック** ●
〈極真会館〉　〈オランダ／ボブ・シュライバージム〉
※右アッパー。ガーテンバックは左上段ヒザ蹴りでもダウン

野地のコメント

「相手が来るのが分かってたのに、何発かもらっちゃったので、そこがダメだなと。勝てたんでとりあえず嬉しいです。時間が短かったけど、前回同様落ち着いてできたんで良かった。（今回は倒しにいった？）今回は最低でも2R以内で倒す作戦でした。前回はローキックを蹴る指示があったんですけど蹴れなかったんで。1Rで20発は出すように言われました。セコンドの言うとおりに動けるかどうかが課題でした。（Kネットワークは）詳しくは聞いてないですけど、試合があったらどこでもやりたいです。誰でも胸を借りるつもりで。武蔵選手？　凄い強い選手だと思いますし、キャリアもあるんで、思いっきりぶつかって勉強させてもらえればいいかなと」

ガーテンバックのコメント

「ファック！　これがオランダなら、こんな結果にはならなかったはずだ。オレは日本で試合をするのは初めてだったし、観客も何もかも相手に有利だった。総合の試合にも出ているが、オレはどっちもやりたいし、やれる力があると思う。今日の試合に関しては、とにかく悔しいだけだ。話すことはもうないよ」

作戦：1Rにローキック20発！

▲試合直前、ニコラスとともに出番を待つ野地。たまらなくイイ眼をしていた

◀ガーテンバックはボブ・シュライバーのジム所属。リングス・オランダ大会に参戦したこともあり、師匠譲りの暴れっぷりが期待されたが……

▲顔面のガードはあくまで固い。デビュー戦のような危うい感じはまったくなかった

▲今回の課題はローを出すこと。セコンドのニコラスからは1Rに20発は出すようにとの指示が出ていた

てみれば、野地がキックを始めてからまだ1年ほど。それでいてこの上達ぶりは凄い。まさに破格の存在である。

攻撃力に関しては、これはもう言うことなし。パンチも蹴りも、それに首相撲からのヒザも、全てが鋭くて重い。今回、野地はセコンドのニコラスに「1Rにローを20発は蹴ってこい」と言われたという。パンチからローにつなげるコンビネーションも課題だった。野地はその指示を遂行しようとしたのだが、しかし果たすことはできなかった。そうするまでもなく、相手を倒してしまったのだ。

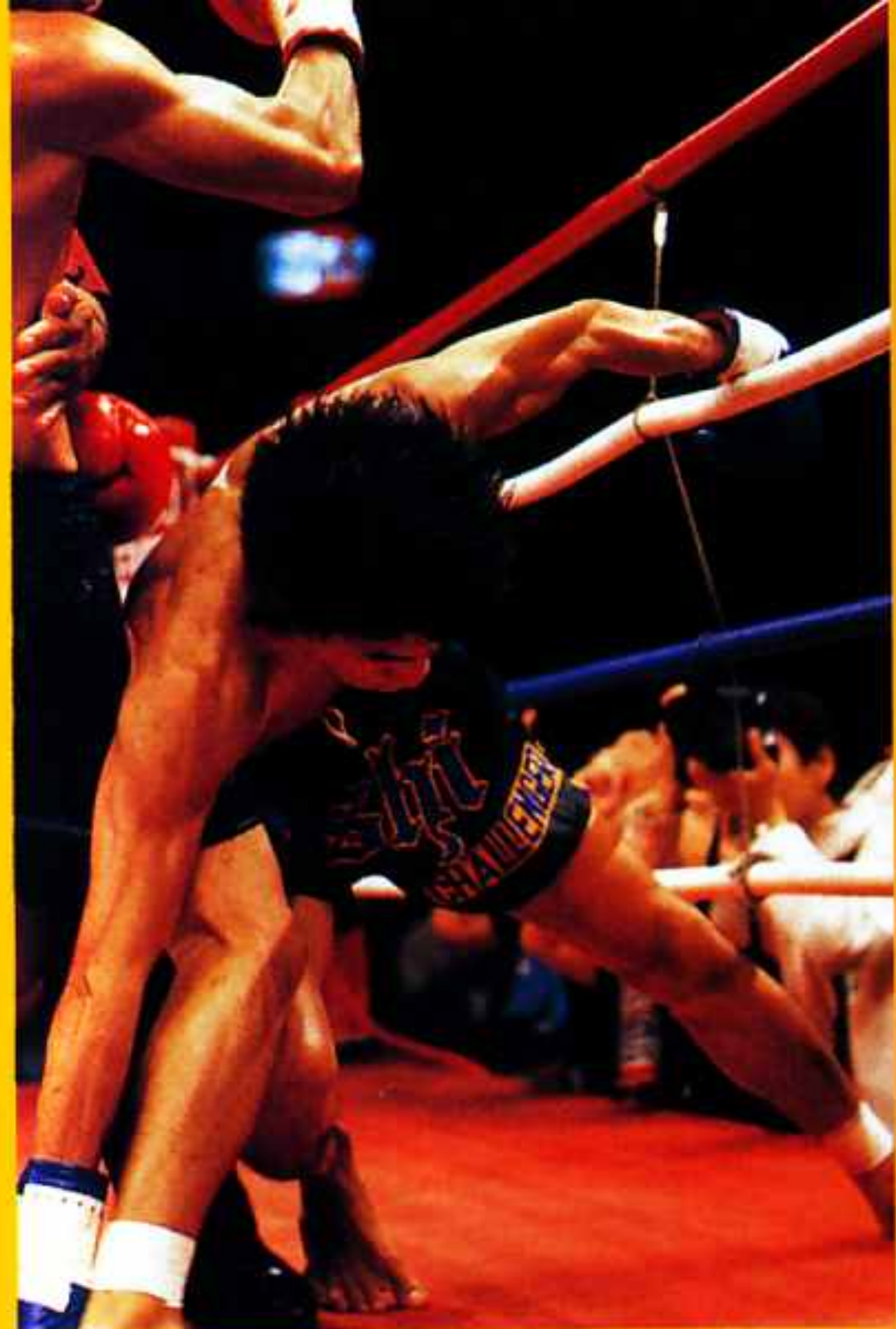
フィニッシュとなった右のアッパーも、死角からえぐり込む強烈な一撃だった。ヒットした瞬間、ガーテンバックの体が宙に浮いたように見えたほどだ。

野地の次の試合は11月30日の全日本キック。ここでもう一度国際戦を行い、来年からはさらなる大舞台に臨むことになる。極真・松井館長が実行委員長を務める大会『Kネットワーク』では打撃部門のエース的存在になるだろうし、K—1も視野に入っているという。

野地はあくまで謙虚に「胸を借りる」「勉強させてもらう」と言っているが、はっきり言って野地から感じる可能性や期待感はそんな程度で収まるものではない。対戦候補には武蔵の名前も挙がっているようだが、K—1ジャパンGP2連覇の試合巧者を相手にしても、充分に勝負ができるんじゃないかと思う。

極真の中では新しい世代に属する野地だが〝地上最強のカラテ〟というロマンは、しっかりと感じさせてくれるのだ。

（橋本）

切って、切って、打ちのめされて
立嶋篤史、痛恨の逆転KO負け

▲勝利まで、タイトル奪還まであと一歩と迫りながら、崩れ落ちる立嶋。かつてキックのエースだった男のその姿には古くからのファンに「特別な感情」を去来させる

杉上、8針縫合の大流血
「今日はドクターに負けた」（立嶋）

★第10試合/全日本フェザー級タイトルマッチ（3分5R）
○ **杉上直之（2R2分10秒、KO勝ち）立嶋篤史** ●
〈王者/朝久道場〉 〈挑戦者/RIKIジム〉
※3ノックダウン。立嶋は左フックで1度、パンチ連打で2度ダウン

▶左のヒジが杉上に襲いかかる。真紅の血が噴き出した時、立嶋は勝利を確信したのだが……。2度のチェックも、ドクターの判断は「続行」だった

◀右目尻を切って大流血の杉上は2度目のドクターチェックの直後、起死回生の左フック。立嶋は顔からマットにダイビングするように倒れ込んだ

▲ほとんど無名の存在からチャンピオンになった杉上だが、かつてのビッグネームを相手にして臆することはない。奔放な動きと、パンチに切れ味が光った

立嶋のコメント

「今日はドクターに負けました。傷を見れば分かるじゃないですか。まあ、いいんじゃないですか。悔しかったら、また頑張ればいいことだし。僕の人生、生まれた時から首の皮一枚。蹴飛ばされて、ののしられながらここまでやってきた。さすがに図々しいことは言えないから、またチャンスが来るまでやっていくしかない」

杉上のコメント

「（立嶋は）自分が高校生の頃が全盛期で、とにかく凄いなぁと思うような存在だった。切られた時は、痛くはなかったが、これで一気に攻められるのが心配だった。それにドクターに止められたら、それで終わりだから。今日のデキ？　30点。試合の始めから、立嶋選手のヒジが効いてしまって、本当にやばかった」

闘いを司る神は、どこまでも冷徹である。かつてキック界を牽引したこの男にも、平気の平左で非情な決断を下す。立嶋に6年ぶりのチャンピオンベルトまで、あと一歩まで迫らせながら、ここで一気に奈落の底に突き落とすような真似をする。

九州からやってきた杉上は変幻自在の動きを見せた。高速スピンのかかった後ろ回し。そのまま打ち込むバックブロー。まるでカンフーの使い手だ。さしもの立嶋も、捕まえるきっかけがなかなか見つからない。

しかし、そこは立嶋だった。2R、相手の飛び込みざまに、左ヒジのカウンターを狙い打ちにする。これで杉上は流血する。傍目にも深手なのはうかがえた。2度のドクターチェックがかかるが、判断はいずれも「続行OK」。立嶋は右手で左ヒジを指し示しながら勝利をアピールするのだが、ドクターには聞き届けられない。立嶋はこれで冷静さを失った。無理にヒジを狙ったところに、杉上の左フックを浴びせられて逆転のダウンを奪われる。前のめりに崩れた立嶋は、すでにグロッキーだった。あとはサンドバッグとなって、2度のダウンを追加された。

「今日はドクターに負けた」。たしかに立嶋には不運な裁定だったろう。しかし、もうすぐ30歳、すっかり勝てなくなった元ヒーローにとって、これもつらい『時の宿命』『力の掟』なのかもしれない。

（宮崎）

石井館長が見てなくて良かった……
注目の中量級対決は空砲連発

清水のコメント

「悔しい。情けない。スタミナには自信があったんだが、最後にいけなかった。代打出場やケガ、風邪を引いたのはただの言い訳。打ち合いには負けない自信もあったし、実際に打ち勝っていたと思う。けど、パンチが浅かった。自分がヘタだった。K－1中量級？ チャンスがあれば。けど、何の肩書きもないから無理でしょう」

後藤のコメント

「アウェーでやっているのを忘れてました。今日は清水選手のほうが強かったってことです。判定に文句はないです。負けでもいい。記録はドローでも、記憶では負け。こんなにパンチをもらったのは久しぶりですね。顔が腫れたのなんて3、4年ぶり。それだけ清水選手が強くて、僕が弱かったんです」

▲試合は終始、パンチ中心の打ち合いとなった。ヒット数では清水のほうが上回ったが、後藤も威力をうまく殺しており、互角の攻防が続いた

ジャッジ全員50対50！
けっこう激しい打ち合いだったんだけどなぁ

▲最終回、後藤の左ミドルがレバーに食い込む。「5Rは出たかった」という清水だが、この回も対戦者の多彩な攻守に決定打は奪えない

▲打ち合いはずっと清水のほうに分があった。それでも決定的に流れを掴ませなかった後藤のクレバーさも評価したい

▲後藤の右ストレートが清水のアゴに伸びる。たしかにこの日は結果として噛み合わなかったが、実力は接近していて再戦はもっと派手な展開が期待できるかも

▲清水はパンチの巧さが目を引いた。後藤の速い身のこなしにもうひとつ強い一打を浴びせられなかったのが惜しい

★第11試合/メインイベント（3分5R）
△清水貴彦（5R判定0-0、ドロー）後藤龍治△
〈超越塾〉　〈STEALTH〉
※採点…50-50、50-50、50-50

　この試合を再現するために最善の方法は、採点表を見直すことである。三者一致そのまま50対50どまり。全5R、数字上では一切合切何もなかったことになる。後藤と清水ともに当面の最大のモチベーションとしているK―1ミドル級トーナメント出場の願いも、石井館長が聞き知ったら、首を横に振るだけかもしれない。だが、砂を噛むような無味乾燥の闘いであったのは事実にせよ、だから本当に何もなかったと、言い切っていいのだろうか。
　両雄ともども、試合の準備が万全でなかった。毎月のようにリングに登っている後藤は、正直に「連戦疲れ」を口にしていた。一方、売り出し中の清水にしても、新田明臣の故障で、3週間前に代打出場が決まり、さらに風邪を引いてコンディションを崩していたという。さらに、パンチ主体で攻め込む清水と、これをかわしてカウンターアタックを仕掛けようとする後藤の攻防は、まったく噛み合うことはない。そして、一度も火花がリングに舞い散ることなく、淡々と時間だけが流れた。
　ただ、後藤のゴムマリのように弾む動きと反応の速さ、それから清水の攻撃の鋭さはたしかに感じ取れた。ともに反省のコメントに終始したのも、今日以上の明日を彼ら自身に期待できるからこそ。もう一度闘えば、もっと違った何かが起こると思うのは私だけなのか。
（宮崎）

Every Day Best Price!!

35~80%OFF

55%OFF!!

商品番号:**CSD-4016**
商品名:**サンドバッグ**
定価¥18,000
↓Best Price!
¥8,000

■素　材:6号帆布
■重　量:45kg
■サイズ:Φ40×160cm
■台湾製

商品番号:**CTY-10152**
商品名:**ウェーブマスターJr.**
定価¥18,500→ Best Price! **¥9,800**

48%OFF!!

少年向けの置床式サンドバッグ！
高さは4段階調整可能！！

■重　量:6kg
■サイズ:高さ90～125cm
　　　　最大底面直径:53cm
■素　材:表/ターポリン
　　　　中/硬質ウレタン
■アメリカ製
■タンクに水を入れてご使用下さい。給水時の重さは約75kgになります。移動時は筒状で、転がしやすい設計になっています。

熱い湯でやわらかくし、口に合わせて形成するタイプです。

商品番号:**CTY-1458**
商品名:**マウスガード**
定価¥2,800→ Best Price! **¥980**

■2ケ入(ケース付)
■アメリカ製

65%OFF!!

床ずれせずに腹直筋を鍛えます。
腰の弱い方も安心して使えます。

商品番号:**CB-110**
商品名:**クランチボード**
定価¥4,300→ Best Price! **¥980**

80%OFF!!

■重　量:3.2kg
■サイズ:W32×D77cm
■台湾製

商品番号:**ND-100**
商品名:**ネックデベロッパー**
定価¥2,800→ Best Price! **¥1,800**
プレートは別売です。

35%OFF!!

■台湾製

60%OFF!!

商品番号:**LNU-14**
商品名:**黒ゴムヌンチャク**
定価¥2,800→ Best Price! **¥1,200**
■サイズ/36cm
■台湾製

商品番号:**NU-3F**
商品名:**フォームラバーヌンチャク**
定価¥2,000→ Best Price! **¥800**
■サイズ/45cm
■台湾製

LNU-14　NU-3F

あらゆるスポーツ選手にかかせない手首の強化。ワイヤー式なので個々のレベルにあせて抵抗を調整できます。

60%OFF!!

商品番号:**LFM-1**
商品名:**フォーアームマスター**
定価¥3,500→ Best Price! **¥1,500**
■重　量:1kg
■中国製

ダンベルは別売です。

50%OFF!!

商品番号:**PF-160**
商品名:**マルチシットアップベンチ**
定価¥19,800→ Best Price! **¥9,800**
■耐荷重量:250kg
■サイズ:H125×W34×D165cm
■台湾製

★インクラインベンチプレス
★バックエクステンション
★フラット
★アームカール
★バタフライ
★トライセプス
★ディクラインプレス
★シットアップ
★レッグレイズ
★サイドラテラル
★アームカール
★ワンハンドローイング

33種類のダンベル運動を特集した指導書付！！

ハンドルを抜いて前屈運動もできます。

45%OFF!!

■台湾製
商品番号:**LES-9**
商品名:**ストレッチマシン**
定価¥28,000→ Best Price! **¥15,000**

★レッグエクステンション
★レッグカール

■耐荷重量:221kg
■耐荷重量:100kg
■プレート3枚まで入ります。

商品番号:**CN-510**
商品名:**オリンピックベンチ**
45%OFF!!
定価¥22,000→ Best Price! **¥12,000**
(プレート別売)
■サイズ:H145×W112×D185cm
■中国製

オリンピックベンチ さらに15%OFF!!に
+ 50Φオリンピックバーベルセット

セット	定価	価格
61kgセット	¥31,100→	¥26,400
91kgセット	¥37,400→	¥31,800
131kgセット	¥45,700→	¥38,800
181kgセット	¥56,100→	¥47,700
221kgセット	¥64,400→	¥54,700

50%OFF!!

商品番号:**CN-40**　　プレートは別売です。
商品名:**セーフティプレスベンチ**
定価¥23,000→ Best Price! **¥11,500**
■重　　量:30kg
■耐荷重量:100kg
■サイズ:H58×W140×D107cm
■中国製
★ベンチプレス
★デッドリフト
★カーフレイズ
★ベントオーバーローイング
　その他・バーベル、ダンベル運動

70%OFF!!

商品番号:**PF-150**
商品名:**シットアップベンチ**
定価¥4,800→ Best Price! **¥1,500**
■重　量:8kg
■サイズ:H60～78×W37×D130cm
　シート部(W30×D90cm)
■中国製
せまいスペースでトレーニングができます。

組み立ては付属の工具で4ケ所をネジで止めるだけと簡単です。

商品番号:**CN-10**
商品名:**フラットベンチ**
50%OFF!!
定価¥4,980→ Best Price! **¥2,500**
■重　量:5kg
■サイズ:H30×W37×D103cm
　シート部(W20×D90cm)
■中国製
ウェイトトレーニング、ダンベル運動には欠かせないベンチです。

★スクワット
★ベントオーバー
★フロントランジ
★サイドランジ
　その他、バーベル、ダンベル運動

45%OFF!!

商品番号:**CN-50**　　ベンチは別売です。
商品名:**プレス&スクワットラック**
定価¥12,000→ Best Price! **¥6,800**
■重　　量:30kg
■耐荷重量:250kg
■サイズ:H107～140×W135×D94cm
■中国製

サイバースポーツ

NEW スタンディングバックセット

毎月限定100セット

セット内容

TYPE 1セット or TYPE 2セット

PLUS

本皮パンチンググローブ ¥2,800 本革

PLUS

2個1組 バンテージ ¥1,200

さらに PLUS いずれか1品お選びください!!

ムエタイショーツ ¥5,800

サウナスーツ ¥2,800

リストウェイト（2kg） ¥3,000

※色はお選びいただけません。

TYPE 1セット
SIZE/30×170cm
定価¥28,600
¥8,800

品番: STB-TP1
- スタンディングバッグtype1／¥18,800
- 本皮パンチンググローブ／¥2,800
- バンテージ／¥1,200
- ムエタイショーツ／¥5,800
- サウナスーツ／¥2,800
- リストウェイト（2kg）／¥3,000

TYPE 2セット
SIZE/40×180cm
定価¥29,600
¥9,800

品番: STB-TP2
- スタンディングバッグtype1／¥19,800
- 本皮パンチンググローブ／¥2,800
- バンテージ／¥1,200
- ムエタイショーツ／¥5,800
- サウナスーツ／¥2,800
- リストウェイト（2kg）／¥3,000

NEW ファイティングフルセット

セット内容

セットG-1 サンドバッグ100B or セットG-2 サンドバッグ130B or セットG-3 サンドバッグ150B

PLUS

チェーン¥500

パンチングボール ¥4,000

PLUS

スタンド安定袋 ¥3,500 安定します

ファイティングスタンド ¥13,800

PLUS

さらに いずれか1品お選びください!!

本革 本皮パンチンググローブ ¥2,800

リストウェイト（2kg） ¥3,000

or

サウナスーツ ¥2,800

2個1組 バンテージ ¥1,200

※色はお選びいただけません。

SIZE/170×170×215～235cm
※セットのサンドバッグは黒のみ。

セットG-1 定価¥34,400 **¥10,000**

セットG-2 定価¥37,400 **¥11,000**

セットG-3 定価¥40,400 **¥12,000**

品番: CFS-G1
品番: CFS-G2
品番: CFS-G3
- ファイティングスタンド／¥13,800
- サンドバッグ100・130・150／¥9,800～15,800
- チェーン／¥500
- スタンド安定袋／¥3,500
- パンチングボール／¥4,000
- 本皮パンチンググローブ／¥2,800
- サウナスーツ／¥2,800
- リストウェイト（2kg）／¥3,000
- バンテージ／¥1,200

好評につき、安値続行!!

パンチンググローブ 本革
定価¥2,800 特別価格 **¥1,400**
品番:CPG-PU COLOR/黒・赤 SIZE/フリー

オープンフィンガーグローブ 本革
定価¥3,800 特別価格 **¥1,980**
品番:CFG COLOR/黒 SIZE/フリー

トレーニンググローブ 本革
定価¥8,000 特別価格 **¥3,600**
品番:CTG COLOR/黒・赤 SIZE/16oz

スパーリンググローブ 本革
定価¥9,000 特別価格 **¥3,800**
品番:CSG COLOR/黒 SIZE/16oz

スーパーパンチングミット両手1組
定価¥6,000 特別価格 **¥2,000**
品番:CPM2 COLOR/青・赤 SIZE/フリー

拳サポーター
定価¥1,000 特別価格 **¥780**
品番:CNG COLOR/白 SIZE/フリー

ムエタイショーツ A B C D E
定価¥5,800 特別価格 **¥1,800**
品番:CMS COLOR/A.B.C.D.E SIZE/Mフリー

スーパーハードミット
定価¥3,000 **¥1,500**
品番:CK-S COLOR/黒 売切れごめん!!

バンテージ 2個1組
定価¥1,200 **¥800**
品番:CBT

リストウェイト（2kg）
定価¥3,000 **¥1,980**
品番:CWT

パワーグリップ
定価¥2,000 **¥1,280**
品番:CPWG

レッグサポーター
定価¥2,000 特別価格 **¥1,250**
品番:CLG COLOR/白 SIZE/フリー

ボディプロテクター ベーシックモデル
定価¥4,800 特別価格 **¥2,400**
品番:CBP-B COLOR/黒 SIZE/フリー 超軽量型!

レガースプロ
定価¥4,800 特別価格 **¥3,300**
品番:CLG-P COLOR/黒 SIZE/フリー

純白フルコンタクト空手着
定価¥6,500 特別価格 **¥3,200**
品番:CKT2 COLOR/純白 SIZE/4号・5号・6号 白帯付き!

パーフェクトガード
定価¥3,800 特別価格 **¥1,600**
品番:CL-1 COLOR/白・赤 SIZE/フリー 大人気レガース!!

ハイパーキックミット
定価¥2,400 特別価格 **¥1,200**
品番:CK-H COLOR/黒・青 抜群の感触!

ファールカップ
定価¥1,500 特別価格 **¥980**
品番:CGG COLOR/白 SIZE/フリー もちろん洗濯OK!

ヘッドガードDX
定価¥5,800 特別価格 **¥3,300**
品番:CHG-DX COLOR/黒・赤・白 SIZE/フリー マスク取外しOK!

サンドバッグ

すぐ使えます! 中身入り! ナスカンチェーン付!

サンドバッグ100B
定価¥9,800 **¥3,400**
品番:C100 COLOR/黒・赤 SIZE/40×100cm

サンドバッグ130B
定価¥12,800 **¥4,900**
品番:C130 COLOR/黒・赤 SIZE/40×130cm

サンドバッグ150B
定価¥15,800 **¥6,400**
品番:C150 COLOR/黒・赤 SIZE/40×150cm

グレート・アントニオ 誌上通販

闘魂シリーズ

期待のホープが英国より凱旋帰国！

FASTING

●ファスティング・ダイエット
¥18,000（税別）

NU SCIENCE

●元気ですかジュース（1000ml入り）
¥5,800（税別）

NEW INOKI BOM-BA-YE1976! ファッション・リーダー猪木最新Tシャツ！

●アントニオ猪木'76Tシャツ
（デザインカラー黒・赤／サイズXS・S・M・L）
¥4,000（税別）

NEW みんなのアイドル、クイック・キック・リー U.K.ツアーTシャツ!!

●前田日明クイック・キック・リーTシャツ
（白・黄／サイズXS・S・M・L）
¥3,800（税別）

グレート・アントニオ&『紙プロ』誌上通販&リングス会場で絶賛発売中！

CLOTHES

●マスクド・ウィンドブレーカー
（黒・カーキ／サイズS・M・L）
¥6,800（税別）

●グレート・アントニオスウェット
（グレー／サイズS・M・L）
¥4,500（税別）

T-SHIRTS

●猪木軍団応援Tシャツ（白／サイズXS・S・M・L） ¥4,000（税別）

●浅草キッドTシャツ（デザイン黒・赤／サイズXS・S・M・L） ¥3,500（税別）

●とうふパンTシャツ（黒・緑／サイズXS・S・M・L） ¥2,800（税別）

●猪木顔面Tシャツ（白／サイズM・L・XL） ¥3,500（税別）

○（株）猪木事務所Tシャツ（白・黒・赤／サイズM・L） ¥3,500（税別）

●VIVA破壊王Tシャツ（白／サイズXS・S・M・L・XL） ¥3,500（税別）

○時はきたTシャツ（黒／サイズXS・S・M・L・XL） ¥3,500（税別）

●グレート・アントニオTシャツ（白／サイズXS・S・M・L） ¥2,000（税別）

●SAKUベルト

●ダイエットブッチャースリムスキン缶バッジ
¥3,000（税別）

¥4,000(税別) ¥3,500(税別) ¥2,800(税別) ¥3,500(税別) ¥3,500(税別) ¥3,500(税別) ¥3,500(税別) ¥2,000(税別)

モンチッチを手掛けるメーカーより サクモン登場!

HOBBY

NEW

●SAKUベルト
(本物と同じサイズ&段ボール製)
¥2,500(税別)

●桜庭和志ぬいぐるみ『サクモン』
※ソフトビニール製・毛張り人形。
©高田道場/サン・アロー
¥1,600(税別)

CAP

●(株)猪木事務所キャップ
¥2,800(税別)

●グレート・アントニオキャップ
¥1,500(税別)

●INOKIキャップ(黒・ライトグレー)
¥3,500(税別)

GOODS

●ダイエットブッチャースリムスキン缶バッジ
¥3,000(税別)
※三代目魚武濱田成夫&グレート・アントニオロゴ入り

●闘魂おまもり(赤・ネイビー)
¥1,000(税別)

●SAKUキーホルダー
¥800(税別)
FRONT BACK

●高田道場ステッカー(A4サイズ)
¥1,000(税別)

●(株)猪木事務所マグカップ
¥1,500(税別)

●(株)猪木事務所アッシュトレー
¥1,000(税別)

ぼくが欲しけりゃ
こっちへおいで!
http://www.great-antonio.jp
ファスティングジュースも
買えるよ!

ご注文方法

ご注文は電話受付のみです

『グレート・アントニオ』通販専用NAVIダイヤル
☎ 0570-007800 ※携帯電話からは掛かりません。
☎ 03-3295-4450 ※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日~土曜日 AM10:00~PM6:00

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円(ゆうパック)、代引手数料約250円(いずれも地域によって異なります)がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で(株)ジャンボ(大阪)より郵送いたします。(ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください)

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。(期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます)
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

ACCESS MAP

○神保町駅(半蔵門線/都営新宿線/都営三田線)より徒歩5分
○小川町駅(都営新宿線)より徒歩5分
○淡路町駅(丸ノ内線)より徒歩6分
○竹橋駅(東西線)より徒歩8分

OPEN 11:00~20:00(月曜定休)
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

http://www.great-antonio.jp

もしかしてこれからは猪木バッシングが流行るのか？
バカじゃ読解不能の猪木語録。

たっつぁん万座ビーチ
読者プレゼント

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先…〒101-0054 東京都千代田区神田錦町
3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部「たっつぁん万座ビーチ㊿」係まで
締め切り…11月15日（木）
当日消印有効

【グレート・アントニオ提供】

圧勝のアキラ兄さんTシャツにノゲイラ本人持ち込みTシャツ！

●クイック・キック・リーTシャツ（カラー白・黄/サイズXS・S・M・L） 2名様

FRONT BACK FRONT BACK

●アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラTシャツ（カラー白/サイズS・M・L） 2名様

FRONT BACK

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、またはhttp://www.great-antonio.jpまで

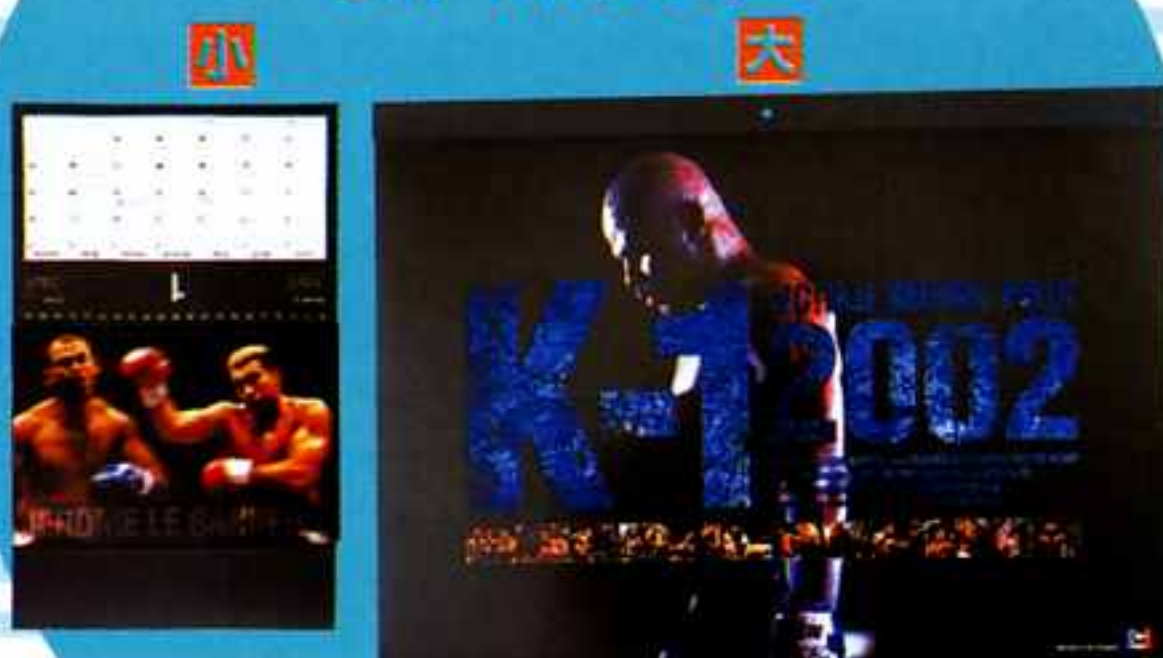
【ミント提供】

人気のK-1トレーディングカード！
今年は11/9発売！

●K-1トレーディングカード2001
とりあえずバンナ&ホーストをセットで 2名様

※先行販売のお知らせ…11/4（日）の午前10時～午後3時に横浜モアーズ9F特設会場で、K-12001カードの先行販売をおこなう。5パックお買い上げで選手直筆サイングッズなどが当たる空くじなしのスピードくじを用意。お問い合わせは、スポーツカードミント横浜店☎045-316-1710まで

【M・D・K提供】

がんばれ俊治さん！

●K-1カレンダー
小 大
各3名様

●イグナショフ毒針殺法Tシャツ（カラー黒・赤／サイズM）

FRONT BACK 3名様

※K-1グッズに関するお問い合わせは、M・D・K☎03-3796-2993まで

【ドリームステージエンターテインメント提供】

なぜだ！？ PRIDE VS超人シリーズ登場！ サクVSキン肉マンも進行中！

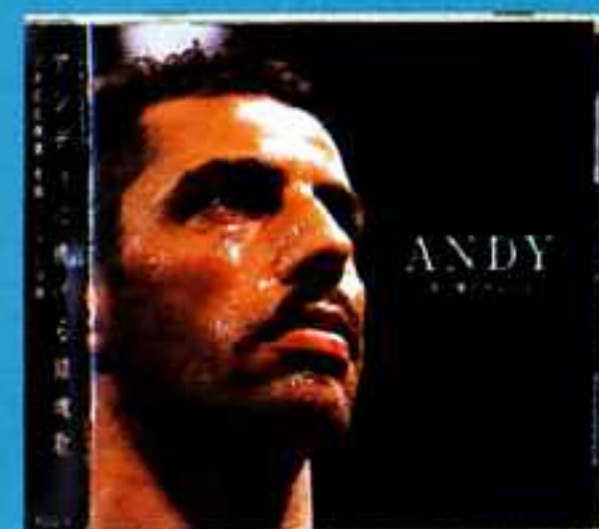
●コールマンVSバッファローマンTシャツ 2名様

●ボブチャンチンVSウォーズマンTシャツ 2名様

※PRIDEグッズの購入は、PRIDE GOODSナビダイヤル☎03-5775-5852、またはhttp://www.so-net.ne.jp/pride/まで。グレート・アントニオでも取扱中！

【FLCレコード提供】

アンディに捧げる鎮魂歌！ 写真集つき！

●CD『ANDY－青い瞳のサムライ－』 3名様

※（財）骨髄バンクからアンディへの追悼CD。収録曲を歌うのはブレッド&バター。メモリアル写真集もついており、このCDの売り上げの一部は骨髄バンクに寄付。ドナー登録運動を広めていく資金として役立てられる。税抜価格￥1,500

たっつぁん万座ビーチ 応募券

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

MEN'S BODY POWER UP 一生に一度の男の手術

24時間直接電話相談 0120-508-550
メンズ総合テープ案内 0120-087-008
24時間無料電話相談 一生に一度の男の手術 無痛！無傷！安心！
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

第１章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第３章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第７章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第９章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上：全て目次より）

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

院	電話	所在地
札幌	011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル4F
仙台	022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F
新潟 (NEW)	025-241-4000	新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F
大宮	048-642-1000	さいたま市宮町2-11 ハシモトビル7F
東京	03-3274-4000	中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル14F
上野	03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル4F
渋谷 (NEW)	03-5784-3000	渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F
新宿	03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F
横浜	045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F
千葉	043-221-8000	中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F
浜松	053-452-6000	浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F
名古屋	052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F
京都	075-352-5000	下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F
大阪北	06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル2F
大阪南	06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル8F
岡山	086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F
福岡	092-415-6000	博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F
鹿児島 (NEW)	099-812-3800	鹿児島市中央町3-26 西駅M.Nビル5F

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com